

コリヤ^{え～わ}英和! 各国語

User's Guide

共通ユーザーズガイド

for Windows

LOGOVISTA



お願い

コリヤ英和！各国語 for Win をお買い上げいただき、有り難うございました。

本ユーザーズガイドは、コリヤ英和！各国語 for Win の主要な使い方を説明しています。本ガイドに記載のない事柄につきましては、オンラインヘルプや LV ナビをご参照いただけますようお願いいたします。

-
- ©Logovista Corporation 1994-2012 U.S.Patent No. 5,528,491; 6,278,967; 6,470,306; 6,760,695.
※LogoVista, コリヤ英和!, LogoVista電子辞典はロゴヴィスタ株式会社の商標または登録商標です。
Readiris Pro© 1989-2012 Image Recognition Integrated Systems SA All rights reserved.
※Microsoft, Windows, Microsoft Internet Explorerは米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
Includes Microsoft Agent technology.
※TextBrige の著作権は、米国 Scansoft 社に帰属します。TextBrige は、米国 Scansoft 社の米国及びその他の国における登録商標です。
※ロジカルテック株式会社 LT-CAT'S EYE PRO エンジンを搭載しています。
※本製品は日本語音声読み上げに(株)アクエストの規則音声合成ライブラリ AquesTalk® を使用しており、その著作権は同社に帰属します。
※記載された会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。
※本製品の「金融・法律」専門用語辞書には、日本法令外国語訳データベースシステム掲載の「標準対訳辞書」に基づいて作成した語句が含まれます。
- 本製品は、優れた翻訳技術を備えた製品ですが、翻訳する原文によっては翻訳結果の内容が正確でない場合があります。予めご了承ください。なお、ロゴヴィスタ(株)は本製品の翻訳結果の内容を保証するものではありません。翻訳結果につきましては、お客様の責任においてご使用ください。
 - お客様が本ソフトウェアをおインストールし、使用するためには、パッケージ内の使用許諾契約の内容に同意していただく必要があります。使用許諾契約の内容に同意いただけない場合でも、本ソフトウェアの返品はお受けいたしかねます。
 - 本製品のレンタルおよび中古販売による再使用を禁じます。
 - 本製品の仕様は、予告なく変更される場合があります。



CONTENTS

Chapter 1 コリヤ英和!各国語の翻訳機能	1
1.こんなときにお使いください	2
いろいろなアプリケーションの使用中に翻訳したいときは……操作パネル	2
原文と訳文を比較対照しながら、じっくり翻訳するときは……翻訳エディタ	2
インターネットで閲覧中に翻訳機能を利用するときは	3
アプリケーションで直接翻訳するときは	4
メールやファイルを翻訳するとき	5
通訳感覚で翻訳したいときは……通訳くん	6
辞書ツール&支援ツール	6
2.コリヤ英和！各国語の翻訳エンジンについて	7
各国語版の翻訳方法	7
3.コリヤ英和！各国語の翻訳スタイルについて(英日・日英、日中・中日のみ)	8
翻訳スタイルとは	8
翻訳に使う辞書(翻訳辞書・専門辞書・分野辞書・ユーザ辞書)	8
翻訳設定	9
4.コリヤ英和！各国語の翻訳に使用できる辞書について	10
ユーザ辞書	10
分野辞書	10
 Chapter 2 操作パネルの使い方	 11
1.操作パネルの名称と機能	12
コリヤ英和！操作パネルを起動するには	12
操作パネルの名称と機能	13
操作パネルの表示方法を設定するには	16
2.翻訳方向の選択ボタンの使い方	17
コリヤ英和！各国語での翻訳方向の変更方法	17
3.翻訳スタイルの選択ボタンの使い方	18
翻訳スタイルについて	18
4.ウェブボタンの使い方	21
4つの翻訳方法	21
Web ページを翻訳する	21
5.選択翻訳ボタンの使い方	22
操作パネルで翻訳するには	22
6.選択辞書引きボタンの使い方	23
辞書引きするには	23
7.翻訳ボタンの使い方	24
RSS の使い方	24
サーチ翻訳の使い方	28
スマートブラウザの使い方	29
タイピング翻訳を行うには	34

8.辞書ボタンの使い方	37
ユーザ辞書エディタを使うには(英日・日英翻訳エンジン専用)	37
ユーザ辞書エディタ(日中・中日)を使うには	41
ユーザ辞書エディタ(マルチリンガル)を使うには	43
LogoVista 電子辞典で辞書引きするには	44
9.支援ボタンの使い方	45
音声ボタンで読み上げを行うには	45
カレンダーを使うには	46
世界時計を使うには	47
度量衡を使うには	47
10.監視ボタンの使い方	48
監視ボタンの機能を変更するには	48
監視ボタンでタッチ翻訳を行うには	48
監視ボタンでタッチ辞書引きを行うには	49
クリップボード監視機能を使うには	50
11.設定ボタンの使い方	51
フォントを設定するには	51
読み上げ機能を設定するには	51
12.ナビボタンの使い方	52
LV ナビの起動と参照方法	52

Chapter 3 翻訳エディタで翻訳するには53

1.翻訳エディタについて	54
翻訳エディタを起動するには	54
翻訳エディタで扱えるファイル形式	55
翻訳エディタの名称と機能	56
2.基本的な翻訳の流れ	62
翻訳の準備	62
翻訳する	63
翻訳結果を保存する	63
翻訳結果を印刷する	65
3.外国語を翻訳する	67
単語対応表示を使って原文にミスがないかチェックする	67
別の訳語を選択する	69
ユーザ辞書を使用する	70
専門辞書・分野辞書を使用する	72
文末を正しく調整して翻訳する	74
大文字／小文字を正しく修正して翻訳する	76
4.日本語を翻訳する	78
テキストファイルを読み込む	78
会話モードを活用する	79
[確認翻訳]を利用して原文を修正する	81
[日本語解析]を参考にして原文を修正する	83
修飾語の位置を変えて翻訳する	86
ユーザ辞書を使う	87
定型文を使う(事例文登録)	89
四面エディタを活用して中間翻訳結果を編集する	91

5.外国語の作文で例文を利用するには	92
例文を入力するには.....	92
例文を検索するには.....	94
6.Web ページやPDF ファイルを翻訳する	97
レイアウトビューの機能.....	97
Web ページを翻訳するには.....	97
PDF ファイルを翻訳するには.....	100
7.簡体字・繁体字変換、ピンイン表示(中国語)	102
簡体字・繁体字変換.....	102
ピンイン表示.....	103
Chapter 4 ホームページを翻訳するには	104
1.Internet Explorer でホームページを翻訳するには	105
Internet Explorer に組み込まれた翻訳機能について.....	105
Web ページをInternet Explorer 上で翻訳する.....	109
Web ページを翻訳エディタに転送して翻訳するには.....	113
Web ページ上のPDF をスマートブラウザで翻訳する.....	115
RSS ページをRSS 翻訳に転送する.....	116
日本語を選択し、訳語でWeb ページを検索・翻訳する.....	116
辞書引きするには.....	119
2.HTTP プロキシ翻訳でホームページを翻訳するには	120
HTTP プロキシ翻訳を有効にする.....	120
Web ブラウザの設定を行う.....	121
ホームページを翻訳する.....	122
Chapter 5 メールを翻訳するには	124
1.Microsoft Outlook でメールを翻訳するには	125
Outlook に翻訳機能をアドインするには.....	125
Microsoft Outlook に組み込まれた翻訳機能.....	126
メールを翻訳するには.....	127
2.メールソフトを起動せずにメールを翻訳するには (Outlook Express/Windows メール)	129
3.操作パネルを使ってメールを翻訳するには	130
メールを受信し翻訳するには.....	130
Chapter 6 アプリケーションで翻訳するには	132
1.翻訳機能を組み込めるアプリケーションについて	133
翻訳機能を組み込めるアプリケーションをチェックするには.....	133
2.Microsoft Word で翻訳を行うには	135
Microsoft Word に翻訳機能を組み込むには.....	135
Microsoft Word 2007/2010 に組み込まれた翻訳機能.....	135
基本的な翻訳操作.....	136
3.Microsoft Excel で翻訳を行うには	138
Microsoft Excel に翻訳機能を組み込むには.....	138
Microsoft Excel 2007/2010 に組み込まれた翻訳機能.....	138
基本的な翻訳操作.....	139

4.ジャストシステム一太郎で翻訳を行うには	141
一太郎に翻訳機能を組み込むには.....	141
一太郎に組み込まれた翻訳機能.....	142
基本的な翻訳操作.....	143
5.Adobe Acrobat／Adobe Reader で翻訳を行うには	144
Adobe Acrobat／Adobe Reader に翻訳機能を組み込むには.....	144
Adobe Acrobat／Adobe Reader に組み込まれた翻訳.....	144
基本的な翻訳操作.....	145
制限事項.....	146
Chapter 7 ファイル単位で翻訳するには	147
1.ファイル単位で翻訳するにはーファイル翻訳の使い方	148
ファイル翻訳で行える翻訳.....	148
ファイル翻訳を起動するには.....	149
[ファイル翻訳]ウィンドウの各部の名称と機能.....	150
翻訳を実行するには.....	151
ファイル翻訳の環境を設定するには.....	153

Chapter 1

コリャ英和！各国語の翻訳機能

1

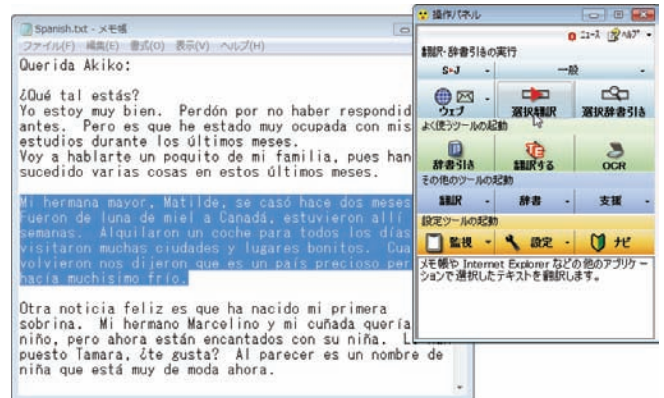
こんなときにお使いください

コリヤ英和！各国語には、いろいろな作業に適合する複数の翻訳アプレットがあります。翻訳アプレットは、翻訳作業を行うためのインターフェースです。また、Internet Explorer や Office アプリケーション、一太郎、Acrobat などに翻訳機能を組み込んで翻訳する機能も用意しています。作業場面に合った、適切な翻訳アプレットをお使いください。

いろいろなアプリケーションの使用中に翻訳したいときは……操作パネル

コリヤ英和！各国語の翻訳機能、辞書引き機能などを効率的に呼び出すために操作パネルを用意しています。ワープロ、表計算、Web ブラウザ、メールソフトなど、文書を扱う様々なアプリケーションで翻訳を行うことが可能になります。

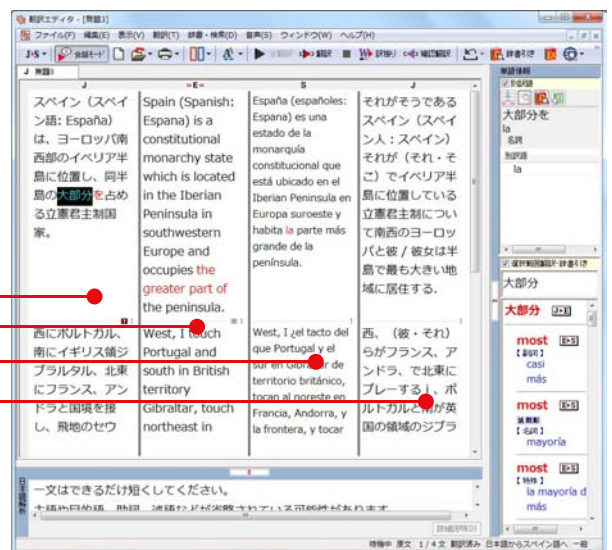
▶▶▶第2章



原文と訳文を比較対照しながら、じっくり翻訳するときは……翻訳エディタ

原文と訳文を比較検討しながら逐一翻訳結果を向上させることができるアプレットです。テキストファイルをはじめ、HTML 形式などの Web ページ、PDF ファイルなど、いろいろな形式の文書ファイルを読み込んで翻訳することができます。さらに、翻訳エディタに Web ページを呼び出して翻訳・辞書引きなどを行うこともできるようになりました。

原文
 中間言語(英語)
 訳文
 確認翻訳

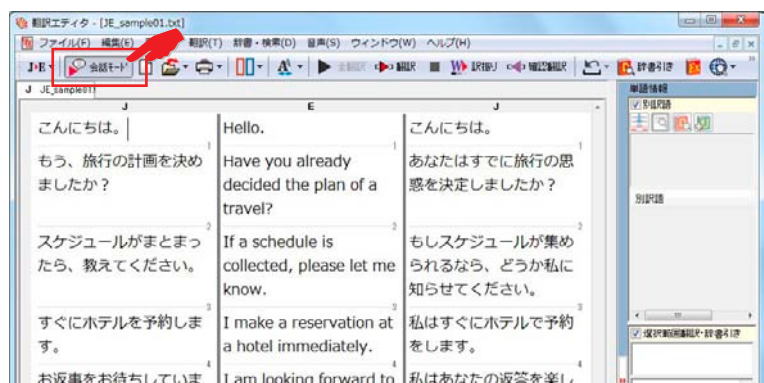


▶▶▶第3章

会話モードで英訳することができますー翻訳エディタ・日英翻訳時

会話のように、主語のない和文を英訳するときに、人称代名詞などが自動的に補われて翻訳するモードです。会話モードをオンにすると、会話文に適した翻訳スタイルが適用されます。

日英翻訳時のみ、[会話モード]ボタンが有効になり、オン・オフできるようになります。



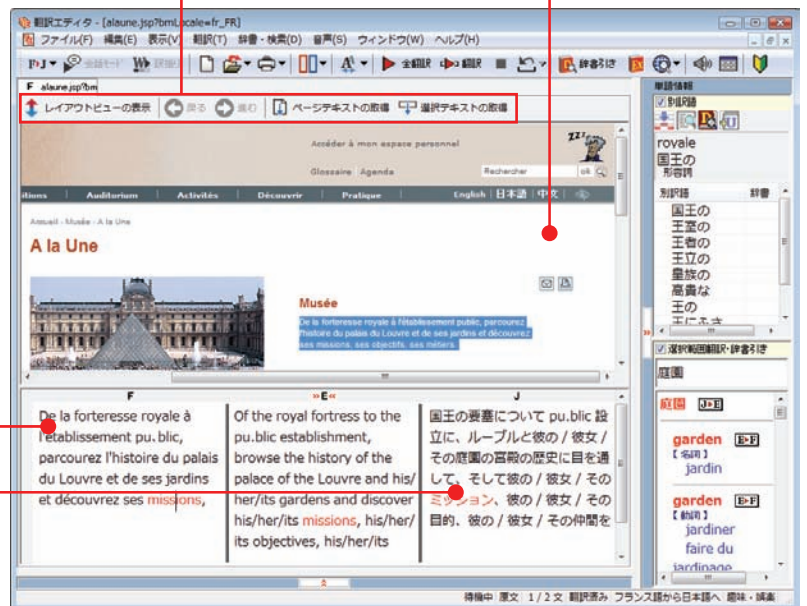
インターネットで閲覧中に翻訳機能を利用するときは

Web ページをブラウジングし、原文と訳文を対比しながら翻訳するときは……翻訳エディタ

翻訳エディタで Web ページをブラウジングし、表示させたページを翻訳することができます。特定の Web ページをよく開いて日常的に翻訳する場合などに有効です。

▶▶▶ 第3章

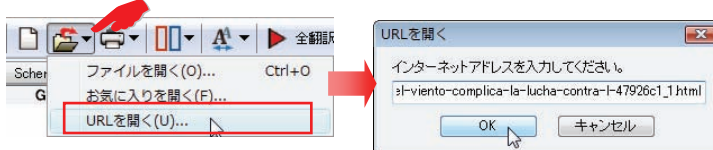
Web ページに関するコマンドアイコン ブラウジングした Web ページ



Web ページから取得したテキスト

翻訳結果

Web ページは、URL を入力してブラウズすることができます。



Internet Explorer の「お気に入り」に登録されたサイトを呼び出すこともできます。



Internet Explorer で呼び出したページを翻訳するときは

▶▶▶ 第4章

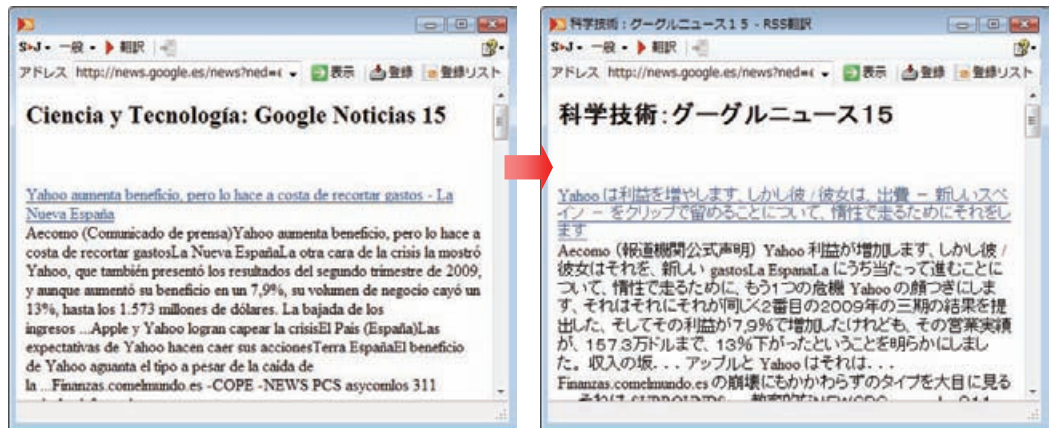
Internet Explorer がインストールされている環境では、コリヤ英和！各国語の翻訳機能が組み込まれます。これらを使って、いつでも翻訳・辞書引きを行うことができます。下図は、呼び出したスペイン語サイトを日本語に翻訳する例です。



海外の RSS サイトを翻訳結果で閲覧したいときは……RSS 翻訳

▶▶▶第2章

海外の RSS サイトにアクセスすると同時に翻訳を実行し、訳文を表示します。よく閲覧する RSS サイトを登録しておくこともできます。



日本語キーワードで海外のサイトを検索するときは……サーチ翻訳

▶▶▶第2章

日本語キーワードを入力すると、翻訳結果の外国語でサイトを検索します。「検索サイトの自動翻訳」機能をオンにしておけば、検索したサイトを翻訳して表示します。

入力した日本語キーワード 翻訳された外国語キーワード



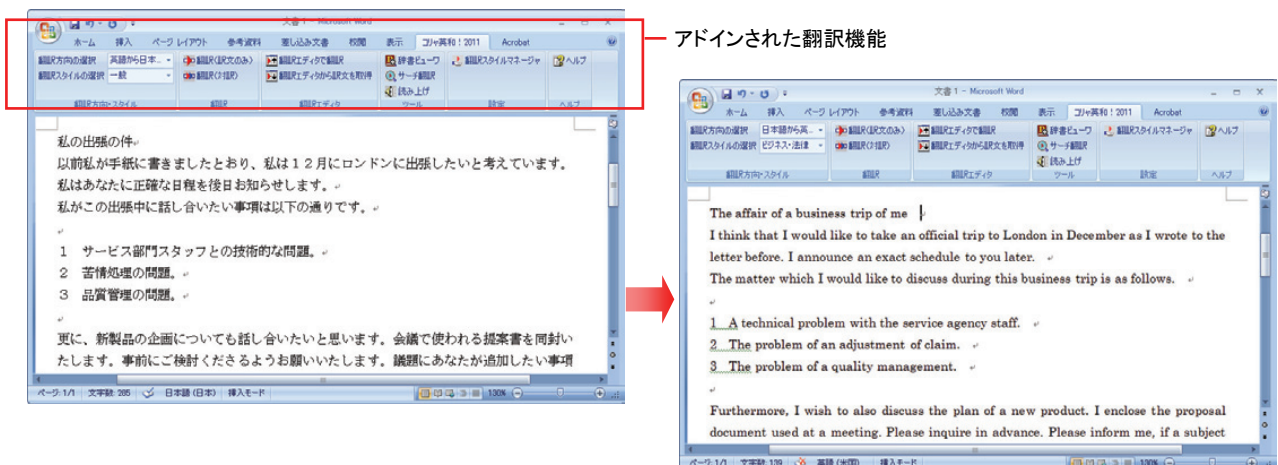
検索結果は翻訳されて表示されます。

アプリケーションで直接翻訳するときは

Office、一太郎、Acrobatなどで翻訳するときは……アドイン翻訳

▶▶▶第6章

Microsoft Office、一太郎、Adobe Acrobat、Adobe Readerなどのアプリケーションに翻訳機能を組み込むことができます。これにより、それぞれのアプリケーションで直接翻訳を実行できるようになります。

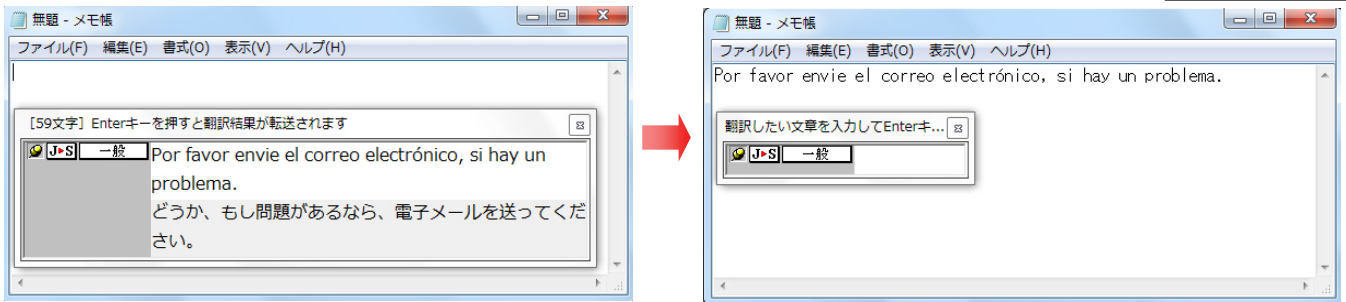


アドインされた翻訳機能

原文をタイプしながら訳文をアプリケーションに入力したいときは……タイピング翻訳

タイピングされた原文を翻訳し、アプリケーションの文書に訳文を入力するツールです。

▶▶▶第2章

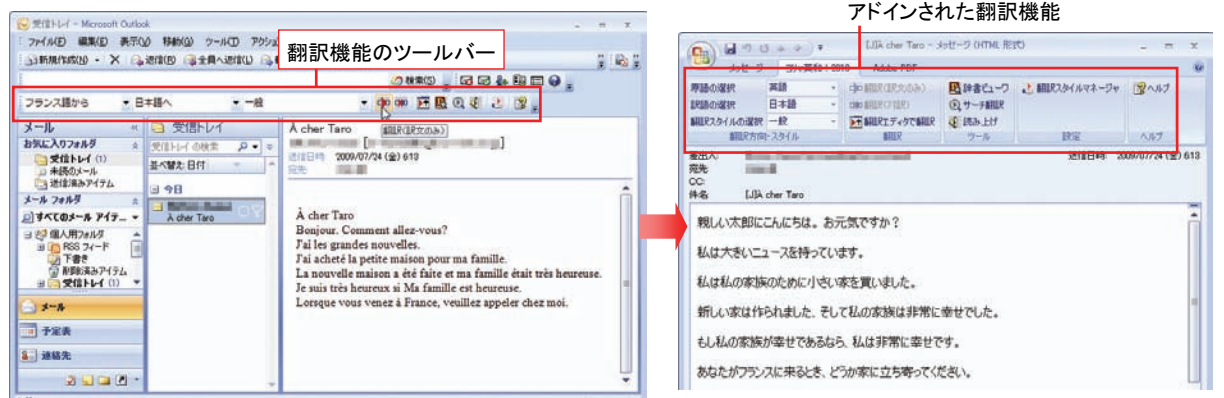


メールやファイルを翻訳するときは

メールソフトで翻訳機能を使うときは

▶▶▶第5章

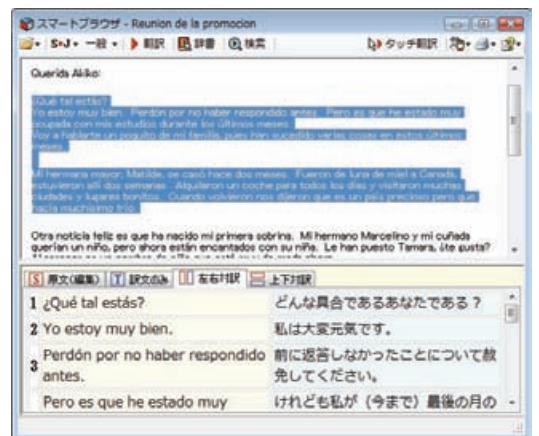
Microsoft Outlookをお使いの場合、翻訳機能をアドインすることで、Outlook から直接翻訳できるようになります。その他のメールソフトでは、操作パネルやスマートブラウザを使用することで翻訳することができます。



ファイルに保存された原文を簡単操作で読み解きたいときは……スマートブラウザ

HTML などの Web ファイル、PDF ファイル、テキストファイルなどを呼び出して簡単操作で翻訳や辞書引きを行いたいときにスマートブラウザが便利です。また、メールソフトに保存されたメールを呼び出して翻訳することもできます。

▶▶▶第2章



複数の原文ファイルをいっきに翻訳したいときは……ファイル翻訳

▶▶▶第2章

原文が保存されているファイルを翻訳し、翻訳結果をファイルに保存します。複数のファイルを一度に翻訳できるほか、テキストファイル、HTML ファイル、Word 文書ファイルなど多様な形式に文書ファイルを翻訳することができます。

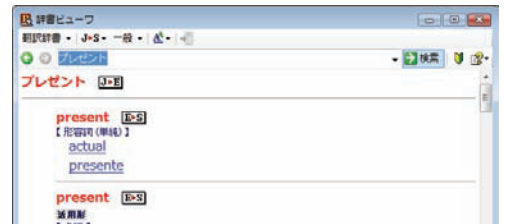


辞書ツール & 支援ツール

簡単操作で辞書引きしたいときは……辞書ビューワ

▶▶▶第2章

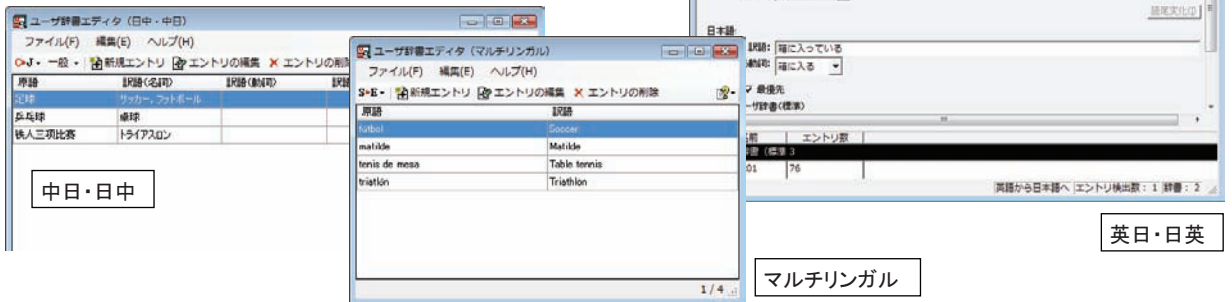
翻訳辞書で辞書引きできる「辞書ビューワ」を用意しています。LogoVista 電子辞典がインストールされていると、それらの辞書でも辞書引きできます。



ユーザ辞書を編集したいときは……ユーザ辞書エディタ

▶▶▶第2章

コリヤ英和！各国語では、特異な語句をユーザ辞書に登録し、翻訳に活用することができます。ユーザ辞書に登録した内容は、編集したり、ファイルに書き出したりすることができます。もちろん、テキストファイルに保存した用語を読み込んでユーザ辞書を充実させることもできます。



中日・日中

英日・日英

マルチリンガル

役立つ支援ツールも揃っています

▶▶▶第2章

カレンダー、世界時計、度量衡など、日付や時刻、単位などをちょっと確認したいときに便利なツールも揃っています。



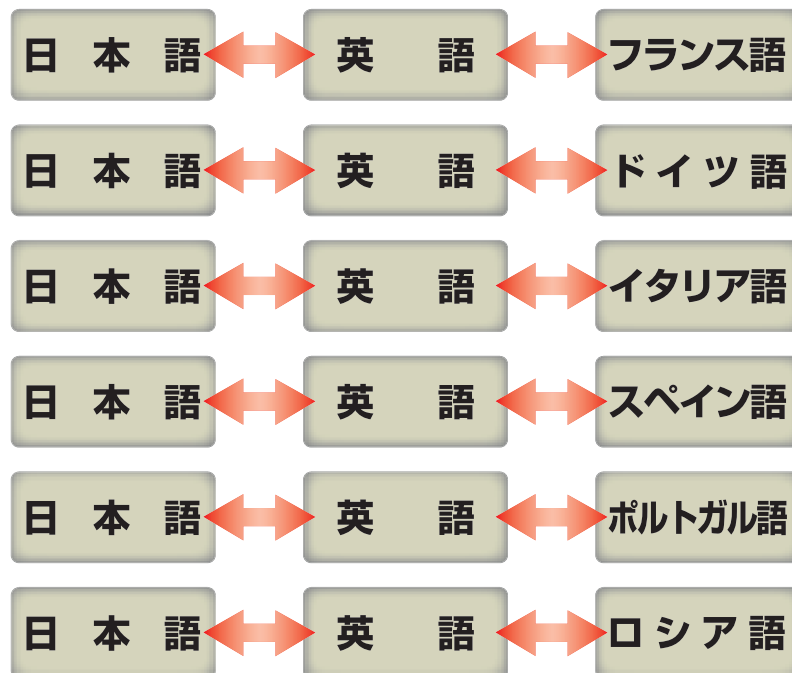
2

コリヤ英和! 各国語の翻訳エンジンについて

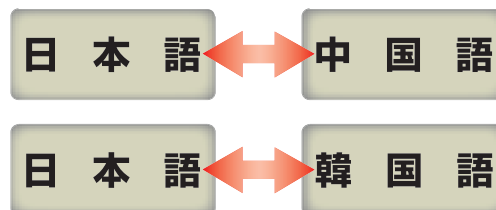
「翻訳エンジン」とは、コリヤ英和! 各国語の中で、実際に翻訳を実行するソフトウェアを指します。ここでは、翻訳エンジンの概要を説明します。

各国語版の翻訳方法

「コリヤ英和! 欧州5言語(フランス語・ドイツ語・スペイン語・イタリア語・ポルトガル語)・ロシア語・中国語・韓国語」(以下「各国語」と略記します)では、日本語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ポルトガル語、スペイン語、ロシア語、中国語(簡・繁)、韓国語の双方向翻訳を行うことができます。各国語版は英語を介して各言語の翻訳を行います。例えば日本語の場合、英語を介して各国語との双方向翻訳を行います。同様に、英語を介してフランス語←→ドイツ語、イタリア語←→スペイン語といった翻訳を行うこともできます。



ただし、韓国語と中国語は直接日本語との双方向翻訳が行われます。韓国語と中国語を別の言語に翻訳する場合、日本語と英語を介して翻訳されます。



3 コリヤ英和! 各国語の翻訳スタイルについて

「翻訳スタイル」とは、複数の翻訳するための条件をセットとしてまとめたものです。翻訳スタイルには、使用する辞書と翻訳設定が含まれます。各国語版では、中間言語(英語)と日本語の翻訳時、日中・中日翻訳時に使用されます。ここでは、翻訳スタイルの概要を紹介します。

- 翻訳スタイルの操作方法については、「第2章 操作パネルの使い方」の「2 翻訳スタイルボタンの使い方」をご覧ください。


翻訳スタイルとは

翻訳スタイルは、使用する辞書、翻訳設定(訳出する方法)を定義したひとまとまりの条件を言います。翻訳スタイルは名前を付けて登録しておくことができますので、翻訳目的にしたがって翻訳スタイルを切り替えるだけで、訳出方法を変えることができます。翻訳のたびに辞書や翻訳設定をいちいち変更する手間が無くなります。


以下は英日用翻訳スタイル「趣味・娯楽」の設定例(初期値)です。

● 翻訳に使う辞書


ユーザ辞書: ユーザ辞書(標準)



システム辞書: LogoVista E to J システム辞書



専門辞書: エンターテイメントV2(標準)



● 翻訳設定

文体:	~です調
固有名詞の訳出形式:	日本語のみ
英数字:	そのまま
全角と半角の間にスペースを挿入する:	はい

翻訳に使う辞書(翻訳辞書・専門辞書・分野辞書・ユーザ辞書)

コリヤ英和! 各国語では、翻訳辞書、専門辞書(分野辞書)、ユーザ辞書の3種類の辞書を利用できます。

システム辞書は、常に使用する基本的な辞書です。

専門辞書は分野別の専門用語を収録した辞書です。

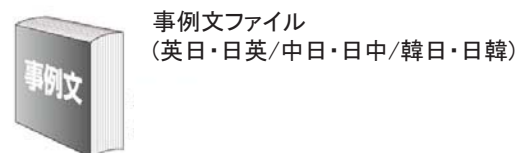
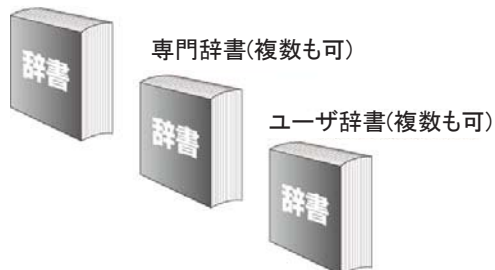
ユーザ辞書はお使いになる方が独自に使用する語句を登録しておく辞書で、複数作成することができます。

使用する辞書を翻訳スタイルに登録すると、翻訳に利用されます。

英日・日英、韓日・日韓、中日・日中翻訳では事例文をまとめた事例文ファイルを活用することもできます。

使用する辞書を翻訳スタイルに登録すると、翻訳に利用されます。

システム辞書



使用できる辞書については、次節「コリヤ英和! 各国語の翻訳に使用できる辞書について」をご覧ください。

翻訳設定

翻訳設定には、以下の訳出方法が定義されます。翻訳目的にそって設定を変更します。

英日

設定項目	選択できる値
文体	「～だ調」、「～です調」*、「～である調」のいずれか
固有名詞の訳出形式	「英語のみ」、「日本語のみ」*、「日本語(英語)」のいずれか
英数字	「そのまま」*、「半角(1バイト)」、「全角(2バイト)」のいずれか
全角と半角の間にスペースを入れる	「はい」*、「いいえ」のいずれか

※印は、翻訳スタイル「一般」に初期値として設定されている値

日英

設定項目	選択できる値
箇条書きの表現	「命令文」*、「平叙文」、「動名詞」、「to-不定詞」、「3 人称単数現在形の動詞句」のいずれか
主語のない文	「"it"を主語に補う」、「受動態で表現する」*、「人称代名詞を主語に補う」、「命令文で表現する」、「3 人称単数現在形の動詞句で表現する」のいずれか
冠詞の付け方	「冠詞"the"を出力」、「冠詞"a/an"を出力」、「無冠詞」、「無指定」*のいずれか
略語・数字間のブランク	「ブランクあり」*、「ブランクなし」のいずれか

※印は、翻訳スタイル「一般」に初期値として設定されている値です。ただし、会話モードでは、主語のない文は「人称代名詞を主語に補う」が設定値になります。

4

コリヤ英和! 各国語の翻訳に使用できる辞書について

コリヤ英和! 各国語では、翻訳に必ず使用されるシステム辞書の他に、以下の辞書を使用することができます。



これらの辞書は、いずれも「翻訳スタイル」に設定して有効になります。設定方法については、「第2章 操作パネルの使い方」の「翻訳スタイルボタンの使い方」をご覧ください。

ユーザ辞書

翻訳に必要な単語をユーザ自身が登録していく辞書です。ユーザ辞書は予め各言語用に1つずつ空の辞書が用意されています。

分野辞書

コリヤ英和! 各国語に予め搭載されている翻訳用の辞書です。翻訳を行う文章に合った分野辞書を指定して使用します。分野辞書は専門辞書的一种として扱われます。

英日翻訳用の分野辞書のジャンル

英日翻訳用には、以下のジャンルの分野辞書を用意しています。

ビジネス一般	科学技術一般	コンピュータ	エンターテインメント	固有名詞
法律	金融・経済	情報一般	機械	電気電子通信
バイオ	応用物理	応用化学	化学	物理

日英翻訳用の分野辞書

日英翻訳用には、以下のジャンルの分野辞書を用意しています。

ビジネス	科学一般	コンピュータ	カルチャー	トラベル
法律	金融・経済	情報	機械	電気・電子・通信
バイオ	物理	化学	住所	

日中・中日の分野辞書(コリヤ英和! 中国語のみ)

日中・中日翻訳用には、以下のジャンルの分野辞書を用意しています。

金融	コンピュータ・IT	機械	化学	医学
----	-----------	----	----	----

Chapter 2

操作パネルの使い方

1 操作パネルの名称と機能

コリヤ英和！ 操作パネルには、翻訳エディタをはじめとする翻訳のためのツールや、翻訳を補助するための便利なツールが集められています。これらの機能は、コリヤ英和！ 操作パネル上のボタンをクリックすることで、ご利用いただけます。

コリヤ英和！ 操作パネルを起動するには

デスクトップの[コリヤ英和！ 操作パネル]アイコンをダブルクリックします。



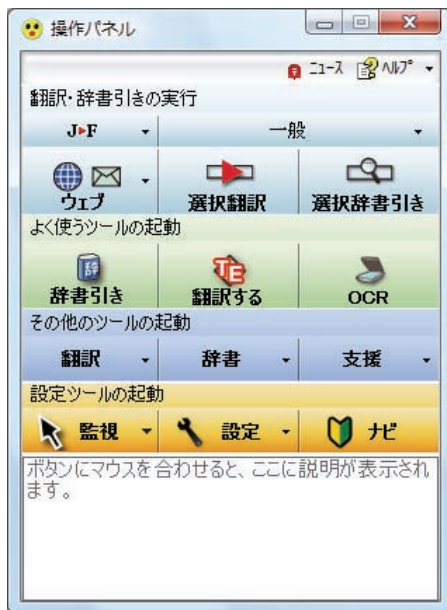
■[コリヤ英和！ 操作パネル]アイコン



デスクトップに[コリヤ英和！ 操作パネル]が見当たらないときは、[スタート]ボタン→[(すべての)プログラム]→[コリヤ英和！《〇〇語》]*→[操作パネル]の順に選択します。

← 《〇〇語》の部分には「フランス語」「中国語」などお買い求めの言語名が表示されます。

[コリヤ英和！ 操作パネル]が表示されます。また、デスクトップのタスクトレイに[操作パネル]アイコンが表示されます。



■操作パネル



■操作パネルアイコン

タスクトレイの[操作パネル]アイコンをクリックすると操作パネルが最前面に表示されます。操作パネルが非表示になっているときや、他のウィンドウに隠れているときに使います。

■Windows7ならではの短縮操作

タスクバーの操作パネルにマウスをあてると、よく使う機能のショートカットがサムネイルウィンドウに表示されます。同様に、右クリックで表示されるコンテキストメニューにもよく使う機能のショートカットを配置。操作パネル起動中なら画面を前面に表示することなく、タスクバーからよく使う機能を実行できます。



マウスをあてた状態で選択



右クリックで選択

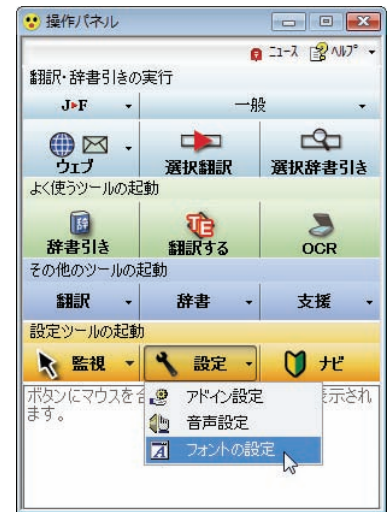
操作パネルの名称と機能

操作パネルのボタンのうち、右側に▼が表示されているものは、複数の機能が用意されています。ボタンをクリックするとプルダウンメニューが表示されます。プルダウンメニューから機能させるコマンドを選択して実行します。

その他のボタンもクリックして実行します。

ただし、[監視]ボタンは、監視機能のオン/オフを切り替えるボタンです。右側の▼をクリックすると、プルダウンメニューが表示されます。

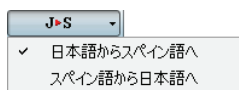
以下では、それぞれのボタンの概要を紹介します。



翻訳・辞書引きの実行

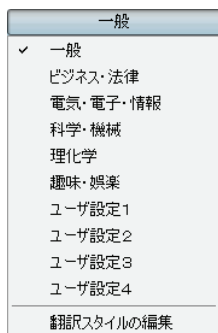
翻訳方向の設定や翻訳スタイルの選択、Web 翻訳、選択翻訳、選択辞書引きなどを行うことができます。

翻訳方向の選択



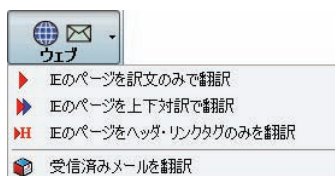
翻訳方向を選択するときに使います。

翻訳スタイルの選択



翻訳スタイルを選択したり、現在使用している翻訳スタイルを編集するときに使います。

ウェブ



現在表示されているInternet ExplorerのWebページを翻訳します。「訳文のみ」、「上下対訳」、「ヘッダ・リンクタグのみ」のいずれかの訳出方法を選択できます。

また、「受信済みメールを翻訳」では、Outlook Express 6やWindowsメールで受信したメールをスマートブラウザに転送して翻訳できます。

選択翻訳



メールソフトや Internet Explorer など、他のアプリケーションで選択したテキストを翻訳するときに使います。

選択辞書引き



メールソフトや Internet Explorer など、他のアプリケーションで選択したテキストを辞書引きするときに使います。

よく使うツールの起動

辞書引き



辞書ビューワを起動します。

翻訳する



翻訳エディタを起動します。

◀ 翻訳エディタの使い方については、「第7章 翻訳エディタで翻訳するには」をご参照ください。

OCR



OCRソフトを起動します。OCRソフト「Readiris PRO for LogoVista」がインストールされているときに表示されます。

その他のツールの起動

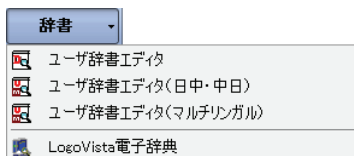
翻訳



次の翻訳ツールを選択して起動することができます。

RSS 翻訳	[RSS 翻訳]ウィンドウを開きます。RSS サイトを呼び出して翻訳することができます。呼び出した RSS サイトは、ブックマークをつけて登録しておくことができます。
サーチ翻訳	[サーチ翻訳]ウィンドウを開きます。日本語のキーワードが入力されると、それを翻訳した語句をキーワードにサイトを検索し、検索結果のサイトを翻訳します。
スマートブラウザ	スマートブラウザを起動します。テキスト、HTML、PDF などの多様な形式のファイルに対応した翻訳アプレットです。
タイピング翻訳	タイピング翻訳を起動します。テキストを扱うことができるアプリケーションで、日本語を入力しながら翻訳してアプリケーションに入力することができるシンプルな翻訳アプレットです。
ファイル翻訳	[ファイル翻訳]ウィンドウを開きます。ファイルごとに翻訳します。1 つから複数のファイルを一括して翻訳することができます。

辞書

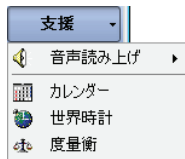


次の辞書ツールを選択して起動することができます。

ユーザ辞書エディタ※	[ユーザ辞書エディタ]ウィンドウを開きます。英日・日英の翻訳エンジンで使うユーザ辞書への語句の登録や、登録済みの語句の編集ができます。
ユーザ辞書エディタ(日中・中日)※	[ユーザ辞書エディタ(日中・中日)]ウィンドウを開きます。中日・日中の翻訳エンジンで使うユーザ辞書への語句の登録や、登録済みの語句の編集ができます。
ユーザ辞書エディタ(マルチリンガル)※	[ユーザ辞書エディタ(マルチリンガル)]ウィンドウを開きます。英日・日英、日中・中日以外の、すべての翻訳エンジンで使うユーザ辞書への語句の登録や、登録済みの語句の編集ができます。
LogoVista 電子辞典	[LogoVista 辞典ブラウザ]ウィンドウを開きます。LogoVista 電子辞典がインストールされているときは、LogoVista 電子辞典を起動できます。

※: 製品によっては、この選択肢がないことがあります。

支援



カレンダーや世界時計などの支援ツールを起動します。音声合成エンジンがインストールされているときは、アプリケーションで選択されている語句を読み上げることもできます。

設定ツールの起動

監視



テキストにマウスカーソルを合わせると翻訳したり辞書引きしたりする「タッチ機能」や、コピーコマンドなどでクリップボードに格納されたテキストの翻訳や、辞書引きを行う機能のオン・オフなどを行います。

設定



以下の設定を行うときに使います。

アドイン設定	Microsoft Office のアプリケーションや一太郎などに翻訳機能をアドインしたり、解除したりします。
フォントの設定	コリャ英和！ 各国語の翻訳アプレットで使用するフォントの設定を行います。
音声設定	音声合成エンジンがインストールされているとき、音声に関する設定を行います。

ナビ



LV ナビを表示します。コリャ英和！ の使い方やサポート情報などを参照できます。

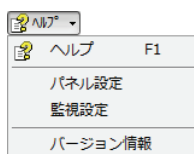
その他の機能

ニュース



[LogoVista ニュース]ウィンドウを開きます。LogoVista の製品に関するニュースを参照できます。

ヘルプ



操作パネルのヘルプやコリャ英和！ のバージョン情報を参照したり、操作パネルの設定などを行うときに使います。

操作パネルの表示方法を設定するには

ワープロなどのアプリケーションと同時に起動して、操作パネルを使う場合、翻訳を中心に作業を進めたいときは、操作パネルが常に前面に表示されていると便利です。また、翻訳を補助的に使いたいときなど、操作パネルが隠れていた方が便利な場合もあります。コリヤ英和！各国語では、このような使い方に合わせて操作パネルの表示方法を変更できます。

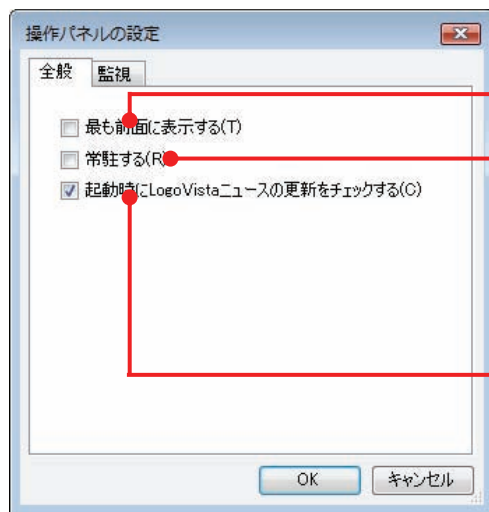
1

[ヘルプ]ボタンをクリックし、表示されるメニューから[パネル設定]コマンドを選択します。



[操作パネルの設定]ダイアログボックスが表示されます。

[全般タブ]でパネルの表示方法を設定し、[OK]ボタンをクリックします。



[最も前面に表示する]チェックボックス

チェックしておく、操作パネルを常に画面の最前面に表示しておくことができます。

[常駐する]チェックボックス

[操作パネル]を終了させても、タスクトレイに[操作パネル]アイコンを残します。Windows を起動したときにも表示されますので、いつでもコリヤ英和！各国語の機能を活用できます。

[起動時に LogoVista ニュースの更新をチェックする]チェックボックス

チェックしておく、操作パネルの起動時にインターネットに接続し、LogoVista ニュースの更新をチェックします。インターネットに接続したくない場合は、チェックを外しておきます。

➡ [監視]タブの使い方については、「12 設定ボタンの使い方」をご参照ください。

2

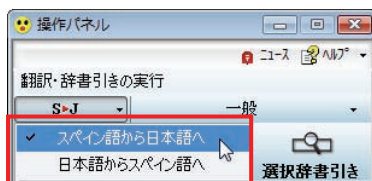
翻訳方向の選択ボタンの使い方

[翻訳方向の選択]ボタンは、[操作パネル]で翻訳を行う際の翻訳方向を切り替えるときに使用します。

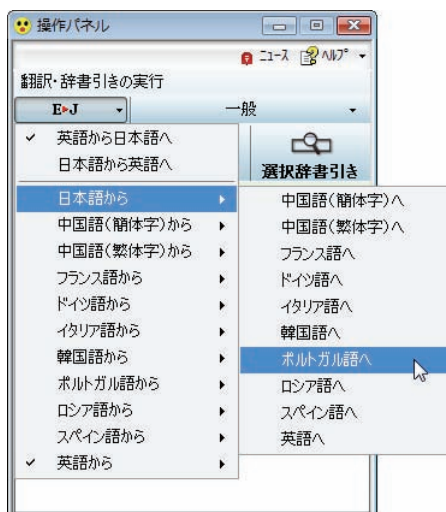
コリヤ英和！各国語での翻訳方向の変更方法

翻訳方向を変更する場合は、[翻訳方向の選択]ボタンをクリックして開くメニューから「《○○語》から日本語へ」*または「日本語から《○○語》へ」*を選択して切り替えます。

- ◀ 《○○語》の部分には「フランス語」「中国語」などお買い求めの言語名が表示されます。



コリヤ英和！中国語や、複数のコリヤ英和！製品がインストールされている場合やなど、翻訳方向が二つ以上ある場合は、次のようなメニューが表示されます。この場合は、まずメニューで原文の言語を選択し、次にサブメニューで訳文の言語を選択します。



3

翻訳スタイルの選択ボタンの使い方

翻訳スタイルは、翻訳結果を左右する条件をまとめたもので、使用する辞書(専門辞書、分野辞書、ユーザ辞書)と文体や固有名詞の訳出方法などの「翻訳設定」が含まれます。ここでは、翻訳スタイルの選択方法と、翻訳スタイルの編集方法を説明します。

翻訳スタイルについて

あらかじめ用意されている翻訳スタイルには、それぞれに名前がつけられています。コリヤ英和！各国語では、次の翻訳スタイルを用意しています。このうち、「一般」がデフォルトの翻訳スタイルです。「ユーザ設定 1」～「ユーザ設定 4」は、用意されたジャンル以外の翻訳スタイルを使いたいときに設定していただく翻訳スタイルです。

一般	ビジネス・法律	電気・電子・情報	科学・機械	理化学
趣味・娯楽	ユーザ設定1	ユーザ設定2	ユーザ設定3	ユーザ設定4

これらを使い分けることによって、原文をより正確に翻訳できるようになります。

ヒント コリヤ英和！韓国語で利用できる翻訳スタイルは「一般」のみとなります。

翻訳スタイルを変更するには

翻訳スタイルは、[翻訳スタイルの選択]ボタンをクリックして開くメニューから選択して設定できます。[操作パネル]では、以下のメニューが表示されます。

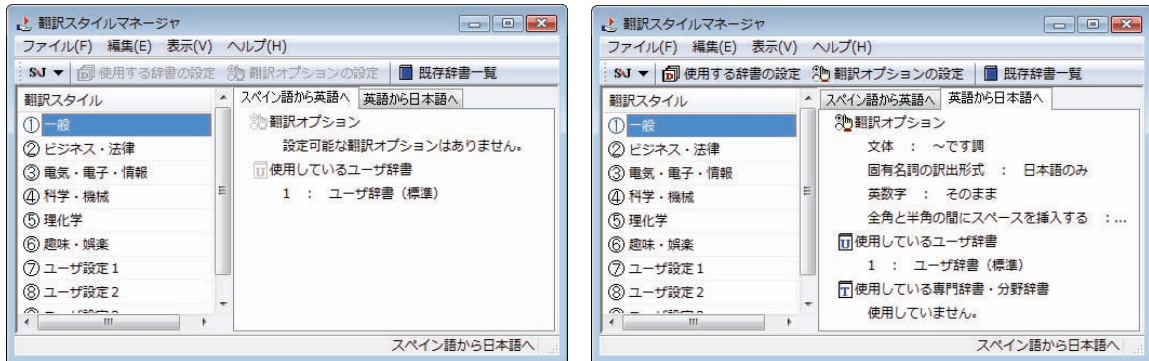


■ [翻訳スタイルの選択]ボタンをクリックして開くメニュー

このメニューから使用する翻訳スタイルを選択すると、その翻訳スタイルに設定されている辞書や翻訳設定が活用されて翻訳されます。

翻訳スタイルを編集するには

翻訳スタイルに設定されている内容は、[翻訳スタイルの選択]ボタンのメニューにある[翻訳スタイルの編集]で、いつでも編集することができます。このボタンをクリックすると、[翻訳スタイルマネージャ]が起動します。ふたつの翻訳エンジンを組み合わせて使う欧州言語の翻訳では、各翻訳エンジンの翻訳スタイルがタブで、言語により、タブで分類されています。

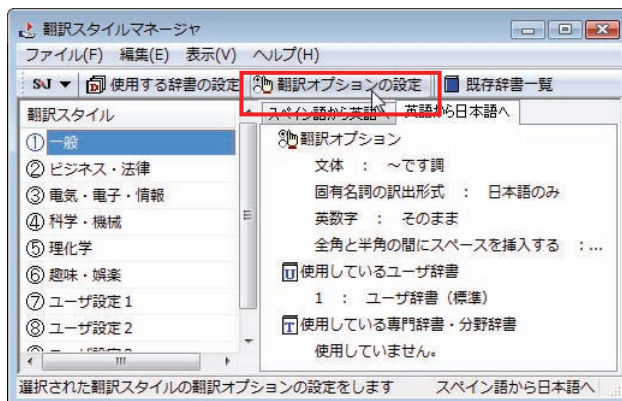


このダイアログの左側には、設定されている翻訳スタイルが一覧表示されます。その一つを選択すると、右側に設定されている内容が表示されます。

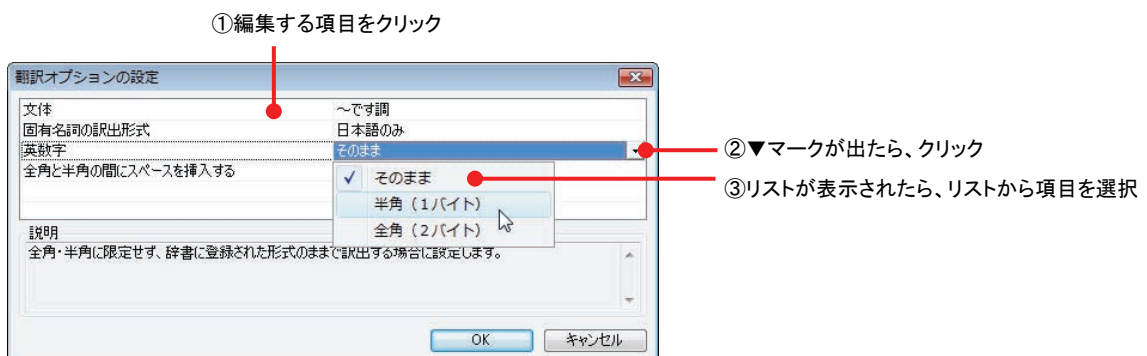
ヒント ▶ アプレットによっては、呼び出し方が異なることがあります。その場合は、オンラインヘルプをご覧ください。

翻訳オプションを変更するには

[翻訳スタイルマネージャ]ウィンドウで、翻訳オプションを変更する翻訳スタイルを選択し、[翻訳オプションの設定]ボタンをクリックします。



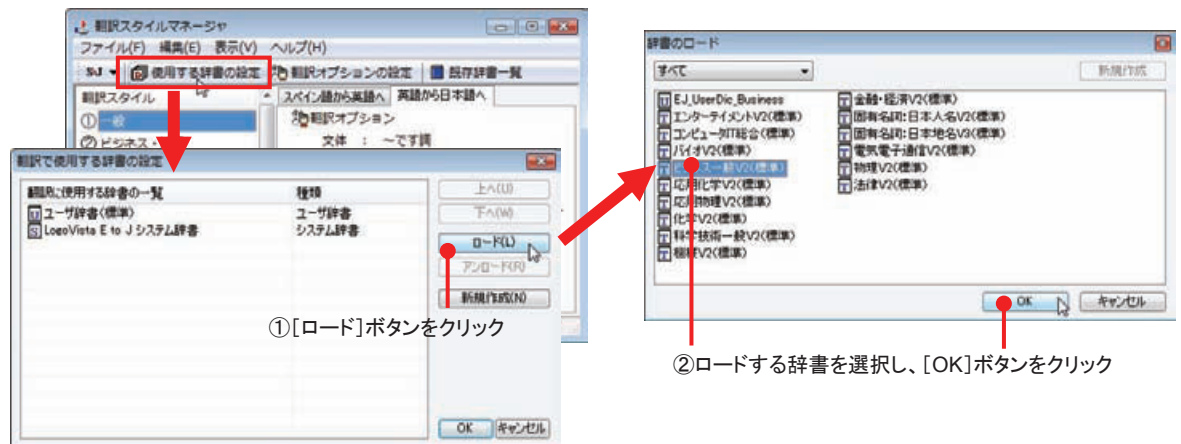
これで、[翻訳オプションの設定]ダイアログが開きます。翻訳オプションでは、それぞれの項目をクリックすると、▼マークが出ますので、これをクリックして開くメニューから選択して設定します。



ヒント ▶ 翻訳オプションの変更は、「英語から日本語へ」、「日本語から英語へ」、「中国語から日本語へ」のタブでのみ可能です。

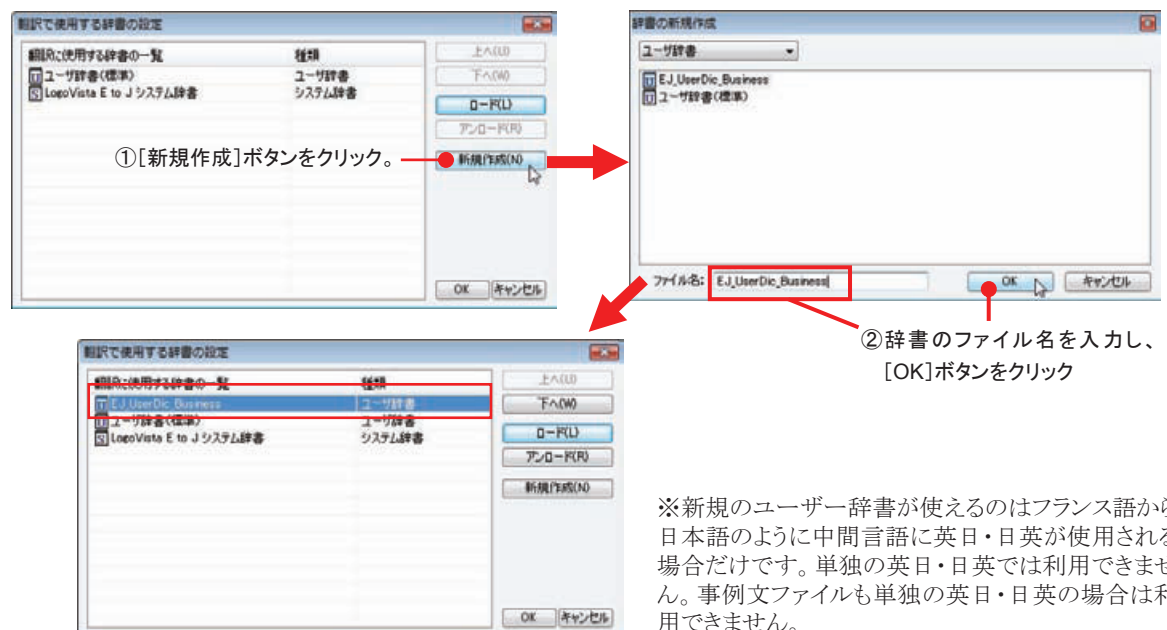
分野辞書・専門辞書をロード(登録)するには

翻訳スタイル「一般」や「ユーザ設定」には分野辞書・専門辞書はロードされていません。ロードすることで翻訳に使用されます。[翻訳スタイルマネージャ]ウィンドウで、辞書をロードする翻訳スタイルを選択し、[使用する辞書の設定]ボタンをクリックします。これで、[翻訳で使用する辞書の設定]ダイアログが開きます。



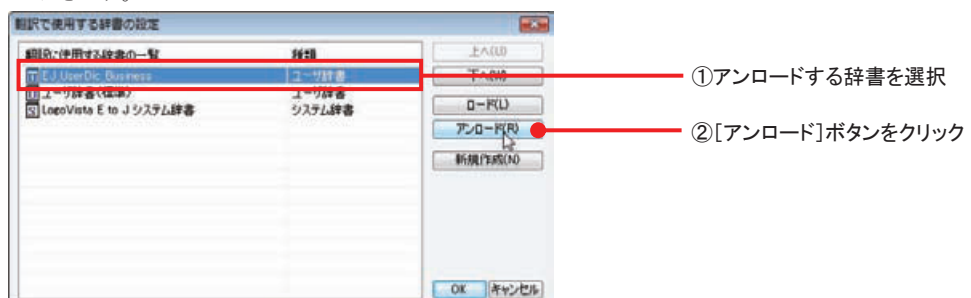
ユーザー辞書、事例文ファイルを新規に作成するには

ユーザ辞書は、デフォルトでは「ユーザ辞書(標準)」が用意されていますが、複数作成し、目的にそって使い分けることができます。ユーザ辞書が必要になったときは、新規にファイルを作成し、翻訳スタイルにロードしておく必要があります。事例文ファイルも同様に作成できます。



辞書をアンロード(解除)するには

使わない辞書をロードしたままにしておくと、翻訳速度が低下したり、思わぬ翻訳結果になったりします。使わない辞書はアンロードしておきます。



4 ウェブボタンの使い方

[ウェブ]ボタンは、Internet Explorer に表示されている海外の Web ページを翻訳します。また、Outlook Express や Windows メール の受信済みのメールを翻訳することができます。

[ウェブ]ボタンの基本的な使い方を紹介します。

4 つの翻訳方法

翻訳方法には、以下の4種類があります。

IEのページを訳文のみで翻訳

表示されているホームページを翻訳し、結果を訳文のみで表示します。

IEのページを上下対訳で翻訳

表示されているホームページを翻訳し、結果を上下対訳で表示します。

IEのページをヘッダ・リンクタグのみを翻訳

表示されているホームページのヘッダとリンクタグの部分だけを翻訳し、その部分を原文・訳文併記します。

受信済みメールを翻訳

Outlook Expressや Windows メール の受信済みのメールを翻訳します。



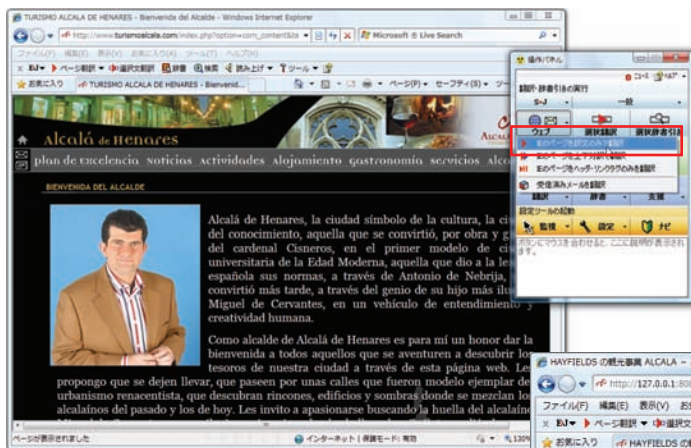
「IE のページをヘッダ・リンクタグのみを翻訳」では、素早く翻訳できますので、ざっとページの内容を確認して、そのページ全体の翻訳が必要かどうかを判断する、他のページにジャンプするかどうかを検討する、といった使い方ができます。

Web ページを翻訳する

Internet Explorer で呼び出した Web ページを翻訳してみます。

1 まず、操作パネルで、翻訳方向や翻訳スタイルを設定します。

2



海外のWebページを呼び出し、操作パネルの[ウェブ]ボタンをクリックして[IEのページを訳文のみで翻訳]を選択します。

Webページが翻訳され、訳文だけが表示されます。



5

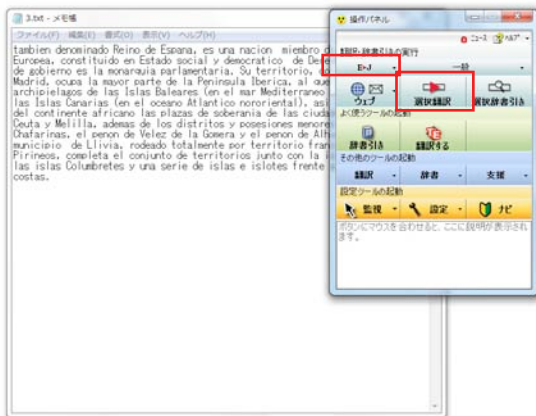
選択翻訳ボタンの使い方

[選択翻訳]ボタンはアプリケーション上で選択された文章を翻訳するときに使います。実行すると、翻訳エディタが起動し、翻訳結果を表示します。

操作パネルで翻訳するには

操作パネルを使って翻訳してみましょう。

1



操作パネルで翻訳方向を設定して[選択翻訳]ボタンをクリックします。

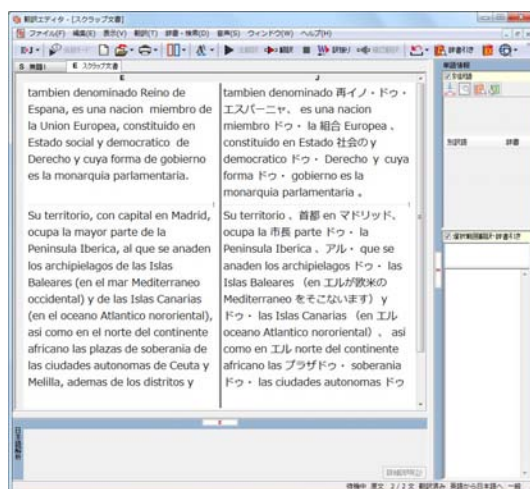
[選択翻訳]ウィンドウが表示されます。

2



アプリケーションで翻訳するテキストを選択し、[選択翻訳]ウィンドウの内側をクリックします。

3



選択したテキストが翻訳エディタで翻訳され、結果が表示されます。

◀ 翻訳エディタの使い方については、「第7章 翻訳エディタで翻訳するには」をご参照ください。

6

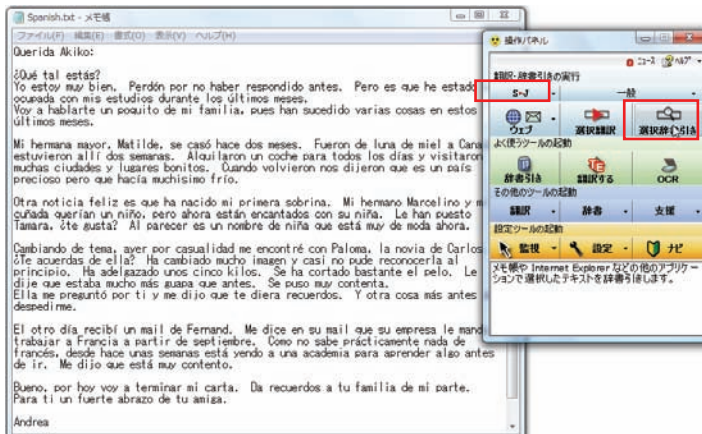
選択辞書引きボタンの使い方

[選択辞書引き]ボタンは、アプリケーション上で選択された語句の辞書引きを行うときに使います。各翻訳エンジンで使われている翻訳辞書を利用できます。

辞書引きするには

操作パネルを使って翻訳してみましょう。

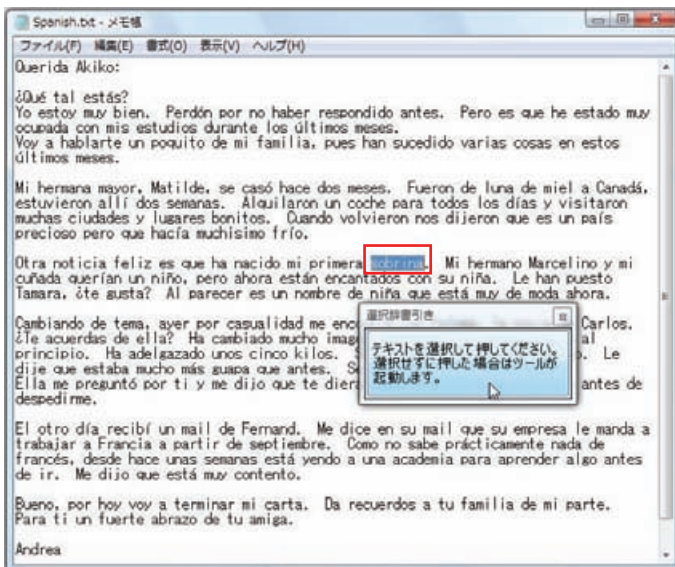
1



操作パネルで翻訳方向を設定して[選択辞書引き]ボタンをクリックします。

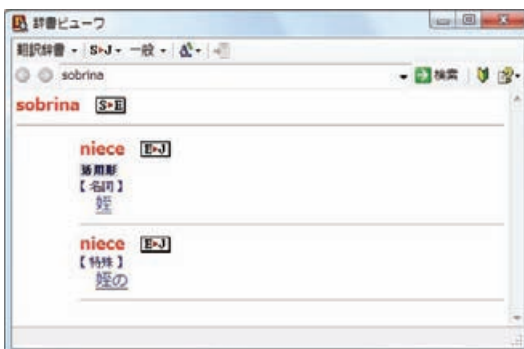
選択辞書引きウィンドウが表示されます。

2



アプリケーションで辞書引きするテキストを選択し、選択辞書引きウィンドウをクリックします。

3



選択したテキストが辞書ビューフで辞書引きされ、結果が表示されます。

7 翻訳ボタンの使い方

[翻訳]ボタンには、コリヤ英和！各国語のいろいろな翻訳アプレットが用意されています。ここでは、いろいろな翻訳アプレットの概要を紹介します。

- 「ファイル翻訳」については、「第6章 ファイル単位で翻訳するには」を参照してください。

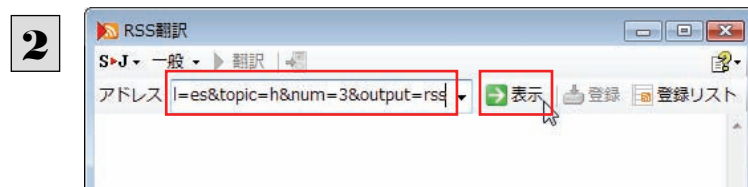
RSS の使い方

[翻訳]ボタン→[RSS]を使用すると、RSS サイトにアクセスしたり、RSS サイトの内容を翻訳したりすることができます。ここでは、基本的な使い方を紹介します。

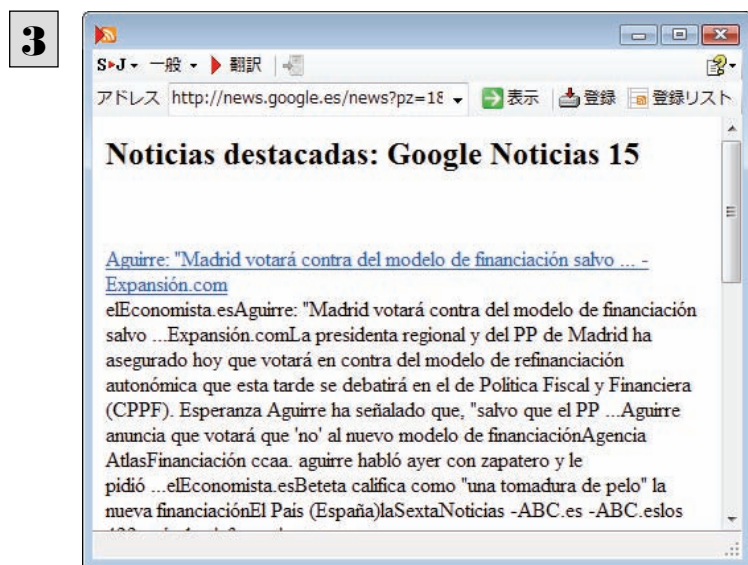
RSS サイトを呼び出す

URL を入力して呼び出す

- [翻訳]ボタンをクリックして開くメニューから[RSS]をクリックします。
[RSS翻訳]ウィンドウが開きます。



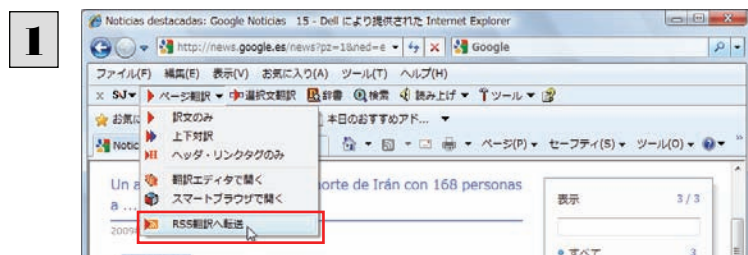
[アドレス]にRSSサイトのURLを入力し、[表示]ボタンをクリックします。



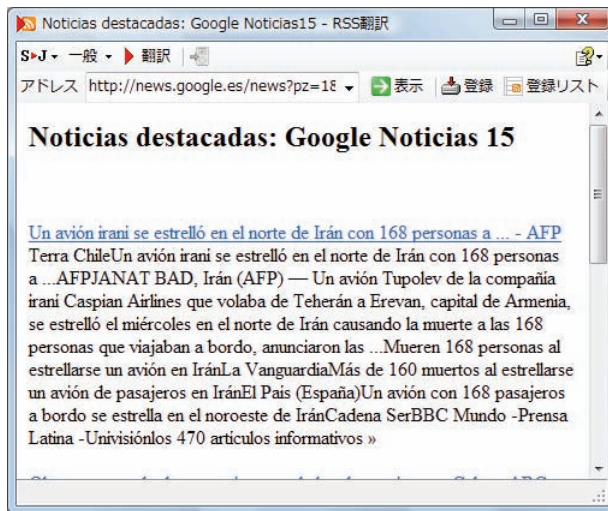
RSSサイトに移動します。

Internet Explorer から転送する

Internet Explorer で表示した RSS サイトを RSS 翻訳に転送できます。



Internet ExplorerでRSSサイトを表示し、ツールバーの[ページ翻訳]ボタンをクリックして開くメニューから[RSS翻訳への転送]を選択します。



[RSS翻訳]ウィンドウが開き、内容が転送されます。

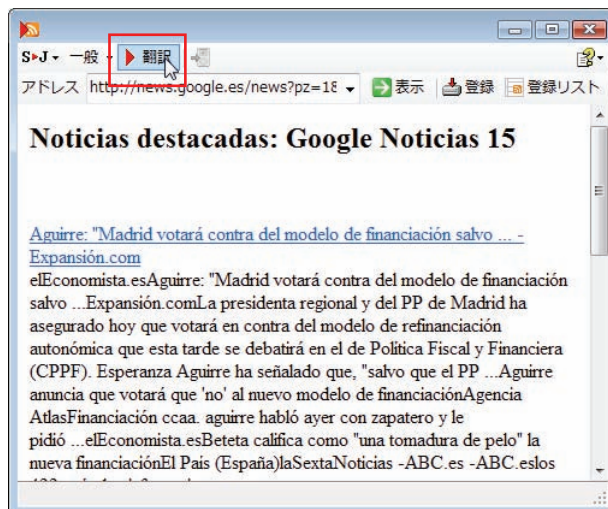


Internet Explorer 6.x 以下をお使いの場合、RSS サイトが正しく表示されない場合があります。このようなサイトも RSS 翻訳に転送することで、内容を正しく確認できます。

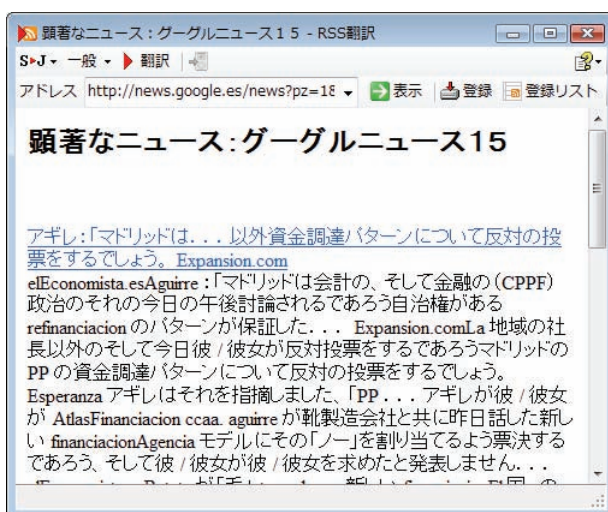
RSS サイトを翻訳する

呼び出した RSS サイトは、[翻訳]ボタンでいつでも翻訳できます。

1



[RSS翻訳]ウィンドウにRSSサイトを呼び出し、[翻訳]ボタンをクリックします。



翻訳が開始され、終了すると訳文に入れ替わります。

RSS サイトを登録する.....

[RSS 翻訳]ウィンドウに呼び出した RSS サイトは、登録しておくことができます。また、Internet Explorer のお気に入りを読み込んで登録することもできます。

これにより、速やかな RSS サイトへのアクセスや、RSS サイトの更新状況の確認ができるようになります。

呼び出した RSS サイトを登録する



RSSサイトを呼び出し、[登録]ボタンをクリックします。

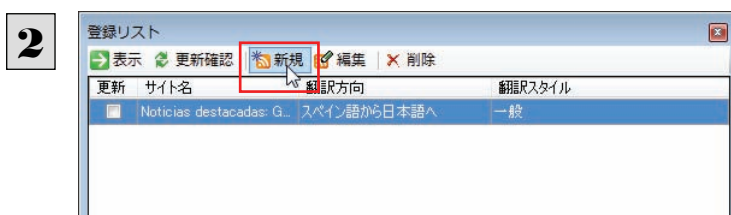
RSSサイトが登録されます。

Internet Explorer のお気に入りを読み込んで登録する



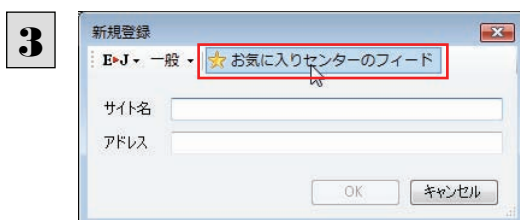
[登録リスト]ボタンをクリックします。

[登録リスト]ウィンドウが開き、登録されたRSSサイトが表示されます。



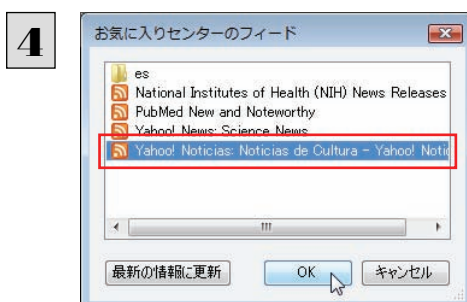
[新規]ボタンをクリックします。

[新規登録]ウィンドウが開きます。



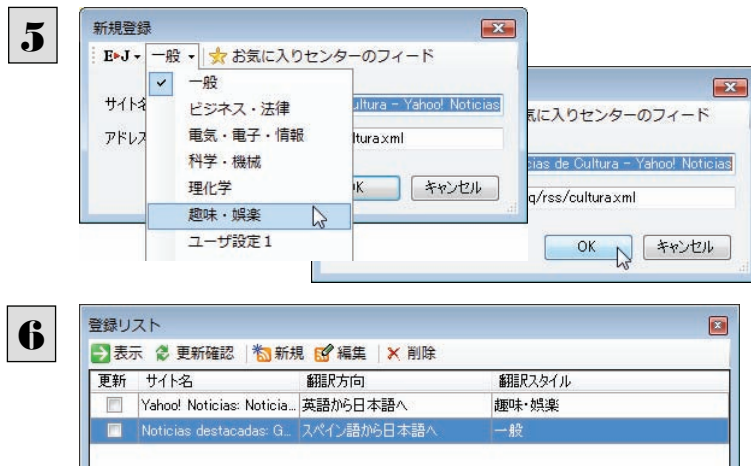
[お気に入りセンターのフィード]ボタンをクリックします。

[お気に入りセンターのフィード]ウィンドウが開き、Internet Explorer 7.0に登録されたRSSサイトが表示されます。



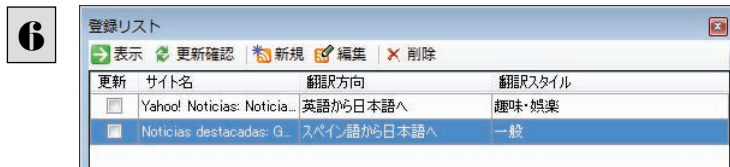
読み込みたいRSSを選択し、[OK]ボタンをクリックします。

[新規登録]ウィンドウにサイト名、アドレスが読み込まれます。



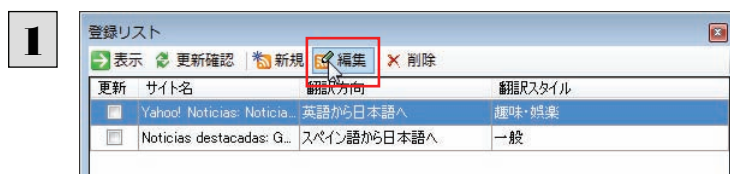
必要に応じて翻訳方向、翻訳スタイルを変更します。
[OK]ボタンをクリックします。

RSSサイトが登録され、登録リストに表示されます。



登録した RSS サイトを編集する

いったん登録した RSS サイトは必要に応じて編集して、翻訳方向や翻訳スタイルを変更できます。



登録リストで編集するRSSサイトを選択し、[編集]ボタンをクリックします。

[編集]ウィンドウが開きます。

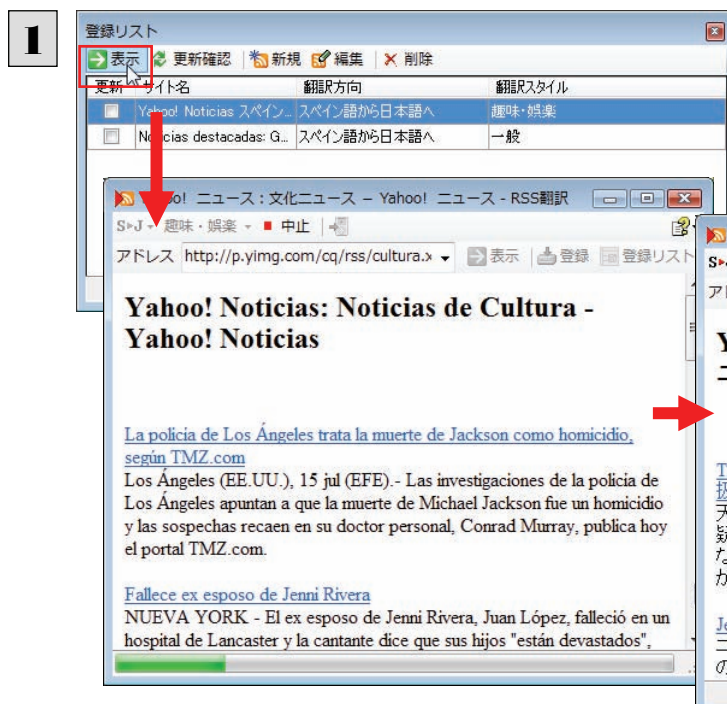


内容を編集し、[OK]ボタンをクリックします。

RSS サイトを更新する

登録した RSS サイトを選択すると、自動的に翻訳され、[RSS 翻訳]ウィンドウに表示されます。また、RSS サイトの更新をチェックして、新しい内容があるときはアイコンで通知します。

RSS サイトを翻訳表示する

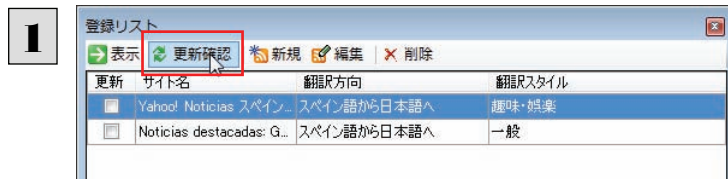


登録リストでRSSサイトを選択し、[表示]ボタンをクリックします。

RSSサイトが原文で表示され、翻訳が自動的に始まります。翻訳が終わると、訳文が表示されます。

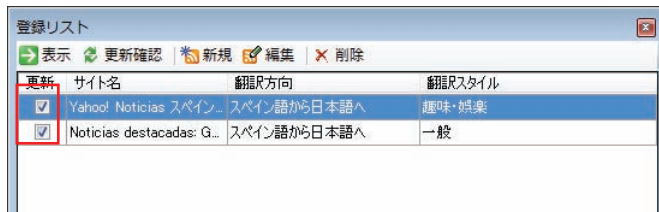
更新を確認する

登録した RSS サイトの更新を確認できます。更新されているサイトにはチェックマークが表示されます。



登録リストの[更新確認]ボタンをクリックします。


RSSサイトの更新状況の確認が始まります。



更新されていたサイトにはチェックマークが表示されます。これらのサイトを選択して[表示]ボタンをクリックすることで、最新の内容を確認できます。



更新確認は RSS 翻訳起動時にも自動的に行われます。

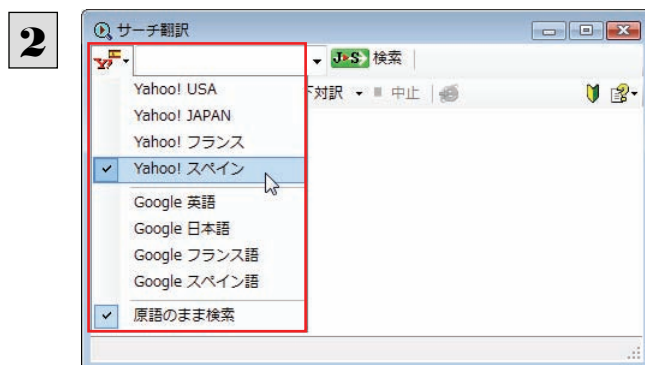
更新されていたサイトがあったときは、[更新確認]ボタンに  アイコンが点滅します。



サーチ翻訳の使い方

[翻訳]ボタン—[サーチ翻訳]は、日本語の語句を外国語に翻訳し、その語句をキーワードにして海外のインターネットサイトにアクセスし、ページ(サイト)を翻訳するための機能です。実行すると、[サーチ翻訳]ウィンドウが開きます。この機能の基本的な使い方を説明します。

- 1** 操作パネルの[翻訳]ボタンをクリックして開くメニューから[サーチ翻訳]を選択します。
[サーチ翻訳]ウィンドウが表示されます。

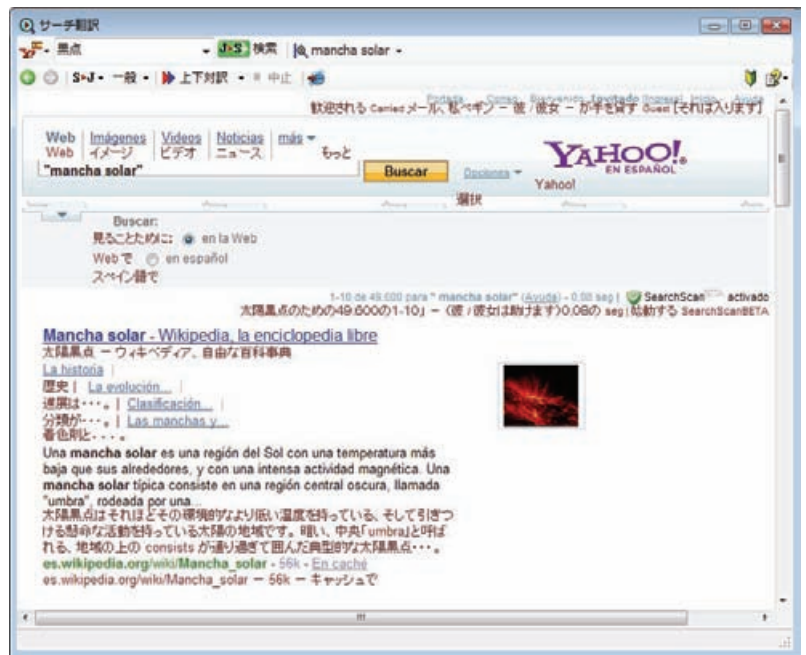


ウィンドウの一番左側のボタンをクリックし、表示されるリストから検索サイトを選択します。
検索サイトを選択すると、自動的に翻訳方向が変わります。



キーワードの入力ボックスに日本語の語句を入力し、[検索]ボタンをクリックします。

入力した語句の訳語をキーワードにし、海外のサイトが検索されます。同時に、検索したサイトの翻訳が始まります。終了すると、検索結果が表示されます。



スマートブラウザの使い方

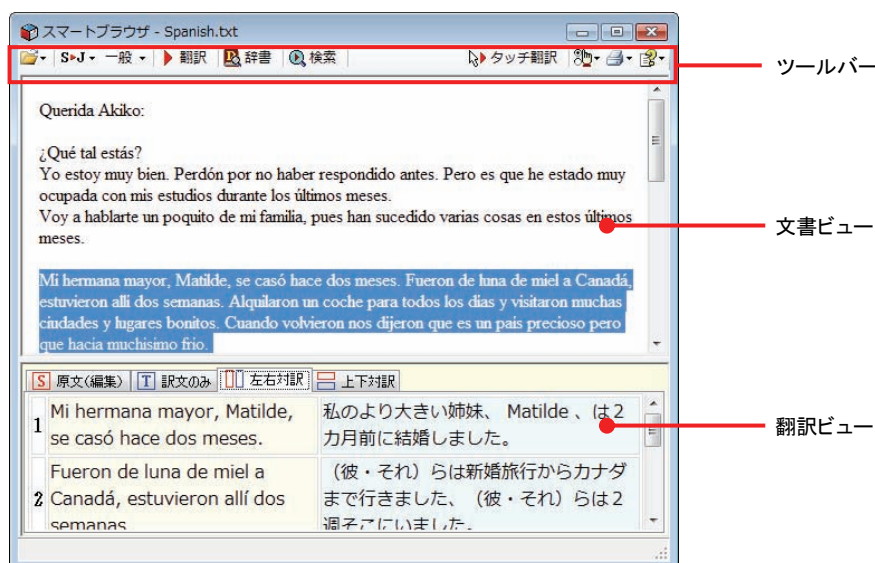
スマートブラウザは、HTML などの Web ファイル、メール、PDF、テキストファイルを読み込み、簡単な操作で翻訳や辞書引きを行う翻訳ツールです。訳文を保存する必要のない文を読むときに便利です。

スマートブラウザを起動するには

操作パネルの[ツール]ボタンをクリックして開くメニューから[スマートブラウザ]を選択します。
[スマートブラウザ]ウィンドウが表示されます。

[スマートブラウザ]ウィンドウ各部の名称と機能

スマートブラウザを起動すると、[スマートブラウザ]ウィンドウが表示されます。ウィンドウは、最上部のツールバー、上部の文書ビューと、下部の翻訳ビューから成り立っています。



ツールバーの機能

ファイル	翻訳する文書やメールを開いて、文書ビューに表示できます。
翻訳方向	翻訳したい方向を切り替えることができます。
翻訳スタイルの選択	翻訳する原文の性質にあわせて、よりよい翻訳結果を得るために、使用する翻訳スタイルを切り替えることができます。翻訳スタイルには、あらかじめ「一般」、「ビジネス・法律」、「電気・電子・情報」、「科学・機械」、「理化学」、「趣味・娯楽」などが用意されています。ただし、製品パッケージにより異なります。 また、「翻訳スタイルの編集」を選択すると、翻訳スタイルマネージャが起動し、翻訳スタイルを編集することができます。
翻訳	文書ビューで原文を選択してこのボタンをクリックすると、翻訳ビューに翻訳結果を表示します。
辞書	[辞書ビュー]が開き、コリヤ英和！各国語で使われている翻訳用の辞書(翻訳辞書)から辞書引きができます。
検索	ホームページを検索するときに使います。このボタンをクリックすると、[サーチ翻訳]ウィンドウが開きます。キーワードを日本語で入力して検索を実行すると、その訳語をキーワードとしてホームページを検索します。検索結果は日本語に翻訳して表示できます。検索エンジンには、「Yahoo!」、「Google」のいずれかを選択できます。ホームページ上で日本語が選択されているときは、その語句の訳語で検索されます。
タッチ翻訳	タッチ翻訳のオン/オフを切り替えます。オンになっているときは、背景がオレンジ色(OSの設定によっては別の色になることもあります)になります。 タッチ翻訳を有効にすると、文書ビューのテキストをカーソルでタッチするだけで、その部分の翻訳や辞書引きができます。PDFファイルを開いている場合は[タッチ翻訳]は無効です。文書ビューでテキストを選択しているときは[タッチ翻訳]は一時的に停止します。
スマートブラウザの設定	Webページのナビゲートを無効にするかどうかを設定します。チェックされていない状態では、文書ビューがWebブラウザとして機能し、HTMLエディタのリンク先を開くことができます。チェックされていると、Webブラウザの機能が停止します。
印刷関連	スマートブラウザに表示されている文書の印刷や印刷設定などを行います。
ヘルプ	スマートブラウザのヘルプやバージョン情報を表示します。

文書ビューの機能

テキスト、HTML、メール、PDFを表示して、タッチ翻訳や辞書引きができます。[スマートブラウザの設定]で[Webページのナビゲートを無効にする]がチェックされていないときは、Webブラウザとしても機能します。

翻訳ビューの機能

選択した文を翻訳したときに、翻訳結果を表示します。基本的な機能は翻訳ビューと同じです。対応する原語や訳語の表示や、辞書引きなどを行いながら、訳文を検討できます。

[スマートブラウザ]に文書を表示するには.....

スマートブラウザには、次の方法で文書を表示できます。

- 文書ファイルを開く
- メールを開く(Outlook または Windows メールをお使いのとき)
- [スマートブラウザに転送]コマンドを使う

文書ファイルを開く

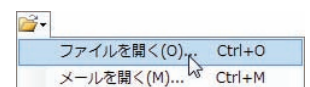
テキストファイル、HTML ファイル、メールファイル、PDF ファイルを選択して開くことができます。

ここでは、PDF ファイルを開く例を紹介します。

1

[開く]ボタン(📁)をクリックし、表示されるメニューから[ファイルを開く]を選択します。

[ファイルを開く]ダイアログボックスが表示されます。

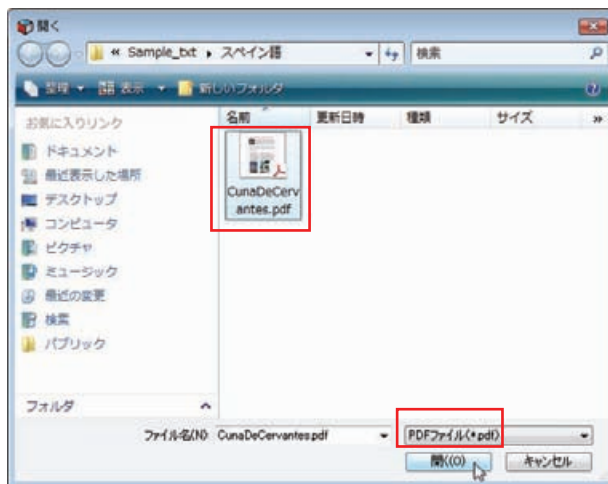


2

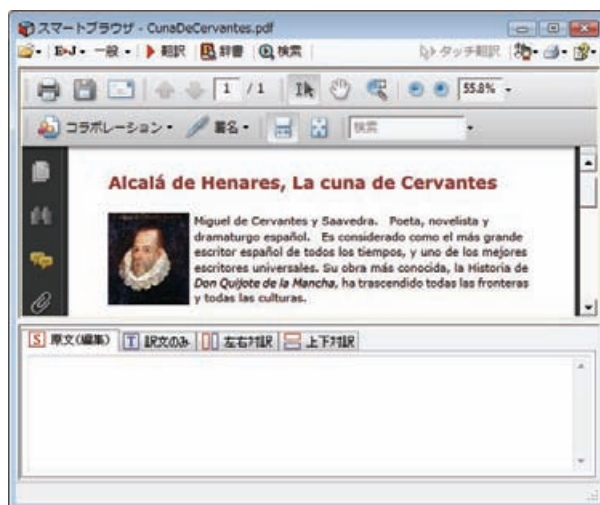


ファイルの種類を選択します。

3



ファイルを選択して、[開く]ボタンをクリックします。



選択したファイルが文書ビューに表示されます。

メールを開く

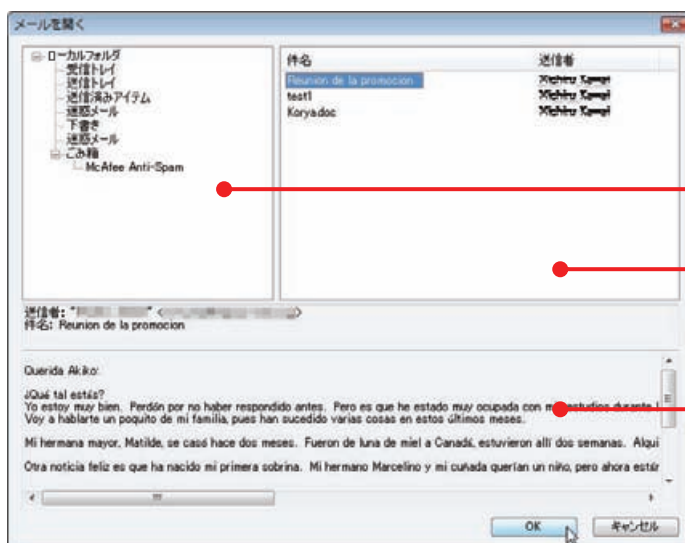
Outlook または Windows メールをお使いのときは、受信したメールを選択してスマートブラウザに表示できます。

1

[開く]ボタン(📁)をクリックし、表示されるメニューから[メールを開く]を選択します。

[メールを開く]ダイアログボックスが表示され、お使いのメールソフトに保存されているメールが表示されます。

2



左側のボックスでフォルダを、右側のボックスで返信元にするメールを選択し、[OK]ボタンをクリックします。

フォルダを選択するボックス

メールを選択するボックス

プレビューボックス

選択したメールが文書ビューに表示されます。

[スマートブラウザに転送]コマンドを使う

Internet Explorer で表示した Web ページをスマートブラウザに転送できます。

1



Internet Explorerのコリヤ英和！ツールバーの[ページ翻訳]をクリックし、表示されるメニューから[スマートブラウザで開く]を選択します。



表示中のWebページがスマートブラウザに転送されます。

[スマートブラウザ]でタッチ翻訳するには.....

[タッチ翻訳]がオンになっているときは、文書ビューに表示された文をカーソルでタッチしながら、訳文を表示させていくことができます。

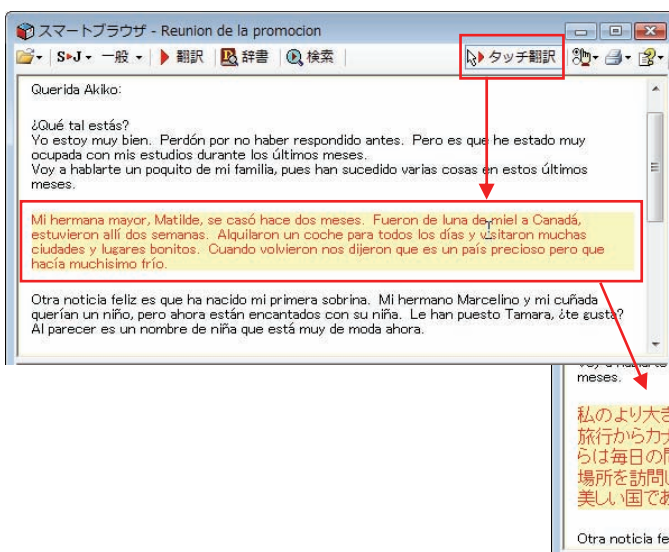


テキストによっては、タッチ翻訳が機能しないことがあります。タッチしてもテキストの色が変わらない場合は、[翻訳]ボタンで翻訳してください。

1

[タッチ翻訳]をクリックしてオンにします。また、翻訳方向、翻訳スタイルを設定しておきます。

2



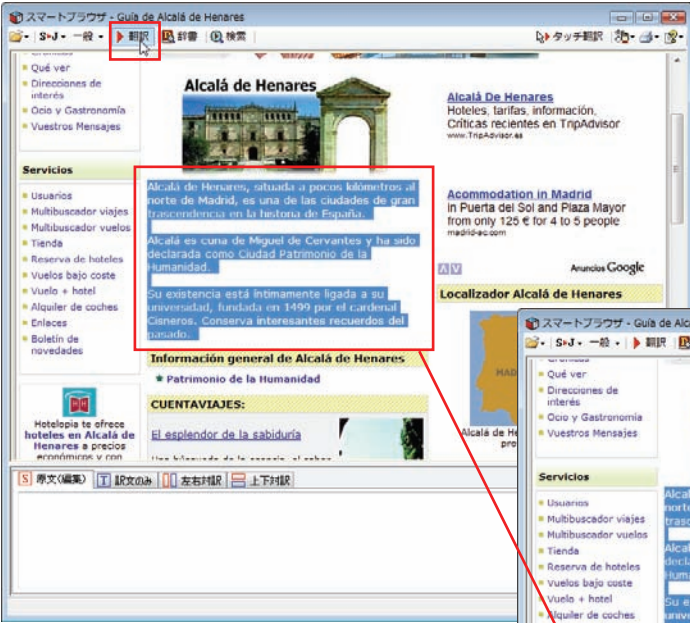
カーソルを翻訳したい文の上に置きます。文が認識されると、その部分の色が変わり、翻訳が始まります。

翻訳が終わると、原文が訳文に入れ替わります。


訳文からカーソルを離すと、表示が原文に戻ります。また、次にカーソルでタッチした文の翻訳が始まります。このように、次々と文をタッチしながら、訳文を読んでいくことができます。

[スマートブラウザ]で選択した文を翻訳するには.....

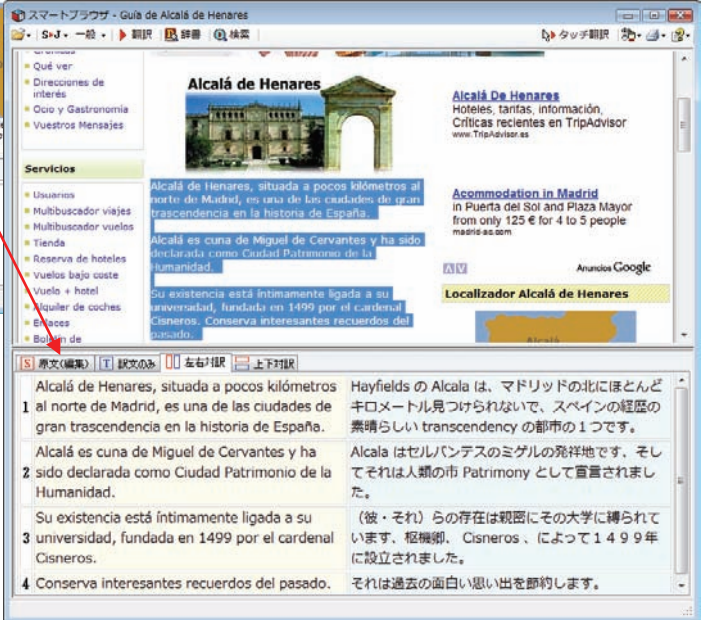
タッチ翻訳ができなかった文章は、[翻訳]をつかって翻訳します。また、タッチ翻訳で訳文の意味が不明瞭だった場合なども、[翻訳]を利用します。[翻訳]では、訳文が翻訳ビューに表示され、原語と訳語の対応や辞書引きなどをしながら、文章を検討していくことができます。ここでは、選択した文を翻訳し、結果を翻訳ビューに表示してみます。



文書ビューで原文を選択し、[翻訳]ボタンをクリックします。



翻訳が行われ、訳文が翻訳ビューに表示されます。





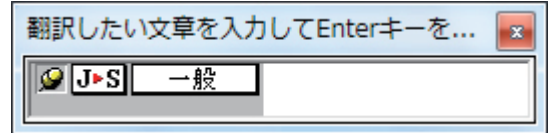
タッチ翻訳の訳文がよく理解できなかったときは、その訳文の上で右クリックし、コンテキストメニューの[翻訳]を選択します。タッチ翻訳した部分が再度翻訳され、訳文が翻訳ビューに表示されます。

タイピング翻訳を行うには

タイピング翻訳は、日本語入力システムでかな漢字変換するような感覚で、入力した原文を訳文に変換していくシンプルな翻訳アプレットです。メールソフトやワープロソフトなどのアプリケーションとともに使用すると、翻訳した訳文を[Enter]キーひとつで編集中の文書に入力できます。

タイピング翻訳を起動するには

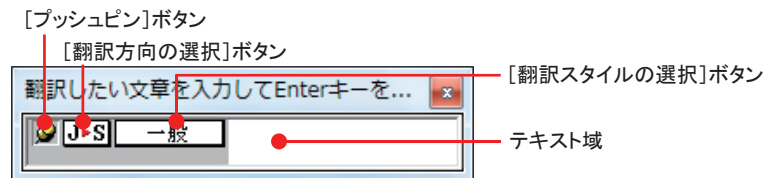
操作パネルの[翻訳]ボタンをクリックして、プルダウンメニューから[タイピング翻訳]を選択します。[タイピング翻訳]ウィンドウが表示されます。



必要に応じてワープロやメールソフトなど、タイピング翻訳で翻訳した訳文を入力したいアプリケーションを起動しておきます。

[タイピング翻訳]ウィンドウ各部の名称と機能.....

タイピング翻訳を起動すると、[タイピング翻訳]ウィンドウが表示されます。ウィンドウは、左側のボタン表示部と、右側のテキスト域から成り立っています。



[プッシュピン]ボタン

タイピング翻訳を常に表示するかしないかの表示モードを切り替えます。ボタンをクリックすると、この2つの状態が切り替わります。



: 固定位置表示



: 浮動表示

J E [翻訳方向の選択]ボタン

現在選択されている翻訳方向が表示されます。変更するときはクリックして、ポップアップリストから目的の翻訳方向を選択します。

一般 [翻訳スタイルの選択]ボタン

現在選択されている翻訳スタイルが表示されます。変更するときはクリックして、ポップアップリストから目的の翻訳スタイルを選択します。

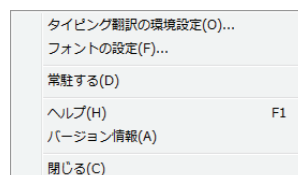
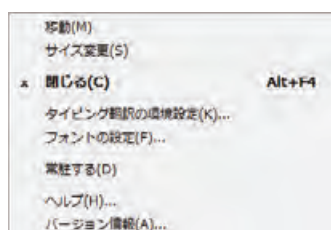
テキスト域

原文を入力します。原文は青で表示されます。入力後、[Enter]キーを押すと翻訳が行われ、原文が訳文に入れ替わります。訳文は黒で表示されます。また、このテキスト域で訳文を編集することもできます。

タイピング翻訳メニュー

タイピング翻訳 のコマンドメニューは、以下のいずれかの方法で表示できます。

- [タイピング翻訳]ウィンドウのタイトルバーの上で、マウスの右ボタンをクリックします。
- タスクトレイのタイピング翻訳アイコンを右ボタンでクリックします。





1 タイピング翻訳アイコン


Windows のタスクトレイに表示されます。クリックするとタイピング翻訳ウィンドウが Windows の最前面に表示されます。また、マウスカーソルを合わせて右ボタンを押すと、タイピング翻訳メニューが表示されます。

タイピング翻訳ウィンドウの表示モード


タイピング翻訳には、「固定位置表示」と「浮動表示」の2通りの表示モードがあります。作業の形態に合わせて、使いやすいモードを選択してください。

 固定位置表示	常にウィンドウが画面上の一定の位置に表示されます。他のアプリケーションと重なる場合は、常にその前面に表示されます。表示する位置は自由に変更できます。翻訳結果を[Enter]キーでアプリケーションの文書に入力した後も、ウィンドウはアクティブなままになるので、すぐに別の原文を入力できます。タイピング翻訳で翻訳しながらアプリケーションに訳文を入力していくような場合に便利です。
 浮動表示	[タイピング翻訳]ウィンドウが通常は非表示となり、ホットキーを押す、またはタスクトレイの「タイピング翻訳」アイコンをクリックしたときに表示されます。[Enter]キーで翻訳結果をアプリケーションの文書に入力した後は、自動的に非表示に戻ります。

タイピング翻訳を終了するには

タイピング翻訳を終了するには、タイトルバーの  をクリックします。またはタイピング翻訳メニュー(タイトルバー上で右クリック)から[閉じる]コマンドを選択します。[タイピング翻訳]ウィンドウおよびタスクトレイのアイコンが消え、使用していたメモリを解放します。

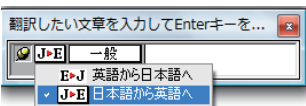
タイピング翻訳を常駐させるには

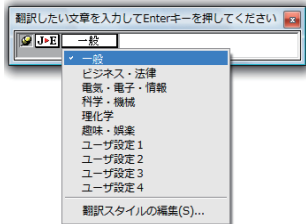
タイピング翻訳を常に使う場合、常駐させておくことができます。常駐させると、タイトルバーの  をクリックしてウィンドウを閉じても、タスクトレイにタイピング翻訳のアイコンが残ります。これをクリックするといつでもタイピング翻訳を起動できます。常駐させるときは、タイピング翻訳メニュー(タイトルバー上で右クリック)から[常駐する]コマンドを選択してチェックマークをつけます。常駐を解除するときにはチェックマークを外します。

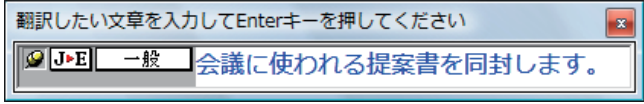
翻訳を実行するには


タイピング翻訳では[Enter]キーを押すだけで、テキスト域に入力した文書を翻訳できます。翻訳後は、別訳語への置き換えや、訳文の手直しができます。タイピング翻訳のテキスト域に、キーボードから原文を入力しながら翻訳できます。訳文は、同時に開かれていたワープロやメールソフトなどの文書に、[Enter]キーで入力できます。

1 あらかじめ、ワープロやメールソフトなど、テキストを扱えるアプリケーションソフトを起動し、文書を開いておきます。

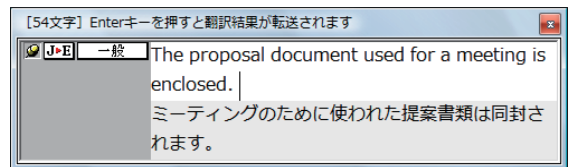
2  タイピング翻訳を起動します。[翻訳方向の選択]ボタンに使いたい翻訳方向が表示されているか確認します。変更するときは、[翻訳方向の選択]ボタンをクリックして、ポップアップリストから目的の翻訳方向を選びます。

3  [翻訳スタイルの選択]ボタンに使いたい翻訳スタイルが表示されているか確認します。変更するときは、[翻訳スタイルの選択]ボタンをクリックして、ポップアップリストから目的の翻訳スタイルを選びます。

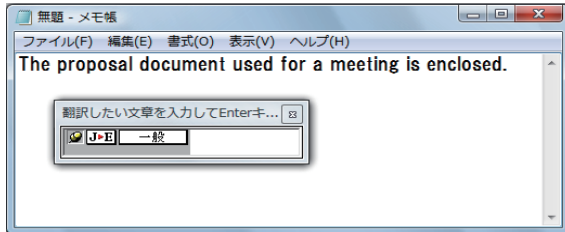
4  キーボードから原文を入力します。原文が青で表示されます。

 ヒント 原文の入力を最初からやり直したい場合は、[Esc]キーを押して、入力テキストをクリアします。

- 5** [Enter]キーを押します。原文が翻訳され、訳文に入れ替わり、確認翻訳の結果が下に表示されます。同時に訳文の文字数がタイトルに表示されます。Twitterなどの文字数制限のある場合の入力時に参考にしてください。
この時点で、必要に応じて訳文を編集することができます。



- 6** もう一度[Enter]キーを押します。
訳文がアプリケーションソフトのカーソル位置に入力され、[タイピング翻訳]ウィンドウのテキスト域はクリアされます。



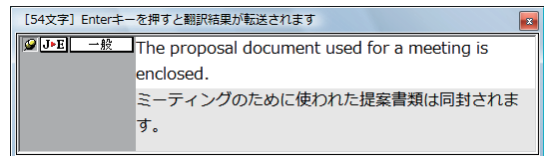
「固定位置表示」になっている場合は、[タイピング翻訳]ウィンドウがアクティブなままになり、テキスト域にカーソルが表示され続けます。そのまま続けて、別の翻訳を行うことができます。

「浮動表示」になっている場合は、[タイピング翻訳]ウィンドウは見えなくなります。

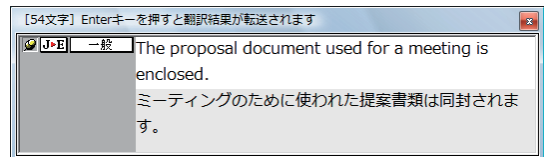
テキスト域の訳文を編集するには

翻訳後、別訳語への置き換えを行って、訳文を改良することができます。

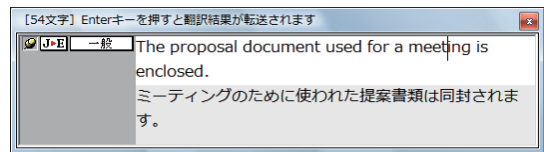
- 1** タイピング翻訳で翻訳を行います。
翻訳結果は黒の文字で表示されます。文頭の語句が反転表示され、その部分が選択されていることを示します。



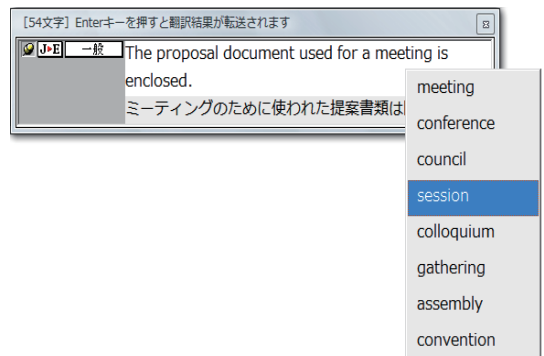
- 2** 別訳語に置き換えたい単語にcaretを立てます。



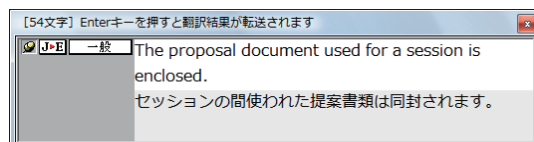
- 3** caretが立っている状態で Ctrl キーを押したまま上矢印キーまたは下矢印キーを押すと、別訳語のリストが表示されます。選択されていた単語の、別訳語のリストが表示されます。



- 4** リストの中に使用したい訳語があるときは、さらに上または下矢印キーを押して、その訳語を選択し、[Enter]キーを押します。



翻訳結果のテキストの該当部分が別訳語に置き換わります。



● 翻訳結果テキストは、手作業で自由に編集することもできます。ただし、いったん手作業で修正を加えると、そのテキスト内での矢印キーによる語句の選択、別訳語の表示・選択はできなくなります。

8

辞書ボタンの使い方

[辞書]ボタンには、ユーザ辞書の作成や編集を行うツールと、LogoVista電子辞典で辞書引きするためのツールが用意されています。ここでは、各ツールの概要を紹介します。

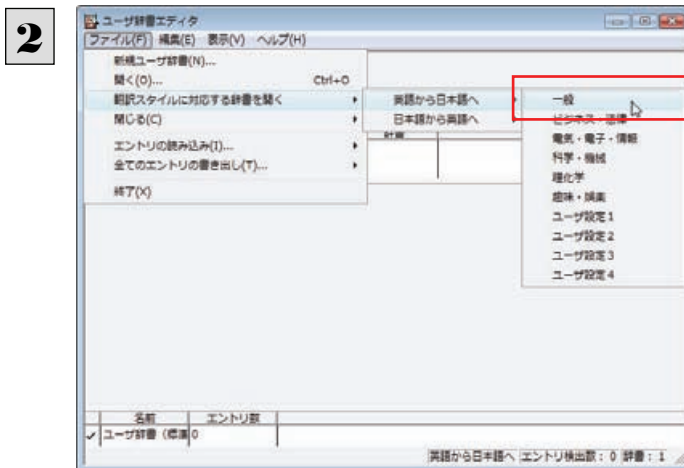
ユーザ辞書エディタを使うには(英日・日英翻訳エンジン専用)

ユーザ辞書は、お使いになる方が独自に語句を登録し、地名や人名など辞書にはない独特な語句を翻訳するときなどに活用します。このユーザ辞書に登録された語句などの編集を行うアプレットが「ユーザ辞書エディタ」です。

ユーザ辞書エディタには、英日・日英翻訳エンジン用のユーザ辞書を編集するための「ユーザ辞書エディタ」、日中・中日翻訳エンジン用のユーザ辞書を編集するための「ユーザ辞書エディタ(日中・中日)」、その他の翻訳エンジンのユーザ辞書を編集するための「ユーザ辞書エディタ(マルチリンガル)」があります。「ユーザ辞書エディタ」の概要を紹介します。

ユーザ辞書エディタを起動するには.....

- 1 [辞書]ボタンをクリックし、表示されるメニューから[ユーザ辞書エディタ]を選択します。
ユーザ辞書エディタが起動し、次のウィンドウが開きます。



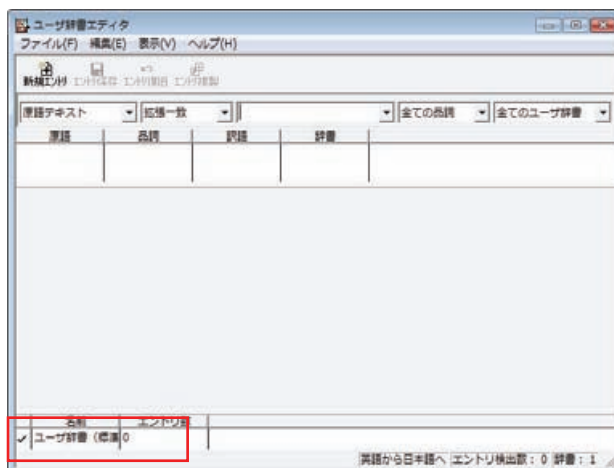
最初にユーザ辞書エディタを起動したときは、[英語から日本語へ]が選択されています。

[ファイル]メニューから[翻訳スタイルに対応する辞書を開く]を選択し、翻訳方向と翻訳スタイルを指定します(この例では[英語から日本語へ]の「一般」)。



ユーザ辞書は複数作成でき、用途に合わせて使い分けことができます。使用するユーザ辞書は、翻訳スタイルを編集するときに指定できます。実際の翻訳作業では、翻訳スタイルを選択することで使用するユーザ辞書を使い分けます。「翻訳スタイルに対応する辞書を開く」というのは、英日または日英の翻訳スタイルに登録(ロード)されているユーザ辞書のことです。複数のユーザ辞書をロードしているときは、すべてのユーザ辞書を対象にします。ここでは、翻訳スタイル「一般」にはあらかじめ用意されている「ユーザ辞書(標準)」だけがロードされているものとして説明しています。

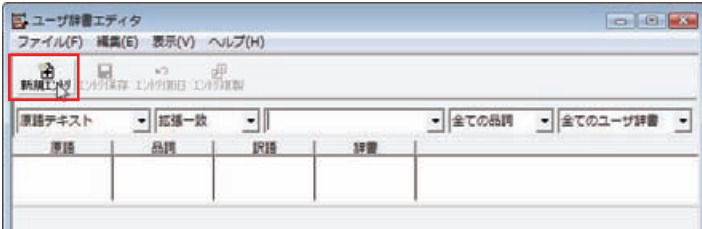
「ユーザ辞書(標準)」が開きます。




語句を登録するには

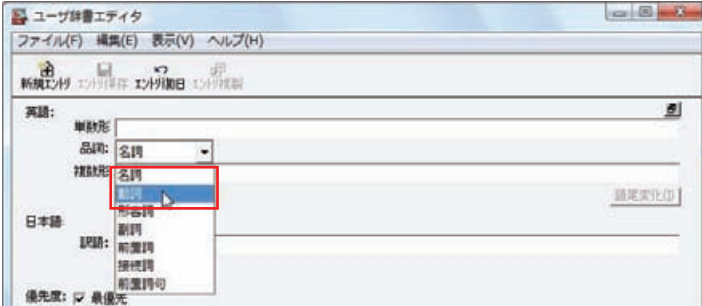
ユーザ辞書エディタで語句を登録するときは、以下の手順で行います。

- 1**



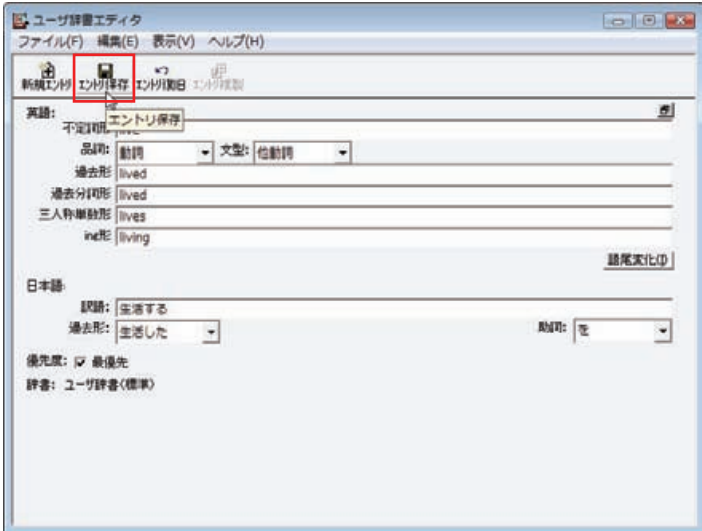
[新規エントリ]ボタン()をクリックします。

登録画面(詳細表示)に変わります。
- 2**




これは名詞の語句を登録するための画面です。登録する語句の品詞によって画面が異なります。たとえば、[品詞]のプルダウンリストから[動詞]を選択します。

動詞の登録画面になります。
- 3**



例として、英語の語句「live」を他動詞で日本語訳を「～の生活をする」として登録する場合は、文型を「他動詞」にし、活用形や日本語訳を図のように入力、設定します。

設定できたら、[エントリ保存]ボタン()をクリックします。

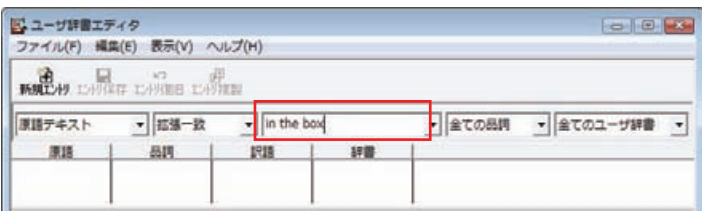
画面が戻ります。登録した語句がリストに表示されます。

終了するときは、[ファイル]メニューから[終了]を選択するか、右上のクローズボックスをクリックします。

語句を編集するには

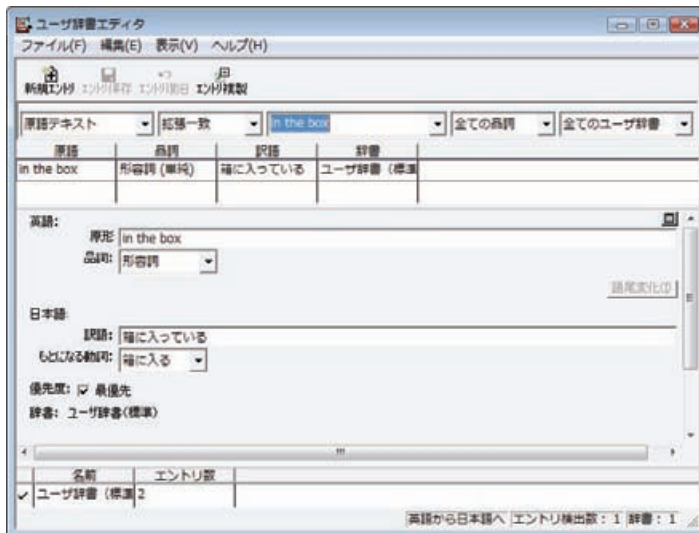
ユーザ辞書に登録した語句はユーザ辞書エディタで編集することができます。ユーザ辞書エディタで編集する語句を検索し、目的の語句を呼び出して編集します。

- 1**



検索フィールドの見出し語入力ボックスに編集する語句を入力します。

見出し語が入力されると、検索され、結果がリストに表示されます。

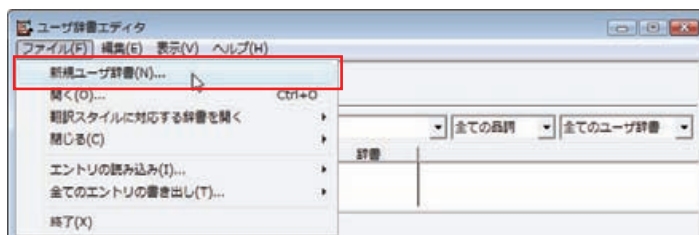


必要な編集作業を行い、[エントリ保存]ボタンをクリックして保存し直します。

新規にユーザー辞書を作成するには.....

ユーザー辞書エディタから新規にユーザー辞書を作成することもできます。

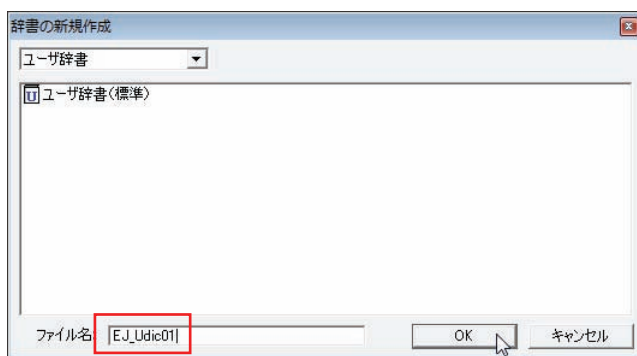
1



[ファイル]メニューから[新規ユーザー辞書]を選択します。

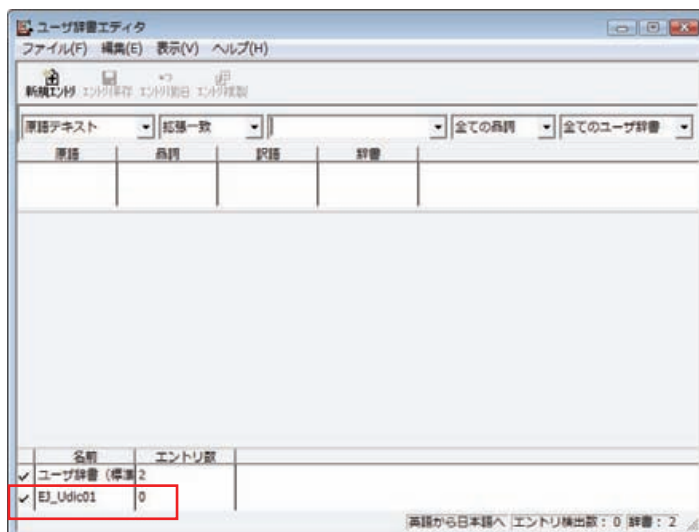
[辞書の新規作成]ダイアログが開きます。

2



任意のファイル名を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

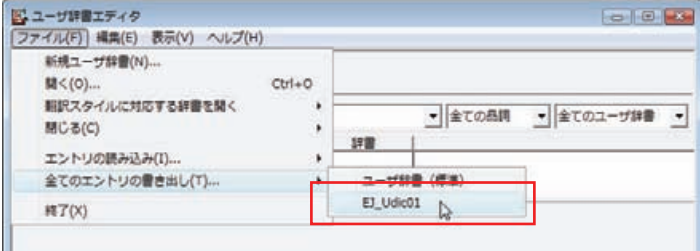
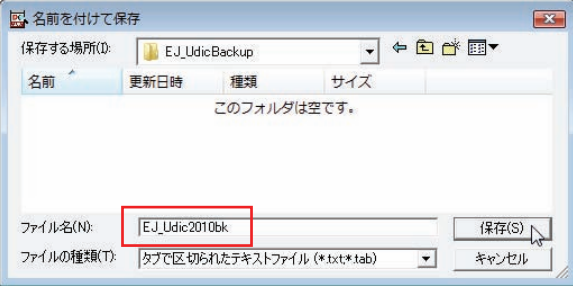
3




ユーザー辞書エディタに戻ります。作成したユーザー辞書はオープンされた状態になっています。これで新規にユーザー辞書を作成できます。

登録した語句を書き出すには

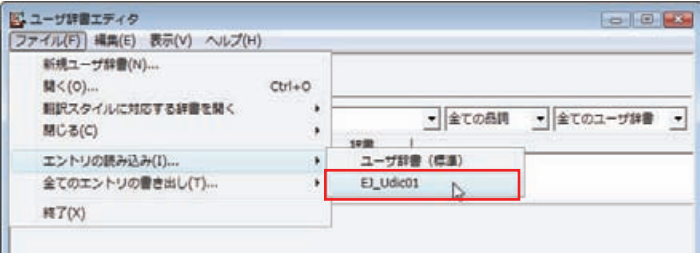
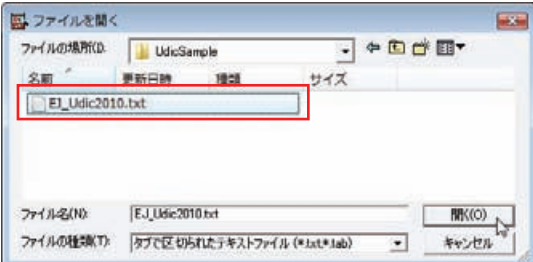
ユーザ辞書に登録した語句やその情報は、テキストファイルに書き出すことができます。テキストファイルに書き出すと、ワープロソフトや表計算ソフトで語句を管理・編集することができます。また、他のユーザ辞書にテキストファイルを読み込んで語句を一括して登録することができます。

- 1  [ファイル]メニューから[全てのエントリの書き出し]を選択し、対象のユーザ辞書(この例では「ユーザ辞書(標準)」)を選択します。
[名前を付けて保存]ダイアログボックスが開きます。
- 2  保存先のフォルダに移動し、任意にファイル名を入力して[保存]ボタンをクリックします。

メッセージが表示されます。
- 3  [OK]ボタンをクリックします。
これで、ユーザ辞書の内容をテキストファイルに書き出すことができます。

テキストファイルの語句を読み込むには

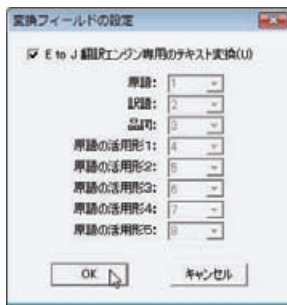
「登録した語句を書き出すには」で書き出したテキストファイルを別のユーザ辞書に読み込むことができます。これで一括して語句を登録することができます。

- 1 読み込むユーザ辞書を開いておきます。
- 2  [ファイル]メニューから[エントリの読み込み]を選択し、読み込み先のユーザ辞書を選択します。
[ファイルを開く]ダイアログボックスが開きます。
- 3  ユーザ辞書形式のテキストファイルを選択し、[開く]ボタンをクリックします。
[変換フィールドの設定]ダイアログボックスが表示されます。



ユーザ辞書から書き出したテキストファイルは、1つのエントリが1行にまとめられ、項目間はタブ記号で区切られます。項目には順番があります。順番が異なると不正な内容が登録されてしまいます。[変換フィールドの設定]ダイアログボックスは項目の順番を調整するためにあります。通常は、このまま[OK]ボタンをクリックしてかまいません。

4



ここではこのまま[OK]ボタンをクリックします。
これでテキストファイルを読み込みことができます。

◀ 変換フィールドの設定の詳細は、オンラインヘルプをご覧ください。

ユーザ辞書エディタ(日中・中日)を使うには

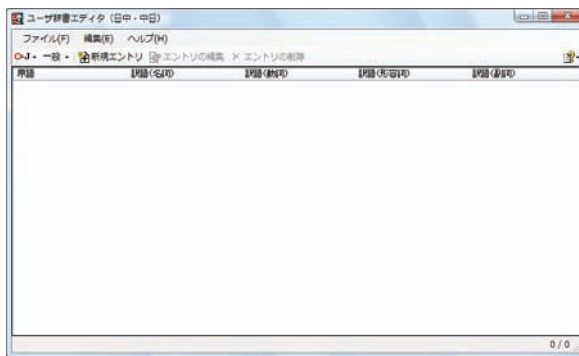
ユーザ辞書エディタ(日中・中日)では、日中・中日翻訳エンジン用のユーザ辞書を編集できます。

ヒント▶ 翻訳スタイルごとに別々のユーザ辞書が利用可能です。

ユーザ辞書エディタ(日中・中日)を起動するには

1

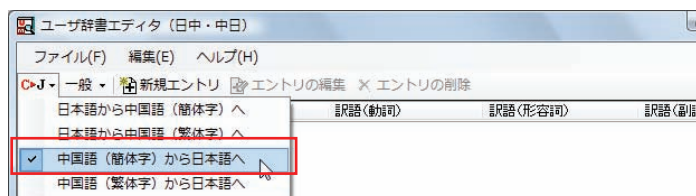
[辞書]ボタンをクリックし、表示されるプルダウンメニューから[ユーザ辞書エディタ(日中・中日)]を選択します。
ユーザ辞書エディタが起動し、次のウィンドウが開きます。



語句を登録するには

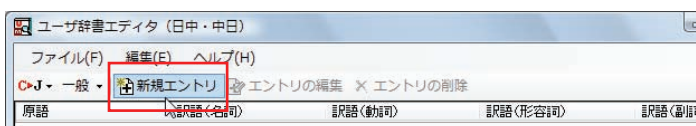
ユーザ辞書に語句を登録するときは、以下の手順で行います。

1



[翻訳方向の選択]ボタンをクリックし、翻訳方向を選択します。この例では、[中国語(簡字体)から日本語へ]を選択します。

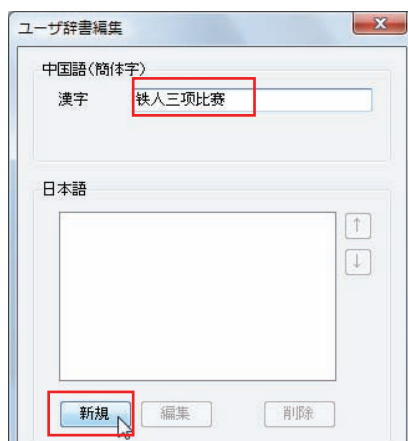
2



[新規エントリ]ボタンをクリックします。

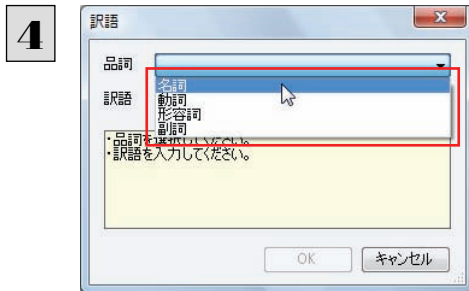
[ユーザ辞書編集]ダイアログが開きます。

3

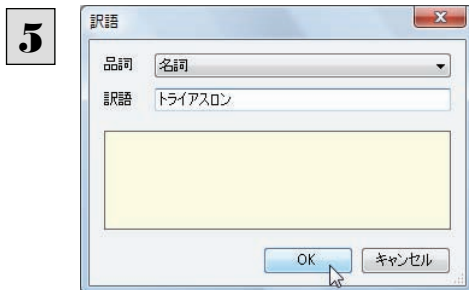


[漢字]ボックスに中国語の名詞「鉄人三项比赛」を入力し、[新規]ボタンをクリックします。

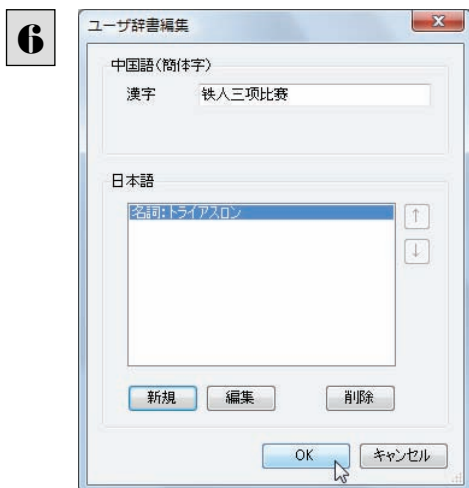
[訳語]ウィンドウが表示されます。



[品詞]をクリックして、表示されるメニューから品詞を選択します。



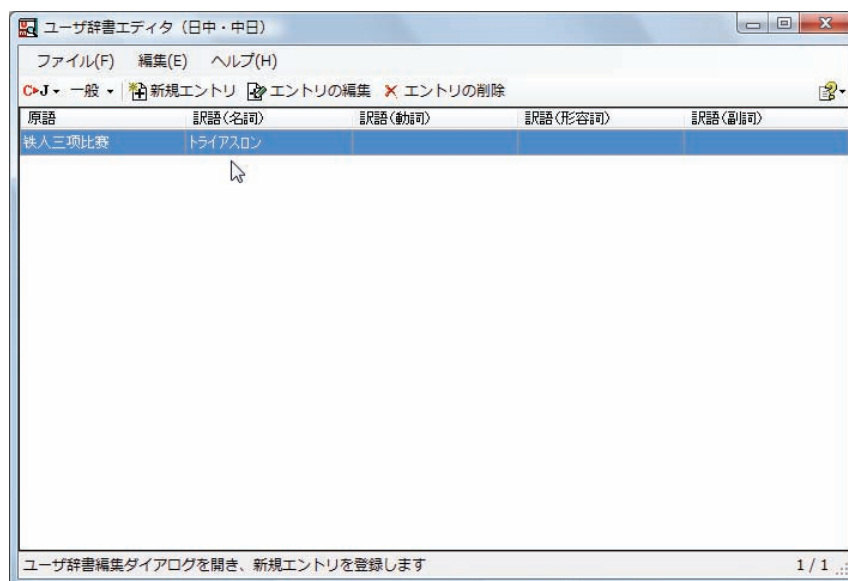
訳語ボックスに[トライアスロン]と入力し、[OK]ボタンをクリックします。



「トライアスロン」が「鉄人三项比赛」の訳語の一つとして登録されます。

「鉄人三项比赛」に対して、さらに別の訳語を登録したい場合は、手順4~6の操作を繰り返します。訳語の入力が終わったら、[OK]ボタンをクリックします。

[ユーザ辞書編集]ダイアログが閉じ、語句が登録され、[ユーザ辞書エディタ(日中・中日)]ウィンドウに一覧表示されます。



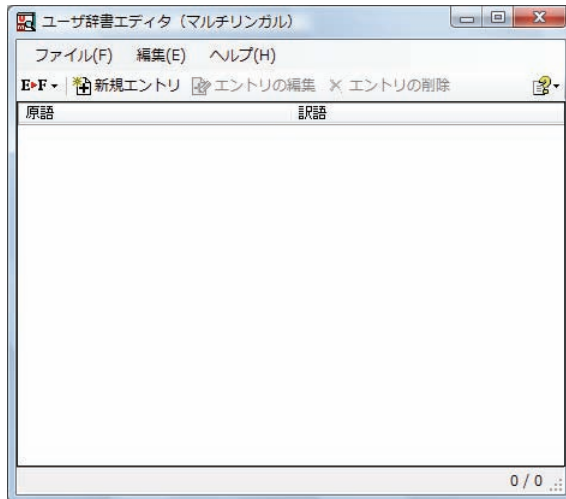
- ・[エントリの編集]ボタンで、登録した語句を編集できます。
- ・[エントリの削除]ボタンで、登録した語句を削除できます。

ユーザ辞書エディタ(マルチリンガル)を使うには

ユーザ辞書エディタ(マルチリンガル)では、英日・日英、日中・中日以外の翻訳エンジン用のユーザ辞書を編集できます。欧州言語の場合は、各国語と英語間のユーザ辞書を編集できます。韓国語は日本語間のユーザ辞書を編集できます。

ユーザ辞書エディタ(マルチリンガル)を起動するには

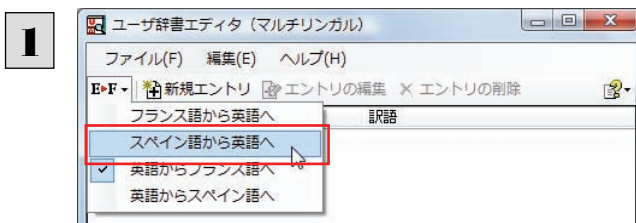
- 1** [辞書]ボタンをクリックし、表示されるプルダウンメニューから[ユーザ辞書エディタ(マルチリンガル)]を選択します。ユーザ辞書エディタが起動し、次のウィンドウが開きます。



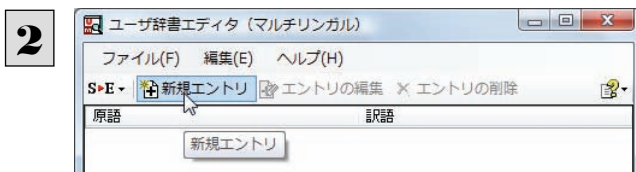
ヒント ユーザ辞書エディタ(マルチリンガル)の場合、名詞だけを登録することができます。

語句を登録するには

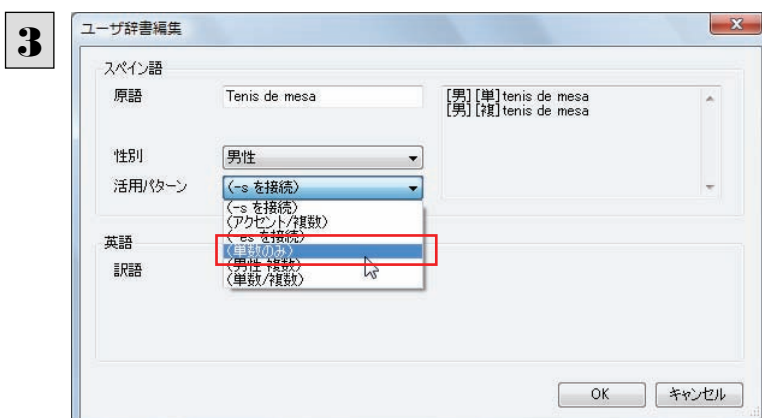
ユーザ辞書に語句を登録するときは、以下の手順で行います。ここでは、スペイン語→英語で登録する例を紹介します。



[翻訳方向の選択]ボタンをクリックし、翻訳方向を選択します。この例では、[スペイン語から英語へ]を選択します。



[新規エントリ]ボタンをクリックします。



[ユーザ辞書編集]ダイアログが開きます。

原語と訳語を入力します。

言語によっては活用パターンや性別、単数形、複数形などを入力・選択する欄が表示される場合があります。その場合は、それぞれを設定します。

4



すべての入力、選択が終わったら、[OK]ボタンをクリックします。



[ユーザー辞書編集]ダイアログが閉じ、語句が登録され、[ユーザー辞書エディタ(マルチリンガル)]ウィンドウに一覧表示されます。



翻訳エンジンの制限により、登録する原語の大・小文字を変換します。

ドイツ語から英語へ

先頭文字だけを大文字、先頭文字以外はすべて小文字に変換します。

英語からスペイン語へ

変換しません。

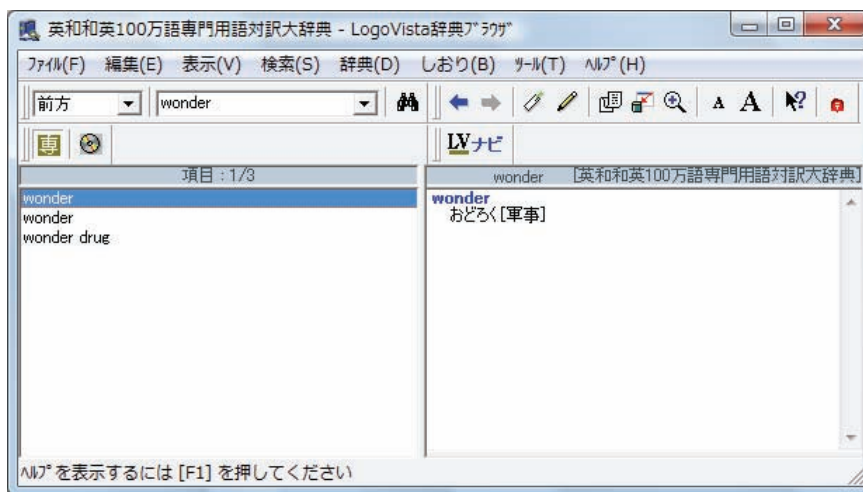
その他(英語からフランス語へ、英語からドイツ語へ、英語からイタリア語へ、英語からポルトガル語へ、フランス語から英語へ、イタリア語から英語へ、ポルトガル語から英語へ、スペイン語から英語へ)すべて小文字に変換します。



- ・[エントリの編集]ボタンで、登録した語句を編集することができます。
- ・[エントリの削除]ボタンで、登録した語句を削除することができます。

LogoVista 電子辞典で辞書引きするには

[辞書]ボタンのリストから[LogoVista電子辞書]を選択すると、[LogoVista辞典ブラウザ]ウィンドウが開きます。LogoVista電子辞典がインストールされているときは、LogoVista電子辞典で辞書引きできます。



- ← [LogoVista辞典ブラウザ]ウィンドウの使い方については、LogoVista電子辞典のオンラインヘルプをご参照ください。

9

支援ボタンの使い方

[支援]ボタンには、翻訳作業を支援するための便利なツールが用意されています。ここでは、それぞれの概要を紹介します。

音声ボタンで読み上げを行うには

[音声]ボタンは、選択した文や単語の発音を音声で確認したいときに使います。コリヤ英和！各国語の各翻訳アプレットだけでなく、他のアプリケーションでも利用できます。



- 音声が聞こえないときは、Windowsの[Volume Control]パネルの音量を確認してください。
- 次の言語の読み上げは、ログヴィスタのインターネットサーバに接続して音声合成を生成して行われます。このため、読み上げを行うにはインターネットへの接続が必要です。
フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、韓国語

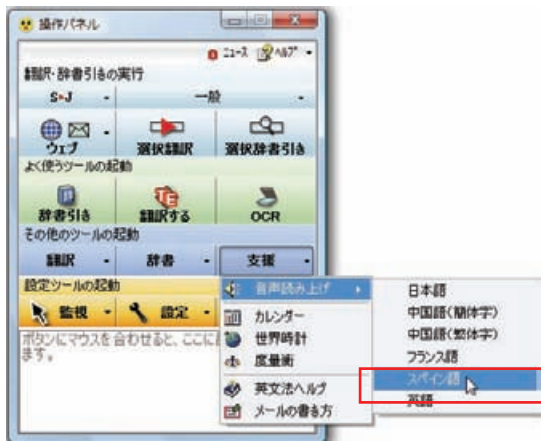
ここではスペイン語の読み上げを行う例で説明します。

1

次のいずれかの言語を読み上げるパソコンをあらかじめインターネットに接続しておきます。

フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、韓国語

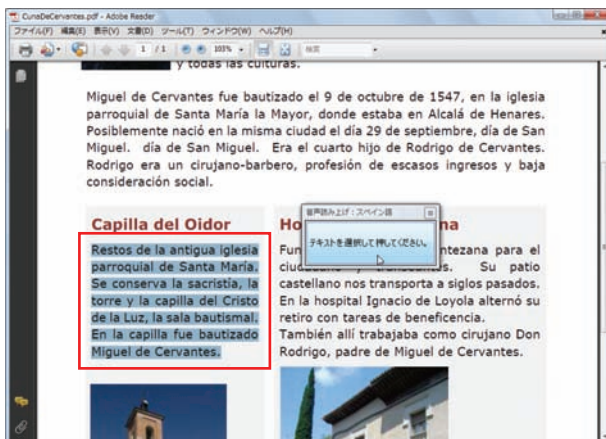
2



[支援]ボタンをクリックして開くメニューから[音声読み上げ]を選択し、読み上げる言語を選択します。

音声読み上げウィンドウが表示されます。

3

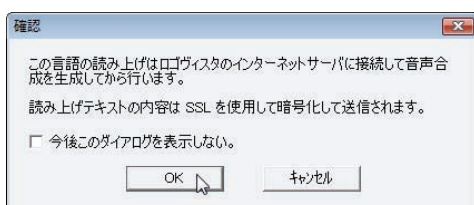


読み上げをしたいテキストを選択し、音声読み上げウィンドウをクリックします。

次のいずれかの言語を読み上げるときは、確認メッセージが表示されます。

フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、韓国語

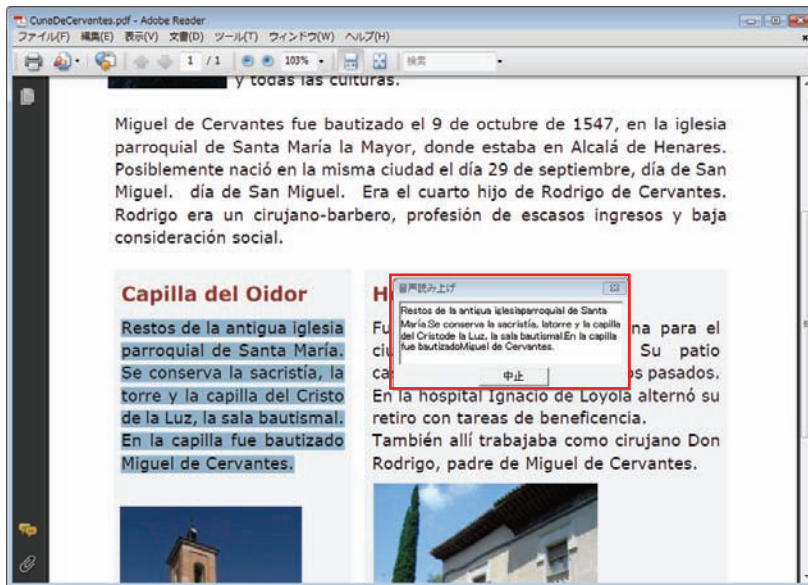
3



メッセージの内容を確認して、[OK]ボタンをクリックします。

(英語、日本語、中国語を読み上げるときは、確認メッセージは表示されません)

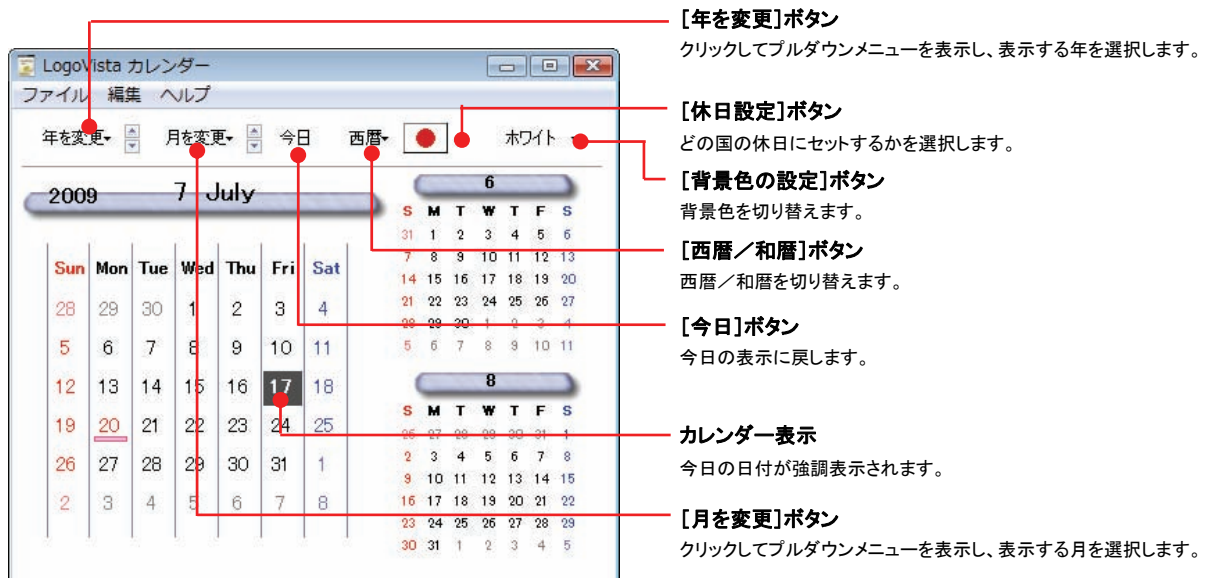
音声でテキストを読み上げます。



カレンダーを使うには

1950年から2030年までのカレンダーを表示できます。

- 1** [支援]ボタンをクリックし、表示されるメニューから[カレンダー]を選択します。
カレンダーが起動します。



世界時計を使うには

世界の主要都市の現在時刻を確認できます。

1

[支援]ボタンをクリックし、表示されるメニューから[世界時計]を選択します。
世界時計が起動します。



基準都市時刻
システムに設定されている現在時刻を表示します。これを基準にして各都市の時刻や時差を表示します。基準都市名は[ファイル]メニューの[環境設定]コマンドで変更できます。

世界時計
選択した6都市の日付と現在時刻を表示します。

【都市選択】ボタン
クリックするとプルダウンメニューが表示され、表示する都市を選択できます。

【夏時間】ボタン
表示中の都市が夏時間になっているときにクリックします。時刻が一時間早まります。

世界地図表示
時刻を表示中の都市の位置を、時計表示と同色のタイルで示します。基準都市は星印で示されます。星印やタイルをドラッグすると、基準都市や時計に表示する都市を変更できます。

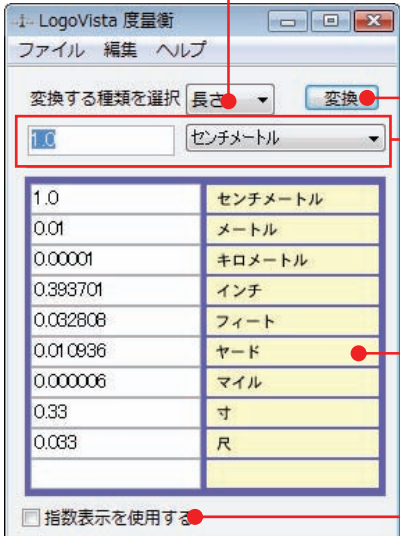
【世界地図表示／非表示】ボタン
クリックするたびに世界地図の表示／非表示が切り替わります。

度量衡を使うには

長さ、容積、重さ、通貨レートなど、さまざまな単位の換算ができます。

1

[支援]ボタンをクリックし、表示されるメニューから[度量衡]を選択します。
度量衡が起動します。



【単位の種類選択】ボタン
換算する単位の種類を選択します。次の6種類があります。
長さ・面積・容積・重さ・通貨・温度

【変換】ボタン
入力ボックスに入力した数値を、各単位の換算します。

入力ボックス(左)／【基準単位選択】ボタン(右)
換算の元になる数値と単位を入力します。換算したい数値は入力ボックスに入力します。単位は【基準単位選択】ボタンをクリックし、プルダウンメニューから選択します。

換算結果一覧
入力ボックスと【基準単位選択】ボタンで指定した数値を、各単位の換算した結果を表示します。

【指数表示を使用する】
換算結果が表示しきれない場合などに、指数を使って表示します。

1.0	センチメートル
0.01	メートル
0.00001	キロメートル
0.393701	インチ
0.032808	フィート
0.010936	ヤード
0.000006	マイル
0.33	寸
0.083	尺



- 通貨を換算するときは、[編集]メニューの[通貨設定]コマンドで通貨のレートを設定してください。
- [通貨設定]ダイアログの[レートを取得]ボタンで、自動的に最新のレートを取得することもできます。

10 監視ボタンの使い方

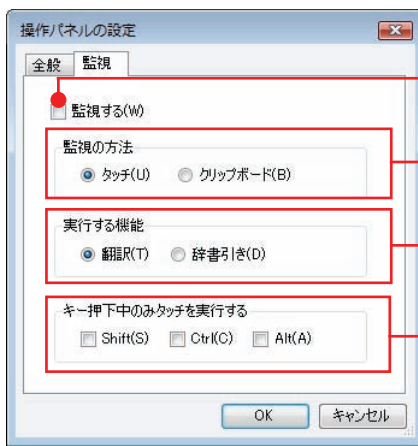
監視機能は、タッチ機能とクリップボードを監視し、カーソルが置かれた場所にあるテキスト、あるいはクリップボードに収納されたテキストに対し、次のいずれかを実行させる機能です。

- [タッチ翻訳]ウィンドウで翻訳
- [タッチ辞書引き]ウィンドウで辞書引き

監視ボタンは、この機能のオン/オフを切り替えます。クリックするごとにオン/オフが切り替わります。

監視ボタンの機能を変更するには

監視ボタンの機能は[操作パネルの設定]ダイアログの[監視]タブで変更します。[監視]タブは、操作パネルの[ヘルプ]ボタンをクリックして表示されるメニューから「監視設定」を選択して表示させます。



監視機能のオン/オフを切り替えます。チェックマークをつけると、オンになります。

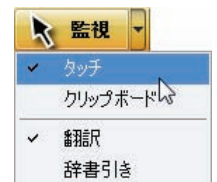
監視する対象を選択します。この例では「タッチ」が選択されています。

実行する機能を選択します。この例では「翻訳」が選択されています。

タッチ機能の開始キーを選択します。チェックしたキーの組み合わせを押している間だけ、タッチ機能が働きます。

監視対象を切り替えるには

[監視]タブの[タッチ]または[クリップボード]ラジオボタンのいずれかを選択して監視対象を変更することができます。また、操作パネルの監視ボタンの右にある▼をクリックして開くプルダウンメニューで変更することもできます。左側にチェックマークが付いている機能が現在監視対象に設定されている機能です。クリックして対象を切り替えることができます。



実行する機能を変更するには

[監視]タブの[実行する機能]にある[翻訳]、[辞書引き]ラジオボタンのいずれかを選択して、監視機能が実行する機能を変更することができます。

監視ボタンでタッチ翻訳を行うには

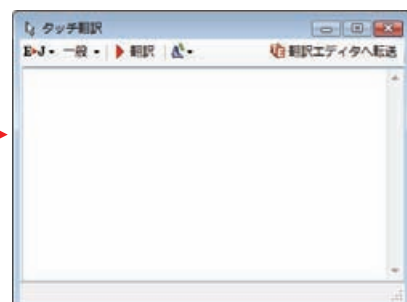
1



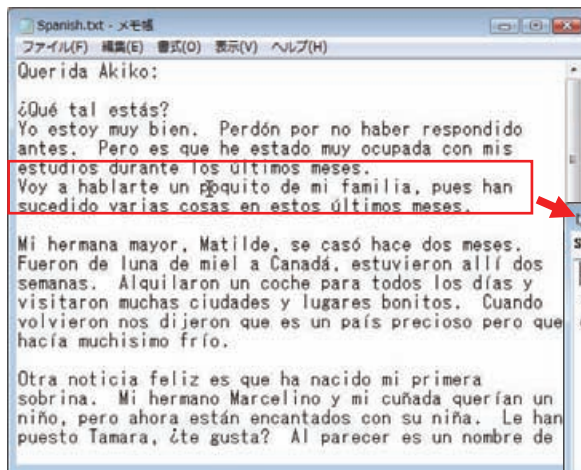
「監視」ボタンの機能を「タッチ」-「翻訳」に設定し、

「監視」ボタンをクリックしてオンにします。

タッチ翻訳ウィンドウが表示されます

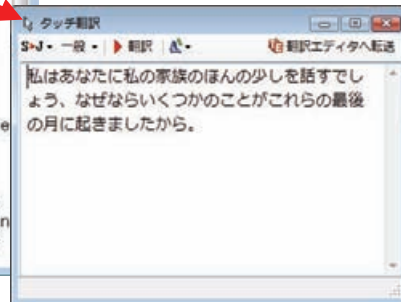


2



操作パネルで翻訳方向を設定し、アプリケーションのテキストの上にカーソルを移動します。

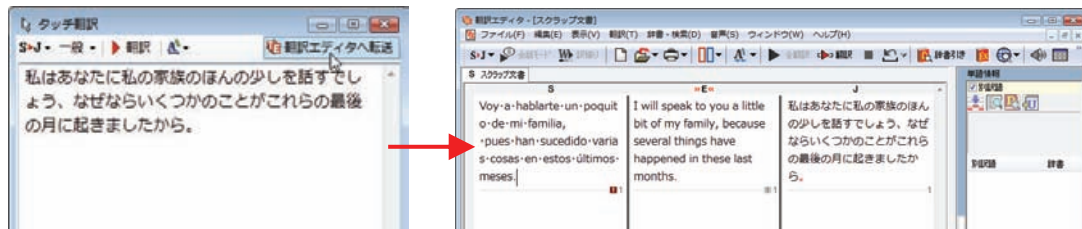
カーソルがある文が翻訳され、翻訳結果が[タッチ翻訳]ウィンドウに表示されます。



カーソルを移動するごとに翻訳が実行されます。

翻訳エディタに転送するには

[タッチ翻訳]ウィンドウの[翻訳エディタへ転送]をクリックすると、タッチで選択した原文と訳文が翻訳エディタに転送されます。翻訳結果を詳細に検討したい場合などに便利です。

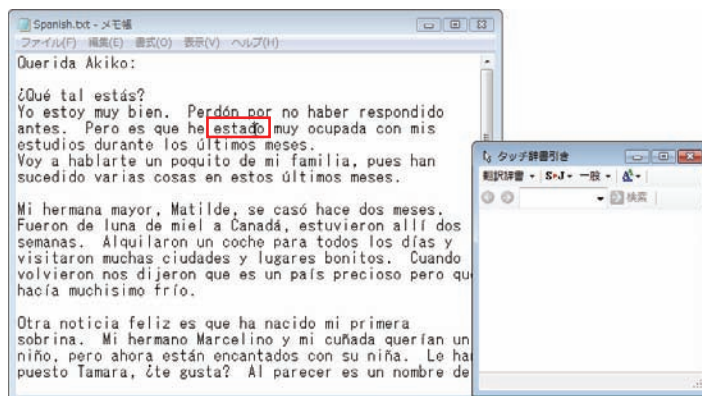


監視ボタンでタッチ辞書引きを行うには

1

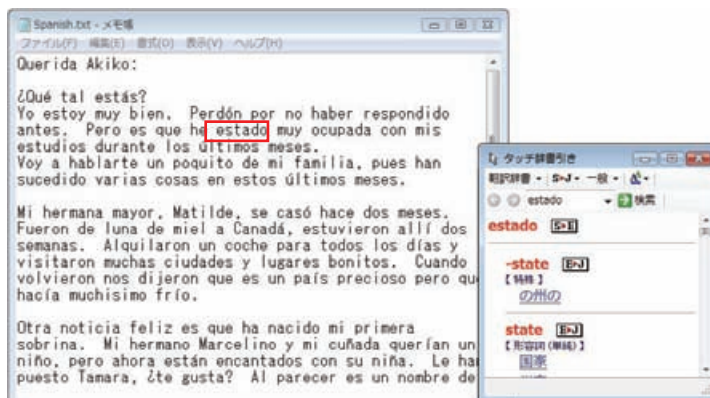
[監視]ボタンの機能を「タッチ」-「辞書引き」に設定し、[監視]ボタンをクリックしてオンにします。[タッチ辞書引き]ウィンドウが表示されます

2



操作パネルで翻訳方向を設定し、アプリケーションのテキストの上にカーソルを移動します。

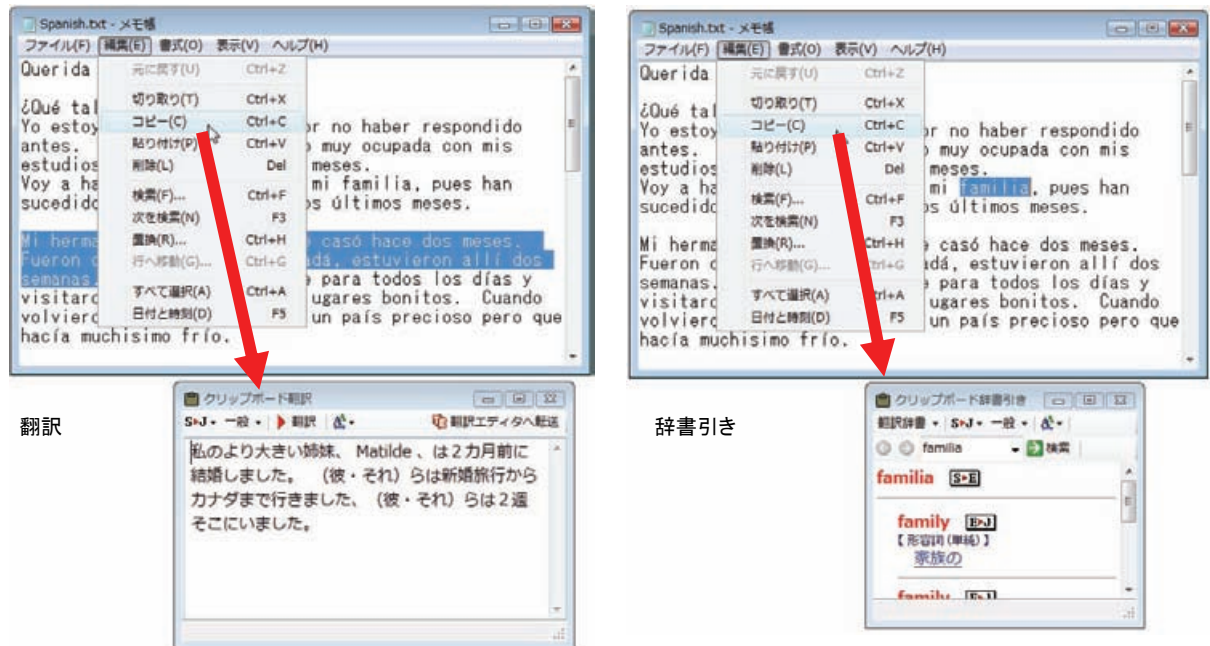
カーソルがある語句が辞書引きされ、辞書引き結果が[タッチ辞書引き]ウィンドウに表示されます。



同様に、カーソルを移動するごとに辞書引きが実行されます。

クリップボード監視機能を使うには

監視対象をクリップボードに設定したときは、アプリケーション上のテキストをコピーや切り取りコマンドでクリップボードに収納すると、翻訳、辞書引き、読み上げのいずれかの機能を実行します。



11

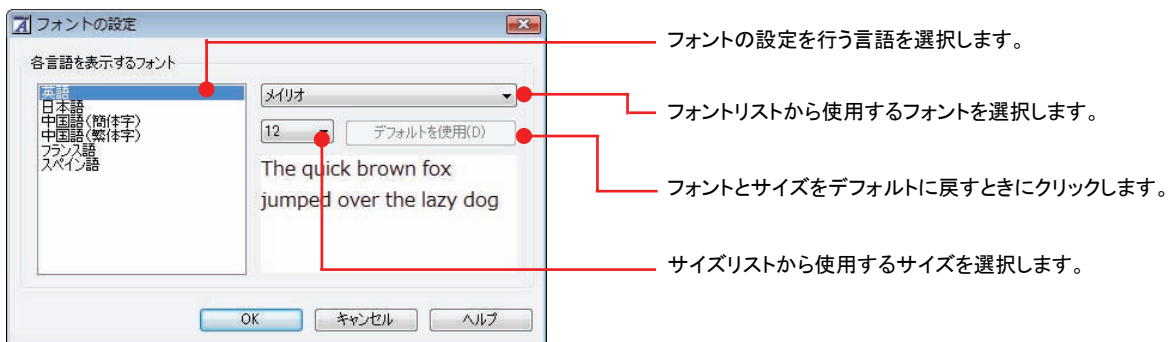
設定ボタンの使い方

[設定] ボタンには、翻訳機能をOfficeアプリケーションや一太郎、Acrobatなどに組み込み「アドイン設定」、コリヤ英和！の翻訳アプレットで使用するフォントの種類やサイズを設定する「フォント設定」、音声読み上げの声質や音量、速度を調節する「音声設定」を行う機能が用意されています。

- 「アドイン設定」については、「第5章 アプリケーションで翻訳するには」をご覧ください。

フォントを設定するには

コリヤ英和！各国語の各アプレットで表示するフォントの種類とサイズを設定します。[設定]ボタンから[フォント設定]を選択して[フォントの設定]ダイアログボックスを開いて設定します。



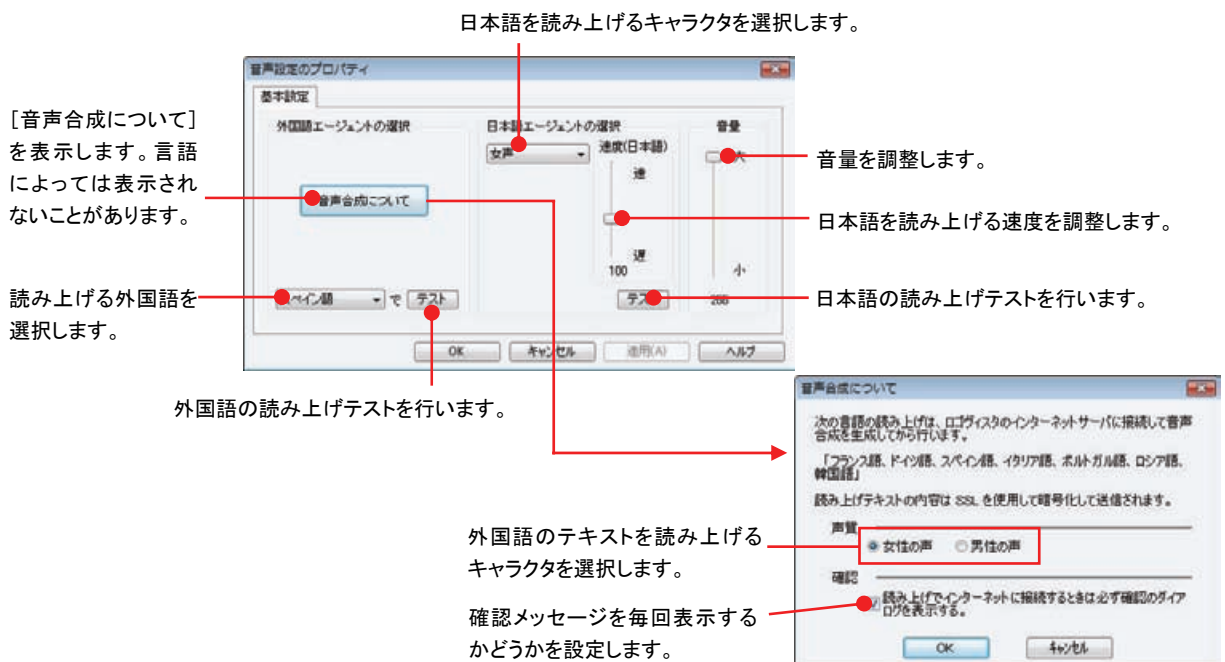
アプレットによっては、処理の都合上、「フォント設定」で選択した表示フォントが使われない場合があります。

読み上げ機能を設定するには

読み上げ機能について、キャラクタを選択したり音量を調整したりすることができます。

- [設定] ボタンをクリックし、表示されるメニューから[音声設定]コマンドを選択します。
[音声設定のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。
- 各項目を設定し、[OK]ボタンをクリックします。

■ [音声設定のプロパティ]ダイアログボックス(各国語版)

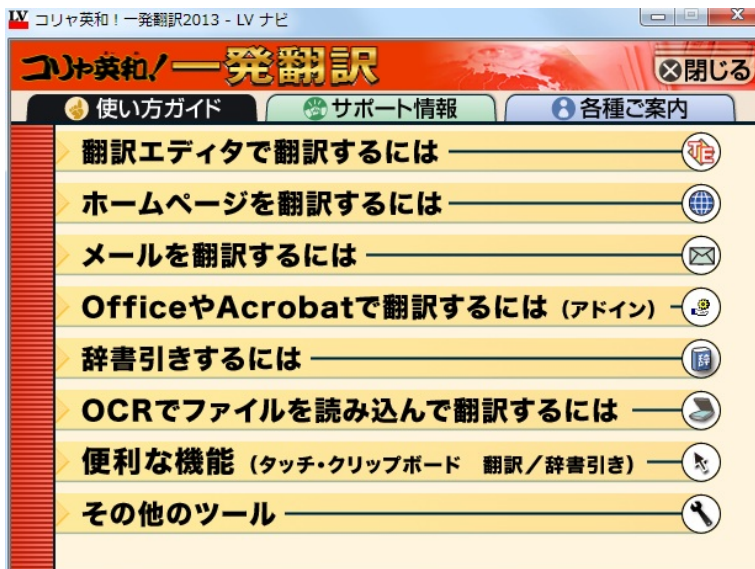


12 ナビボタンの使い方

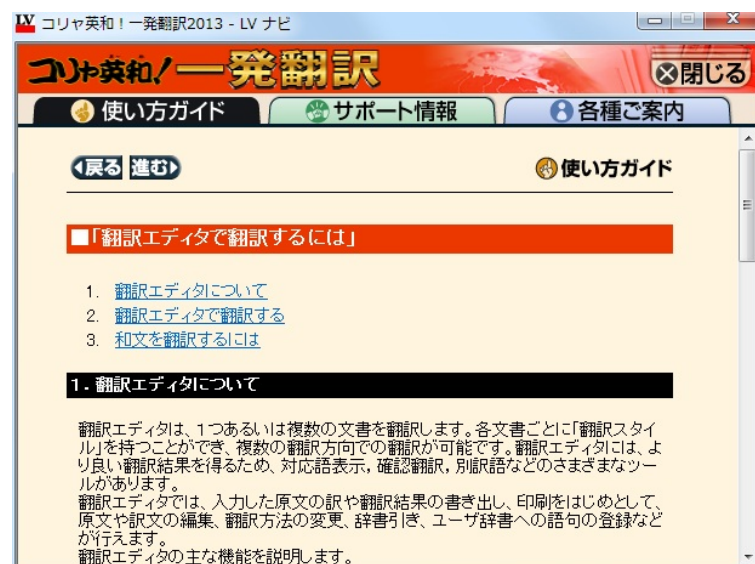
[ナビ]ボタンは、コリヤ英和！のアプレットの使い方のガイドやサポート情報などを参照できる「LVナビ」を起動することができます。

LVナビの起動と参照方法

[ナビ]ボタンをクリックすると、次の[コリヤ英和！-LVナビ]ウィンドウが開きます。



参照したい項目をクリックすると、ガイドが表示されます。



使い方がわからなくなったときに参照してください。

Chapter 3

翻訳エディタで翻訳するには

1

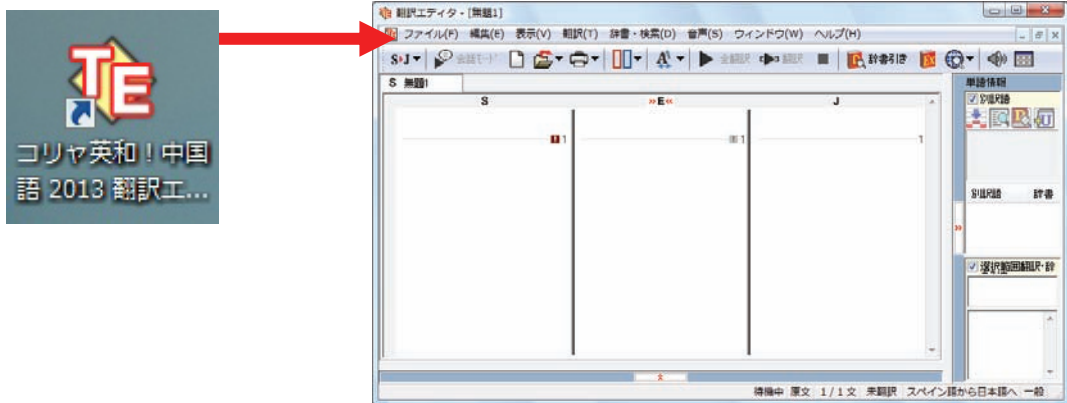
翻訳エディタについて

翻訳エディタでは、入力した原文の訳や翻訳結果の書き出し、印刷をはじめとして、原文や訳文の編集、翻訳方法の変更、辞書引き、ユーザ辞書への語句の登録などが行えます。この章では、翻訳エディタの主な機能や、よりよい翻訳結果を得るためのコツを、実際の翻訳例に添って説明します。

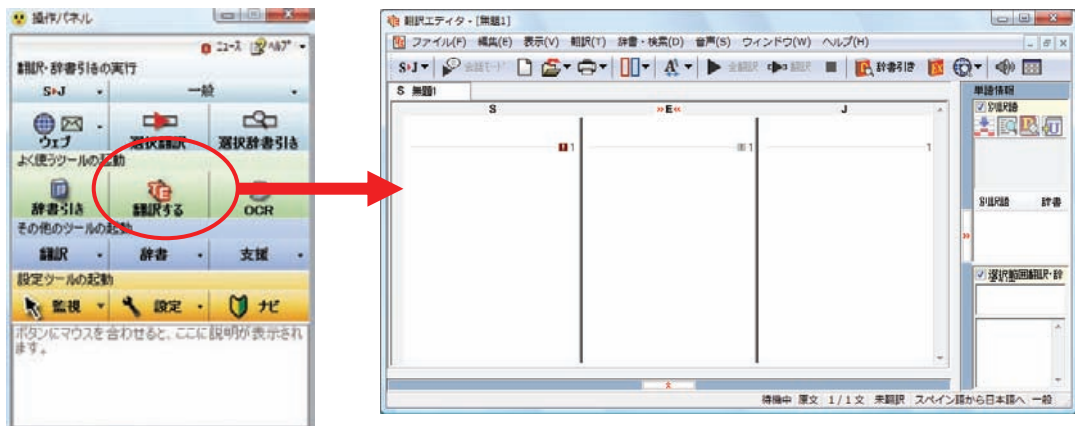
翻訳エディタを起動するには

次の3つの方法で翻訳エディタを起動できます。

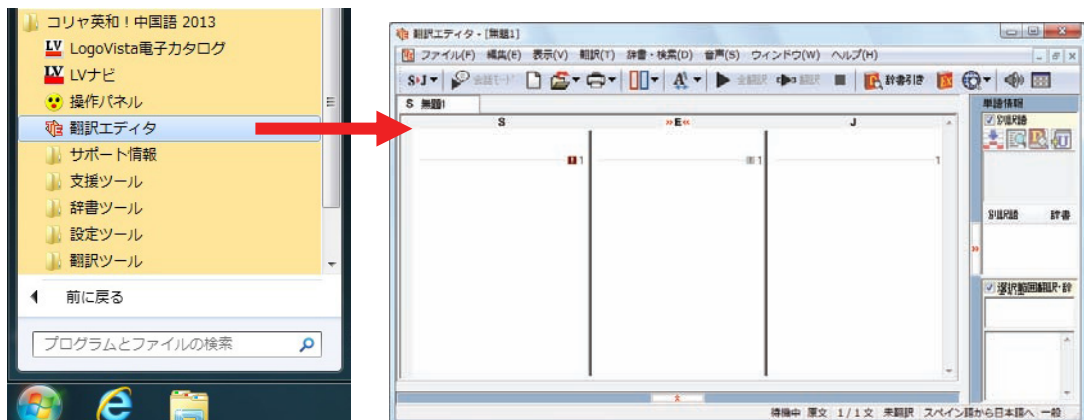
- デスクトップの[コリヤ英和！操作エディタ]をダブルクリックします。[翻訳エディタ]ウィンドウが表示されます。



- デスクトップの[コリヤ英和！操作パネル]をダブルクリックして[操作パネル]を起動し、[翻訳エディタ]ボタンをクリックします。[翻訳エディタ]ウィンドウが表示されます。



- [スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[コリヤ英和！〇〇語]→[翻訳エディタ]の順に選択します。[翻訳エディタ]ウィンドウが表示されます。



翻訳エディタで扱えるファイル形式

翻訳エディタでは、原文として以下のファイル形式の文書を開いて翻訳することができます。

- テキストファイル(拡張子「.txt」)
- HTML ファイル(Web ブラウザで保存されたファイルまたは Web ページ、拡張子「.htm」「.html」など)
- Word の文書ファイル(拡張子「.doc」「.docx」)
- リッチテキスト形式のファイル(拡張子「.rtf」)
- Acrobat ファイル(拡張子「.pdf」)



- HTML ファイル、Word の文書ファイルやリッチテキスト形式のファイルを読み込んだときは、フォントやスタイルなどの書式情報は失われます。
- 読み込めるファイルのサイズは、約 4MB(30,000 文程度)までです。
- Word の文書ファイル、リッチテキストファイルを読み込むためには、Word 2000/2002/2003/2007/2010 のいずれかが必要です。
- PDF ファイルを読み込むためには、Acrobat Reader 8.0 以降が必要です。



- 英語・フランス語・ドイツ語・イタリア語・ポルトガル語・スペイン語・ロシア語の文は、大文字で始まり、ピリオド・疑問符・感嘆符で終わるのが原則です。
ピリオド(.)・疑問符(?)・感嘆符(!)の後にスペース・タブ・改行コードのいずれかが続き、更に次の語句が大文字で始まる場合、文の切れ目と認識します。
タブ・コロン(:)・セミコロン(;)は、見出しなど翻訳の区切りとして認識しますが文の切れ目とは認識されません。
- 日本語の文は、句点・疑問符・感嘆符で終わるのが原則です。
全角の句点(。)・疑問符(?)・感嘆符(!)で文の区切りとします。これらの後に括弧が続いても構いません。
- 韓国語の文は、ピリオド・疑問符・感嘆符で終わるのが原則です。
半角のピリオド(.)・疑問符(?)・感嘆符(!)を文の区切れとします。
- 中国語の文は、句点・疑問符・感嘆符で終わるのが原則です。
全角の句点(。)、全角または半角の疑問符(?!/?)・感嘆符(!/!)で文の区切りとします。
- 2 つ以上の改行コードは文末と認識します。
見出しや箇条書きのように句読点を含まない文の場合は、次の文とつながらないように、改行を 2 つ以上入れます。

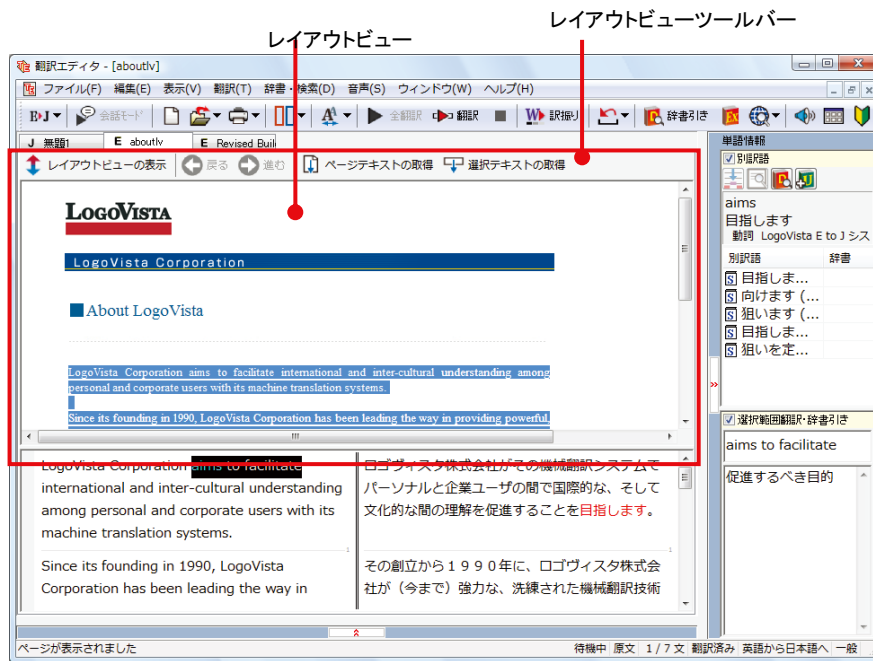
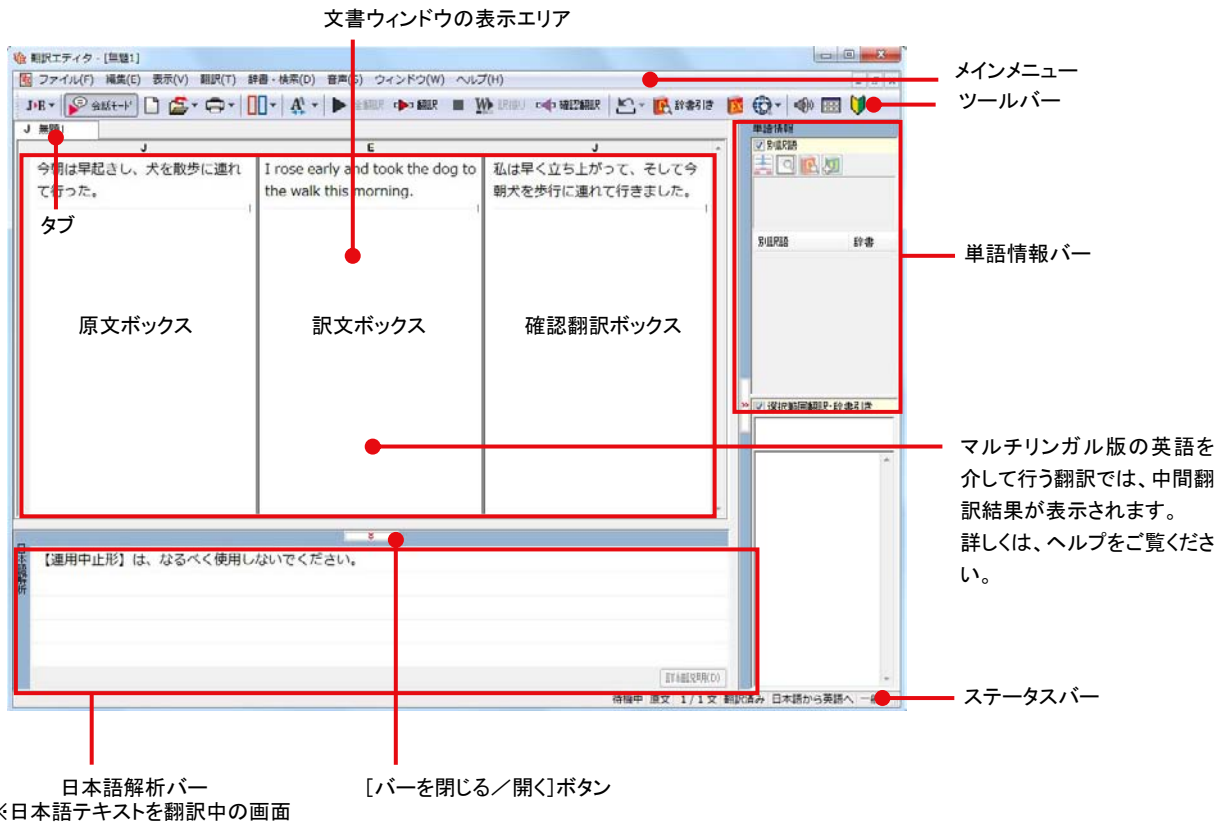


英文の場合、単語の区切りに 3 つ以上の連続したスペース記号を入れると、タブ記号として処理され、スペース記号が 2 つ以下のときと翻訳結果が異なります。特に必要がなければ、スペース記号の入力は、2 つ以下にしてください。

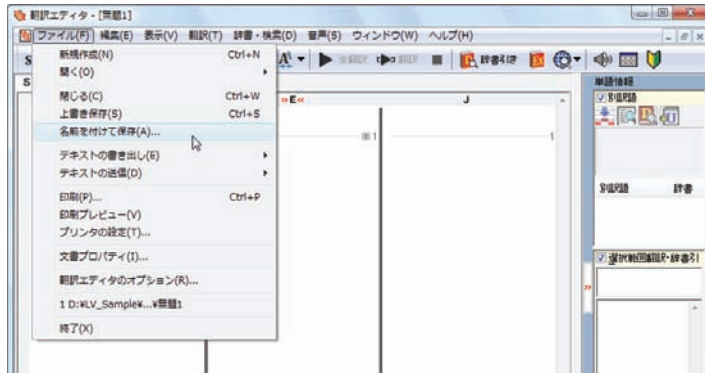
翻訳結果は、次のファイル形式に保存、書き出しができます。

- 翻訳エディタ専用の文書ファイル(拡張子「.krydoc」)
原文や訳文以外に、翻訳方向、翻訳に使用した辞書、翻訳のしかたに関する情報などが含まれます。
- テキストファイル(拡張子「.txt」)
原文のみ、訳文のみ、左右対訳、上下対訳のいずれかの形式でテキストファイルに書き出せます。

翻訳エディタの名称と機能



メインメニュー



■プルダウンメニューの例([ファイル]メニュー)

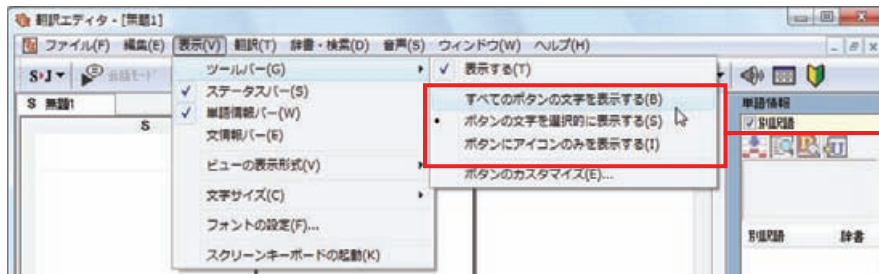
翻訳エディタのコマンドがメニュー形式でまとめられています。操作方法は、一般的な Windows のアプリケーションと同じです。メニュー項目をクリックすると、プルダウンメニューが表示され、その中から実行するコマンドを選択します。

◀メインメニューのコマンドについてはオンラインヘルプをご覧ください。

ツールバー

よく使用する翻訳エディタのコマンドがボタンの形式でまとめられています。クリックすると、実行できます。

ツールバーの表示形式は、[表示]メニューの[ツールバー]のサブメニューで設定できます。[すべてのボタンに文字を表示する][ボタンの文字を選択的に表示する][ボタンにアイコンのみを表示する]のいずれかを選択できます。



ツールバーにコマンド名を表示するかどうかを設定

[すべてのボタンの文字を表示する]



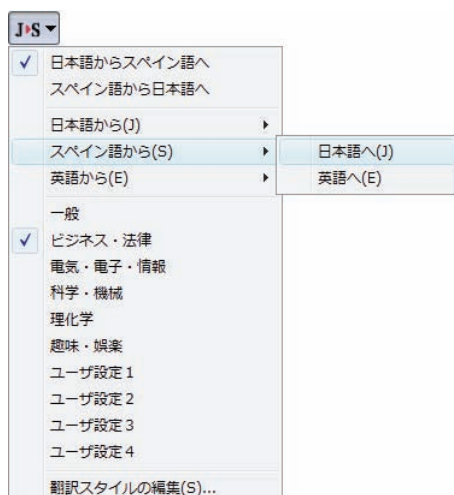
[ボタンの文字を選択的に表示する]



[ボタンにアイコンのみを表示する]



[翻訳方向]ボタン



翻訳する原語と訳語、翻訳スタイルの選択を行います。上ふたつのメニューでは、現在選択されている言語の組み合わせで、翻訳方向を変更できます。

[会話モード]ボタン

日本語から英語または欧州言語への翻訳のときに有効になります。クリックしてボタンを押し込んだ状態にすると会話翻訳モードになります。会話翻訳モードでは、話し言葉を適切に翻訳するように、翻訳オプションが調整されます。

[新規作成]ボタン

新しい文書を開き、空の文書ウィンドウを表示します。

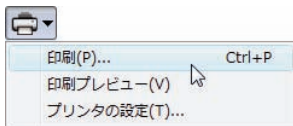
[開く]ボタン



クリックすると、文書や Web ページを開くためのメニューが表示されます。

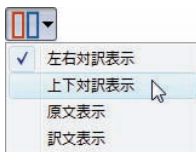
[開く]では、保存してある翻訳エディタ専用の文書ファイル(拡張子「.krydoc」)や、翻訳したいテキストファイル、Word 文書ファイル、PDF などを開くことができます。[お気に入りを開く]、[URL を開く]では、Web ページを開くことができます。

[印刷]ボタン



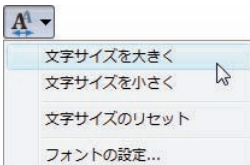
クリックすると、文書の印刷に関するメニューが表示されます。

[表示形式]ボタン



文書ウィンドウの表示形式を変更できます。[左右対訳表示][上下対訳表示][原文表示][訳文表示]のいずれかの形式を選択できます。

[文字]ボタン



文書ウィンドウに表示する文字サイズやフォントを変更します。

[文字サイズを大きく][文字サイズを小さく][文字サイズのリセット]では、原文ボックス、訳文ボックス、文情報バー、単語情報バーすべての文字サイズを同時に変更します。[フォントの設定]では、言語ごとにフォントと文字サイズを指定できます。

[全翻訳]ボタン

原文ボックスのすべての未翻訳の原文を翻訳し、訳文ボックスに訳文を表示します。翻訳後、編集した原文も翻訳対象にします。

[翻訳]ボタン

ポインタが置かれている原文、または選択されている複数の原文を翻訳し、訳文を訳文ボックスに表示します。

[翻訳中止]ボタン

実行中の翻訳を中止します。

[辞書引き]ボタン

選択した語句を翻訳辞書で辞書引きします。

[例文検索]ボタン

状況に応じたさまざまな例文を検索して、編集中の文書に転送できます。

[Web 検索]ボタン



選択した語句を、検索サイトで検索します。[Google Web 検索][Yahoo! Web 検索][翻訳サーチ]のいずれかを選択できます。

[読み上げ]ボタン

選択した文を音声読み上げします。

[スクリーンキーボードの起動]ボタン

スクリーンキーボードを起動します。英語に含まれないアルファベットやアクセント記号などを入力するときに便利です。

[ナビ]ボタン

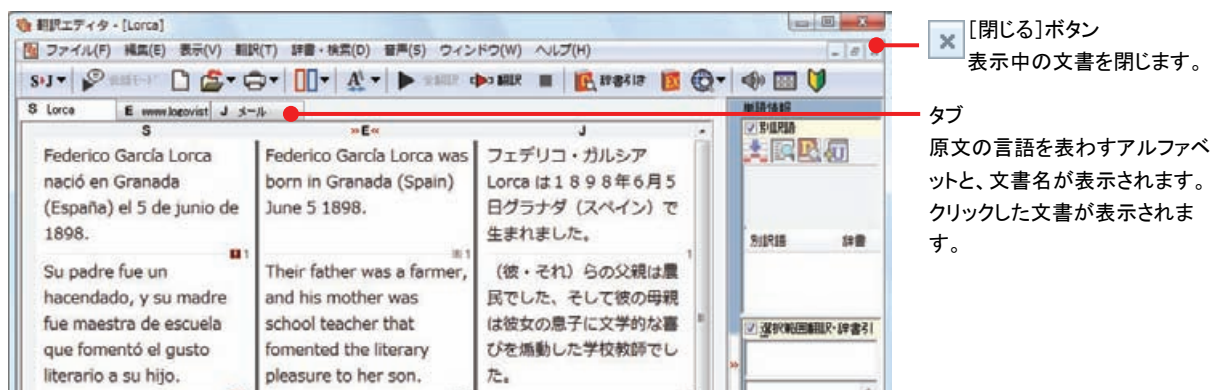
コリヤ英和！-LV ナビのウィンドウを表示します。

文書ウィンドウの表示エリア

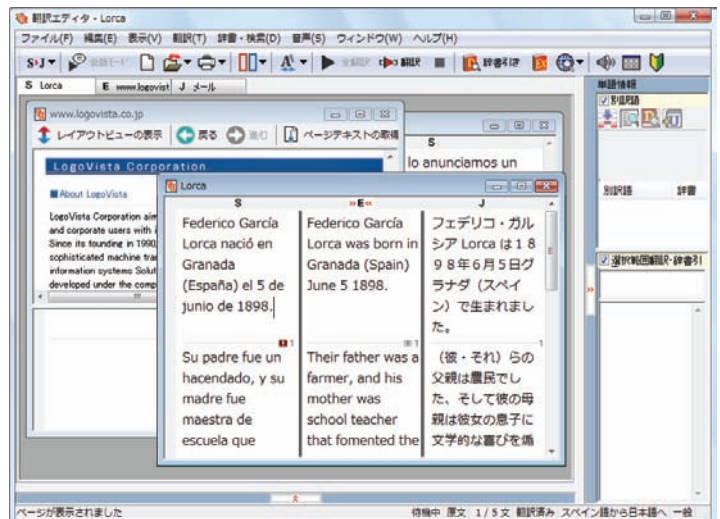
翻訳エディタでは、原文と訳文を含む文章のセットを1つの文書として扱い、文書ウィンドウに表示します。

初期状態の翻訳エディタでは、文書ウィンドウは最大化され、[コリヤ英和！翻訳エディタ]ウィンドウと一体化しています。複数の文書を開いたときは、タブまたはウィンドウメニューで表示する文書を選択できます。

表示中の文書を閉じるときは、 [閉じる]ボタンをクリックするか、タブを右クリックしてコンテキストメニューから[閉じる]を選択します。



文書ウィンドウを最小化または拡大表示して、複数の文書を同時に表示することもできます。これは複数文書を扱える一般的な Windows のアプリケーションと同じです。



文書ウィンドウ

原文ボックス

翻訳元のテキストを入力するボックスです。翻訳エディタはこのボックスにあるテキストを翻訳します。原文ボックスには、次のいずれかの方法でテキストを入力できます。

- キーボードから直接入力する
- ファイルに保存されたテキストを読み込む
- アプリケーション上から、テキストをコピー&貼り付け、またはドラッグ&ドロップする
- OCR ソフトでテキストファイルに保存されたテキストを読み込む

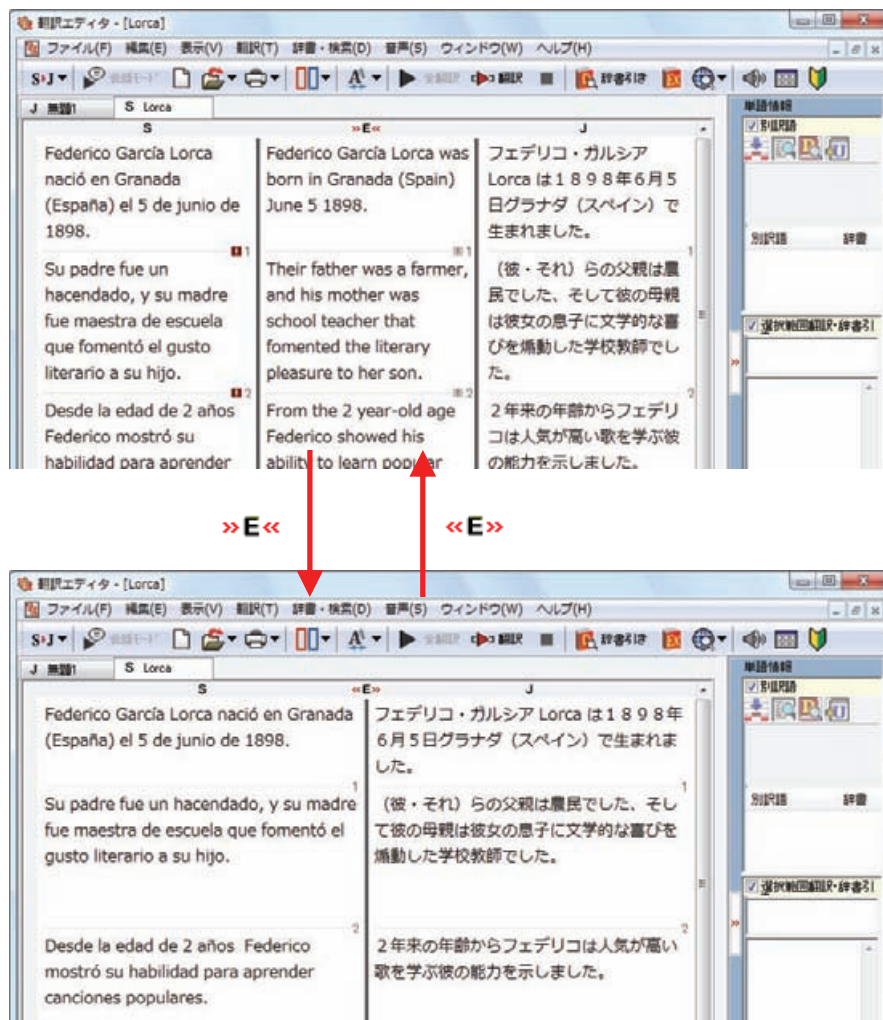
原文ボックスのテキストは[編集]メニューのコマンドやキーボードで編集できます。翻訳済みの原文テキストを編集すると、その文が自動的に再翻訳されます。

訳文ボックス

翻訳された訳文が表示されます。1 文ごとに原文に対応する形で表示されます。訳文ボックスのテキストは、[編集]メニューのコマンドやキーボードで編集できます。

中間翻訳結果ボックス(三面エディタ表示)

日本語と欧州言語間の翻訳など、英語を介して翻訳するときに表示されます。原文を中間言語である英語に翻訳した結果が表示されます。中間翻訳結果ボックスの内容を編集すると、翻訳が行われ、訳文に反映されます。中間翻訳結果ボックスの表示、非表示は、**<<E>>** [中間翻訳結果を開く]ボタン / **>>E<<** [中間翻訳結果を閉じる]ボタンをクリックして切り替えます。



単語情報バー

単語情報バーには、原文ボックスまたは訳文ボックスで選択した単語に関する情報が表示されます。
単語情報バーの表示／非表示は、**≪**[バーを開く]ボタン／**≫**[バーを閉じる]ボタンをクリックして切り替えます。

[別訳語]には、単語対応表示させた単語の別訳語が表示されます。
[選択範囲翻訳・辞書引き]には次のいずれかの情報が表示されます。

- 原文ボックスまたは訳文ボックスで単語を選択したとき → 選択した単語の辞書引き結果
- 原文ボックスまたは訳文ボックスで文の一部(複数の単語)を選択したとき → その部分の翻訳結果

文情報バー

文情報バーには、原文ボックスまたは訳文ボックスでカーソルが置かれた文に関する情報が表示されます。
文情報バーの表示／非表示は、**☒**[バーを閉じる]ボタン／**☒**[バーを開く]ボタンをクリックして切り替えます。

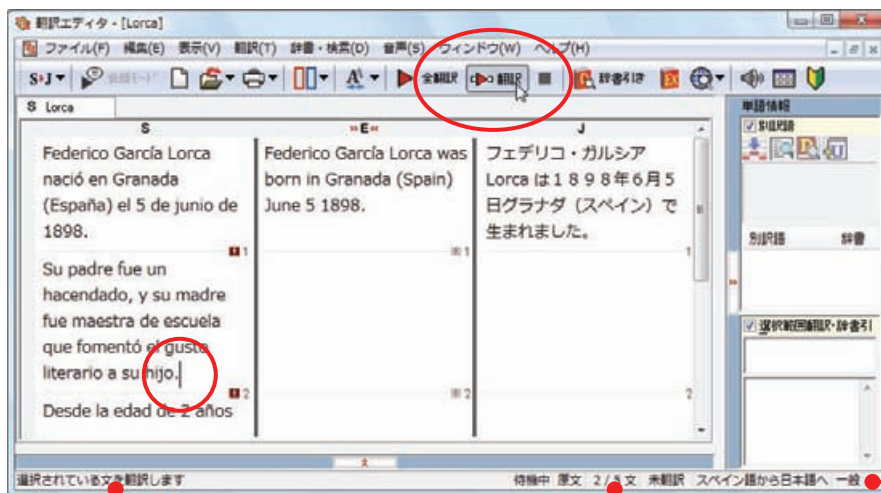
[日本語解析]は、日本語から別の言語に翻訳する時に有効になります。原文を分析し、翻訳に誤りが出そうなあいまい要素があった場合は、その情報の文頭部分を表示します。読みたい情報を選択して[詳細説明]をクリックすると、[日本語解析の詳細説明]ウィンドウが開き、情報の全文が表示されます。情報を参考に原文を修正することで、訳文がより正確になることが期待できます。

[確認翻訳]には、翻訳結果の文を、再度、オリジナル言語へと逆方向に翻訳し直した結果が表示されます。確認翻訳された文が原文テキストとほぼ同じ意味であれば、翻訳がかなり正確だと判断できます。

日本語と欧州言語間など、英語を介して翻訳する時には、訳文から中間言語に翻訳し直した結果も表示されます。

ステータスバー

コマンドボタンの説明や、現在行われている作業の内容(待機中、翻訳中など)、ポインタの位置の情報(原文、中間、訳文、行数)を表示します。また、選択されている翻訳方向や翻訳スタイルも表示されます。



マウスカーソルが置かれている

ポインタの位置の情報

[確認翻訳]ボタンの説明

ステータスバー

2

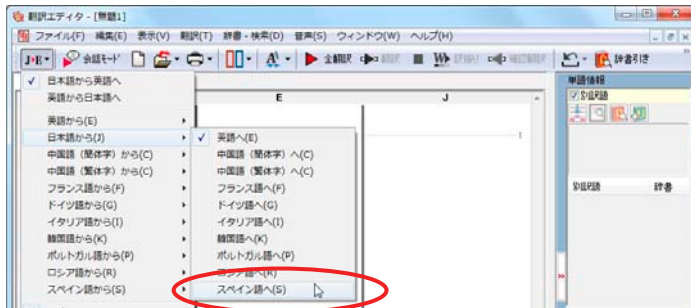
基本的な翻訳の流れ

翻訳エディタの最も基本的な機能を使って、原文の翻訳から、結果を保存・印刷するまでの流れを説明します。

翻訳の準備

翻訳エディタを起動したら、まず翻訳方向と翻訳スタイルを設定し、翻訳する原文を入力します。

1

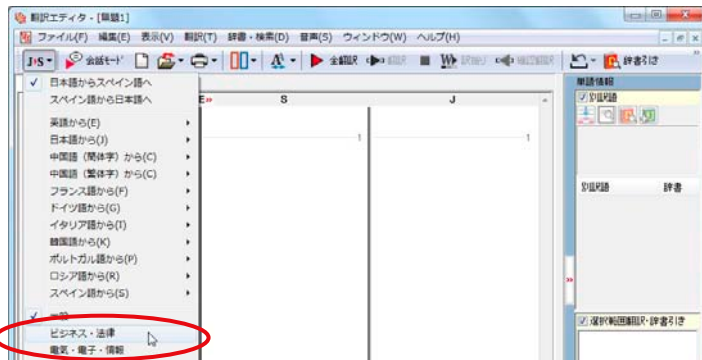


翻訳エディタを起動します。

[翻訳方向と翻訳スタイルの選択]ボタンをクリックし、メニューから原語、サブメニューから訳語をそれぞれ選択します。

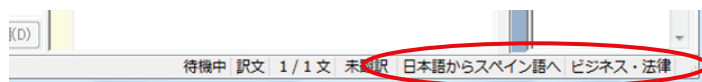
この例では、メニューで[日本語から]、サブメニューで[スペイン語へ]を選択します。

2



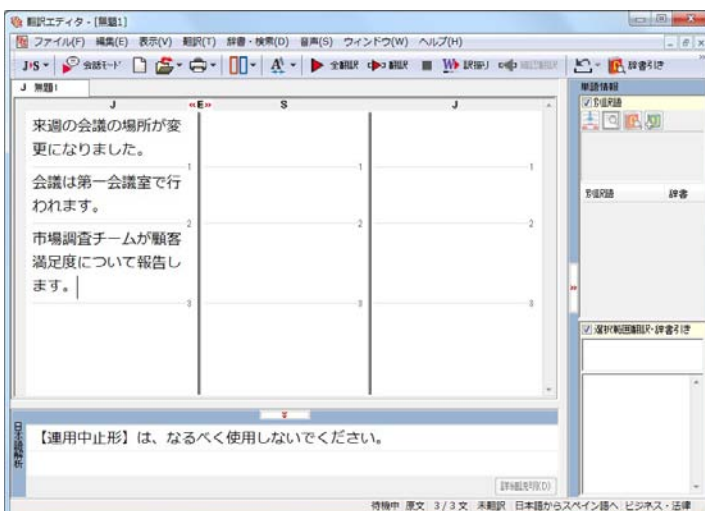
再度、[翻訳方向と翻訳スタイルの選択]ボタンをクリックし、翻訳スタイルを選択します。

この例では、[ビジネス・法律]を選択します。



選択した翻訳方向と翻訳スタイルがステータスバーに表示されます。

3



翻訳する原文を入力します。

これで翻訳の準備ができました。

翻訳する

入力した原文は、[全翻訳]または[翻訳]ボタンで翻訳できます。

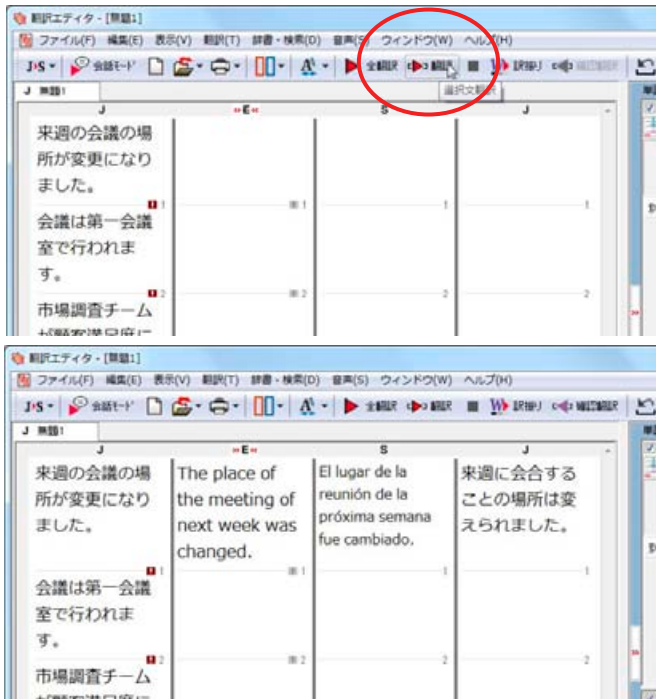


- [選択文翻訳]は、翻訳・未翻訳に関わらず、ポインタが置かれている原文または選択している複数の原文を翻訳します。
- [すべて翻訳]は、未翻訳のすべての原文を頭の行から順次翻訳します。



いちど翻訳した後に原文を編集した場合、その原文も「未翻訳」として扱われます。

1



最初の文だけを翻訳してみましょう。

1文目の原文にポインタを置き、[翻訳]ボタンをクリックします。

1文目が翻訳され、中間翻訳結果ボックスや訳文ボックスに結果が表示されます。

このように[翻訳]では、ポインタの置かれた文だけを翻訳します。

2



残りの文をまとめて翻訳してみましょう。

[全翻訳]ボタンをクリックします。

未翻訳のすべての原文が翻訳され、訳文ボックスのそれぞれの行に訳文が表示されます。



- 翻訳エディタには、訳文の精度を上げていくための、さまざまな機能が用意されています。詳しくは「3 外国語を翻訳してみよう」、「4 日本語を翻訳してみよう」をお読みください。

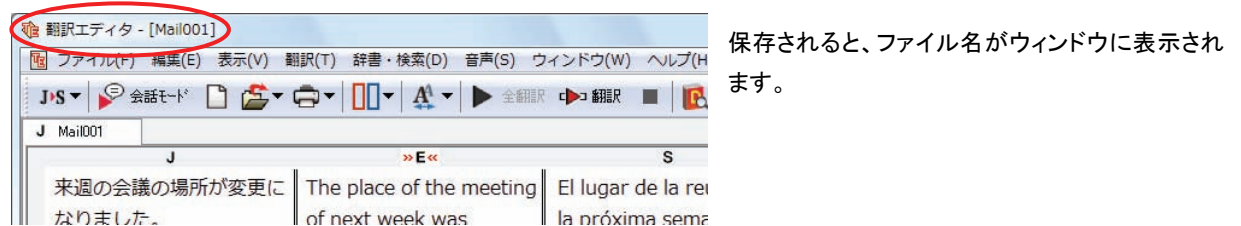
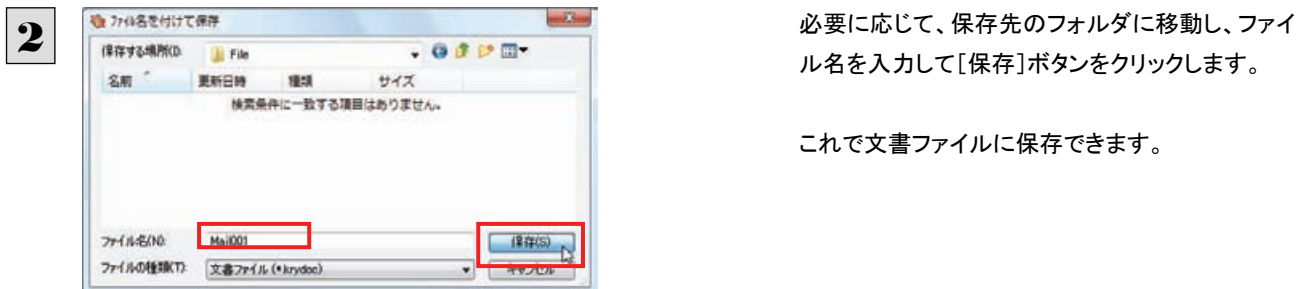
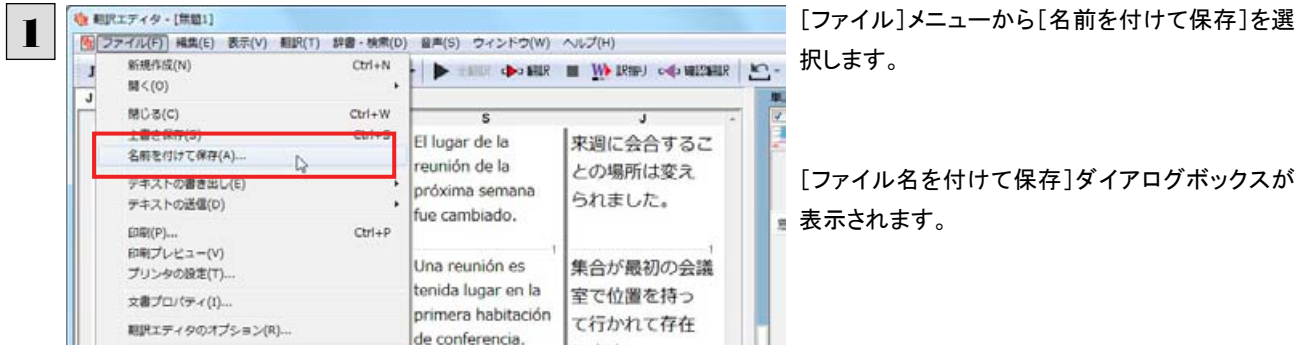
翻訳結果を保存する

翻訳結果は翻訳エディタ専用の文書ファイルに保存できます。文書ファイルには、原文と訳文のほか、中間翻訳結果、翻訳方向や使用した翻訳スタイルなどの情報も記録され、翻訳エディタでの作業内容がそのまま保存されます。

また、翻訳結果を別のアプリケーションソフトなどで利用したい場合は、テキスト形式のファイルに書き出すことができます。

文書ファイルに保存する

翻訳結果を翻訳エディタ専用の文書ファイルに保存します。



ヒント → すでに保存してある文書ファイルに上書き保存するときは、[上書き保存]コマンドか[保存]ボタンを使います。まだ保存したことがない文書の場合は、[ファイル名を付けて保存]ダイアログボックスが表示されます。

テキストファイルに書き出す

テキストファイルには、次のいずれかの形式で書き出しができます。

- 原文のみ
- 訳文のみ
- 左右対訳: 原文(タブ) 訳文(改行)という形式で書き出します。
- 上下対訳: 原文(改行) 訳文(改行) (改行)という形式で書き出します。

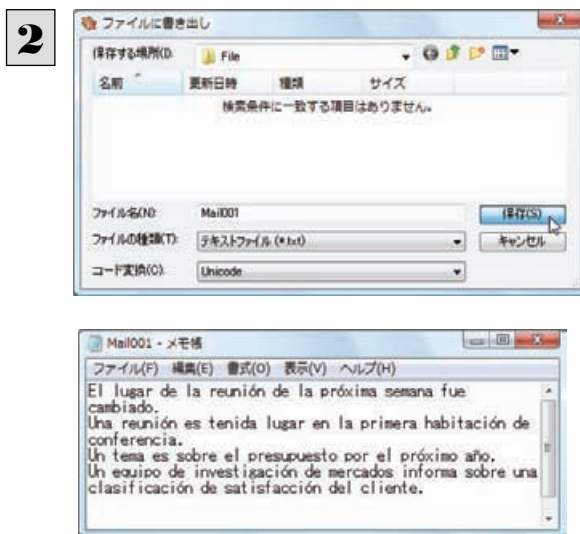
ここでは「訳文のみ」の形式で書き出してみましょう。

ヒント → いずれの形式でも、中間翻訳結果は含まれません。



[ファイル]メニューから[テキストの書き出し]を選択し、サブメニューから[訳文のみ]を選択します。

[ファイルに書き出し]ダイアログボックスが表示されます。



必要に応じて、保存先のフォルダに移動してファイル名を入力し、[保存]ボタンをクリックします。

訳文ボックスの内容が、テキストファイルに書き出されます。

左の画面例は、書き出されたテキストファイルをメモ帳で開いたものです。

このように、1文ごとに改行して保存されます。



MAPI 対応のメーラ (Windows メール、Outlook など) をお使いの場合は、翻訳結果を利用して新規メールを作成できます。ファイルメニューの [テキストの送信] コマンドを選択し、原文・訳文の書き出し方の形式を選択すると、翻訳結果のテキストファイルが添付された新規メールが作成されます。なお、書き出されるテキストが英語または日本語の場合は、添付ファイルとならずに直接新規メールに入力されます。

翻訳結果を印刷する

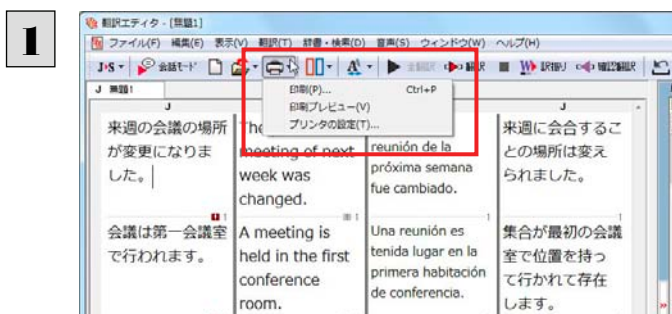
翻訳結果を印刷してみましょう。

翻訳エディタではビューの表示形式に応じて印刷することができます。

最初に表示形式ボタンから、印刷する表示形式を決めておきます。

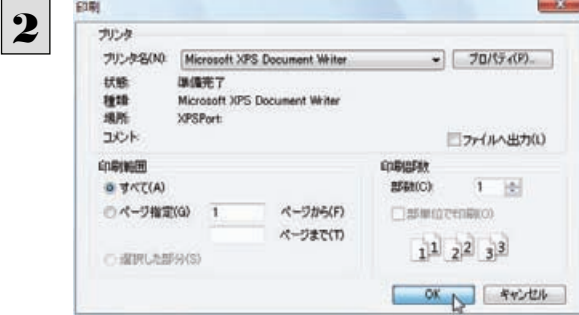
プリンタの設定

最初に印刷するプリンタや用紙サイズ、用紙の向きなどの設定を行います。



[印刷]ボタンをクリックし、表示されるメニューから[プリンタの設定]を選択します。

[プリンタの設定]ダイアログボックスが開きます。



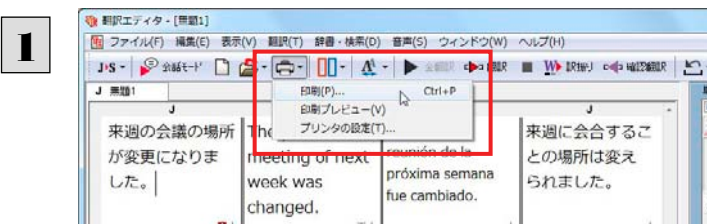
印刷するプリンタや用紙サイズ、用紙の向きなどを設定します。このダイアログの機能は、他のWindowsのアプリケーションと共通です。設定できたら[OK]ボタンをクリックします。



ご使用のプリンタによって、ダイアログの内容は異なります。

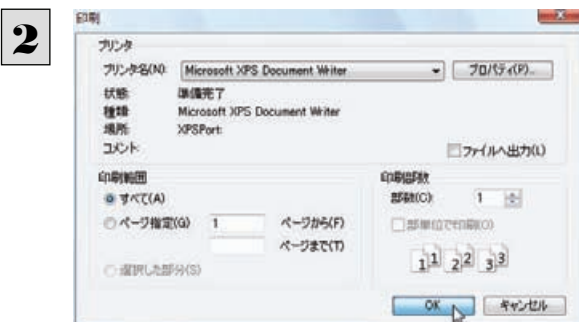
印刷の実行

印刷を実行する前に、プリンタが接続され、印刷できる状態になっていることを確認してください。



[印刷]ボタンをクリックし、表示されるメニューから[印刷]を選択します。

[印刷]ダイアログボックスが表示されます。



印刷部数などを設定し、[OK]ボタンをクリックします。

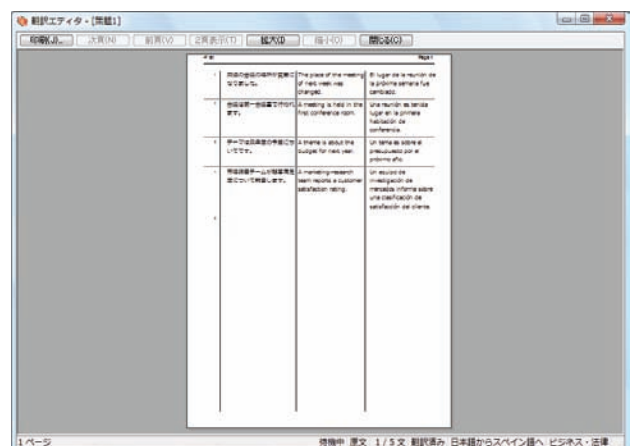


ご使用のプリンタによって、ダイアログの内容は異なります。

印刷が実行されます。



- 印刷前に、印刷されるイメージを画面に表示して確認できます。確認するときは、[印刷]ボタンをクリックし、表示されるメニューから[印刷プレビュー]コマンドを選択します。図のようなプレビュー画面が表示され、どのように印刷されるかが確認できます。



- 中間翻訳結果ボックスを表示した状態で印刷すると、中間翻訳結果も含めて印刷されます。また、左右対訳表示形式で原文と訳文のみ印刷したいときは、中間翻訳結果ボックスを非表示にした状態で印刷します。

- [ファイル]メニューの[翻訳エディタのオプション]コマンド[印刷]タブでは、印刷に関する次の設定ができます。

- ・原文表示や訳文表示の印刷時に、文のセパレータを印刷するかどうか。
- ・ヘッダーを付けるかどうか。
- ・余白をあけるかどうか。
- ・左右対訳表示の印刷時に文番号を付けるかどうか。

3 外国語を翻訳する

外国語の文を日本語に翻訳し、適切な訳文に仕上げるための機能や注意点を紹介します。

ここでは、スペイン語を日本語に翻訳する例で説明しますが、他の言語でも同様の操作ができます。

単語対応表示を使って原文にミスがないかチェックする

不自然な訳文になってしまった場合、その原因がタイプミスやOCRの認識ミス等、原文の不備である場合がよくあります。訳文の意味が通らないときは、まず不自然な箇所を単語対応表示でチェックすることで、原文のミスを見つけて修正することができます。

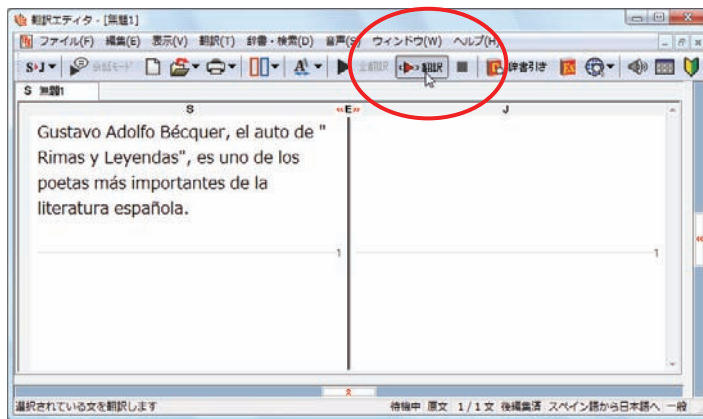
ここでは、次の文を翻訳する例で紹介합니다。

Gustavo Adolfo Bécquer, el auto de "Rimas y Leyendas", es uno de los poetas más importantes de la literatura española.

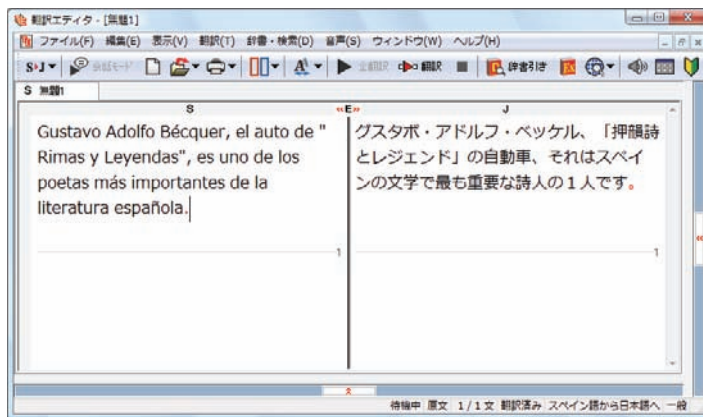
上の文では、“autor”とするべき部分が、タイプミスで“auto”となっています。

なお、この例では原則的に中間翻訳結果ボックス、単語情報ボックスを非表示にした画面例で説明します。

1



原文をクリックしてポインタを置き、[翻訳]ボタンをクリックします。

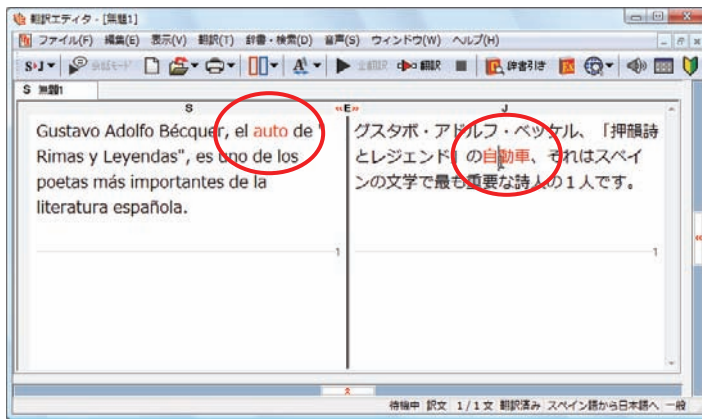


原文が翻訳され、次の翻訳結果が訳文ボックスに表示されます。

グスタボ・アドルフ・ベッケル、「押韻詩とレジェンド」の自動車、それはスペインの文学で最も重要な詩人の1人です。

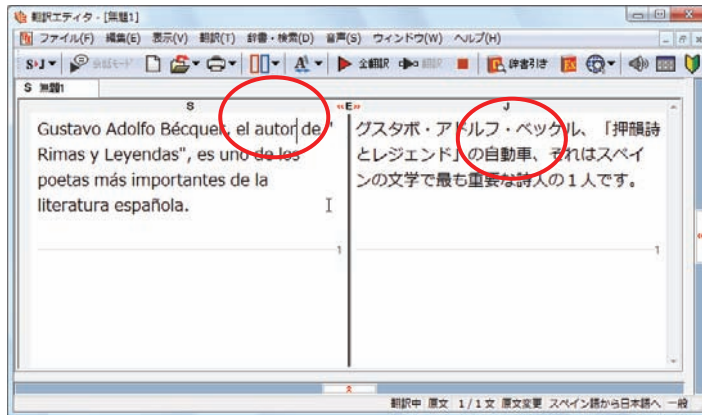
原文では、“autor”という単語が“auto”と誤って入力されているため、不自然な文に訳出されてしまいました。そこで、原文を修正し、再度翻訳してみましょう。ここではすでに、修正するべき単語がわかっています。しかし実際の翻訳では、まず、間違っている単語を見つけなければなりません。この作業は、翻訳エディタの単語対応の機能を使えば簡単にできます。

2



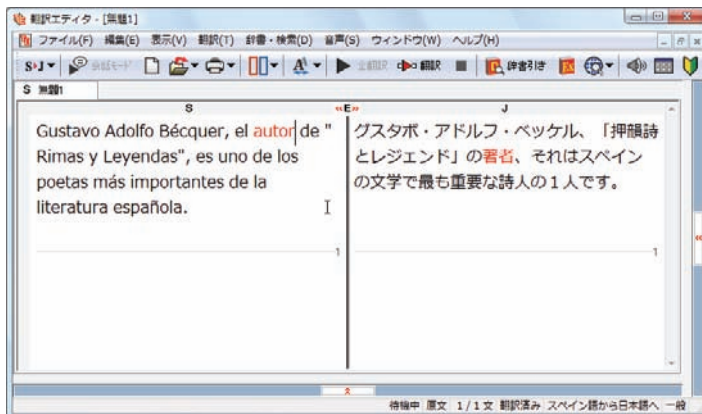
訳文の "自動車" という部分をクリックします。訳文の"自動車"と原文の " auto " が赤で表示されます。これで "自動車" を改善するためには、対応する " auto " を修正すればよいことが分かります。

3



"auto" の最後に "r" を入力します。

翻訳済みの原文を編集すると、すぐに再翻訳が実行されます。



グスタボ・アドルフ・ベッケル、「押韻詩とレジェンド」の著者、それはスペインの文学で最も重要な詩人の1人です。

意味の通る訳文になりました。

このように、翻訳結果が思わしくないときは、まず不自然な部分を単語対応で検討することで、原文に不備がなかったかどうかをチェックできます。



編集後の単語対応表示について

翻訳語に文を編集すると、単語対応表示は次のようになります

原文を編集

編集後、再翻訳が実行されます。原文、中間翻訳結果、訳文の単語対応も見直されるので、編集後も単語対応を表示できます。

訳文を編集

編集した部分の単語対応が無効になります。それ以外の部分は、原文、中間翻訳結果、訳文の単語対応を表示できます。

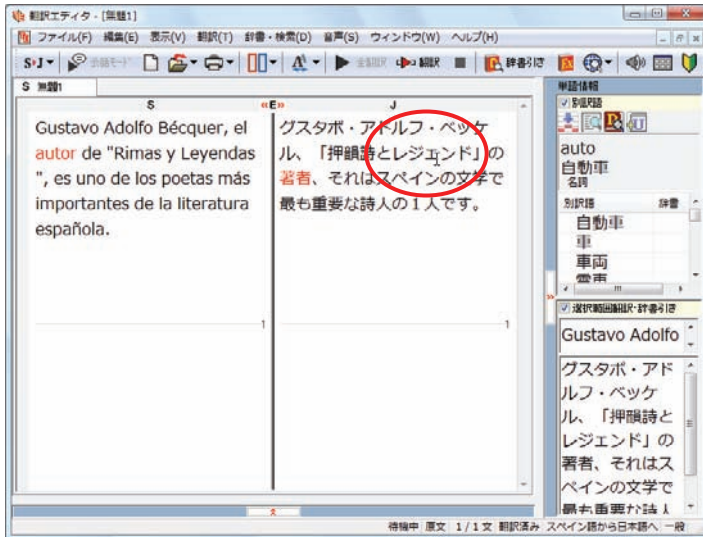
中間翻訳結果を編集

編集後、中間翻訳結果の再翻訳が実行されます。このため、中間翻訳結果と訳文の単語対応は表示できますが、原文の単語対応は表示できなくなります。

別の訳語を選択する

ある単語の訳語はひとつだけではありません。コリヤ英和! 各国語は、もともと使用頻度の高い訳語を使って翻訳を行いますが、別の訳語を選んだ方が、より好ましい訳文になることもあります。そこで翻訳エディタには、翻訳後、任意の単語に対する訳語の一覧を表示して、別の訳語に変更する機能が用意されています。

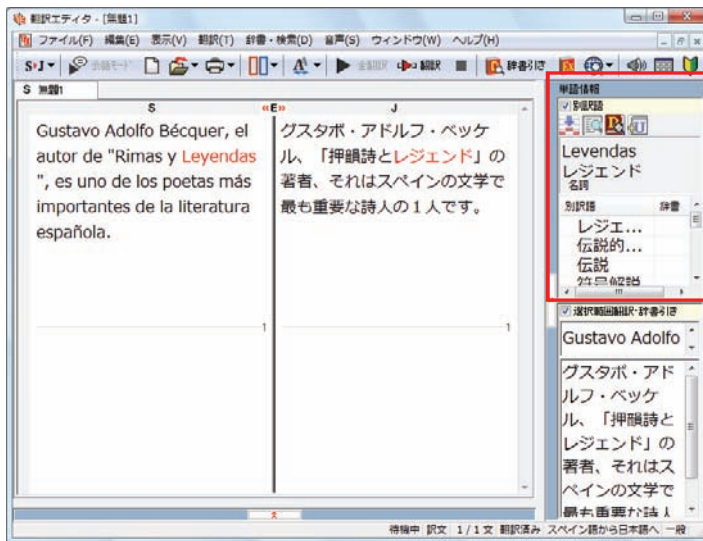
1



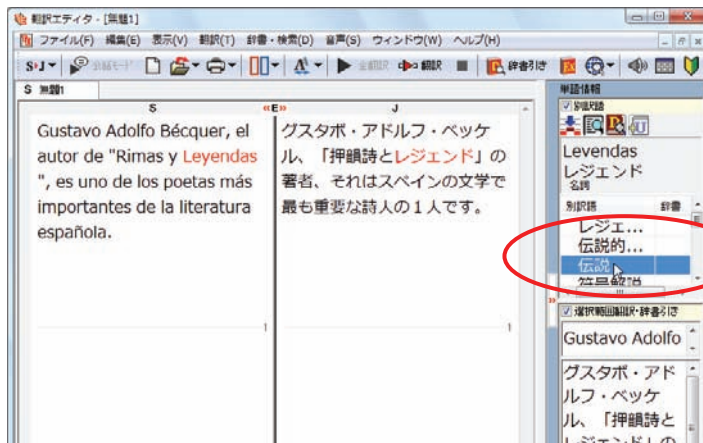
単語情報ボックスを表示しておきます。

先程、翻訳した和文の"レジェンド"にマウスカーソルを合わせ、マウスをクリックします。

原文の "Leyendas" と "レジェンド" が赤で単語対応表示されます。また、単語情報バーの[別訳語]に"Leyendas"に対する訳語の一覧が表示されます。

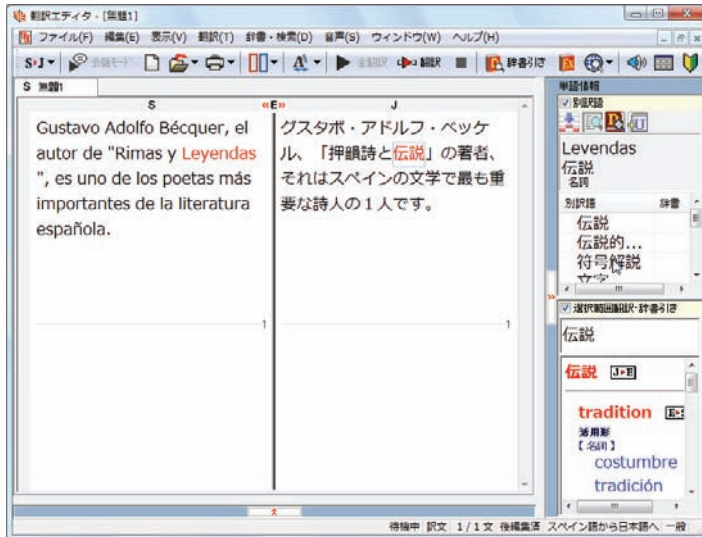


2



別訳語の一覧から、"伝説"をダブルクリックします。

訳文の"レジェンド"が"伝説"に変わります。



グスタボ・アドルフ・ベッケル、「押韻詩と伝説」の著者、それはスペインの文学で最も重要な詩人の1人です。

このように、別訳語を選ぶことで、より適切な訳文になりました。

ユーザ辞書を使用する

コリヤ英和！各国語には、ユーザ自身が語句を登録できるユーザ辞書の機能があります。コリヤ英和！各国語が訳せなかった単語や固有名詞などを登録していくことで、翻訳の精度が上がっていきます。



欧州言語から日本語への翻訳では、複数のユーザ辞書の使い分けができます。詳しくは第2章の「3 翻訳スタイルの選択ボタンの使い方」をご覧ください。



●英語から日本語への翻訳では、ユーザ辞書は使用できません。

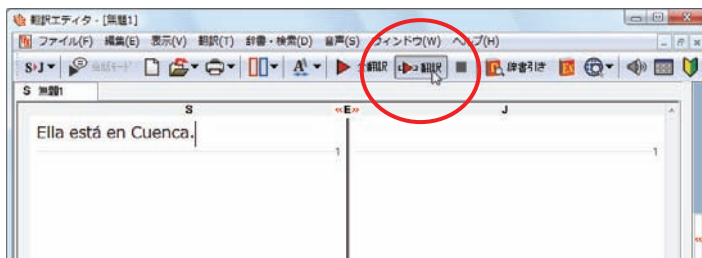
辞書にない単語が含まれる文を翻訳してみる

翻訳エディタで、辞書に登録されていない単語が原文に含まれる場合、どのように翻訳されるかを見てみましょう。

ここでは次の文を翻訳します。

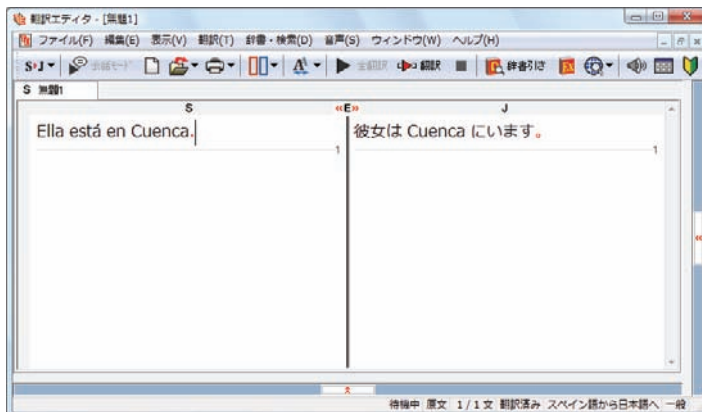
Ella está en Cuenca.

1



原文にポインタをおき、[翻訳]ボタンをクリックします。

原文が翻訳され、翻訳結果が訳文ボックスに表示されます。

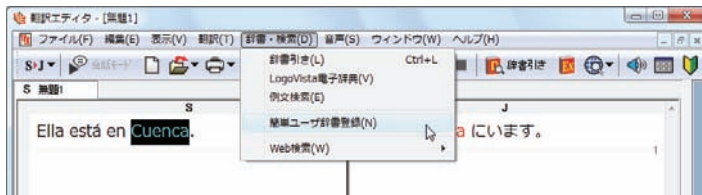


"Cuenca"は地名ですが、辞書に登録されていないため、原語のまま訳出されてしまいました。

ユーザ辞書に語句を登録する

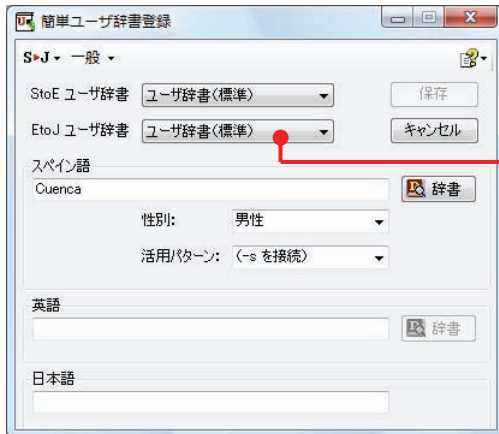
"Cuenca" をユーザ辞書に登録し、再翻訳してみましょう。

1



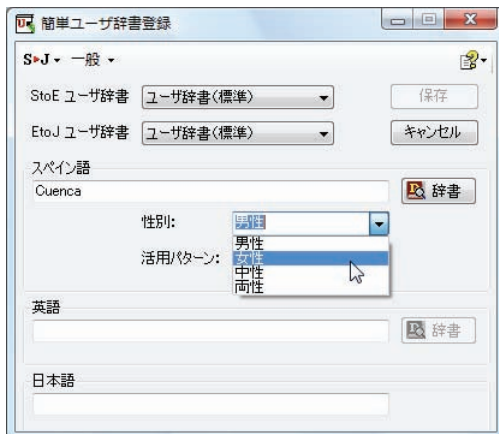
"Cuenca" をマウสดラッグで選択して、[辞書・検索]メニューから[簡単ユーザ辞書登録]をクリックします。

[簡単ユーザ辞書登録]ダイアログボックスが表示されます。スペイン語の欄には、選択した"Cuenca"が自動的に入力されます。



選択中の翻訳スタイルに中間言語と日本語間のユーザ辞書が複数ロードされているときは、登録先のユーザ辞書を選択できます。

2



必要に応じて、単語の性別、活用パターンを設定します。

3



次の各欄に入力します。

英語 Cuenca

日本語 クエンカ

入力したら、[保存]ボタンをクリックします。

これで登録が終了し、[簡単ユーザ辞書登録]ダイアログボックスが閉じます。



単語登録で入力する項目は、選択した品詞によって異なります。詳しくはオンラインヘルプを参照してください。

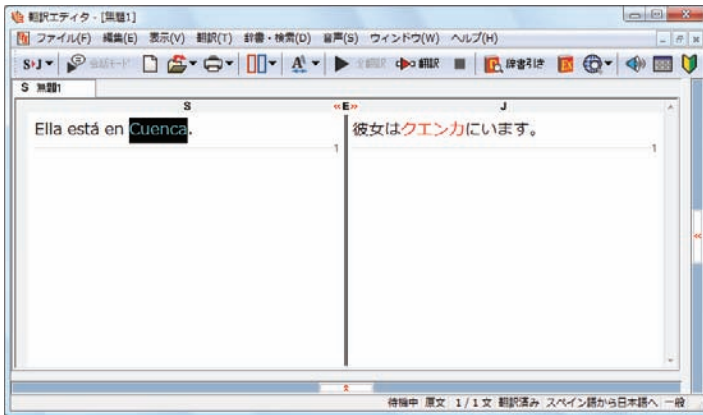
再翻訳する

1



翻訳エディタの[再翻訳]ボタンをクリックして、再翻訳してみます。

再翻訳され、"Cuenca" が正しく翻訳されます。



ヒント ユーザ辞書が出典元の語句は、青字で表示されます。

専門辞書・分野辞書を使用する

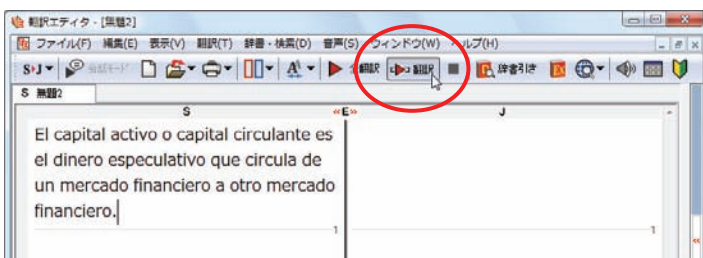
専門辞書や分野辞書は、分野ごとの専門用語が収録された辞書です。翻訳を行う文書に応じて使い分けると、より適切な翻訳結果を得ることができます。ここでは、専門辞書・分野辞書を使うことにより、翻訳結果がどのように変わるかを紹介します。

- ヒント**
- 翻訳に使用できる専門辞書・分野辞書については、本マニュアル第1章の「コリヤ英和！各国語の翻訳に使用できる辞書について」をご覧ください。
 - 分野辞書は、翻訳スタイルの編集ダイアログ上では専門辞書の一環として扱われます。

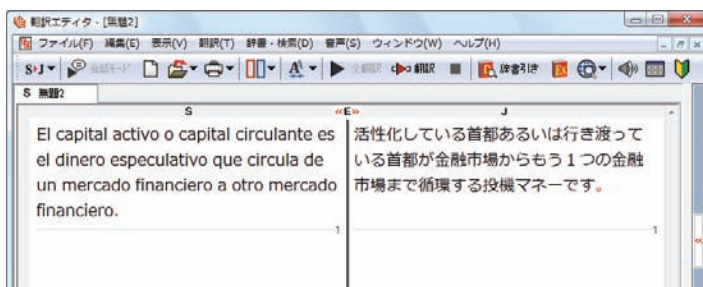
専門辞書なしで翻訳してみる

まずは、専門辞書を利用しない場合、次の文がどのように翻訳されるかを見てみましょう。

1



原文にポインタをおき、[再翻訳]ボタンをクリックします。



次のように翻訳されます。

活性化している首都あるいは行き渡っている首都が金融市場からもう1つの金融市場まで循環する投機マネーです。

"capital"が「首都」と訳されていることがわかります。それでは、専門辞書を利用すると、この文がどのように訳されるか見ていきましょう。

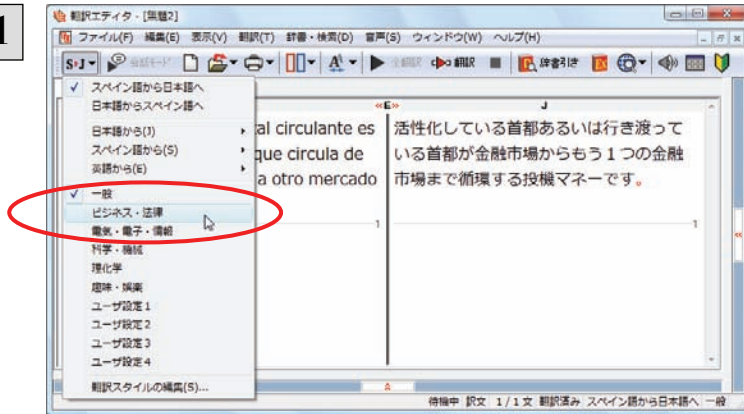
翻訳スタイル「ビジネス・法律」を使って再翻訳する

専門辞書は翻訳スタイルにロードすることで利用できるようになります。ここでは、金融・経済関連の専門辞書があらかじめロードされている翻訳スタイル「ビジネス・法律」を使用して再翻訳してみます。

翻訳スタイルの「ビジネス・法律」には、次の専門辞書がセットされています。

- ・「ビジネス一般 V2」
- ・「金融・経済 V2」
- ・「法律 V2」

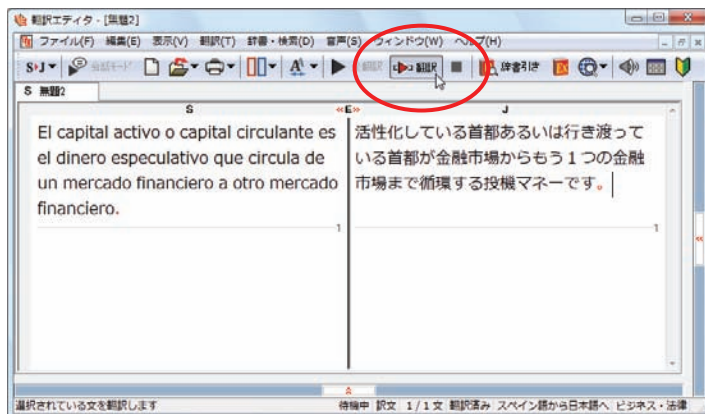
1



[翻訳方向]ボタンをクリックし、メニューから[ビジネス・法律]を選択します。

これで使用する翻訳スタイルが変更されます。

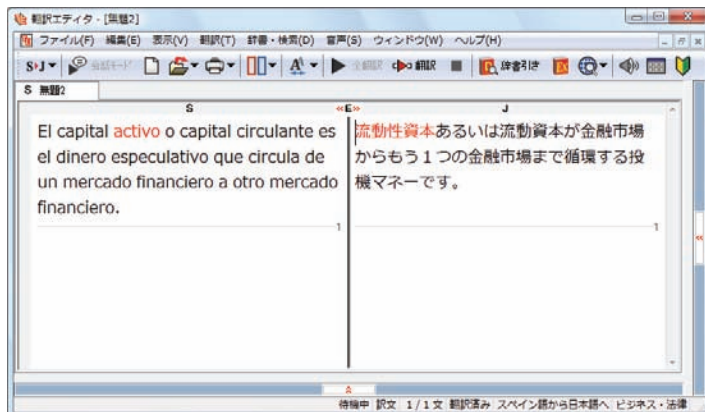
2



翻訳スタイルを「ビジネス・法律」に変更したことによって、翻訳結果がどのように変わるか、見てみましょう。

ポインタを置き、[翻訳]ボタンをクリックします。

専門辞書を使って翻訳が行われ、以前の訳文が次の訳文に入れ替わります。



流動性資本あるいは流動資本が金融市場からもう1つの金融市場まで循環する投機マネーです。

以前は別々の単語として「首都」と訳されていた capital が「資本」と解釈され、それに伴い訳文の前半部分がより適切に翻訳されていることがわかります。

このように、専門辞書・分野辞書を使うことで、専門的な文章をより正しく翻訳することができます。

文末を正しく調整して翻訳する

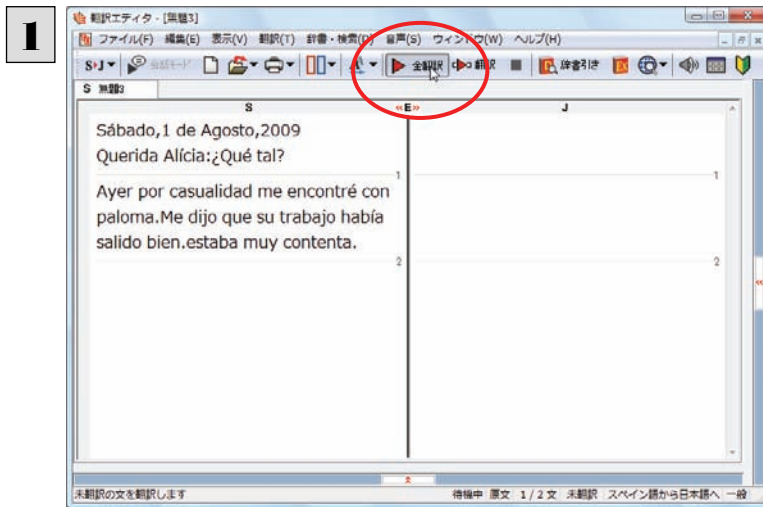
複数の文章をまとめて翻訳するときは、各文の切れ目が明確になっていることが、正しい翻訳を得るためのポイントになります。このためには、ピリオドの後にスペースを挿入する、文頭が大文字になっている等、原文が正しく入力されていることが必要です。

文末が正しくない場合、翻訳結果がどのようなようになるかを確認してみましょう。ここでは次の例文を翻訳します。

Sábado, 1 de Agosto, 2009

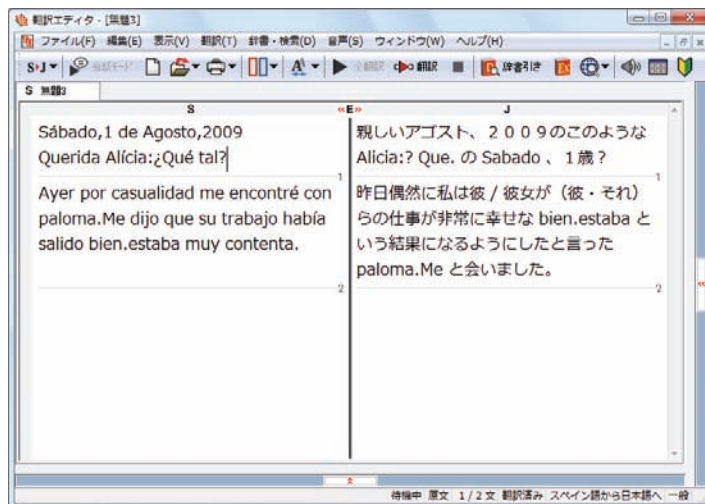
Querida Alicia: ¿Qué tal?

Ayer por casualidad me encontré con paloma. Me dijo que su trabajo había salido bien. estaba muy contenta.



[全翻訳] ボタンをクリックします。

翻訳が行われ、訳文が表示されます。



これが翻訳の結果です。文末が正しく認識されていなかったため、意味のわからない訳文になってしまいました。日付けも翻訳されていません。

親しいアゴスト、2009のこのような Alicia: ? Que. の Sabado、1歳?

昨日偶然に私は彼 / 彼女が(彼・それ)らの仕事がとても幸せな bien. estaba という結果になるようにしたと言った paloma. Me と会いました。

原文を修正して、文末を再判定する.....

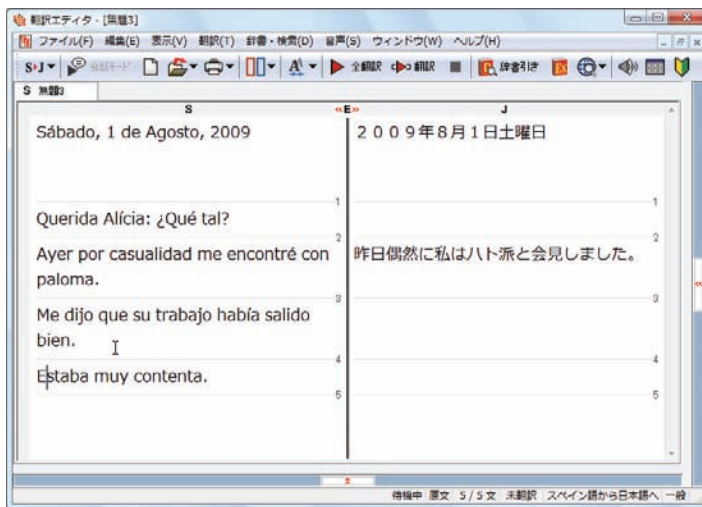
それでは、正しい翻訳になるように修正してみましょう。

1

次の△で示した部分にスペース、↓で示した部分に改行を入力します。また、最後の文の文頭「e」(太字で表示)を大文字に修正します。

Sábado,△1 de Agosto,△2009 ↓
Querida Alicia:△¿Qué tal?
Ayer por casualidad me encontré con paloma.△Me dijo que su trabajo había salido bien. △estaba muy contenta.

修正すると、次の図のようになります。

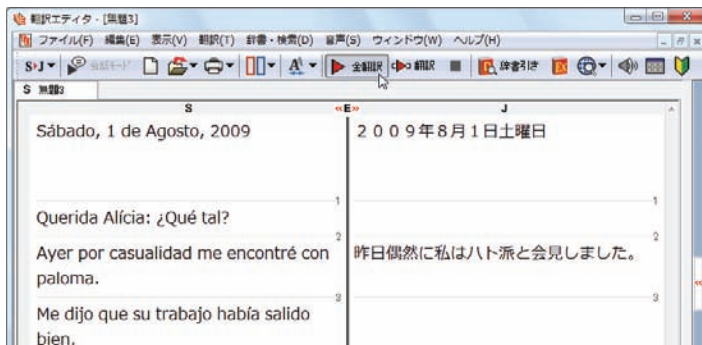


1文目は、スペースが入力されると再翻訳が実行され、日付が正しく翻訳されます。

2文目以降は、スペースが入力されると行末の再判定が実行され、2つの文に分けられます。また最後の文はスペースの入力と、文頭を大文字にすることで文の始まりと認識されます。

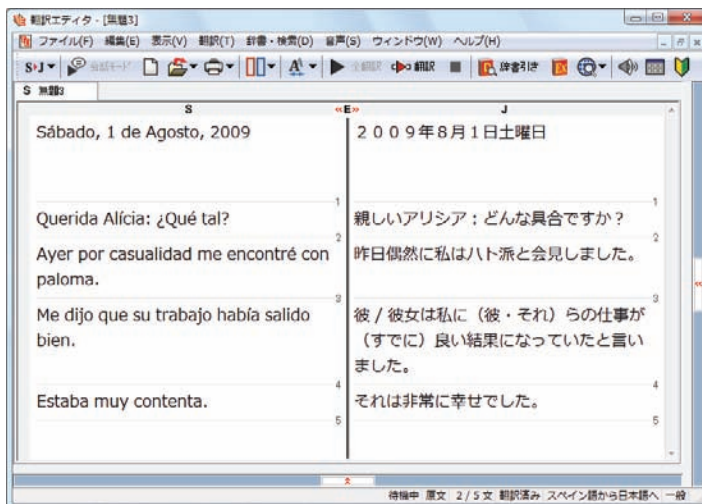
このようにカンマやピリオドの後にスペースや改行を適切に入力し、文頭を大文字にすることで、文の区切りが正しく認識されます。新しく文と認識された部分を除き、再翻訳が実行されます。

2



[全翻訳] ボタンをクリックします。

新しく文と認識された未翻訳の原文が翻訳されます。

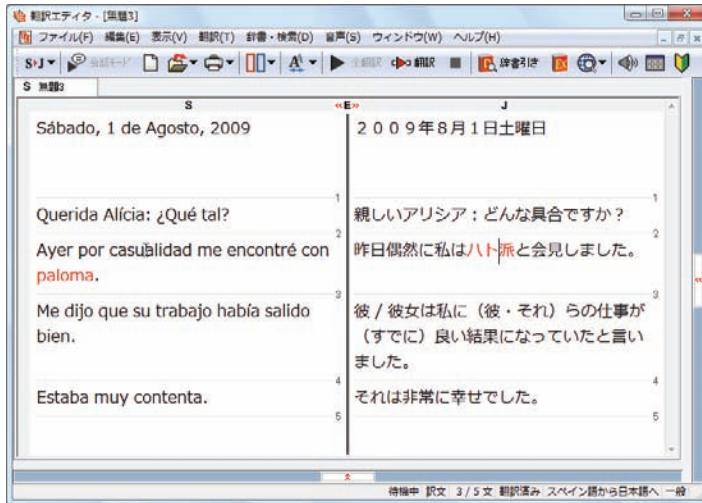


3文目を除いて、正しく翻訳されました。

大文字／小文字を正しく修正して翻訳する

3文目の原文を修正しましょう。

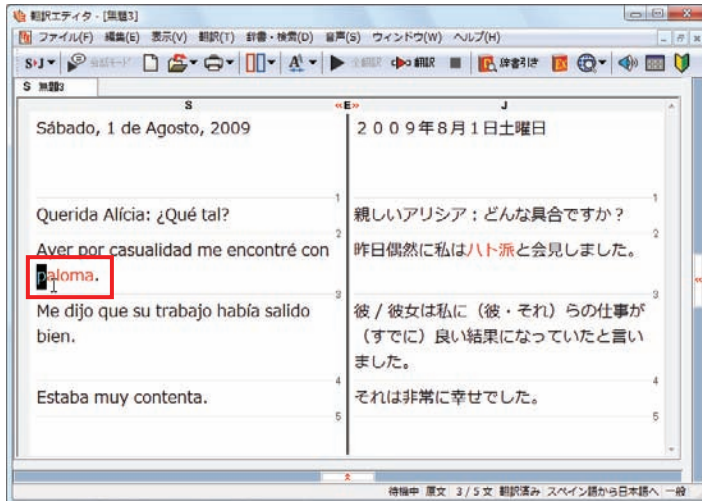
1



3文目の訳文で、不自然なのは"ハト派"という部分です。この訳語をクリックします。

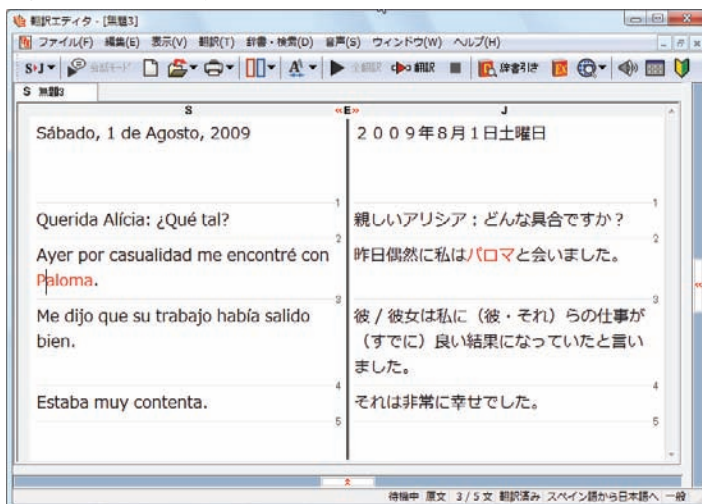
"ハト派"と"paloma"が赤で表示され、対応していることがわかります。ここでは、人名である"Paloma"が、小文字で始まっていたために正しく翻訳されていません。

2



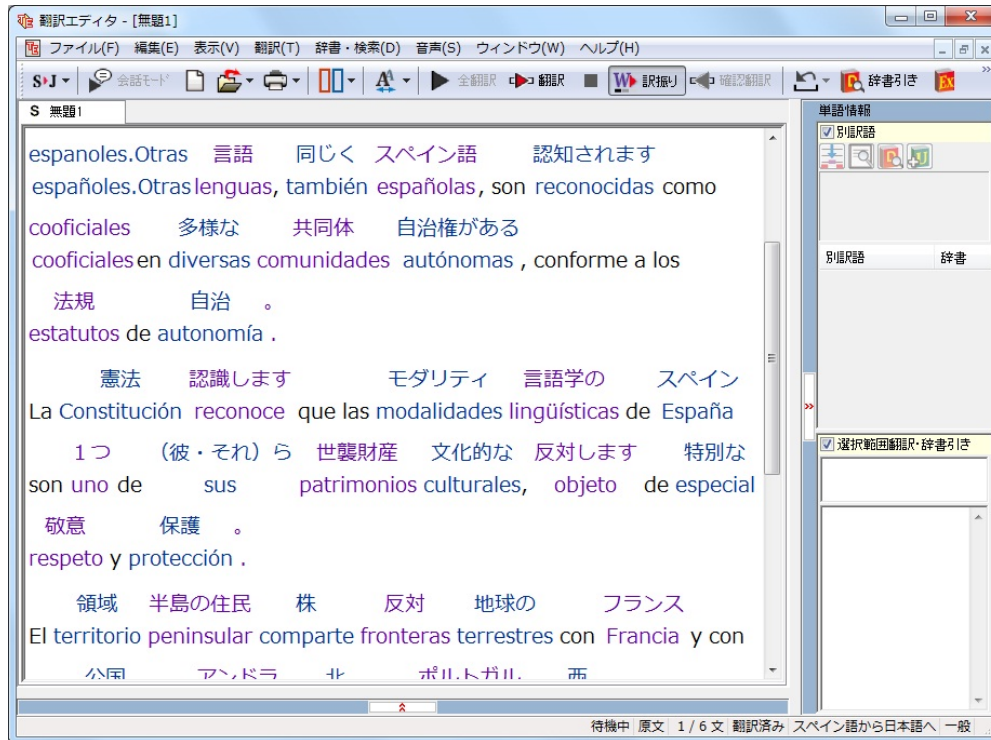
"paloma"を"Paloma"に修正します。

再翻訳が行われます。Palomaが人名と解釈され、それにもない文全体の訳出のされかたも変わり、全体を通して自然な訳文になりました。



訳振り機能

訳振りモードとは、英文を単語単位で区切って訳をルビのように英単語の上部に表示する機能です。翻訳ソフトが文法を重要視するために、かえってわかりにくい翻訳結果になってしまふことがあります。単語の意味だけわかったほうが理解しやすい場合に、直訳的に単語の意味だけを表示させるモードです。



訳振りでは原文編集はできません。
原文を編集する場合は、「表示」メニューの表示形式から左右対訳などの原文編集のできるビューの表示形式を選択してください。

※コリヤ英和！ロシア語では、訳振り機能に対応していません。

4 日本語を翻訳する

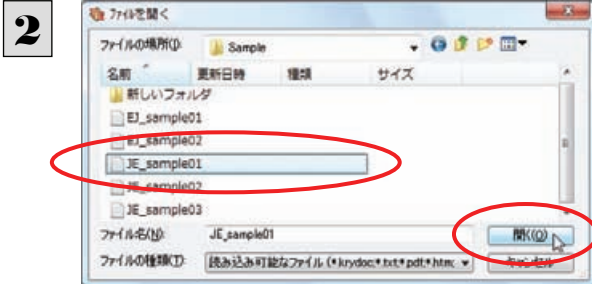
日本語から外国語に翻訳する場合、文法の違いなどを考慮して原文を作成しておく必要があります。元になる文によっては意味が通らない訳文になってしまうことがあります。

翻訳エディタには、より適切な翻訳ができるよう、サポートする機能が用意されています。これらを利用しながら翻訳を行う方法を紹介します。

テキストファイルを読み込む

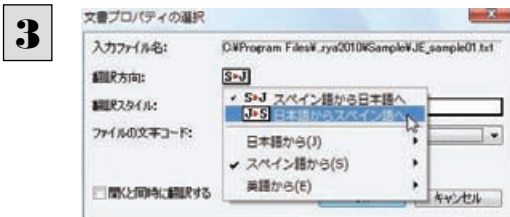
ここでは、サンプルのテキストファイル「JE_sample01.txt」を読み込んで翻訳してみます。サンプルのテキストファイル「JE_sample01.txt」は、コリヤ英和！各国語をインストールしたフォルダの[Sample]フォルダにあります。

- 1 [翻訳エディタ] ウィンドウの[開く]ボタンをクリックし、表示されるメニューから[ファイルを開く]コマンドを選択します。
[ファイルを開く]ダイアログボックスが開きます。



[Sample]フォルダに移動し「JE_sample01.txt」を選択して[開く]ボタンをクリックします。

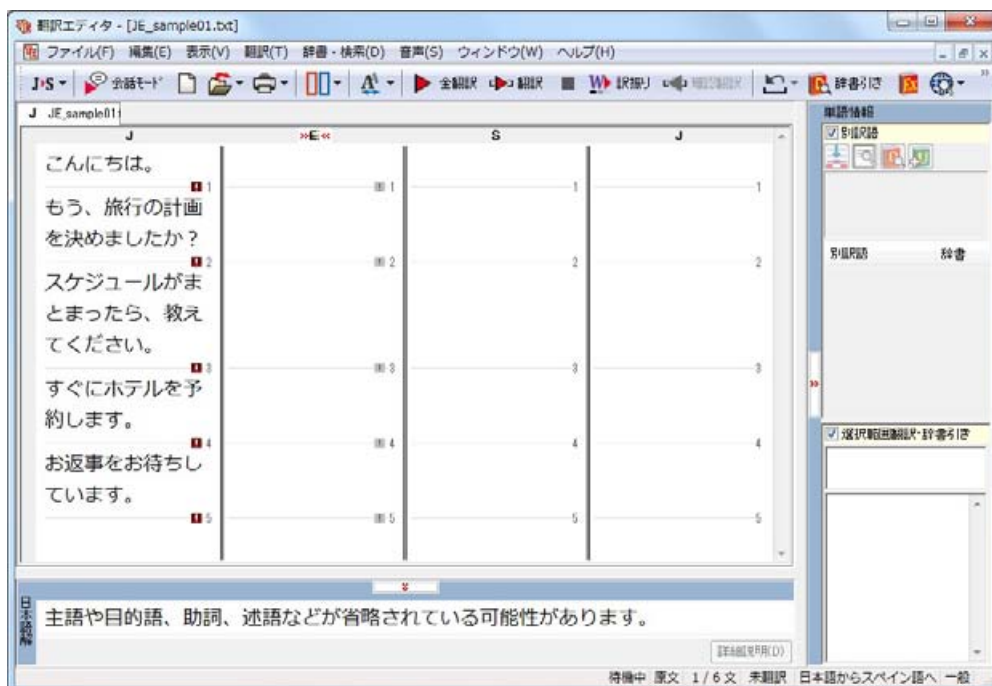
[文書プロパティの選択]ダイアログボックスが開きます。



[翻訳方向の選択]ボタンをクリックして、プルダウンリストを開き、翻訳方向を選択します。

その他は変更せずに[OK]ボタンをクリックします。

サンプルテキストが読み込まれます。



会話モードを活用する

親しい間柄でやりとりするメールや手紙、あるいは日記などの個人的な文章では、口語調の文体がよく使われます。口語調の文では、文語にくらべて、より主語が省略されやすくなります。

このような文を翻訳するときは、会話モードを使うと便利です。原文を解析し、主語を補いながら翻訳します。



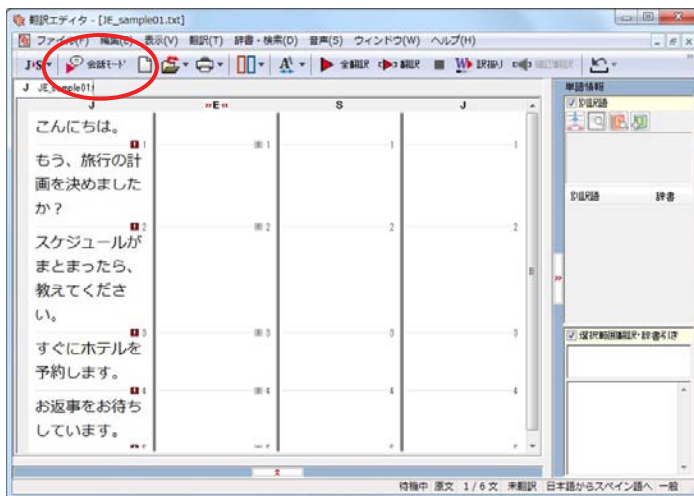
- 会話モードは日本語から欧州言語に翻訳するときの機能です。中国語、韓国語では利用できません。
- 日本語から英語への翻訳では、会話翻訳モードのみで翻訳できます。

[会話モード]を使わずに翻訳してみる

まず会話モードを使わずに翻訳し、結果を見てみましょう。

この例では、単語情報バーを非表示にした画面例で説明します。

1

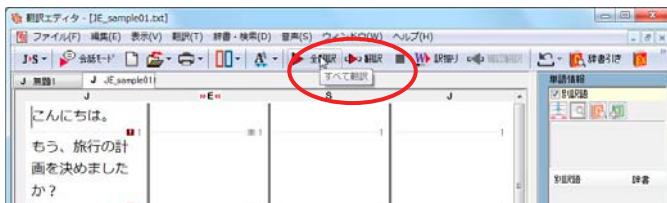


[会話モード]ボタンをオフ(ボタンが押しこまれていない状態)になっていることを確認します。

オンになっていた場合は、ボタンをクリックしてオフにします。

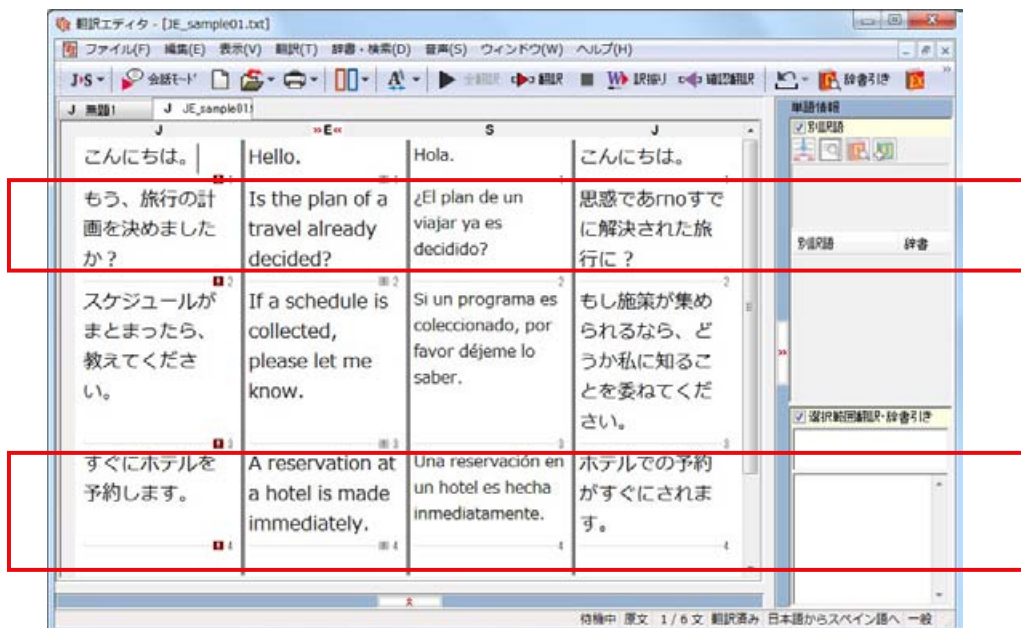


2



[全翻訳]ボタンをクリックします。

すべての文が翻訳され、結果が訳文エリアに表示されます。



2文目と4文目の翻訳結果と中間翻訳結果に注目してみましょう。

2文目

もう、旅行の計画を決めましたか？ →[中間]Is the plan of a travel already decided?
→[訳文]¿El plan de un viajar ya es dedidido?

4文目

すぐにホテルを予約します。 →[中間]A reservation at a hotel is made immediately.
→[訳文]Una reservación en un hotel es hecha inmediateamente.

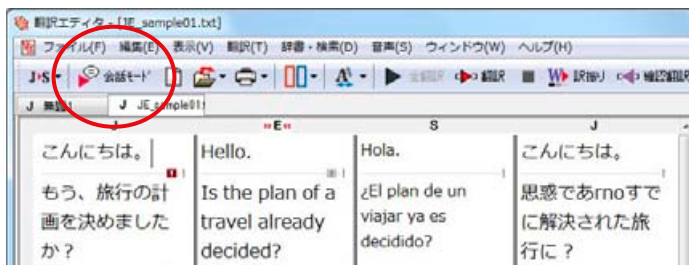
訳文の言語にくわしくない場合は、中間翻訳結果で判断します。

いずれの原文も主語が欠けているため、訳文が受動態の文章になっていることがわかります。

[会話モード]で翻訳する

次に会話モードで翻訳し、結果を以前のものと比べてみましょう。

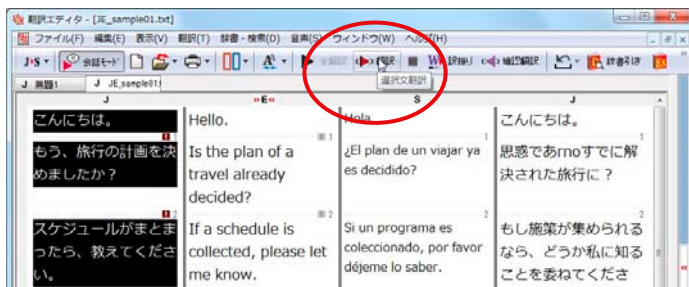
1



[会話モード]ボタンをクリックし、[会話モード]ボタンをオン(ボタンが押しこまれた状態)にします。

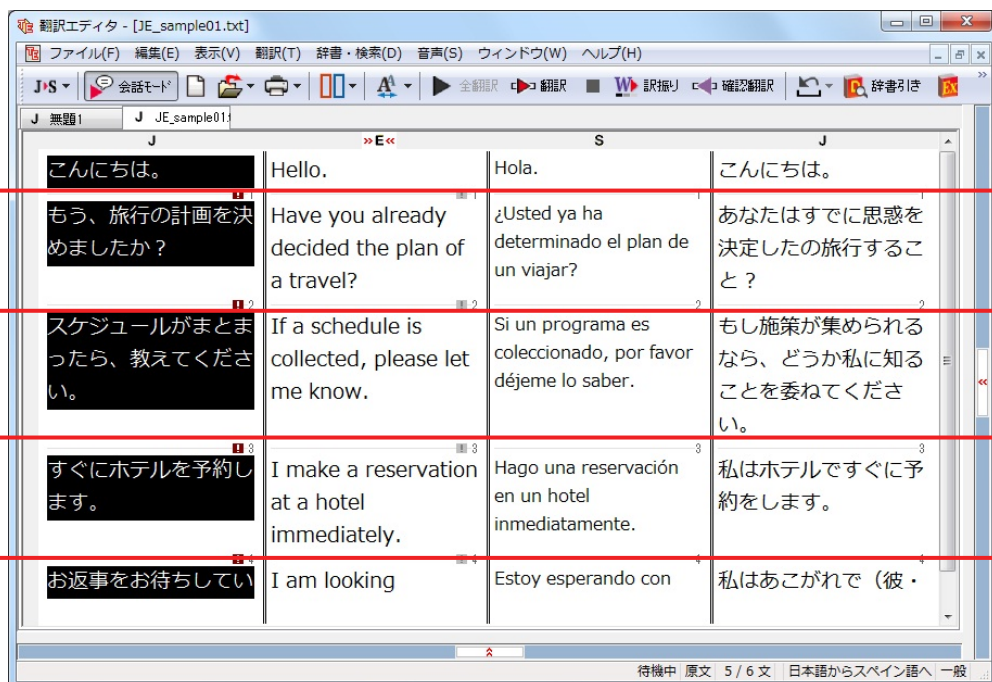


2



すべての原文を選択し、[翻訳]ボタンをクリックします。

再翻訳が行われます。2文目と4文目の訳文が入れ替わります。



2文目と4文目の訳文がどう変わったか見てみましょう。

もう、旅行の計画を決めましたか？

[会話モード]オフ

→[中間]Is the plan of a travel already decided?

→[訳文]¿El plan de un viajar ya es decidido?

[会話モード]

→[中間]Have you already decided the plan of a travel?

→[訳文]¿Usted ya ha determinado el plan de un viajar?

すぐにホテルを予約します。

[会話モード]オフ

→[中間]A reservation at a hotel is made immediately.

→[訳文]Una reservación en un hotel es hecha inmediatamente.

[会話モード]

→[中間]I make a reservation at a hotel immediately.

→[訳文]Hago una reservación en un hotel inmediatamente.

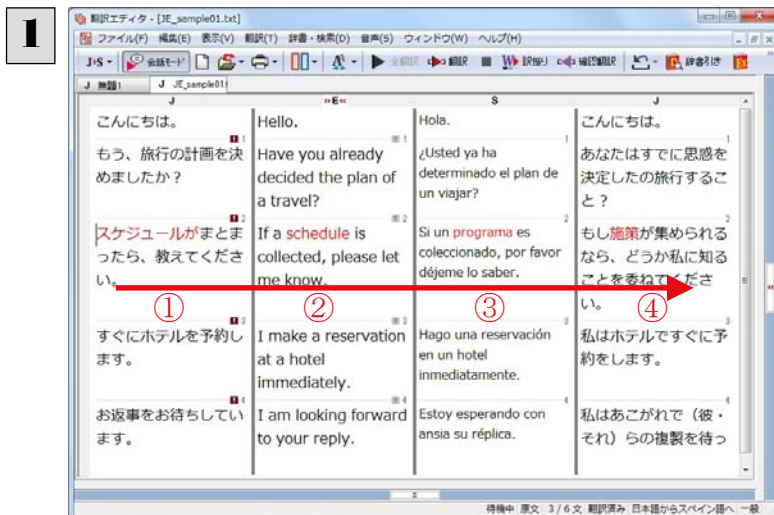
それぞれ、主語が補われてより自然な文に翻訳されました。

このように、口語調の文章を翻訳するときは、[会話モード]を活用することで、より適切な訳文を得ることが期待できます。ただし省略されている主語が英語での"I"か"you"に相当する以外の場合、[会話モード]では正しく翻訳できません。この場合は、原文に主語を補ってから翻訳してください。

[確認翻訳]を利用して原文を修正する

日本語の表現をそのまま翻訳すると、誤訳になってしまったり、ニュアンスが異なってしまったりする場合があります。[確認翻訳]には、訳文を再度日本語に翻訳した文が表示されます。また、中間翻訳言語を使う翻訳の場合は、訳文から中間翻訳言語に訳した結果も表示されます。

[確認翻訳]の内容と原文の内容や、ふたつの中間翻訳結果がほぼ一致するように原文を別の表現に変えることで、より適切な訳文が得られます。



3文目のクリックしてポインタを表示させます。

[確認翻訳]表示エリアに、訳文を中間翻訳言語に翻訳した結果と、さらにそれを日本語に翻訳した結果が、それぞれ表示されます。

●文書ウィンドウ

① 原文

スケジュールがまとまったら、教えてください。

② 中間翻訳結果(①の英語訳)

If a schedule is collected, please let me know

③ 訳文(②のスペイン語訳)

Si un programa es coleccionado, por favor déjeme lo saber.

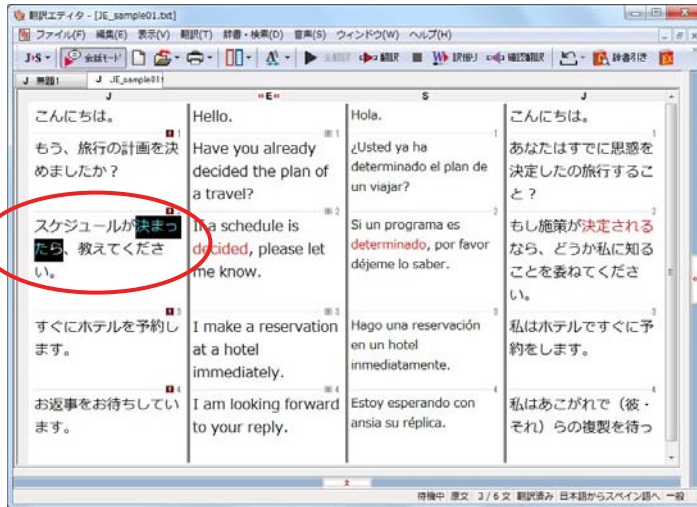
●確認翻訳表示エリア

④ 確認翻訳結果(③の日本語訳)

もし施策が集められるなら、どうか私に知ることを委ねてください。

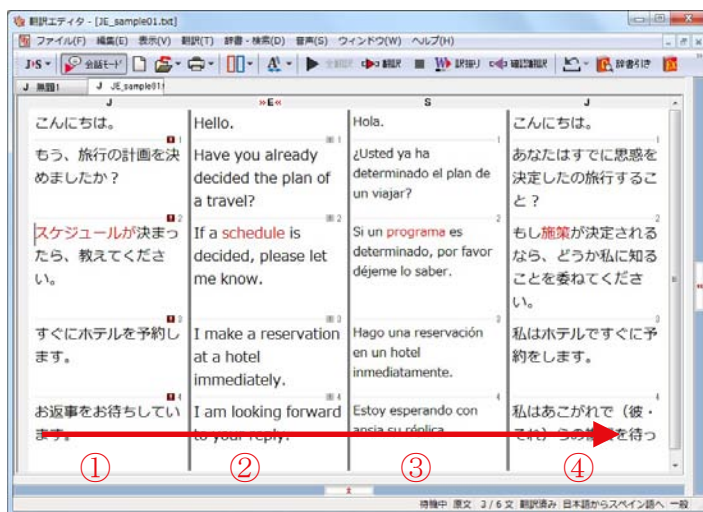
日本語の“まとめる”が、“ばらばらだったものをひとつに整える”という意味で解釈されて訳されていることがわかります。しかしこの文では、“まとめる”というのは“決着をつける、完成させる”といった意味で使われています。そこで、原文を編集して意味を明確にします。

2



「まとまったら」を「決まったら」に修正します。

再翻訳が実行され、訳文と[確認翻訳]の内容が入れ替わります。



結果は次のようになります。

●文書ウィンドウ

- | | |
|-----------------|---|
| ① 原文 | スケジュールが決まったら、教えてください。 |
| ② 中間翻訳結果(①の英語訳) | If a schedule is decided, please let me know. |
| ③ 訳文(②のスペイン語訳) | Si un programa es determinado, por favor déjeme lo saber. |

●確認翻訳表示エリア

- | | |
|------------------|---------------------------------|
| ④ 確認翻訳結果(③の日本語訳) | もし施策が決定されるなら、どうか私に知ることを委ねてください。 |
|------------------|---------------------------------|

こんどは、両者の意味に大きな違いが無いようです。

このように確認翻訳を利用することで、適切な内容の訳文に上げることができます。

[日本語解析]を参考にして原文を修正する

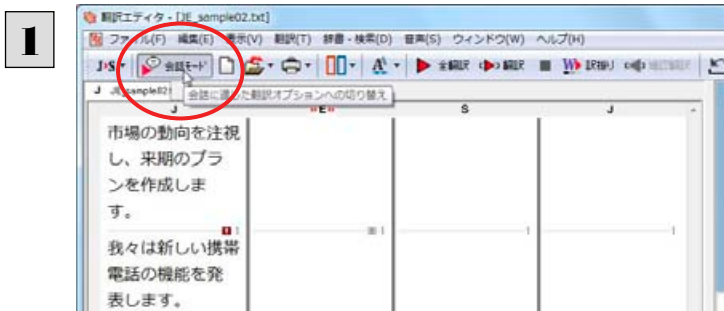
原文にあいまいな要素がある場合は、その情報が[日本語解析]に表示されます。[日本語解析]を参考にして原文を修正する方法を、サンプルのテキストファイル「JE_sample02.txt」で練習してみましょう。



●日本語から英語への翻訳では、[日本語解析]は利用できません。

翻訳してチェックする

「JE_sample02.txt」もコリヤ英和！各国語をインストールしたフォルダの[Sample]フォルダにあります。「テキストファイルを読み込む」と同様の方法で、サンプルのテキストファイル「JE_sample02.txt」を読み込みます。



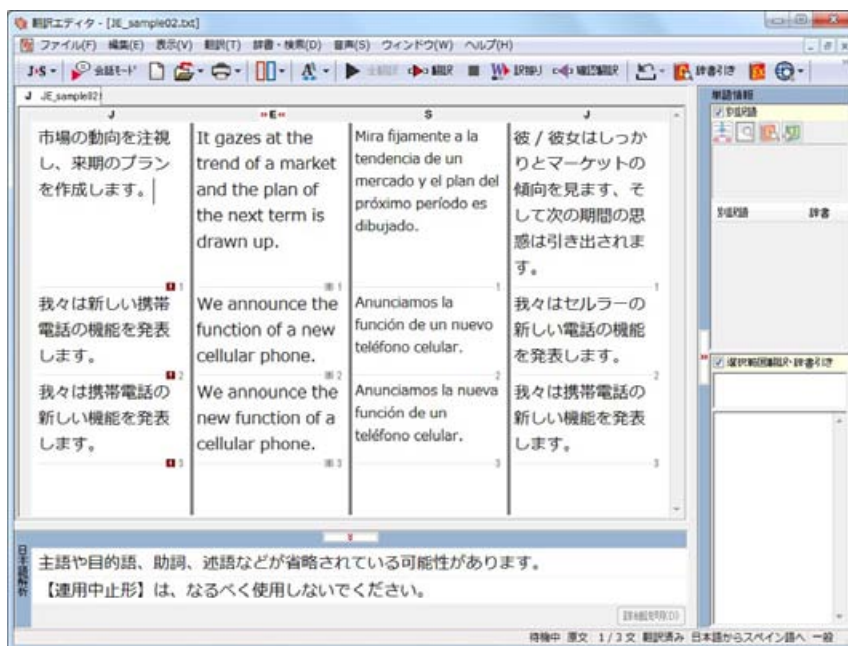
口語調の文体ではないので、会話モードをオフにします。

[会話モード]ボタンをクリックし、[会話モード]ボタンをオフ(ボタンが押しこまれていない状態)にします。

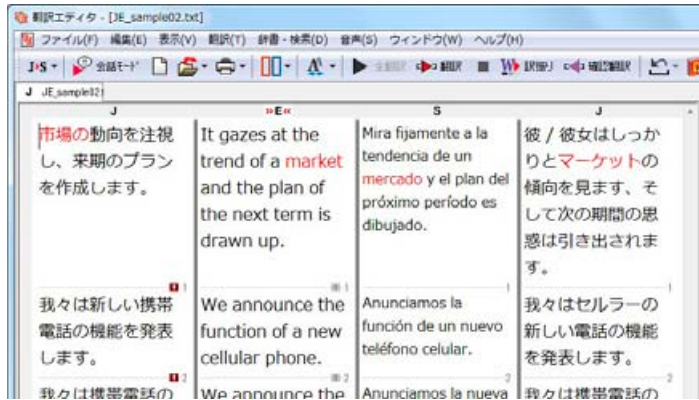


[全訳]ボタンをクリックします。

訳文が表示されます。



2

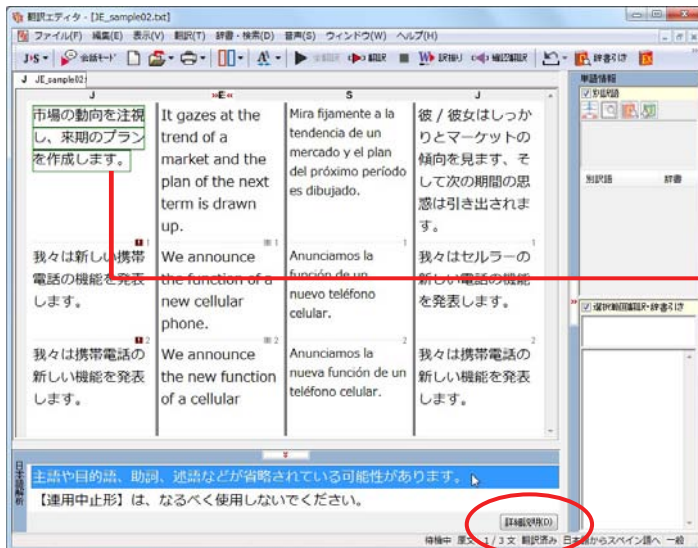


1文目をクリックし、原文と確認翻訳を比較します。前半には不自然な主語が補われ、後半は受動態で、あまり自然な文章とは言えません。どうやら原文に問題がありそうです。

[日本語解析]を参照する

[日本語解析]を参照しながら、原文を修正してみます。

1

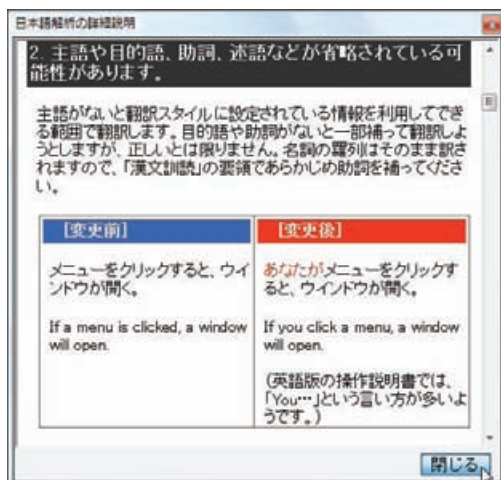


[日本語解析]には二つの情報が表示されています。まず、1つ目の情報をクリックします。

選択した日本語解析の情報が関連する部分が緑の枠で表示されます。

[詳細説明]をクリックします。
[日本語解析の詳細説明]ウィンドウが表示され、一つ目の内容が詳しく表示されます。

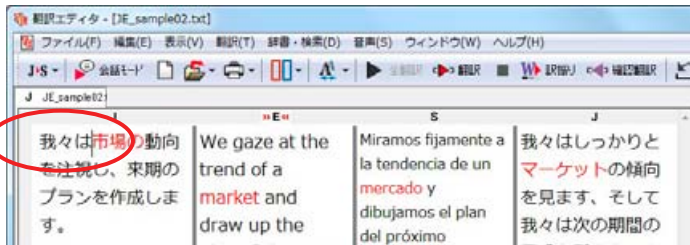
2



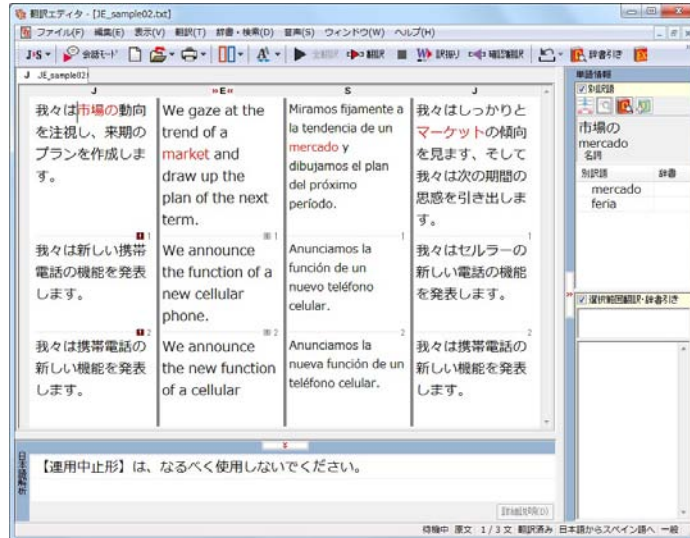
詳細情報を読み、原文を検討します。主語が省略されていることに問題がありそうです。

情報を読み終わったら[閉じる]ボタンをクリックします。

3



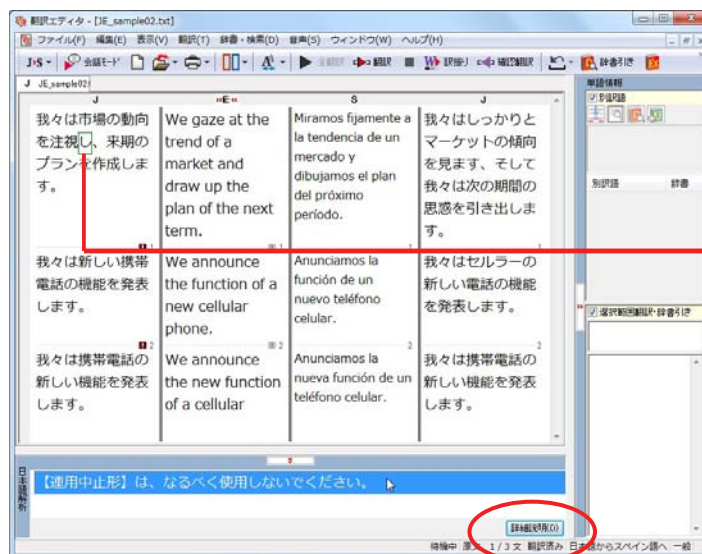
主語として「我々は」を入力します。



再翻訳が実行され、翻訳結果が表示されます。
[日本語解析]の一つ目が消えます。

[確認翻訳]を検討すると、不自然な主語も受動態も解消され、最初より整った文になっています。

4

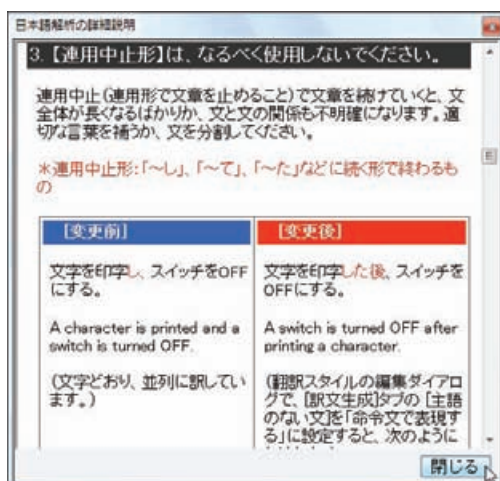


続いて、もうひとつの[日本語解析]の情報を検討します。残った行をクリックします。

選択した日本語解析の情報が関連する部分が緑の枠で表示されます。

[詳細説明]をクリックします。
[日本語解析の詳細説明]ウィンドウが表示され、
内容が詳しく表示されます。

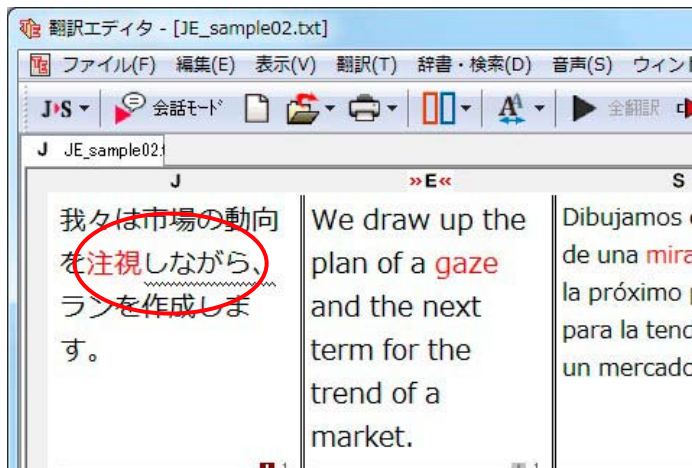
5



詳細情報を読み、原文を検討します。
「…注視し」と連用中止形になっていることに問題
がありそうです。

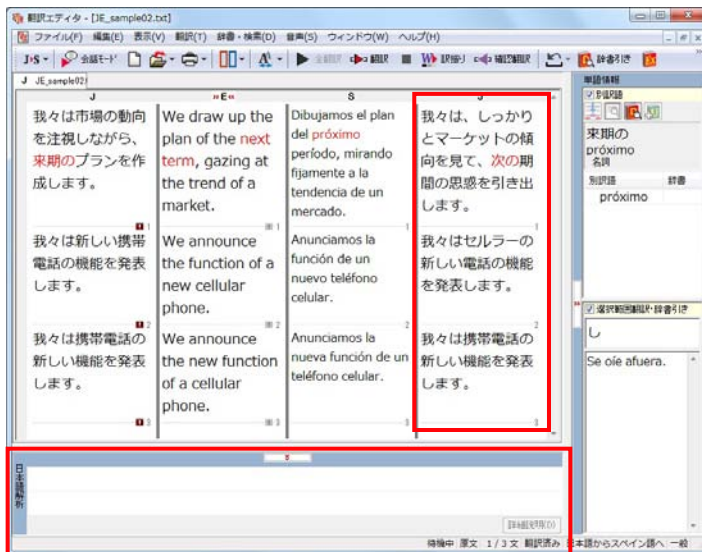
情報を読み終わったら[閉じる]ボタンをクリック
します。
[日本語解析の詳細説明]ウィンドウが終了し
ます。

6



「…注視し」を修正します。ここでは、「注視しながら」に変更します。

再翻訳が実行され、翻訳結果が表示されます。また、[日本語解析]の情報が消えます。

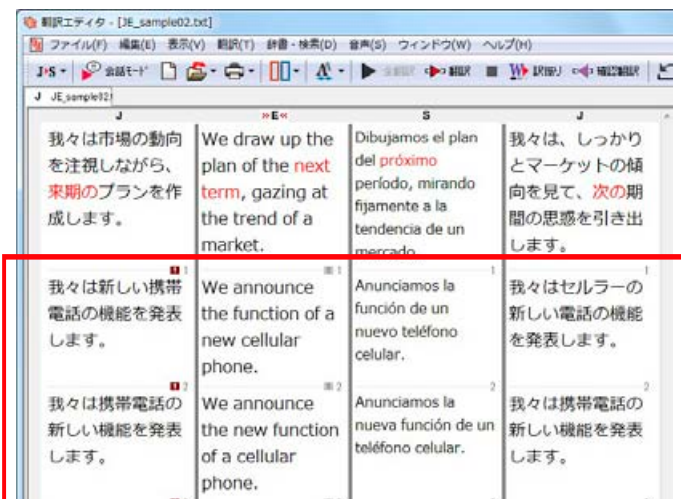


再度[確認翻訳]を検査すると、今まで並列に訳されていた文の関係が、より明確になっています。

修飾語の位置を変えて翻訳する

修飾語の位置によって英訳が変わります。正しい訳を得るためには、できるだけ修飾される語の近くに置いてください。

2文目と3文目の訳文、原文を比較してみましょう。



次のように翻訳されています。

我々は新しい携帯電話の機能を発表します。

→We announce the function of a new cellular phone.

→Anunciamos la función de un nuevo teléfono celular.

我々は携帯電話の新しい機能を発表します。

→We announce the new function of a cellular phone.

→Anunciamos la nueva función de un teléfono celular.

これらを検討すると、前者は"新しい" が"携帯電話"の修飾語として翻訳され、後者は"新しい" が"機能"の修飾語として翻訳されていることがわかります。

このように、修飾語の位置に注意して、和文を作成してください。



和文作成のヒント

●1 文をできるだけ短くする。

わかりやすく正確な英文を作成するためには、1 文を 50 文字以下に抑えることをお勧めします。複数の文に分けて翻訳してから、後でつなげる等、工夫してください。

●主語や目的語、助詞、述語等を省略しない。

●次のような表現はできるだけ直す。

”～という”、”～のようなもの”等は削除して、明確な表現にする。

”～を行う”、”～をする”は、”～する”にならないか工夫する。

●漢字での表記が自然なものはできるだけ漢字で書く。

「ここではきものをぬいでください。」のように複数の意味を持つ文は、漢字を使い分けることによって区別できます。また、むやみに平仮名で書くと、未知語(翻訳辞書に登録されていない語)になり、翻訳に失敗してしまいます。漢字での表記が自然なものは漢字を使ってください。助詞、助動詞などは仮名表記です。

●体言止め(名詞・代名詞で終わる文章)にしない。

サ変名詞で終わっている文章を日英翻訳プログラムがサ変動詞にして訳すことがあります。このために翻訳に失敗する場合があります。箇条書きの文章に体言止めがよく見られますので、どう訳したいかを考えて日本語を直してください。

●口語文、感情表現、慣用句は避ける。

口語文や感情表現は種類が多く、様々な表現があるので、翻訳ソフトでは十分な対応ができません。また、慣用句は文字どおりの意味と含蓄された意味の二つを持つ場合もあります。入力文を書き直すか、ユーザ辞書に適切な品詞で登録することで対応してください。

ユーザ辞書を使う

人名や地名、商品名等、システム辞書に登録されていない語句があると、訳文に日本語が残っていたり、使われている漢字の意味で翻訳されてしまう場合があります。このような場合は、その語句をユーザ辞書に登録してください。



日本語から欧州言語への翻訳では、複数のユーザ辞書の使い分けができます。詳しくは第2章の「3 翻訳スタイルの選択ボタンの使い方」をご覧ください。



●日本語から英語への翻訳では、ユーザ辞書は使用できません。

1

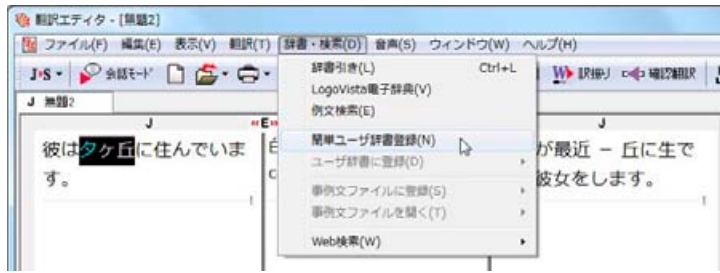


「彼はタケ丘に住んでいます。」という文を翻訳してみます。

"タケ丘"がシステム辞書に登録されていないため、意味を成さない訳文になってしまいます。

そこで、"タケ丘" をユーザ辞書に登録します。

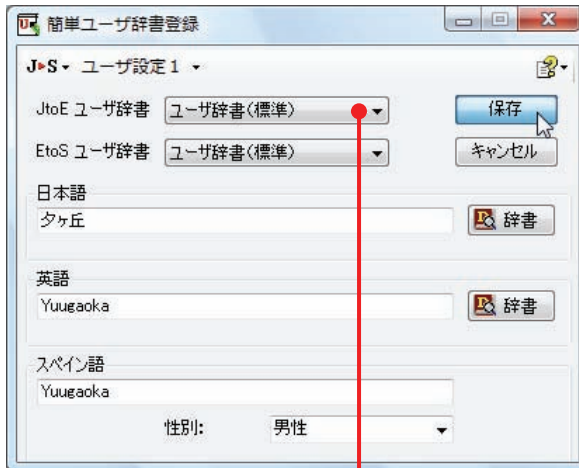
2



和文の"タケ丘"をマウストラッグで選択し、[辞書・検索]メニューの[簡単ユーザ辞書登録]を選択します。

[簡単ユーザ辞書登録]ウィンドウが表示されます。

3



このウィンドウで新しい単語をユーザ辞書に登録できます。すでに「タケ丘が[見出し語]フィールドの[日本語]入力ボックスに入力されています。ここでは、次のように設定します。

[英語]:「Yuugaoka」を入力

[スペイン語]:「Yuugaoka」を入力

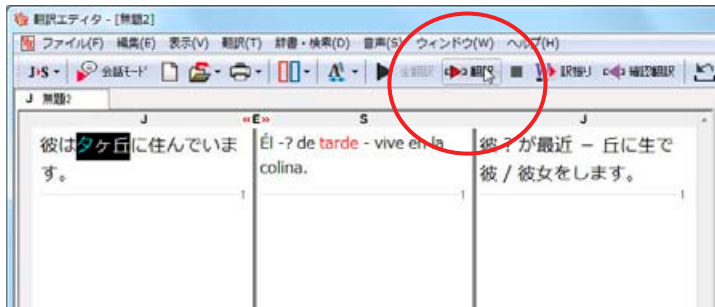
入力したら[保存]ボタンをクリックします。

これで"タケ丘"の登録が終了し、ダイアログボックスが閉じます。

選択中の翻訳スタイルに中間言語と日本語間のユーザ辞書が複数ロードされているときは、登録先のユーザ辞書を選択できます。

再翻訳する

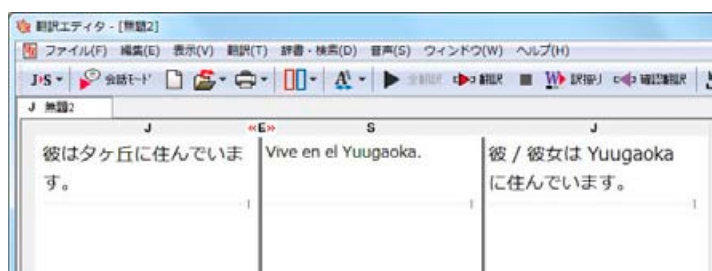
1



4文目の原文にポイントをおき、[再翻訳]ボタンをクリックして、再翻訳してみます。

2

再翻訳され、新しい訳文に入れ替わります。"タケ丘"が"Yuugaoka"と訳されます。

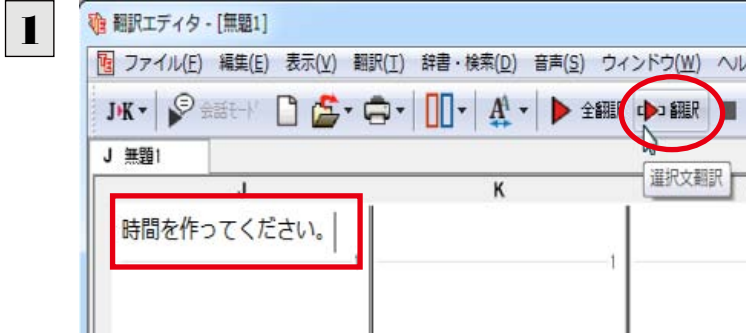


定型文を使う(事例文登録)

手紙文やビジネス文書などでは、類似した文が繰り返されたり、決まり文句が使われることがあります。これらを事例文として登録しておくことで、翻訳がスピードアップします。また、あいさつ文など、直訳すると意味が通らなくなってしまう文章も、正確に翻訳できるようになります。事例文を登録するためには、登録先の事例文ファイルを作成し、使用する翻訳スタイルにロードしておく必要があります。

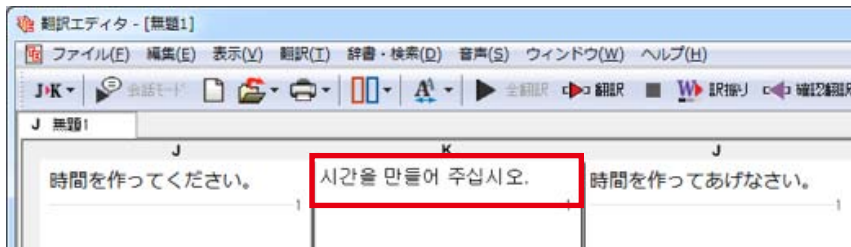
※英日・日英、韓日・日韓、中日・日中に対応しています。

事例文を登録しないで翻訳してみる



2文目の原文「時間を作ってください。」にポインタをおき、[翻訳]ボタンをクリックします。

翻訳結果が表示されます。



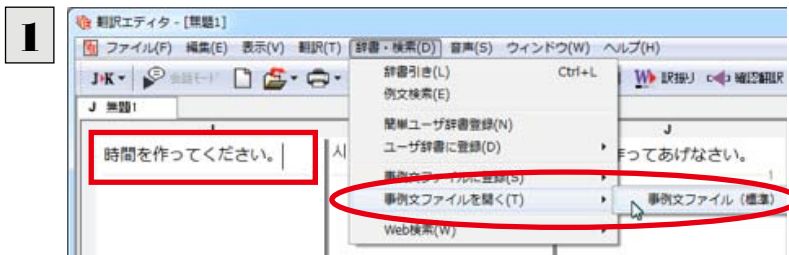
시간을 만들어 주십시오.

[確認翻訳]時間を作ってあげなさい。

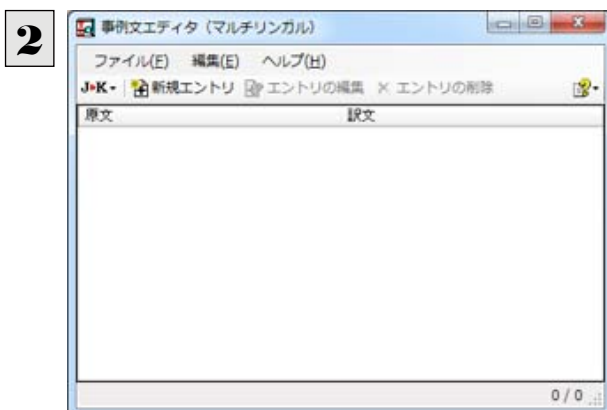
このように、元の和文が持つニュアンスからは、かけ離れてしまいました。

事例文を登録する

“時間を作ってください。”に相当する文として、韓国語では“시간 좀 내 주세요.”が使われます。この文を事例文として登録してみましょう。

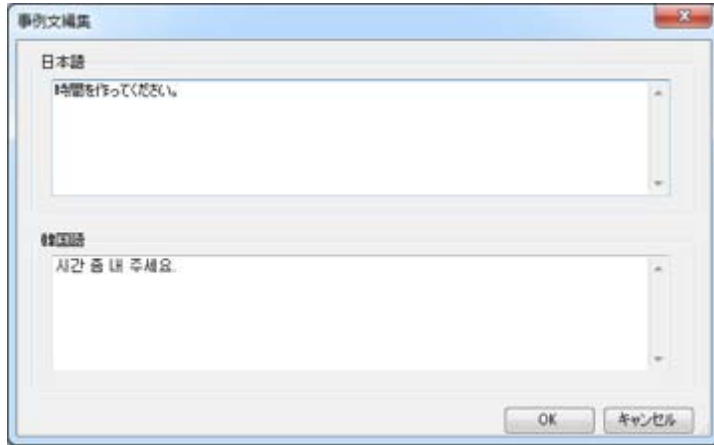


[辞書・検索]メニューの[事例文ファイルを開く]を選択し、サブメニューから登録先のファイルを選択します。



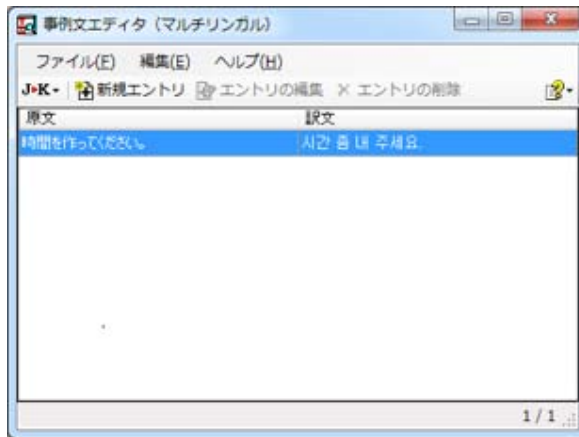
[事例文エディタ(マルチリンガル)]ダイアログボックスが表示されます。

3



[新規エントリ]をクリックすると事例文編集画面が表示されます。日本語に「時間を作ってください」、韓国語に「시간 좀 내 주세요.」と入力し、[OK]ボタンをクリックします。

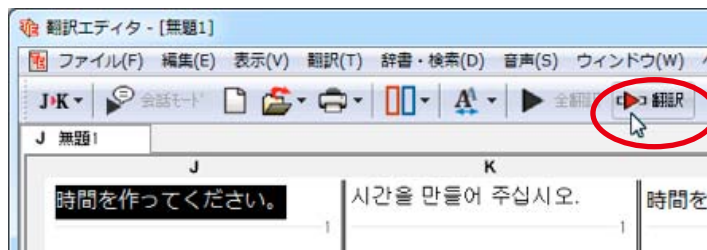
4



一つの事例文が登録できました。
[ファイル]メニューから[終了]を選択して[事例文エディタ]ダイアログボックスを閉じます。

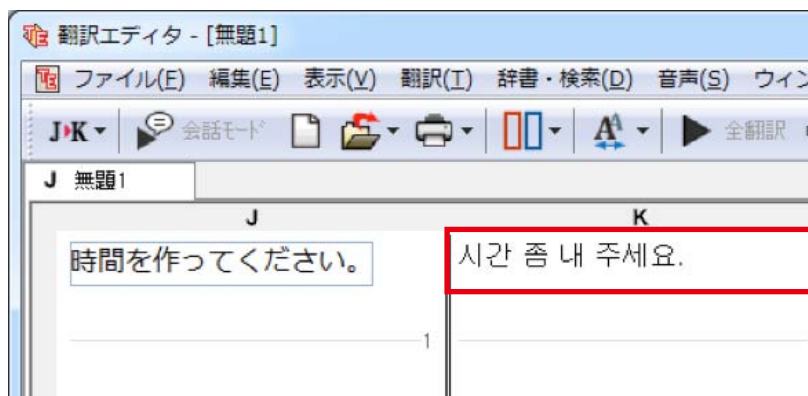
再翻訳する

1



原文にポインタをおき、翻訳エディタの[翻訳]ボタンをクリックして、再翻訳します。

再翻訳され、以前の訳文が新しい英訳に入れ替わります。今度は事例文に登録した通りに翻訳されました。



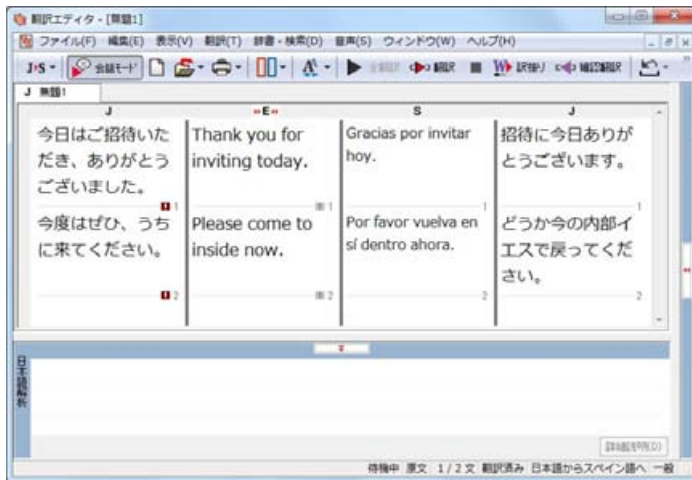
このように、事例文を使うと、決まり文句やあいさつ文をより正しく翻訳することができます。

ヒント ●事例文が適用された訳文は赤で表示されます。

4面エディタを活用して中間翻訳結果を編集する

日本語から欧州言語に翻訳する場合、中間翻訳結果である英語の文を編集して訳文を改良することもできます。

1



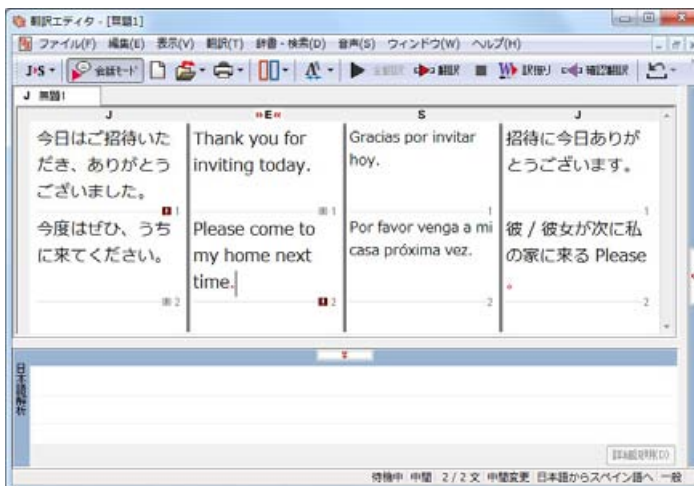
「ご招待いただき、ありがとうございました。今度はぜひ、うちに来てください。」という文を翻訳してみます。

2文目の中間翻訳結果は次のようになります。

Please come to inside now.

“今度”が“このたび”の意味で、また“うち”が“内部”の意味で解釈されてしまったことがわかります。

2



簡単な文章なので、英文を直接編集してみます。

“inside”を“my home”、“now”を“next time”に修正します。

文字を修正すると再翻訳が行われます。

確認翻訳結果も原文に近くなりました。

このように、英文を編集して間接翻訳をなくすことで、より精度の高い訳文が得られることが期待できます。

なお、中間翻訳結果を編集すると、その文の原文と中間翻訳結果・訳文の間の単語対応表示は解除されます。

中間翻訳結果と訳文の間では単語対応表示が可能です。

5

外国語の作文で例文を利用するには

例文検索には、手紙やビジネス文書に利用できる例文が用意されています。翻訳エディタで日本語から外国語への翻訳中の文書に挿入して利用できます。

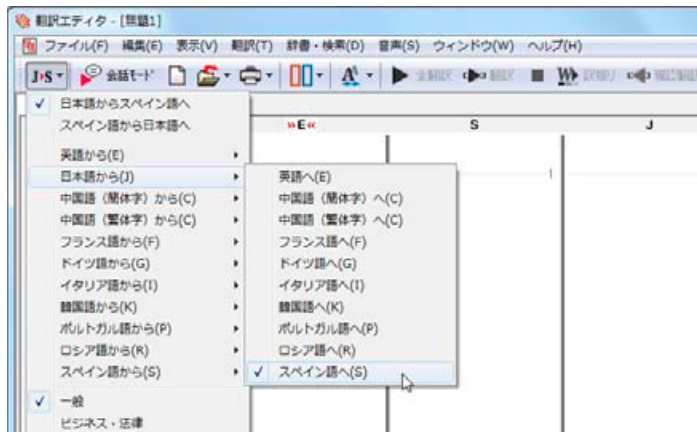


●日本語から英語への翻訳では、例文は使用できません。

例文を入力するには

翻訳エディタで入力した語句をもとに例文を検索し、編集中の文書に入力する手順を説明します。

1



[翻訳方向]ボタンをクリックして、表示されるメニューから翻訳方向を選択します。ここでは、[日本語からスペイン語へ]を選択します。

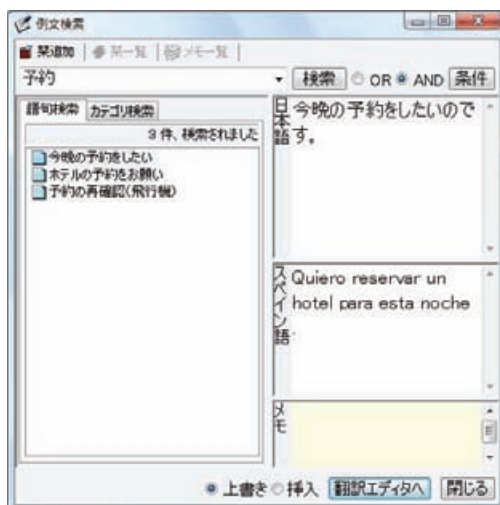
原文に「予約」と入力します。

2



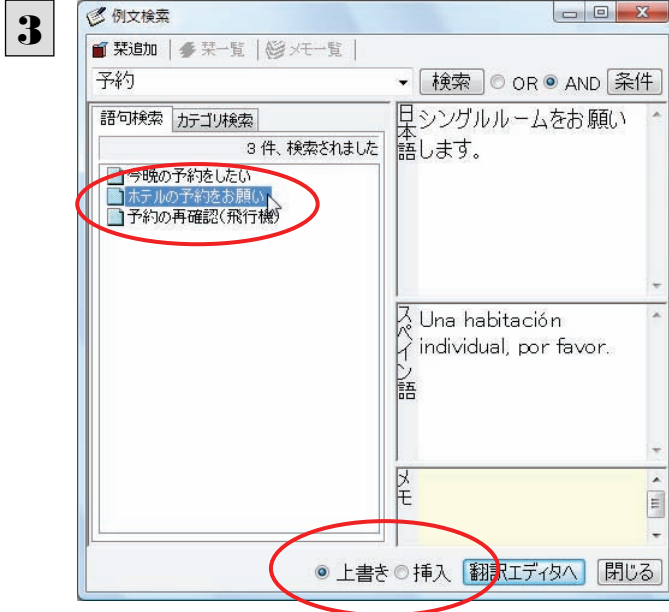
原文に「予約」と入力します。
次に入力した「予約」を選択し、[例文検索]ボタンをクリックします。

[例文検索]ウィンドウが表示され、検索結果が表示されます。



左のボックスにキーワードを含むテーマが一覧表示されます。

テーマをクリックすると、右のボックスに例文が表示され、内容を確認できます。



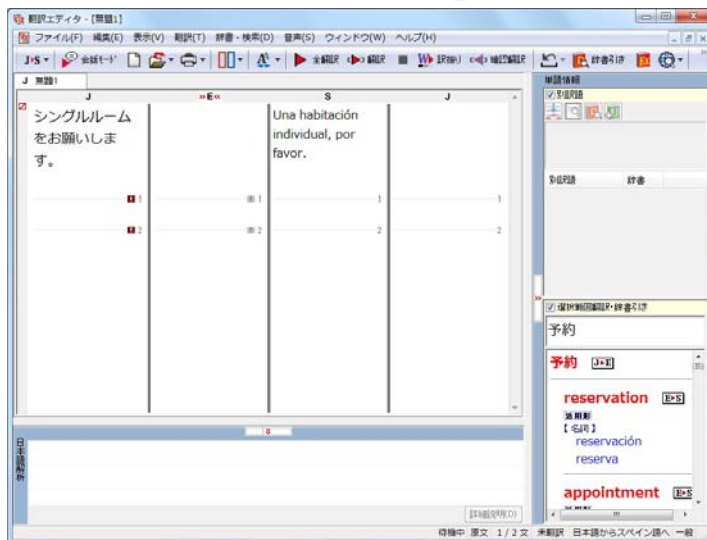
使いたい例文を選択します。

次に、[上書き][挿入]いずれかのラジオボタンをクリックして、入力方法を選択します。

[上書き]を選択したときは、元の文書に上書きされます。[挿入]を選択したときは、ポイントがある文のひとつ前に例文が挿入されます。

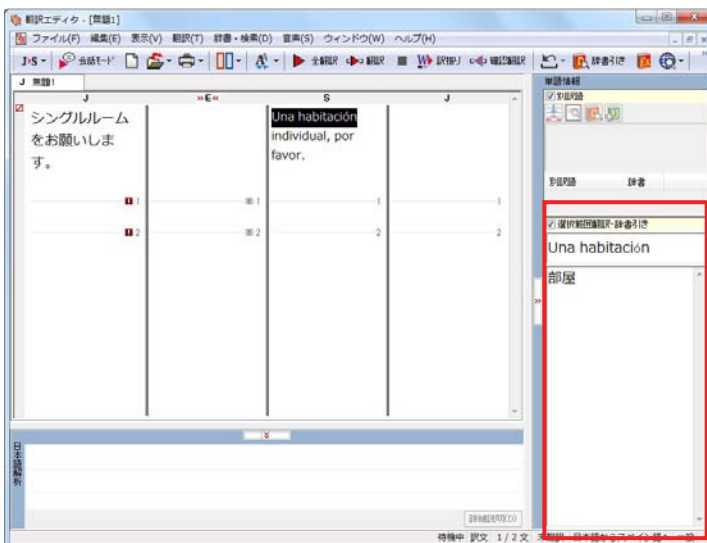


[翻訳エディタへ]ボタンをクリックします。



例文の日本語が原文ボックスに、スペイン語が訳文ボックスに入力されます。

中間翻訳結果ボックス、別訳語、確認翻訳は無効になります。



例文の語句の意味を確認したいときは、単語情報バーの選択範囲翻訳・辞書引きを利用できます。

また必要に応じて、訳文を手入力で編集できます。ただし、再翻訳はできません。

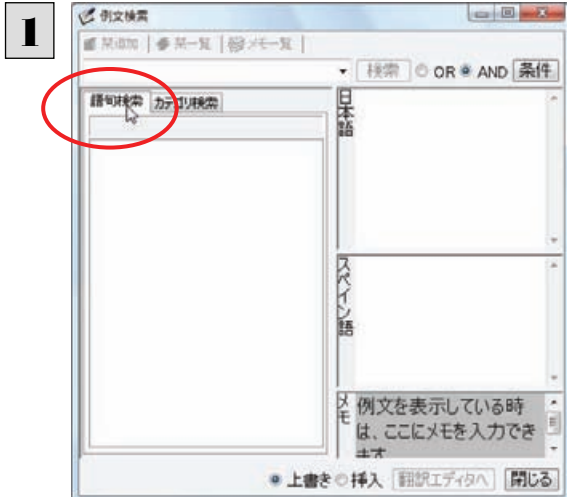
選択範囲翻訳・辞書引き

原文ボックスまたは訳文ボックスで選択した語句の辞書引きまたは翻訳結果が表示されます。

例文を検索するには

翻訳エディタで語句を選択せずに[例文検索]ウィンドウを開き、直接例文を検索することもできます。検索方法は2つあります。ひとつはキーワードで検索していく「語句検索」です。もうひとつは、カテゴリにしたがってツリー表示から検索していく「カテゴリ検索」です。

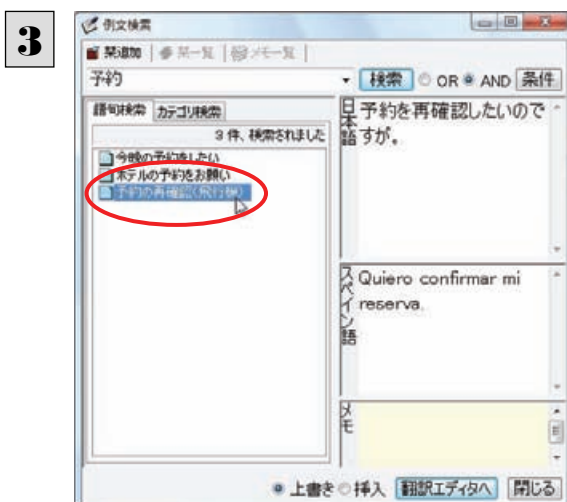
語句で検索する



[例文検索]ウィンドウの[語句検索]タブを開きます。



[検索文字列]入力ボックスにキーワードを入力して[検索]ボタンをクリックします。



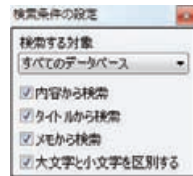
左のボックスにキーワードを含むテーマが一覧表示されます。

使いたいテーマをクリックすると、右のボックスに例文が表示されます。

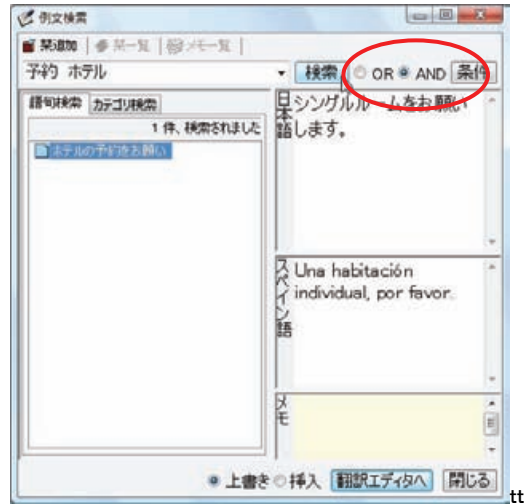
このように内容を確認しながら、使いたいテーマを検索します。



- [条件] ボタンをクリックすると、例文を検索する範囲を設定することができます。

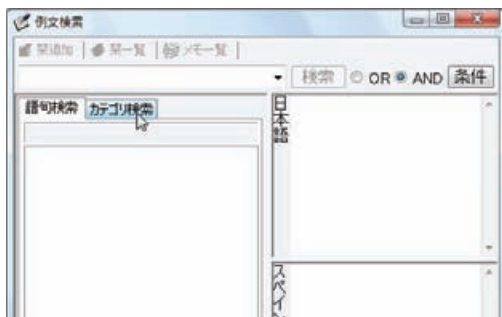


- スペースで区切りながら、複数の語句を検索条件として入力することもできます。[OR] が選択されているときは、入力した条件のいずれかに該当する例文が検索されます。[AND] が選択されているときは、入力したすべての条件に該当する例文が検索されます。



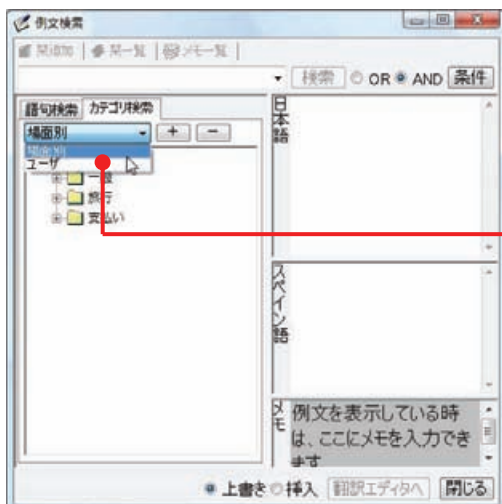
カテゴリで検索する

1



[例文検索] ウィンドウの [カテゴリ検索] タブを開きます。

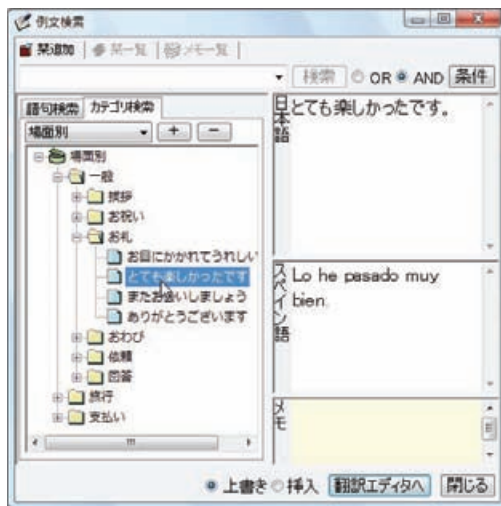
2



[カテゴリ検索] タブの最上部のプルダウンメニューで、検索したいデータベースを選択します。上のボックスに、カテゴリと例文タイトルがツリー形式で表示されます。

データベースを選択するプルダウンメニュー

3



ツリー表示から参照したいカテゴリをクリックで選択すると、そのカテゴリに分類されているタイトル一覧が表示されます。

タイトルを選択すると、右のボックスに例文が表示されます。

6

Web ページや PDF ファイルを翻訳する

ネット上の Web ページや、コンピュータに保存されている PDF ファイルは、翻訳エディタのレイアウトビューでレイアウトを確認しながら翻訳できます。

レイアウトビューの機能

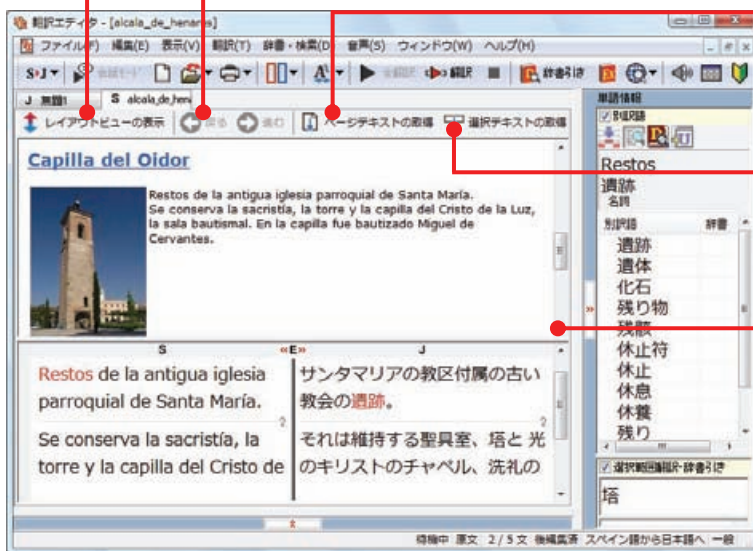
レイアウトビューは、翻訳エディタでネット上の Web ページや、コンピュータに保存されている PDF ファイルを開いたときに表示されます。レイアウト表示のほか、シンプルな Web ブラウザ、PDF ブラウザとしての機能も備えています。Web ページから別のリンク先に移動したり、PDF の別のページを表示したりできます。

レイアウトビューの表示
／非表示の切り替え

Web ページから他のページに移動したときに有効になります。

[戻る]をクリックすると、今までの表示履歴を1ページさかのぼります

[進む]をクリックすると、[戻る]でさかのぼった表示履歴を、再度、たどります。



表示中のページのテキストを取得して、原文ボックスに上書きします。

選択中のテキストを取得して、原文ボックスに追加します。

レイアウトビュー

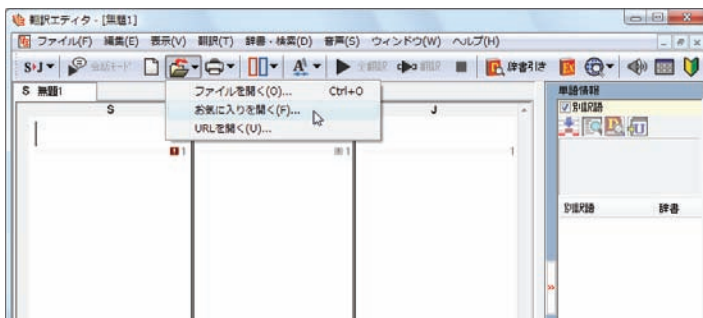
Web ページを翻訳するには

翻訳エディタで Web ページを開く方法は2種類あります。

お気に入りを開くには

Internet Explorer で登録したお気に入りページを、翻訳エディタから指定して開くことができます。

1



[開く]ボタンをクリックし、表示されるメニューから [お気に入りを開く] を選択します。

[お気に入りを開く] ダイアログが表示されます。

2



お気に入りの一覧から開きたいWebページを選択し[OK]ボタンをクリックします。

[文書プロパティの選択]ダイアログが表示されます。

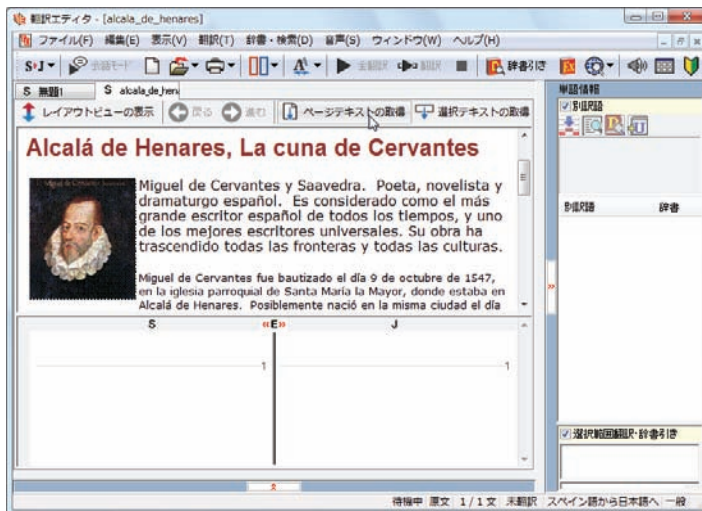
3



翻訳方向、翻訳スタイルを設定し、[OK]ボタンをクリックします。

選択したお気に入りのページが、レイアウトビューに表示されます。

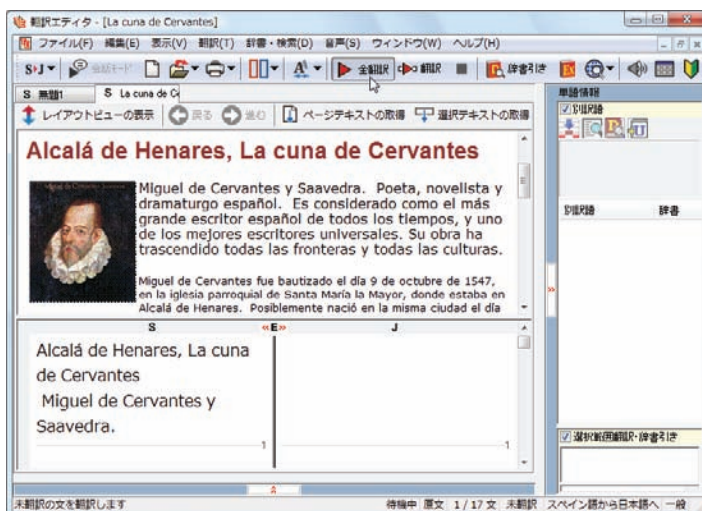
4



Webページのテキストを取得します。ここでは、[ページテキストの取得]ボタンをクリックします。

表示中のページのテキストが原文ボックスに書き込まれます。

5



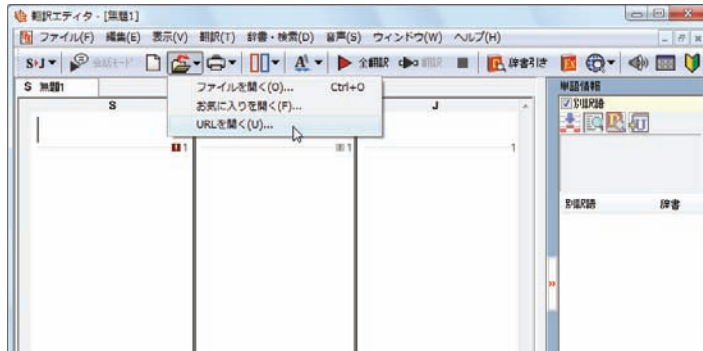
翻訳エディタの機能を使って、翻訳や訳文の編集を行います。

翻訳結果は[テキストの書き出し]で保存できます。

URL を指定して Web ページを開くには

翻訳したい Web ページの URL がわかっているときは、翻訳エディタで指定して開くことができます。URL はインターネット上のデータを指定するためのアドレスです。「www.logovista.co.jp」といった形式で記述されます。

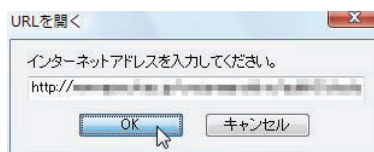
1



[開く] ボタンをクリックし、表示されるメニューから [URLを開く] を選択します。

[URLを開く] ダイアログが表示されます。

2



URLを入力し [OK] ボタンをクリックします。

[文書プロパティの選択] ダイアログが表示されず。

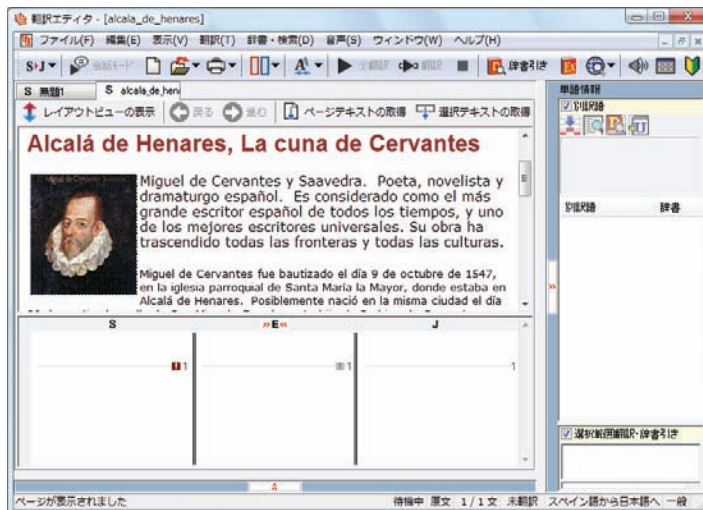
3



翻訳方向、翻訳スタイルを設定し、[OK] ボタンをクリックします。

選択したお気に入りのページが、レイアウトビューに表示されます。

4



以降の操作は、前項「お気に入りの Web ページを開くには」の手順4以降と同じです。

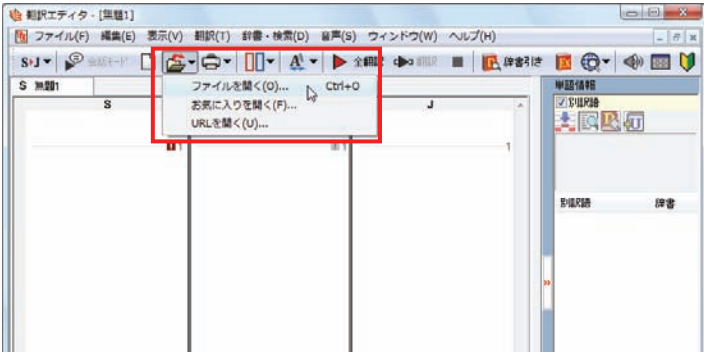


● Internet Explorer で表示中の Web ページは、Internet Explorer に表示されたコリヤ英和！ツールバーの機能を使って翻訳エディタで開くことができます。詳しくは第4章「ホームページを翻訳するには」をお読みください。


PDF ファイルを翻訳するには

PDF ファイルも、Web ページ同様にレイアウトビューを利用して翻訳できます。

- 1**




[開く] ボタンをクリックし、表示されるメニューから [ファイルを開く] を選択します。
[ファイルを開く] ダイアログが表示されます。
- 2**

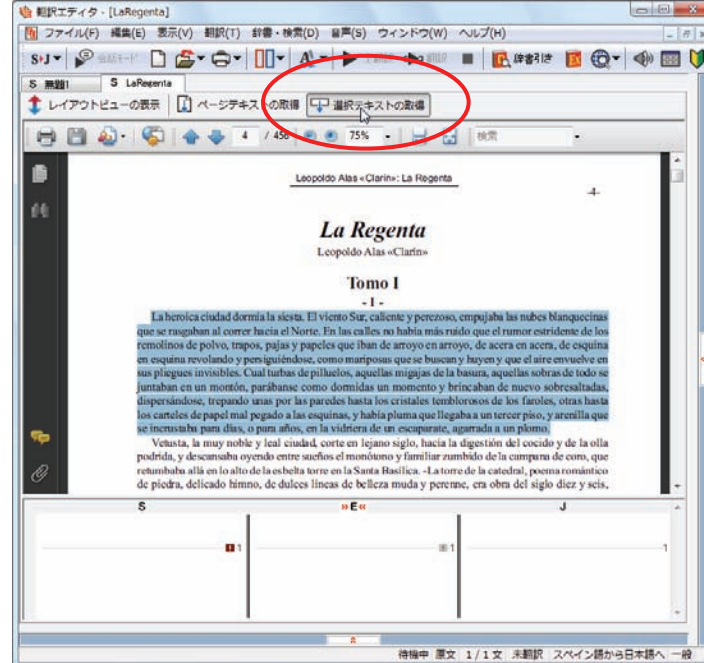


[ファイルを開く] ダイアログから翻訳する PDF ファイルページを選択し [OK] ボタンをクリックします。

[文書プロパティの選択] ダイアログが表示されず。
- 3**



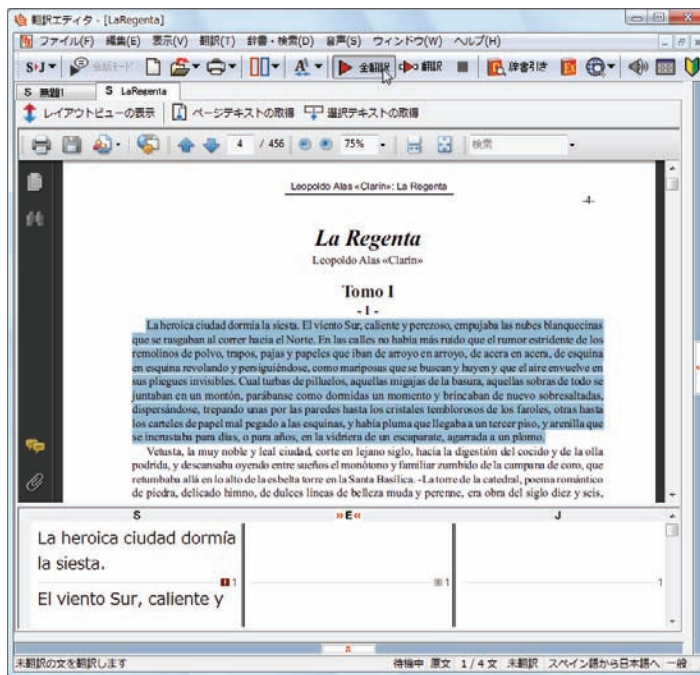
翻訳方向、翻訳スタイルを設定し、[OK] ボタンをクリックします。
PDF ファイルがレイアウトビューに表示されます。
- 4**



PDF ファイルのテキストを取得します。ここでは、翻訳したい部分を選択し、[選択テキストの取得] ボタンをクリックします。

選択したテキストが原文ボックスに追加されず。

5



翻訳エディタの機能を使って、翻訳や訳文の編集を行います。



翻訳結果は翻訳エディタの文書ファイルへの保存、テキストファイルへの書き出しができます。文書ファイルにはレイアウトビューの内容は含まれません。

7

簡体字・繁体字変換、ピンイン表示(中国語)

中国語の翻訳では、簡体字と繁体字の相互変換や、選択した文字のピンイン表示ができます。

簡体字・繁体字変換

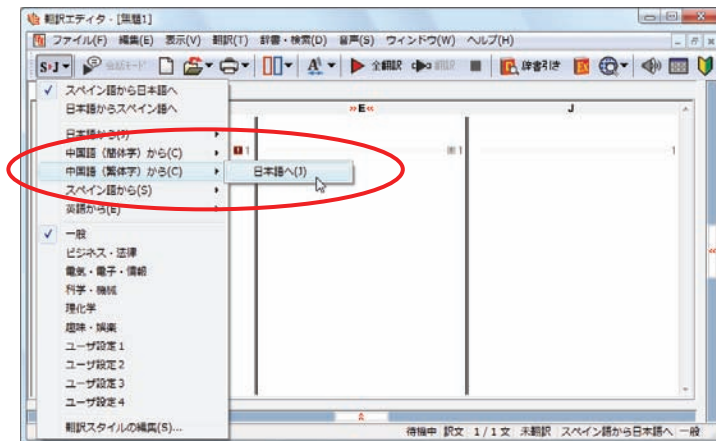
原文ボックスで選択した簡体字を繁体字に、繁体字を簡体字に変換できます。

原文の簡体字を繁体字に変換したいときは、翻訳方向で「中国語(繁体字)から日本語へ」を選択しておく必要があります。

反対に、原文の繁体字を簡体字に変換したいときは、翻訳方向で「中国語(簡体字)から日本語へ」を選択しておく必要があります。

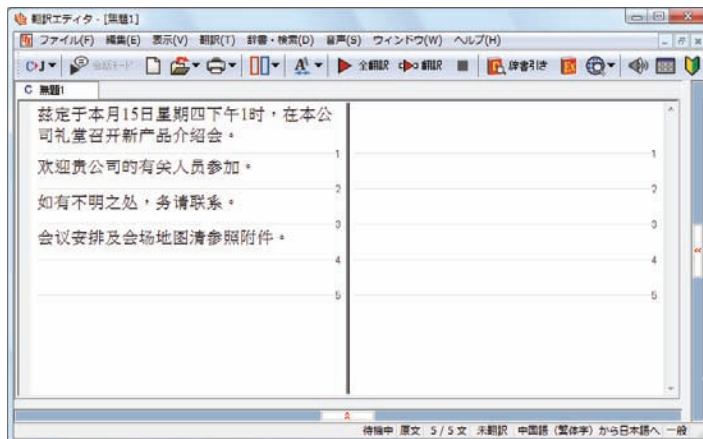
ここでは、簡体字を繁体字に変換する例で説明します。

1



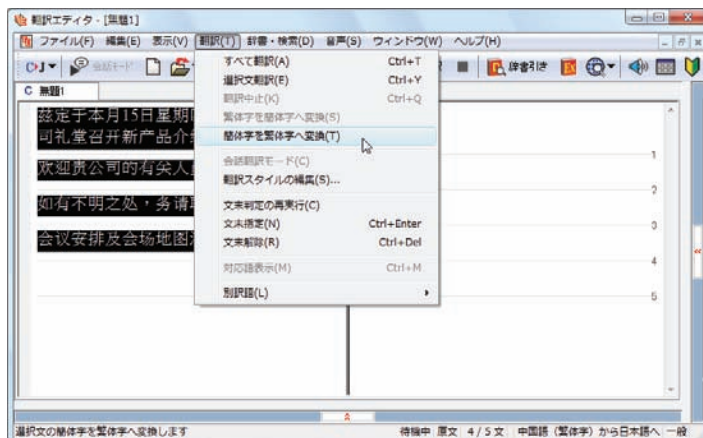
[翻訳方向]ボタンをクリックし、メニューから[中国語(繁体字)から日本語へ]を選択します。

2



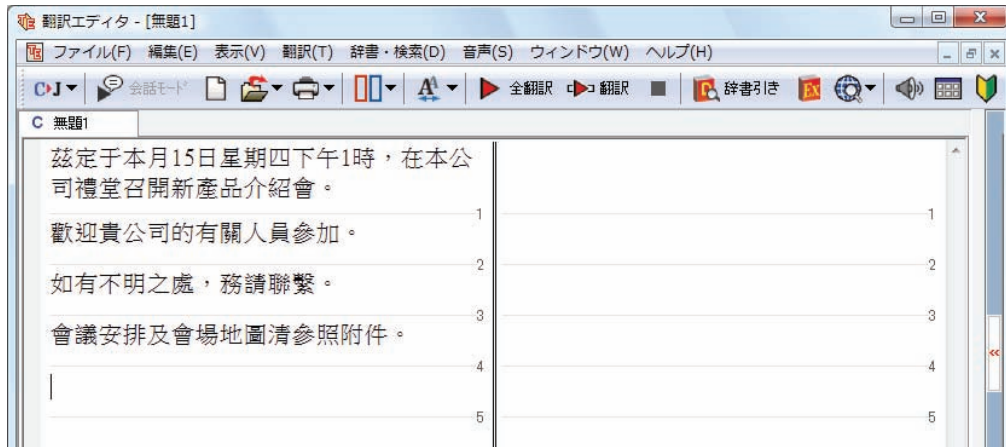
簡体字の文章を入力します。

3



変換する文字を選択し、[翻訳]メニューから[簡体字を繁体字へ変換]を選択します。

選択した文字が簡体字に変換されます。



日本語から翻訳した簡体字を繁体字にしたいときは、翻訳方向を「日本語から中国語(繁体字)へ」に変更します。再翻訳が行われ、訳文が繁体字に変わります。

同様に、日本語から翻訳した繁体字を簡体字にしたいときは、翻訳方向を「日本語から中国語(簡体字)へ」に変更します。

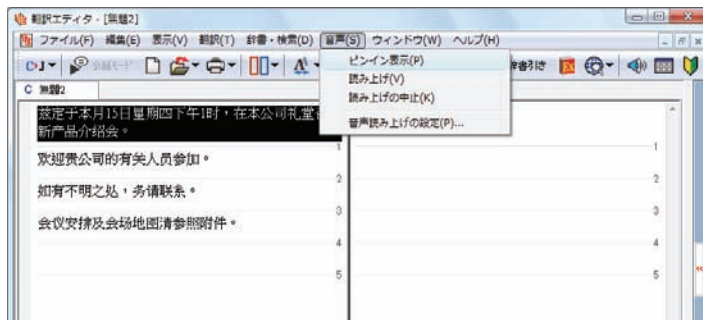
ピンイン表示

原語または訳語に中国語が選択されているときは、選択した中国語の文字のピンインを表示できます。簡体字、繁体字のいずれでも可能です。またピンインを確認しながら、音声読み上げを聞くこともできます。

1

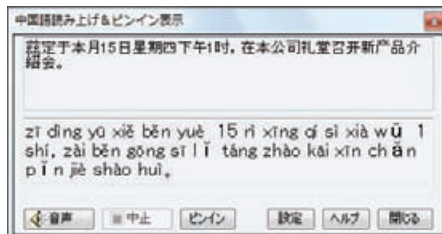
あらかじめ、中国語(簡体字)または中国語(繁体字)が含まれる翻訳方向を選択しておきます。

2



原文ボックスまたは訳文ボックスでピンイン表示する文字を選択し、[音声]メニューから[ピンイン表示]を選択します。

[中国語読み上げ&ピンイン表示]ウィンドウが表示され、選択した文字とそのピンインが表示されます。



● [中国語読み上げ&ピンイン表示]ウィンドウの[音声]ボタンをクリックすると、表示されている文字が読み上げられます。

● [中国語読み上げ&ピンイン表示]ウィンドウは[読み上げ]を選択したときにも表示されます。このとき[ピンイン]ボタンをクリックすると、表示されている文字のピンインを表示します。

Chapter 4

ホームページを翻訳するには

1

Internet Explorerでホームページを翻訳するには

コリヤ英和！各国語をインストールする前に Internet Explorer 9.0 / 8.0 / 7.0 がインストールされていた場合、コリヤ英和！ ツールバーが自動的に組み込まれます。ここでは、Internet Explorer に組み込まれた翻訳機能や翻訳方法を紹介します。



プロバイダなどによりカスタマイズされた Internet Explorer は使用できないことがあります。必ず、カスタマイズされていない Internet Explorer をお使いください。

Internet Explorer に組み込まれた翻訳機能について

翻訳機能が組み込まれた Internet Explorer 9.0 / 8.0 / 7.0 には、コリヤ英和！ツールバーが表示されます。



コリヤ英和！ツールバー

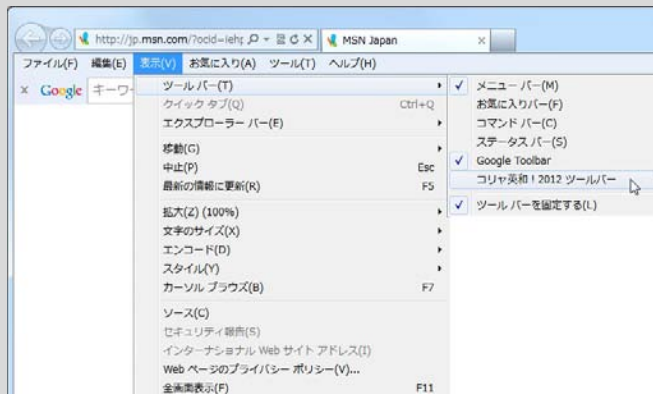
コンテキストメニューには、以下のコマンドが追加されます。

コリヤ英和！ 2013 (1) ページ翻訳 (訳文のみ)
コリヤ英和！ 2013 (2) ページ翻訳 (上下対訳)



ツールバーが表示されていないときは、次の方法でコリヤ英和！ツールバーを表示させてください。

- ① Internet Explorer 9.0 / 8.0 / 7.0 をお使いの場合は、[Alt] キーを押してメニューバーを表示させます。(Internet Explorer 6.0 では必要ありません。)
- ② [表示]メニュー→[ツールバー]→[コリヤ英和！ ツールバー]の順に選択して、[コリヤ英和！ ツールバー]のチェックマークをオンにします。



この方法だけでは表示されない場合は、[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[コリヤ英和！《〇〇語》]*→[サポート情報]→[IE アドインについて]を選択し、表示されるオンラインヘルプの手順に従って設定を行ってください。

* 《〇〇語》の部分には「スペイン語」「中国語」などお買い求めの言語名が表示されます。

コリヤ英和！ ツールバーの主な機能

コリヤ英和！ ツールバーには、主に次のような機能があります。

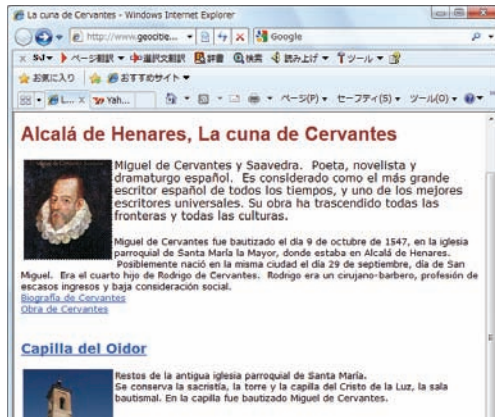
HTML 等で記述された Web ページの翻訳

Web ページを Internet Explorer 上で翻訳

[ページ翻訳]>[訳文のみ]/[上下対訳]/[ヘッダ・リンクタグのみ]

表示中の Web ページを翻訳し、結果を Internet Explorer 上で表示します。

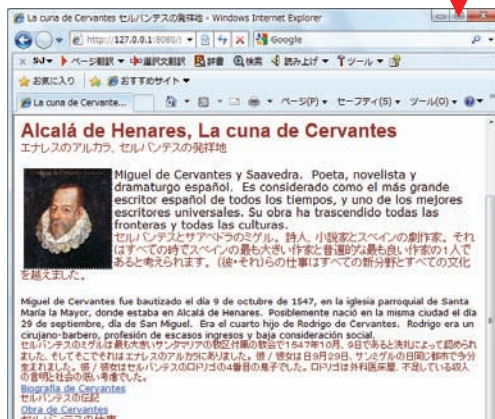
元のレイアウトが保たれるので、素早く Web ページを読み進めたいときなどに便利です。



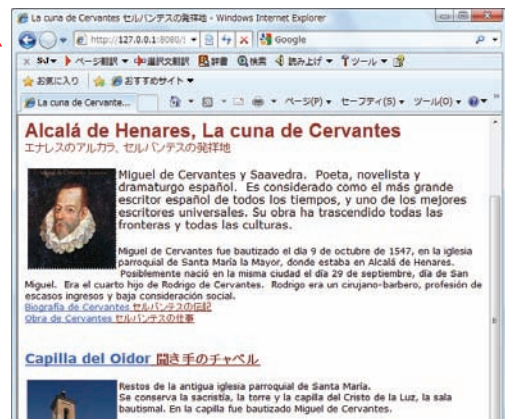
もとの Web ページ



[訳文のみ]



[上下対訳]



[ヘッダ・リンクタグのみ]

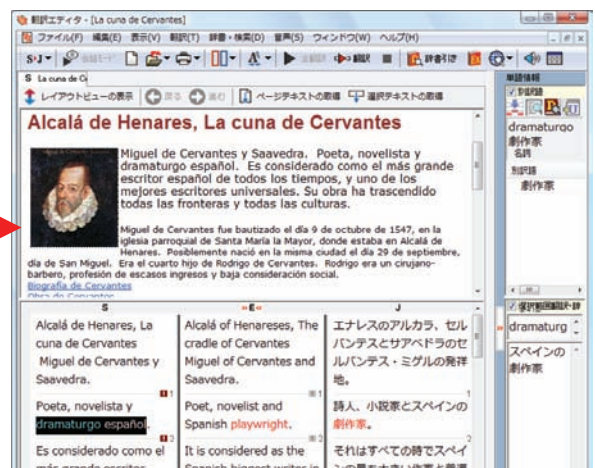
Web ページを翻訳エディタに転送して翻訳

[ページ翻訳]>[翻訳エディタで開く]/[選択文翻訳]

[翻訳エディタで開く]は、表示中の Web ページを翻訳エディタのレイアウトビューに転送して翻訳します。

[選択文翻訳]は、Internet Explorer 上で選択したテキスト部分を翻訳エディタで翻訳します。

どちらも、より詳細に訳文を検討したいときに便利です。

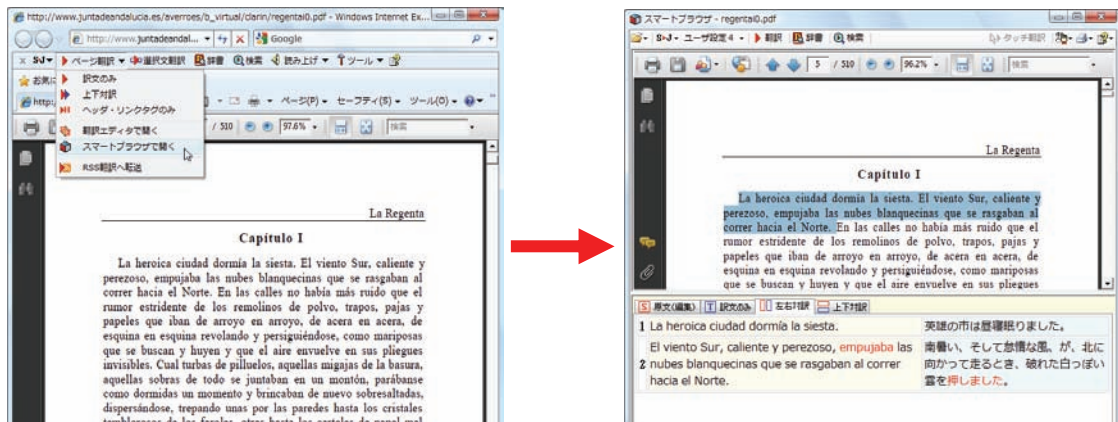


Web 上に表示された PDF の翻訳

PDF をInternet Explorerスマートブラウザで翻訳

[ページ翻訳]>[スマートブラウザで開く]

Web ページに表示された PDF は、スマートブラウザに転送することで翻訳できます。

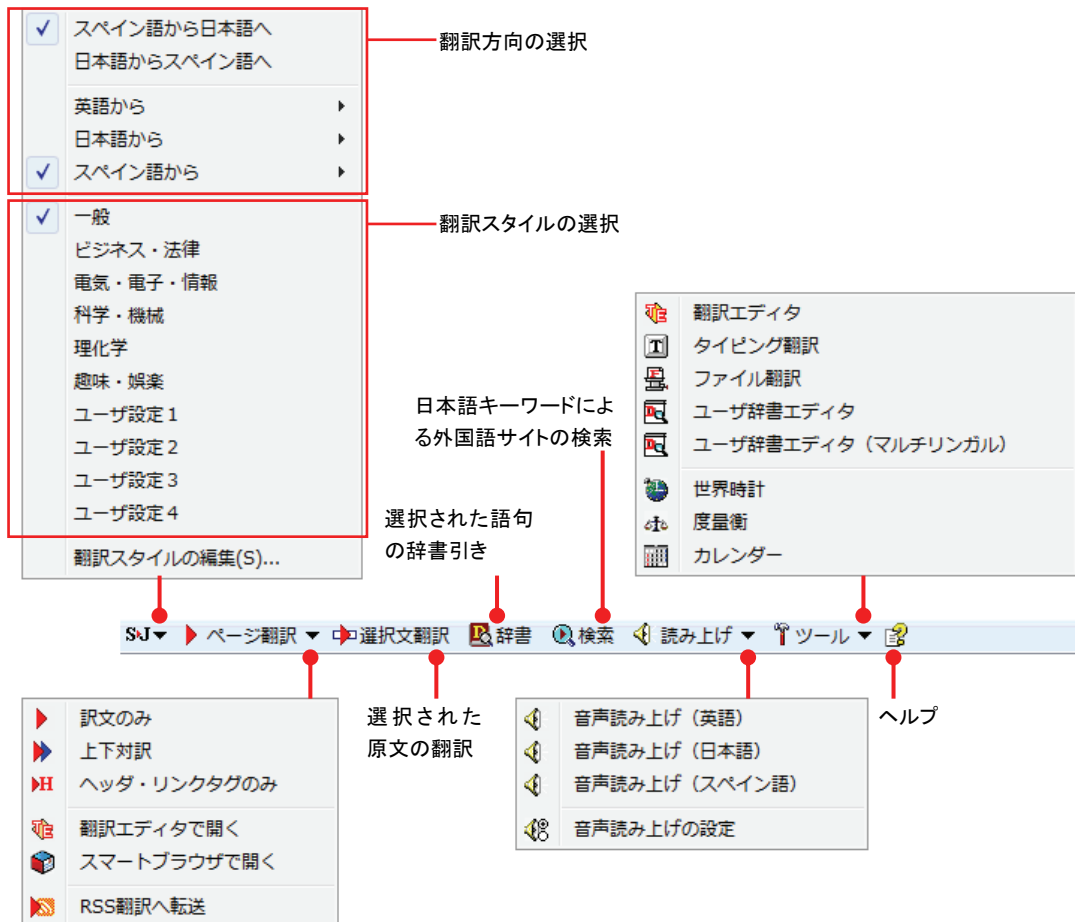


上記の他、登録した RSS ページを自動翻訳できる RSS 翻訳、辞書引き、音声読み上げなどの機能が利用できます。

コリヤ英和！ ツールバーの名称と機能

コリヤ英和！ ツールバーには、コマンドボタンが用意されています。ツールバー上のボタンをクリックすると、そのコマンドの機能が実行できます。

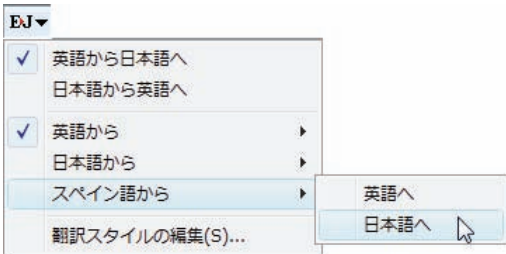
ボタンの右に▼がある各ボタンにはプルダウンメニューがあります。プルダウンメニューは、それぞれのボタンをクリックすると開きます。プルダウンメニューを開いて、メニューにあるコマンドをクリックすると、そのコマンドを実行できます。



■Internet Explorer のコリヤ英和！ ツールバー

翻訳方向と翻訳スタイルの選択

翻訳する方向および翻訳スタイルを切り替えるボタンです。

翻訳方向の選択	<p>翻訳したい方向を切り替えることができます。</p> <p>上二つのメニューでは、現在選択されている言語の組み合わせで、翻訳方向を切り替えます。残りのメニューでは、原文の言語を選択し、表示されるサブメニューで訳文の言語を選択します。</p> 
翻訳スタイルの選択	<p>翻訳する原文の性質にあわせて、よりよい翻訳結果を得るために、使用する翻訳スタイルを切り替えることができます。翻訳スタイルには、あらかじめ「一般」、「ビジネス・法律」、「電気・電子・情報」、「科学・機械」、「理化学」、「趣味・娯楽」などが用意されています。ただし、言語により異なります。</p> <p>なお、原語または訳語に英語を選択したときは、翻訳スタイルは選択できません。</p>
翻訳スタイルの編集	<p>翻訳スタイルマネージャを起動します。翻訳スタイルを編集することができます。</p>

ページ翻訳

Internet Explorer に表示されている Web ページ全体を翻訳したり、ページ全体を他の翻訳ツールに転送したりするときに使います。以下の翻訳方法や転送先を選べます。

訳文のみ	Web ページ上の原文をページごと翻訳し、訳文のみを表示します。
上下対訳	Web ページ上の原文をページごと翻訳し、原文と訳文を上下に表示します。
ヘッダ・リンクタグのみ	Web ページ上のヘッダとリンクタグだけを翻訳し、原文に続けて訳文を表示します。
翻訳エディタで開く	[翻訳ブラウザ]を起動し、表示されている Web ページをレイアウトビューに転送します。同時に、転送したページ全体のテキストが原文ボックスに入力されます。
スマートブラウザで開く	[スマートブラウザ]を起動し、表示されているページを転送します。スマートブラウザでは PDF、HTML、テキストファイルを翻訳できます。
RSS 翻訳へ転送	[RSS 翻訳]を起動し、表示されている RSS サイトの内容を転送します。

選択文翻訳

Internet Explorer 上で選択したテキストを[翻訳エディタ]に転送して翻訳します。翻訳したい原文テキストを選択してこのボタンをクリックすると、[翻訳エディタ]が起動し、翻訳結果を表示します。

辞書

Internet Explorer 上で選択したテキストを辞書引きします。調べたい語句を選択してこのボタンをクリックすると、[辞書ビュー]が開き、翻訳用の辞書(翻訳辞書)から辞書引きが行えます。

検索

翻訳機能を使いながら、検索エンジンで Web ページを検索するときに使います。検索したい語句を選択してこのボタンをクリックすると、[サーチ翻訳]ダイアログが開き、指定されている検索エンジンで関連する Web ページを検索します。日本語の語句を選択したときは、その訳語がキーワードになります。また、検索結果は日本語に翻訳されます。

読み上げ

音声合成エンジンがインストールされているときに表示されます。音声による読み上げの実行と、音声読み上げの設定ができます。



● 音声が聞こえないときは、Windows の [Volume Control] パネルの音量を確認してください。

ツール

コリャ英和！ 各国語 で使用できる各種のツールを呼び出すことができます。

- ☛ [ツール] ボタンに登録されている各ツールについては、「第2章 操作パネルの使い方」をご覧ください。

ヘルプ

オンラインヘルプを表示します。

Web ページを Internet Explorer 上で翻訳する

HTML 等で記述された通常の Web ページは、Internet Explorer 上でレイアウトを保ったまま翻訳できます。また、お気に入り翻訳の機能を使えば、頻繁に閲覧するページが自動的に翻訳されるようになります。



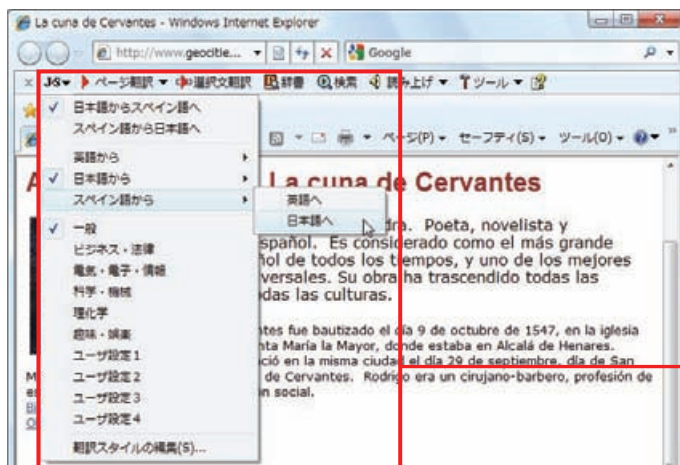
以下はスペイン語から日本語への翻訳の例ですが、その他の言語の翻訳も同様に行えます。

表示した Web ページを翻訳するときは

Internet Explorer 上に表示されている Web ページの翻訳には、[ページ翻訳ボタン] の [訳文のみ]、[上下対訳]、[ヘッダ・リンクタグのみ] のいずれかを使います。いずれも元のページのレイアウトやリンクを生かしながら、原文を翻訳結果に入れ替えて表示します。訳文のみを表示したい場合は [訳文のみ]、原文と訳文の両方を表示したい場合は [上下対訳]、タイトルやリンク部分だけを確認したい場合は [ヘッダ・リンクタグのみ] を選択します。

ここでは、[上下対訳] の場合を例にとって説明します。

1



インターネットにアクセスし、翻訳したい Web ページを開きます。

[翻訳方向の選択] ボタンをクリックして、表示されるメニューから翻訳方向を設定します。再度、翻訳方向の選択] ボタンをクリックし、Web ページの内容に合わせて翻訳スタイルを選択します。

この例では、[スペイン語から日本語へ]、[一般] を選択します。

[翻訳方向と翻訳スタイルの選択] ボタン
翻訳するホームページに合わせて翻訳方向や翻訳スタイルを切り替えます。

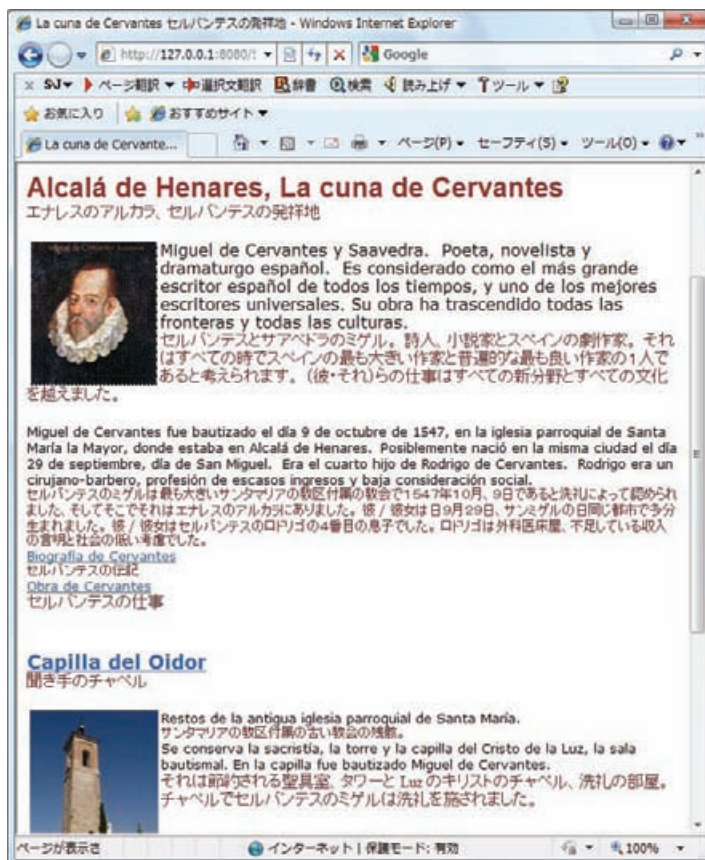
2



[ページ翻訳]をクリックし、表示されるメニューから[訳文のみ]、[上下対訳]、[ヘッダ・リンクタグのみ]のいずれかを選択します。

この例では、[上下対訳]を選択します。

翻訳が開始され、終了すると、原文と訳文が上下に並んで表示されます。



[ページ翻訳]ボタンでページ全体を翻訳する場合、ページの構造によっては、翻訳・表示できない場合があります。その場合は、「Web ページを翻訳エディタに転送して翻訳する」で紹介している[選択文翻訳]コマンドをご利用ください。

お気に入りに翻訳するには.....

ニュースサイトなど、頻繁に翻訳して閲覧するページは、翻訳したページをお気に入りに追加しておく便利です。お気に入りに選択するたびに、自動的に翻訳が行われ、最新内容の翻訳結果が表示されるようになります。

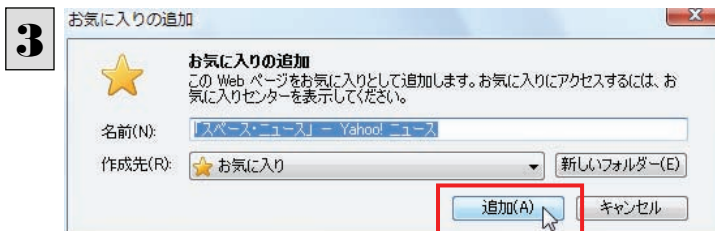


登録するホームページを表示し、ツールバーの[ページ翻訳]からページ翻訳を実行します。
[訳文のみ][上下対訳][ヘッダ・リンクタグのみ]のいずれでも構いません。



IE上で右クリックして開くコンテキストメニューから[お気に入りに追加]を選択し、翻訳されたページをお気に入りに追加します。

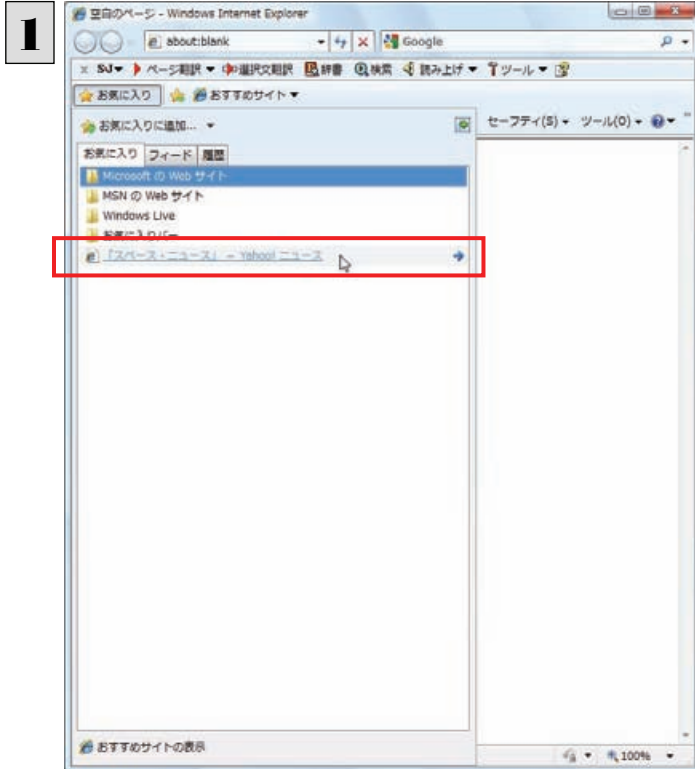
[お気に入りに追加]ダイアログが表示されます。



名前を入力し、作成先を選択して、[追加]ボタンをクリックします。
これでお気に入りへ登録されます。

お気に入り翻訳を実行する

通常のお気に入りページの表示と同じように、お気に入りを選択するだけで最新内容の翻訳結果が表示されます。



お気に入りを選択します。

自動的に翻訳が行われ、最新内容の翻訳結果が表示されます。



翻訳方向や翻訳形式は、お気に入りに追加した時点のものが適用されます。



コリヤ英和！ ツールバーが表示されていない場合、お気に入り翻訳はできません。

Web ページを翻訳エディタに転送して翻訳するには

InternetExplorer で表示中の Web ページを翻訳して、より詳細に訳文を検討したいときは、翻訳エディタに転送します。ホームページに含まれるテキストを、対訳表示で一文一文検討しながら翻訳できます。より適切な訳文が得られるように、原文を編集することもできます。ページ全体を転送して、レイアウトを確認しながら翻訳する方法と、選択したテキストのみ転送する方法があります。

ページ全体を翻訳エディタに転送するときは

[ページ翻訳]メニューの[翻訳エディタで開く]で行う翻訳操作の例を紹介します。ページ全体を、より正確に翻訳したいときに便利です。

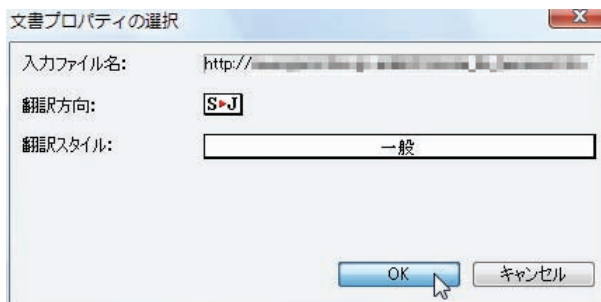
1



インターネットにアクセスし、翻訳エディタに転送したいページがあったら、[ページ翻訳]ボタンの[翻訳エディタで開く]を選択します。

[文書プロパティの選択]が表示されます。

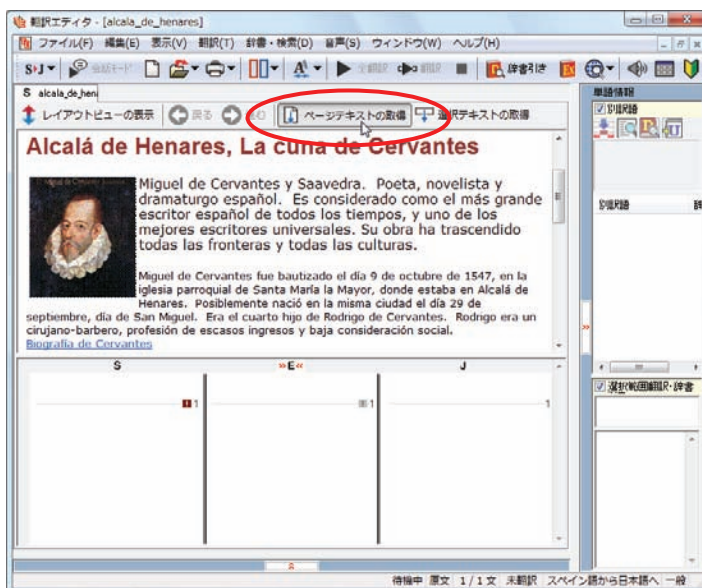
2



翻訳方向、翻訳スタイルを設定し、[OK]ボタンをクリックします。

翻訳エディタが起動し、転送したページがレイアウトビューに表示されます。

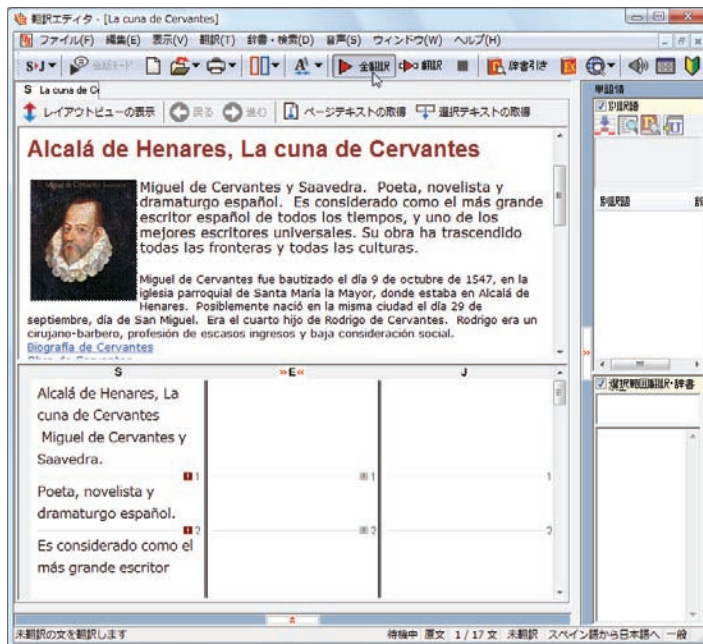
3



[ページテキストの取得]をクリックします。

レイアウトビューに表示したWebページのテキストが原文ボックスに取得されます。

4



翻訳エディタの機能を使いながら、翻訳や訳文の修正を行います。

「[翻訳エディタ]については、第3章「翻訳エディタで翻訳するには」をご覧ください。

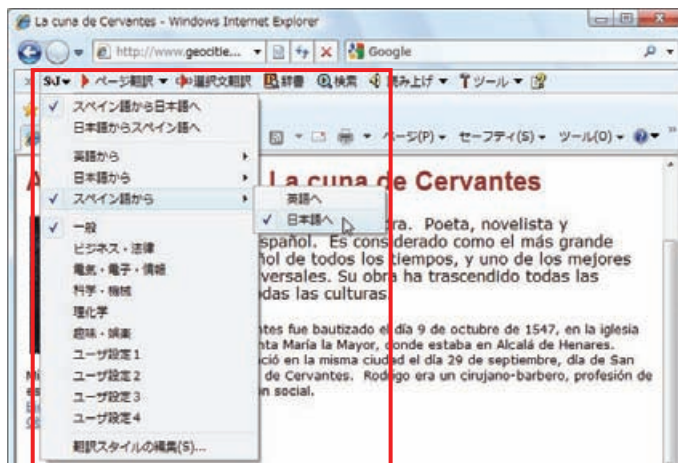


フレーム機能で画面が分割されている場合など、Web ページによっては Internet Explorer 上での表示中の部分とは別の部分が翻訳エディタのレイアウトビューに表示される場合があります。この場合は、レイアウトビュー内でリンク先を選択するなどの操作を行い、目的の部分を表示してください。

選択したテキストを翻訳するときは

ここでは、「選択文翻訳」で行う翻訳操作の例を紹介します。一部の文章だけを翻訳するときに便利です。

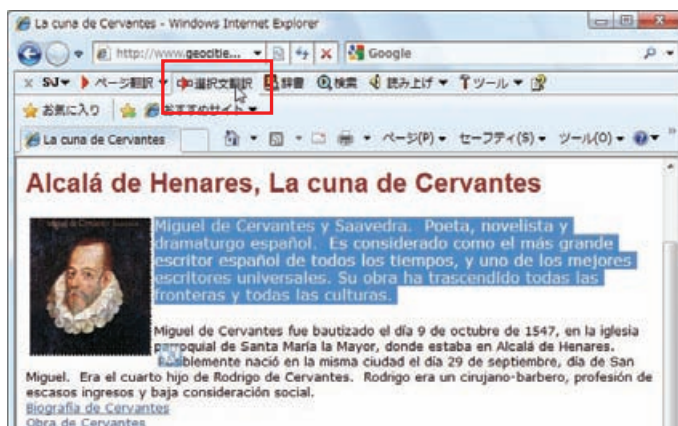
1



インターネットにアクセスし、翻訳したいWeb ページを開きます。

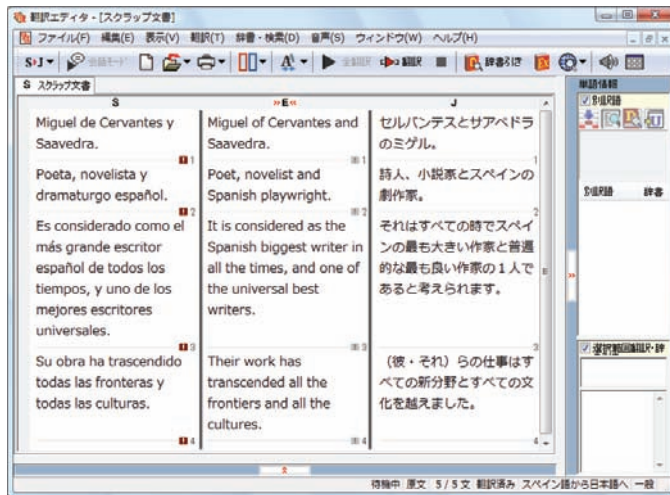
[翻訳方向の選択] ボタンをクリックして、表示されるメニューから翻訳方向を設定します。再度、[翻訳方向の選択] ボタンをクリックし、Web ページの内容に合わせて翻訳スタイルを選択します。この例では、「スペイン語から日本語へ」、[一般] を選択します。

2



翻訳したい文を選択し、「選択文翻訳」ボタンをクリックします。

[翻訳エディタ]が起動し、選択した部分の翻訳が開始されます。終了すると、翻訳結果が対訳で表示されます。

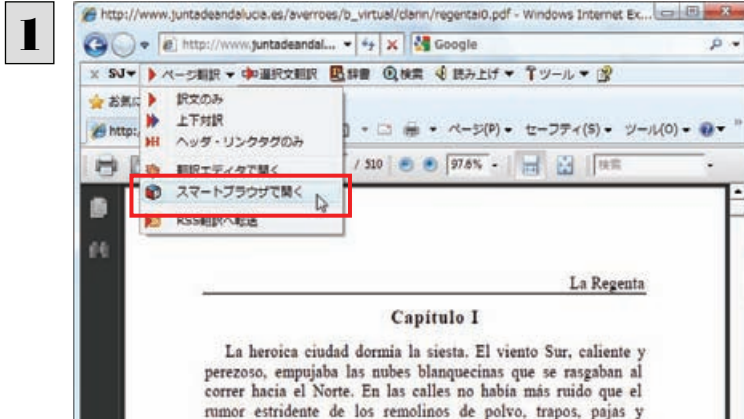


ヒント → テキストを選択しないで[選択文翻訳]ボタンをクリックすると原文を入力する状態になります。

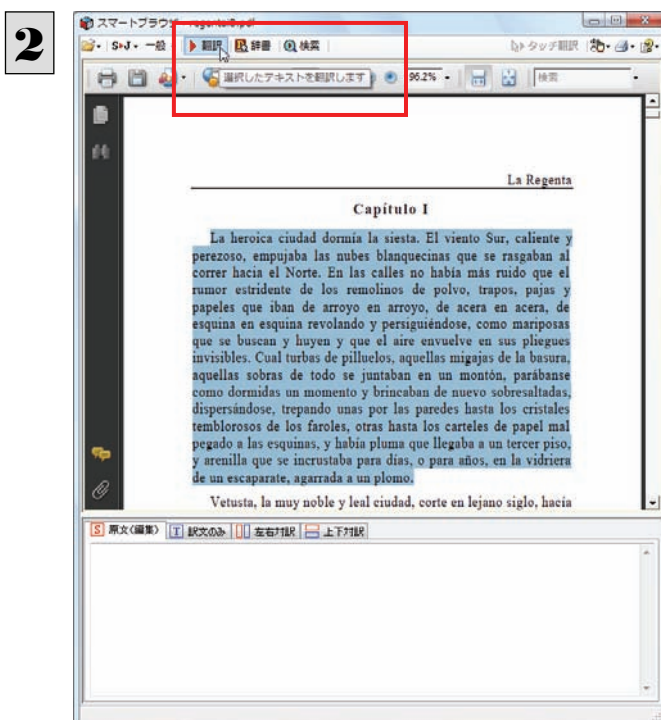
Web ページ上の PDF をスマートブラウザで翻訳する

Web ページ上に表示された PDF の文書は、スマートブラウザに転送して翻訳できます。

ヒント → HTML 等で記述された Web ページも、スマートブラウザに転送して翻訳できます。



Webページ上に、翻訳したいPDFファイル等が表示されたら、[ページ翻訳]ボタンの[スマートブラウザで開く]を選択します。



スマートブラウザが起動し、転送したページが表示されます。

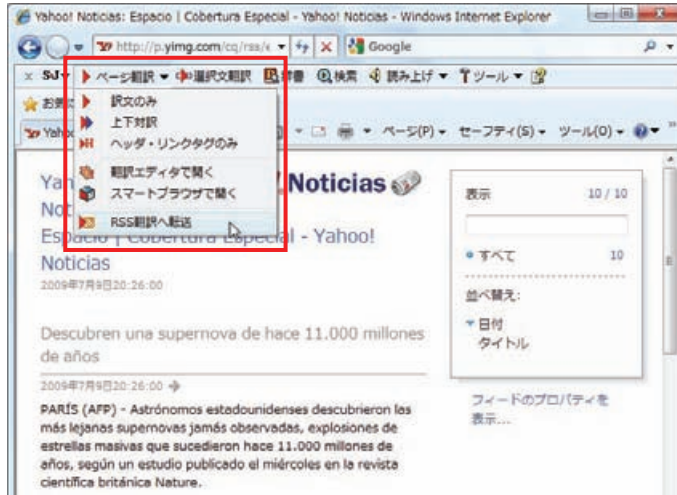
スマートブラウザの機能を使いながら、翻訳を行います。

→ スマートブラウザでは、辞書引きなどが利用できます。

詳しくは第2章「操作パネルの使い方」の「5.翻訳ボタンの使い方 スマートブラウザの使い方」をご覧ください。

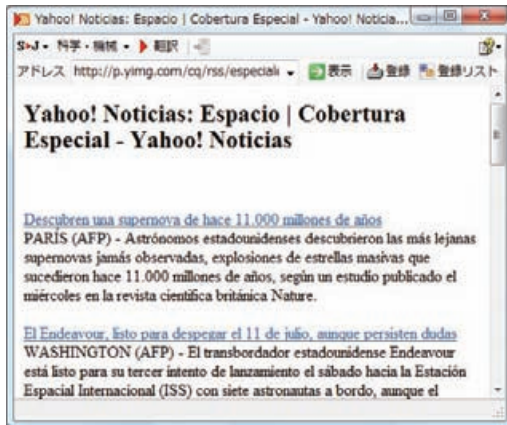
RSS ページを RSS 翻訳に転送する

1



インターネットにアクセスし、転送したいRSSサイトがあったら、[ページ翻訳]ボタンの[RSS翻訳に転送]を選択します。

RSS翻訳が起動し、転送したRSSサイトの内容が表示されます。



- RSS 翻訳では、サイトの内容の翻訳や、サイトの登録などができます。
詳しくは第2章「操作パネルの使い方」の「5.翻訳ボタンの使い方 RSS の使い方」をご覧ください。

日本語を選択し、訳語で Web ページを検索・翻訳する

[検索]コマンドを使うと、選択した日本語を翻訳し、訳語を検索キーワードとして外国語の Web ページを検索できます。なお、検索サイトには、「Yahoo!」または「Google」を選択できます。

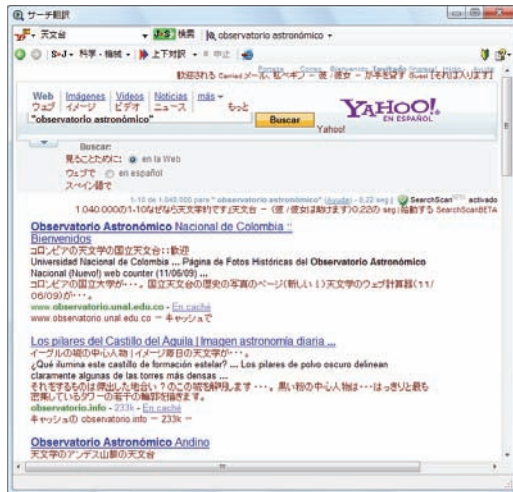
1



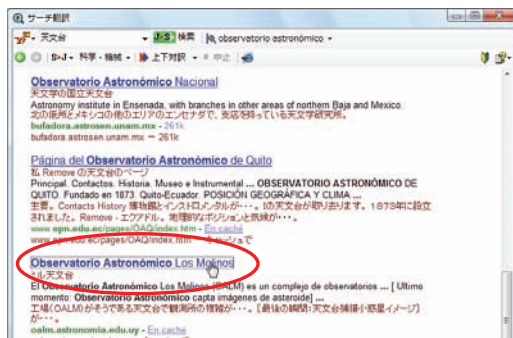
テキストを選択して、[検索]ボタンをクリックします。

[サーチ翻訳]ウィンドウが開きます。選択された原語が翻訳され、訳語をキーワードにサイトが検索されます。

検索結果は、日本語に翻訳されて表示されます。



2



表示したいWebページが見つかったら、クリックします。

クリックしたページに移動し、指定されている方法で翻訳されます。

3



検索結果をInternet Explorerで表示するときは、[Internet Explorerへ転送]ボタンを、クリックします。

サーチ翻訳に表示されていた内容がInternet Explorerに転送されます。



検索キーワードとその訳語が表示されているとき、訳語の右にある▼をクリックすると、別訳語のリストが表示されます。



このリストで、別訳語を選択すると、選択した訳語で再検索が行われ、結果が日本語に翻訳されて表示されます。





[翻訳サーチ]ウィンドウの [検索サイトの変更] ボタンの右にある ▼ をクリックすると、次のリストが出ます。

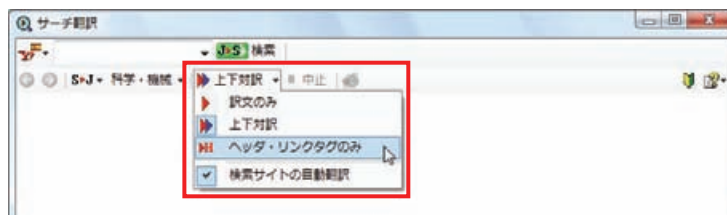


このリストで、検索サイトを設定しておくことができます。また、[原語のまま検索] をチェックしてオンにしておくと、入力した語句を翻訳できなかったとき、入力した語句をそのまま検索キーワードとして Web 検索を実行します。

オフにすると、翻訳できなかったときには Web 検索が実行されず、ステータスバーに翻訳結果がないと表示されます。



[翻訳サーチ]ウィンドウの [ページ翻訳] ボタンの右にある ▼ をクリックすると、次のリストが出ます。



このリストで、翻訳方法や検索したサイトを自動的に翻訳するかどうかを設定しておくことができます。



Internet Explorer でテキストを選択せずに [検索] ボタンをクリックしたときは、空の [サーチ翻訳] ウィンドウが開きます。

辞書引きするには

ホームページ上の語句をコリャ英和！各国語の翻訳辞書で辞書引きすることができます。



[翻訳方向の選択] ボタンをクリックして辞書引きしたい言語の方向を選択しておきます。辞書引きする語句を選択し、[辞書] ボタンをクリックします。

[辞書ビュー] ウィンドウが開き、辞書引き結果が表示されます。



語句を選択せずに [辞書] ボタンをクリックしたときは、空の [辞書ビュー] ウィンドウが開きます。

2

HTTPプロキシ翻訳でホームページを翻訳するには

HTTP プロキシ翻訳は、Firefox などのブラウザでホームページを翻訳する際に利用する機能です。ここでは、Firefox 13 を例にその使い方を紹介します。

HTTP プロキシ翻訳を有効にする

ここでは、この機能を有効にする方法を説明します。

「HTTP プロキシ翻訳」とは

HTTP プロキシ翻訳は、お使いのコンピュータに翻訳専用のプロキシサーバ(翻訳サーバ)を起動し、Web ブラウザでホームページにアクセスしたときに、そのホームページを直接 Web ブラウザ上に表示するのではなく、翻訳サーバを通して表示させるという機能です。HTTP プロキシ翻訳では、設定方法により、次のいずれかの方法でホームページを表示します。

- 翻訳せずにそのまま表示する
- 翻訳して上下対訳で表示する
- 翻訳して訳文だけを表示する



プロバイダが独自に使用しているブラウザでは、ホームページ翻訳は行えない場合があります。プロキシサーバを経由できないファイアウォール環境では、プロキシ方式のホームページ翻訳を利用できない場合があります。プロキシ方式では、セキュリティで保護されたホームページは翻訳できません。

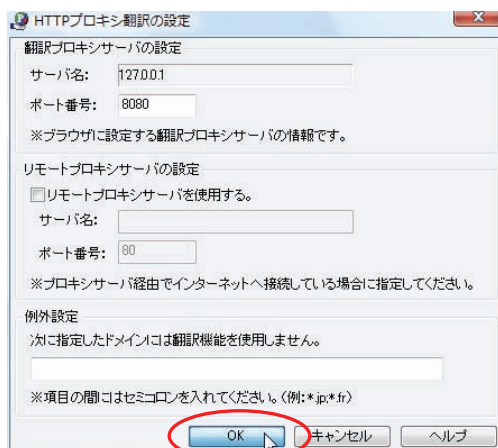
HTTP プロキシ翻訳機能を有効にするには

次の手順で設定します。

1

[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[コリヤ英和！〇〇語]→[設定ツール]→[HTTPプロキシ翻訳の設定]の順に選択します。

[HTTPプロキシ翻訳の設定]ダイアログが表示されます。



必要な設定を行い[OK]ボタンをクリックします。通常は、このままの設定で[OK]ボタンをクリックします。これでHTTPプロキシ翻訳機能が有効になります。

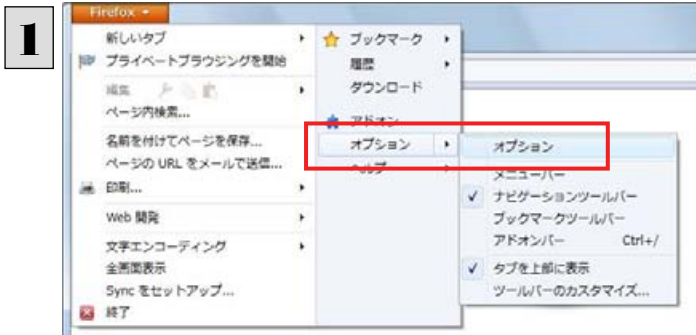
HTTPプロキシ翻訳が有効になると、タスクトレイに[HTTP プロキシ翻訳]アイコンが表示されます。このアイコンがタスクトレイに表示されているときに、HTTP プロキシ翻訳が有効になっています。



【リモートプロキシサーバの設定】は、ネットワークなどを通じプロキシサーバを経由してインターネットに接続している場合などに設定します。通常このプロキシサーバは、別のコンピュータで動作していますので、「リモートプロキシサーバ」と呼ばれます。このサーバが存在する環境では、このサーバがある場所を翻訳サーバに指示しておく必要があります。詳細は、ネットワーク管理者にお尋ねください。

Web ブラウザの設定を行う

HTTP プロキシ翻訳を Web ブラウザで利用するためには、Web ブラウザに翻訳サーバを使用すること、翻訳サーバがある場所を指示しておく必要があります。

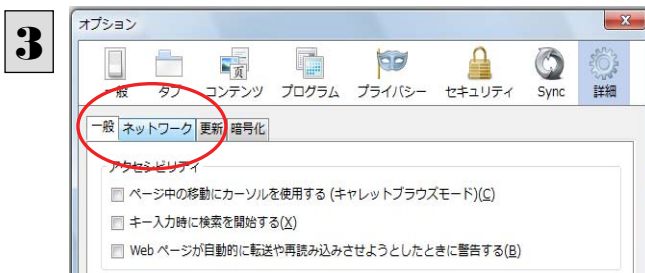


Firefox を起動し、[ツール]メニューから[オプション]を選択します。

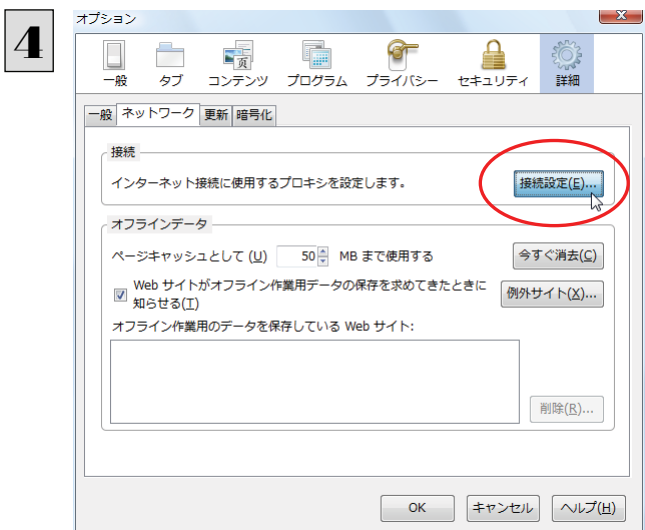
[オプション]ダイアログが表示されます。



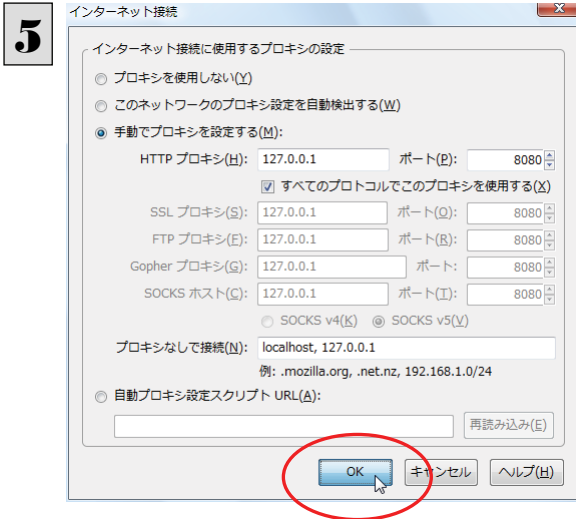
[詳細]をクリックします。



[詳細]の[ネットワーク]タブをクリックします。



[接続]にある[接続設定]ボタンをクリックします。
[インターネットの接続設定]ダイアログが表示されます。

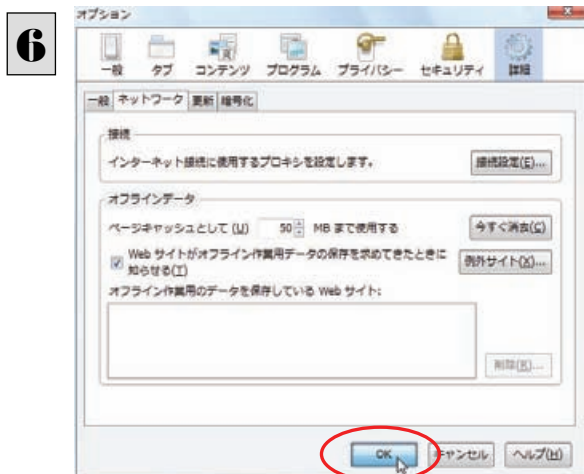


[手動でプロキシを設定する]ラジオボタンを選択し、[HTTPプロキシ]入力ボックスに半角数字で「127.0.0.1」と入力し、その右にある[ポート番号]入力ボックスに「8080」と入力します。入力を終えたら[OK]ボタンをクリックして[インターネット接続の設定]ダイアログを閉じます。

ヒント ポート番号は[HTTP プロキシ翻訳の設定]ダイアログの[翻訳プロキシサーバの設定]の[ポート番号]で設定した番号です。通常は、「8080」です。



注意 手順5を行う前に、[インターネット接続時に利用するプロキシの設定]の[HTTPプロキシ]の設定内容を控えておくようにしてください。翻訳サーバを使わなくなったとき、元に戻す必要があります。



[オプション]ダイアログで[OK]ボタンをクリックし、ダイアログを閉じます。

他のブラウザでも同様に翻訳サーバの設定を行うと、HTTPプロキシ翻訳を利用できます。

ホームページを翻訳する

HTTPプロキシ翻訳を有効にし、ブラウザでプロキシサーバ(翻訳サーバ)の設定を行うと、ホームページにアクセスしたときに翻訳サーバが機能し、指定した方法でホームページを翻訳させることができます。

翻訳方法を設定する

ブラウザを起動したら、翻訳方法を設定します。

1 Firefoxを起動します。



タスクトレイの[HTTPプロキシ翻訳]アイコンをクリックし、表示されるメニューから翻訳方向、翻訳スタイルを選択します。

3



これにより翻訳サーバの動作を設定できます。



翻訳方向や翻訳スタイルを選択することもできます。翻訳スタイルについては、第1章の「コリヤ英和！各国語の翻訳エンジンについて」をご覧ください。

翻訳方法を設定します。この例では、「上下対訳で表示」を選択します。

ホームページにアクセスする

ホームページにアクセスすると、翻訳サーバは設定された翻訳方法を実行し、その結果をブラウザに表示します。「訳文のみを表示」に設定した場合、指定した原語のホームページにアクセスすると、訳文だけがブラウザに表示されます。なお、翻訳を行うと、何もしないでホームページにアクセスする場合よりも、表示するまでに時間がかかります。



この方法でホームページを翻訳する場合、ホームページにアクセスした時点で翻訳サーバの機能が実行されますので、「上下対訳で表示」や「訳文のみを表示」にしておくと、翻訳する必要がないホームページまで翻訳してしまうことになります。こうした場合は、最初は「翻訳をしないで表示」にしておき、必要に応じて「上下対訳で表示」や「訳文のみを表示」に変更してから、再度同じホームページにアクセスします。

また、[HTTP プロキシ翻訳の設定]ダイアログの[例外設定]入力ボックスに翻訳対象にしないホームページの URL を入力しておくこともできます。たとえば「*.jp」など、ワイルドカードを使用して、日本語ホームページを翻訳対象外に指定しておくこともできます。詳しくは、[HTTP プロキシ翻訳の設定]ダイアログのオンラインヘルプをご覧ください。



翻訳サーバを停止するときは、タスクトレイの[HTTP プロキシ翻訳]アイコンをクリックして開くリストで、「終了」を選択します。この場合は、ブラウザの設定も元に戻してください。



HTTP プロキシ翻訳でページ全体を翻訳する場合、ページの構造によっては、翻訳・表示できない場合があります。その場合は、操作パネルの[翻訳]ボタンを利用し、選択した文章の翻訳を行ってください。

Chapter 5

メールを翻訳するには

1

Microsoft Outlookでメールを翻訳するには

Microsoft Outlookには、コリヤ英和！のアドイン機能を使って翻訳機能のツールバーをアドインできます。これにより、操作パネルを使用せずに外国語メールを翻訳できます。

Outlookに翻訳機能をアドインするには

Outlookがインストールされているとき、[アドイン設定]ダイアログボックスで翻訳機能をアドインします。



Outlookが起動していると正しくアドインできません。起動している場合、必ず終了させてから作業してください。アドイン機能については、「第6章 アプリケーションで翻訳するには」も参照してください。

1

デスクトップにある[コリヤ英和！ 操作パネル]アイコンをダブルクリックして[操作パネル]を表示させます。

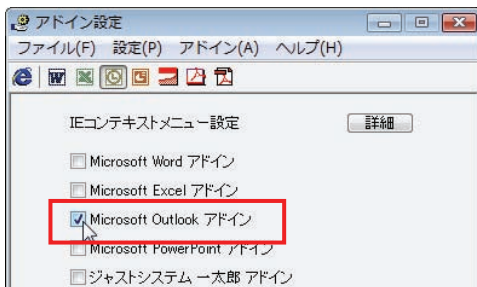
2



操作パネルの[設定]ボタンをクリックし、[アドイン設定]を選択します。

[アドイン設定]ダイアログボックスが表示されます。

3

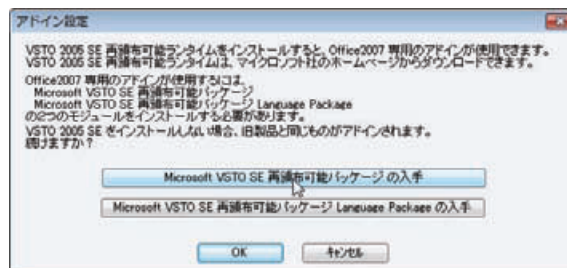


[Microsoft Outlook アドイン]をクリックしてONにし、[アドイン設定]ダイアログボックスを閉じます。

これで、Outlookに翻訳機能が組み込まれます。



Office 2007/2010をご利用の場合は、次のメッセージが表示されることがあります。



この場合、[Microsoft VSTO SE 再頒布可能パッケージの入手]、[Microsoft VSTO SE 再頒布可能パッケージ Language Packageの入手]ボタンをクリックしてそれぞれのパッケージをインストールすることで、Office 2007のリボンUIに対応したOfficeアドインを使えるようになります。インストールせずに[OK]ボタンをクリックすると、他のアドインと同じように、Office2007のアドインタブにコリヤ英和！のアドインが組み込まれます。



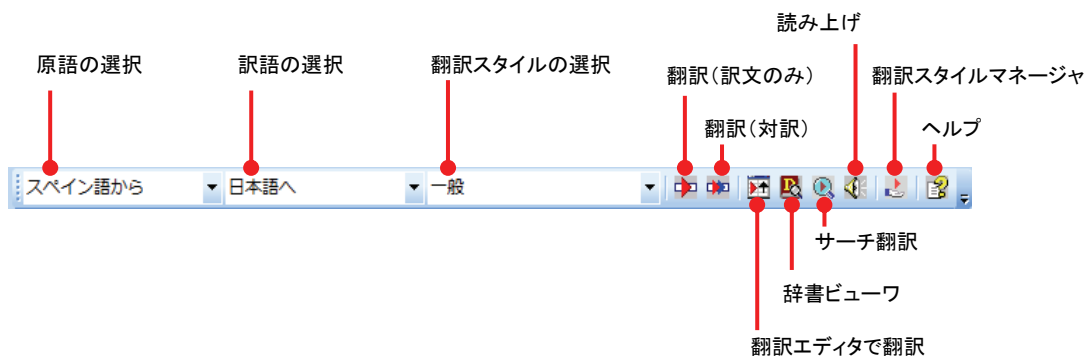
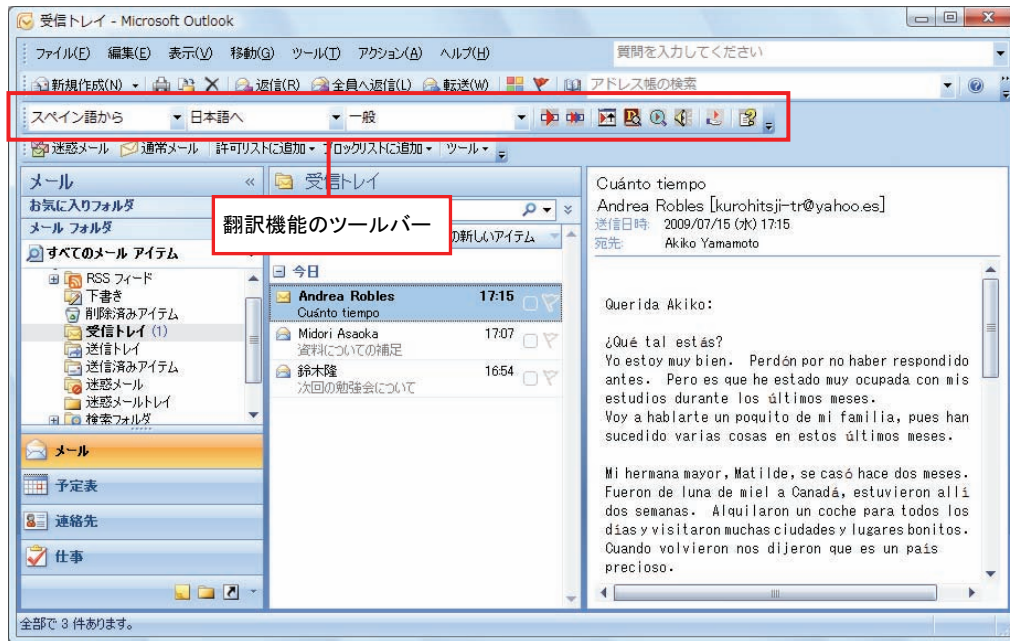
アドインを解除するときは、[Microsoft Outlook アドイン]をクリックしてOFFにします。



Office2010(64bit版)は、.NET Framework 4 Client Profileが必要で、アドインのための専用インストーラが起動します。

Microsoft Outlook に組み込まれた翻訳機能

翻訳機能が組み込まれた Microsoft Outlook では、翻訳機能のツールバーが表示されます。



原語の選択	▼マークをクリックして開くプルダウンメニューから原語を選択します。
訳語の選択	▼マークをクリックして開くプルダウンメニューから訳語を選択します。
翻訳スタイルの選択	▼マークをクリックして開くプルダウンメニューから翻訳スタイルを選択します。
翻訳 (訳文のみ)	選択したアイテムの本文を翻訳し、訳文のみのアイテムを作成、表示します。
翻訳 (対訳)	選択したアイテムの本文を翻訳し、原文と訳文が上下対訳になったアイテムを作成、表示します。
翻訳エディタで翻訳	選択したアイテムの本文を翻訳エディタに取り込んで翻訳します。
辞書ビューワ	[辞書ビューワ]ウィンドウを開きます。
サーチ翻訳	[サーチ翻訳]ウィンドウを開きます。
読み上げ	音声エンジンがインストールされているとき、選択したアイテムの本文を読み上げます。
翻訳スタイルマネージャ	翻訳スタイルマネージャを起動します。
ヘルプ	オンラインヘルプを表示します。

Outlook 2007/2010 のリボンに組み込まれた翻訳機能

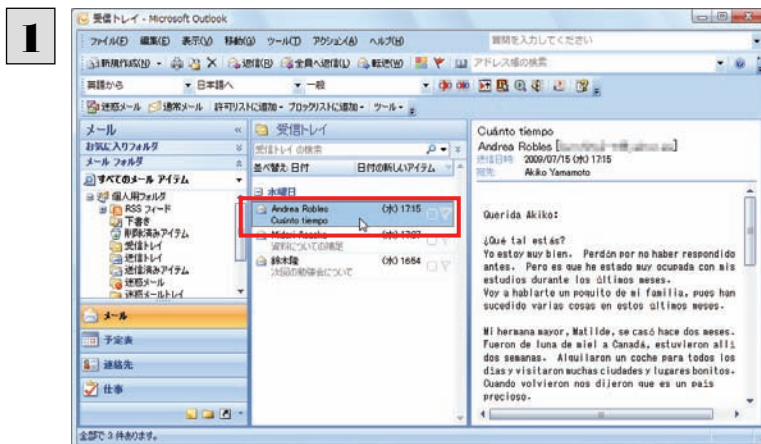
翻訳機能が組み込まれた Microsoft Outlook2007/2010 では、新規メッセージ、受信メッセージ、RSS フィードを開いたとき、リボンに[コリヤ英和！]タブが表示されます。



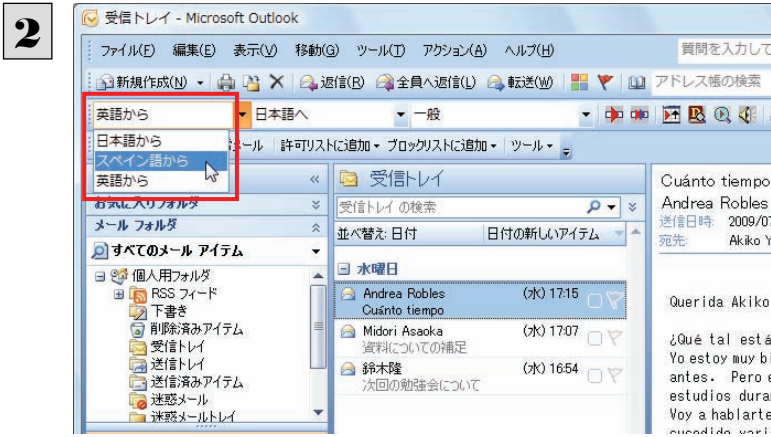
原語の選択	▼マークをクリックして開くプルダウンメニューから原語を選択します。
訳語の選択	▼マークをクリックして開くプルダウンメニューから訳語を選択します。
翻訳スタイルの選択	▼マークをクリックして開くプルダウンメニューから翻訳スタイルを選択します。
翻訳(訳文のみ)	選択した文を翻訳し、原文と訳文と入れ替えます。新規メッセージを開いた場合にのみ選択できます。受信メッセージやRSS フィードでは利用できません。
翻訳(対訳)	選択した文を翻訳し、段落ごとに原文と訳文を上下対訳形式で表示します。新規メッセージを開いた場合にのみ選択できます。受信メッセージやRSS フィードでは利用できません。
翻訳エディタで翻訳	選択したアイテムの本文を翻訳エディタに取り込んで翻訳します。
辞書ビュー	[辞書ビュー]ウィンドウを開きます。
サーチ翻訳	[サーチ翻訳]ウィンドウを開きます。
読み上げ	音声エンジンがインストールされているとき、選択した文を読み上げます。
翻訳スタイルマネージャ	翻訳スタイルマネージャを起動します。
ヘルプ	オンラインヘルプを表示します。

メールを翻訳するには

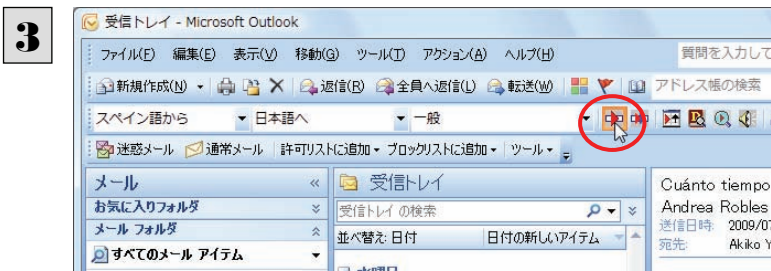
ここでは、ツールバーの[翻訳(訳文のみ)]ボタンで行う翻訳操作の例を紹介します。



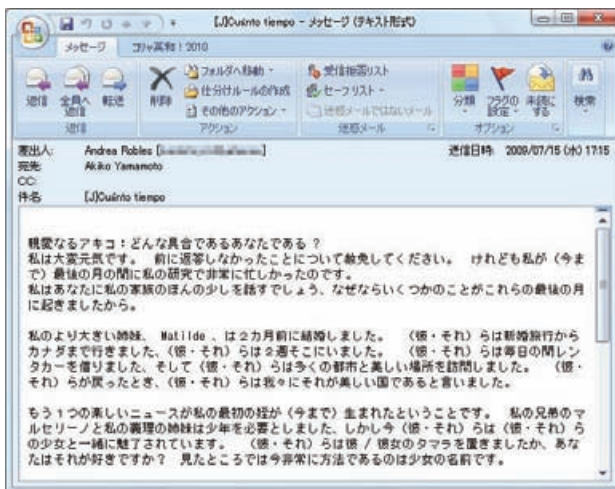
インターネットに接続し、メールを受信します。翻訳を行うメールのタイトルを選択します。



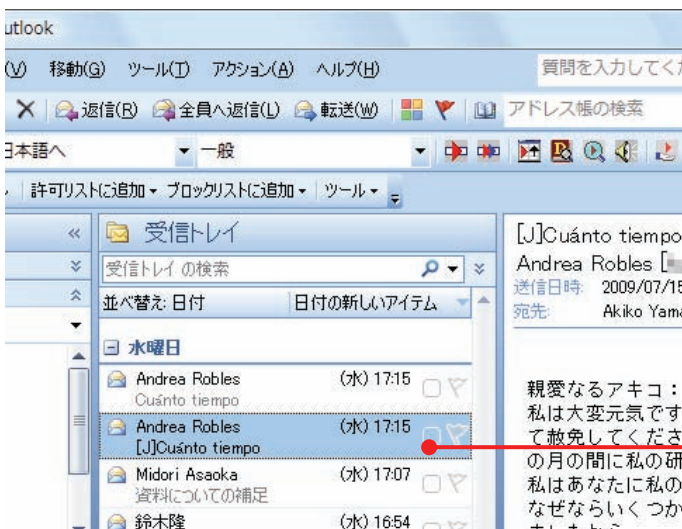
メールの内容に合わせてツールの原語と訳語、翻訳スタイルを設定します。



ツールの[翻訳(訳文のみ)] ボタンをクリックします。
翻訳が開始されます



終了すると、翻訳結果が表示されます。



翻訳結果は新しいアイテムとして保存されます。
保存されたアイテムのタイトルには、訳文の言語がアルファベットで表示されます。

日本語に翻訳したアイテム

2

メールソフトを起動せずにメールを翻訳するには (Outlook Express 6 / Windows メール)

Outlook Express 6 または Windows メールをお使いの場合は、メールソフトが起動してなくても、操作パネルから受信済みのメールを選択し、スマートブラウザに転送して翻訳することができます。テキスト形式のメールだけでなく、Web ページのような HTML 形式のメールも転送できます。



● 翻訳できるのは、Outlook Express 6 / Windows メールで受信済みのメールです。

1

デスクトップにある[コリヤ英和！操作パネル]アイコンをダブルクリックして[操作パネル]を表示させます。

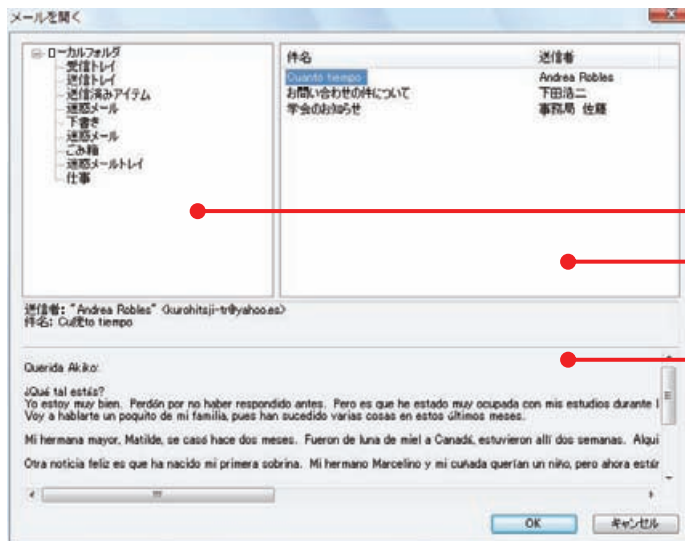
2



操作パネルの[ウェブ]ボタンをクリックし、[受信済みメールを翻訳]を選択します。

[メールを開く]ダイアログボックスが表示され、Outlook Express 6 / Windowsメールに保存されているメールが表示されます。

3



左側のボックスでフォルダを選択し、右側のボックスで翻訳するメールを選択して、[OK]ボタンをクリックします。

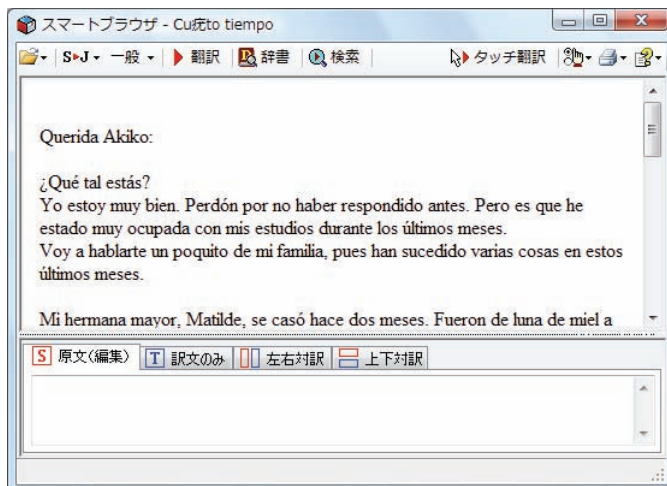
フォルダを選択するボックス

メールを選択するボックス

プレビューボックス

[スマートブラウザ]が開き、選択したメールが表示されます。

4



スマートブラウザの選択文翻訳、タッチ翻訳などの機能を使ってメールを翻訳します。

3

操作パネルを使ってメールを翻訳するには

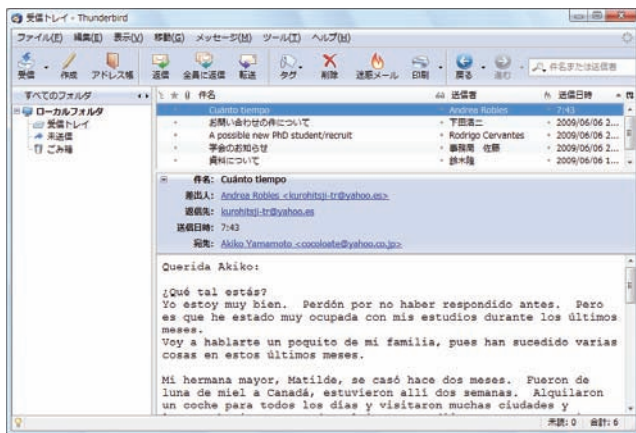
メールソフトを通常通りに使ってメールを受信し、必要に応じて翻訳したいときは、コリヤ英和！各国語の操作パネルを使います。ここでは、Thunderbird で受け取ったメールを、操作パネルのツールで翻訳する例を紹介します。Outlook Express など、ほとんどのメールソフトでも同様に翻訳できます。操作パネルの機能と使い方については、「第2章 操作パネルの使い方」を参照してください。

メールを受信し翻訳するには

ここでは、Thunderbird で外国語のメールを受信し、操作パネルの[翻訳]ボタンで翻訳する方法を紹介します。

1 デスクトップにある[コリヤ英和！操作パネル]アイコンをクリックして、[操作パネル]を表示しておきます。

2



インターネットに接続し、メールソフトでメールを受信します。

3



翻訳したいメールがあった場合、[操作パネル]でメールの内容と合った原語、訳語、翻訳スタイルを選択します。

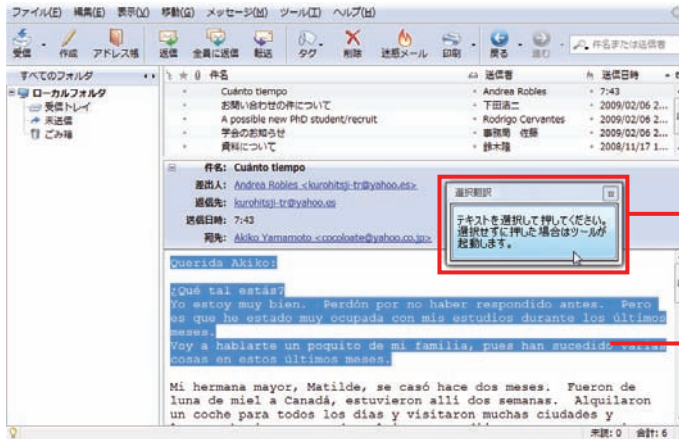
4



[選択翻訳]ボタンをクリックします。

[選択翻訳]ダイアログボックスが表示されます。

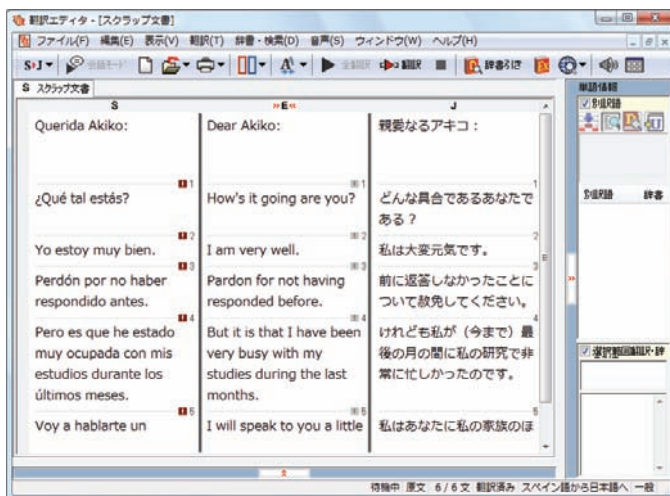
5



メールソフトで翻訳したい文を選択し、選択翻訳ウィンドウをクリックします。

[選択翻訳]ダイアログボックス

選択された文



[翻訳エディタ]ウィンドウが開き、選択した文の翻訳が開始されます。終了すると、翻訳結果が表示されます。

翻訳エディタでは、さまざまな機能を使って、訳文の検討や改良ができます。

◀ [翻訳エディタ]については、第3章「翻訳エディタで翻訳するには」をご覧ください。

Chapter 6

アプリケーションで翻訳するには

1

翻訳機能を組み込めるアプリケーションについて

コリヤ英和！各国語の翻訳機能はいろいろなアプリケーションソフトに組み込んで、アプリケーションから直接翻訳を行えるようにできます。これを「アドイン機能」といいます。ここでは、組み込めるアプリケーションのチェック方法などを説明します。

翻訳機能を組み込めるアプリケーションをチェックするには

コリヤ英和！各国語が対応しているアプリケーションは以下の通りですが、実際には[対応アプリケーション一覧]ダイアログボックスで検出されたアプリケーションに組み込むことができます。

Microsoft Word 2000／2002／2003／2007／2010

Microsoft Excel 2002／2003／2007／2010

Microsoft PowerPoint 2000／2002／2003／2007／2010

Microsoft Outlook 2007／2010

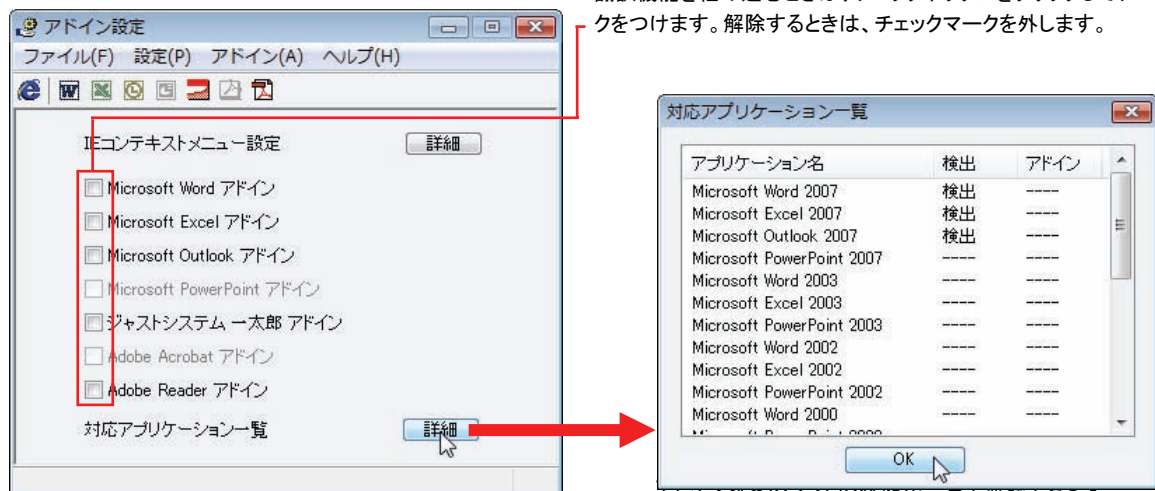
ジャストシステム 一太郎 2008／2009／2010／2011／2012

Adobe Acrobat 6.0／7.0／8.0／9.0／X

Adobe Reader 6.0／7.0／8.0／9.0／X

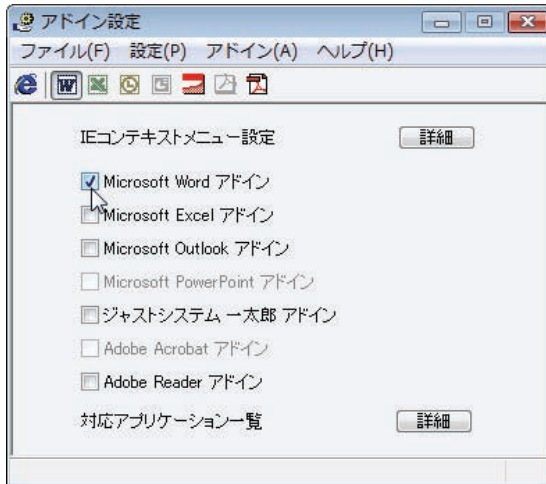
[対応アプリケーション一覧]ダイアログボックスは、[スタート]ボタン→[(すべての)プログラム]→[コリヤ英和！○○語]→[設定ツール]→[アドイン設定]を選択し、[アドイン設定]ダイアログボックスを開き(操作パネルの[設定]ボタン→[アドイン設定]でも開くことができます)、[詳細]ボタンをクリックして開きます。

翻訳機能を組み込むときは、チェックボックスをクリックしてチェックマークをつけます。解除するときは、チェックマークを外します。

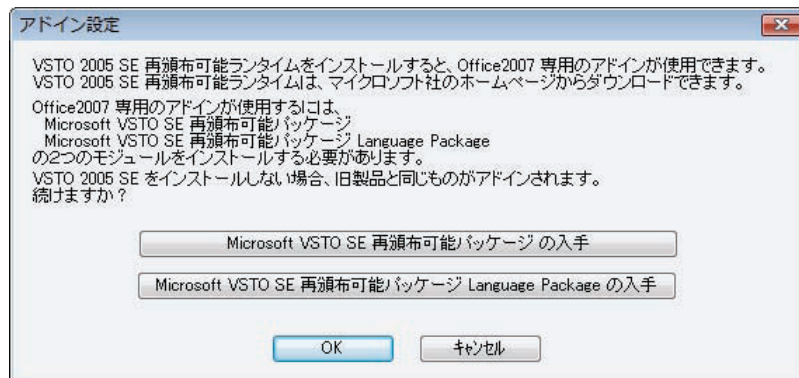


翻訳機能を組み込むときは

[アドイン設定]ダイアログボックスで翻訳機能を組み込むアプリケーション名の左側のチェックボックスをクリックしてチェックマークをつけます(「ONにする」といいます)。これで、翻訳機能が組み込まれます。



Office 2007/2010 をご利用の場合は、次のメッセージが表示されることがあります。



この場合、[Microsoft VSTO SE 再頒布可能パッケージの入手]、[Microsoft VSTO SE 再頒布可能パッケージ Language Package の入手]ボタンをクリックしてそれぞれのパッケージをインストールすることで、Office 2007 のリボン UI に対応した Office アドインを使えるようになります(次ページ参照)。インストールせずに[OK]ボタンをクリックすると、他のアドインと同じように、Office2007 のアドインタブにコリヤ英和！各国語のアドインが組み込まれます。



アドインを解除するときは、チェックマークを外します(「OFFにする」といいます)。



Office2010(64bit版)は、.NET Framework 4 Client Profile が必要で、アドインのための専用インストーラが起動します。

2

Microsoft Word で翻訳を行うには

ここでは、Microsoft Word に翻訳機能を組み込んで翻訳を行う方法を説明します。



制限ユーザで Microsoft Office アプリケーション (Word、Excel、PowerPoint、Outlook) のアドイン機能をご使用になる場合は、コリヤ英和！〇〇語がインストールされる前に Office アプリケーションがインストールされている必要があります。後から Office アプリケーションのインストールを行った場合、コリヤ英和！〇〇語の修正インストールを行ってください。修正インストールについては、インストールガイド P22「11[重要]コリヤ英和！各国語の変更と削除を行うには」をご覧ください。

Microsoft Word に翻訳機能を組み込むには

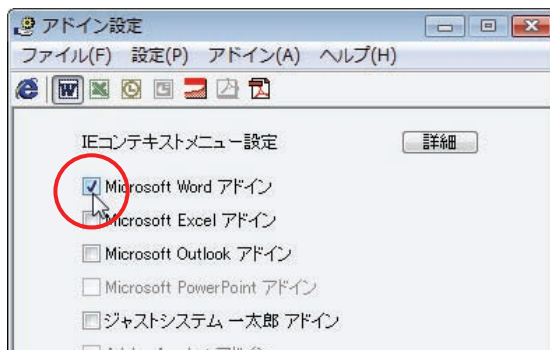
翻訳機能を組み込む手順を説明します。

1

[スタート]ボタン→[(すべての)プログラム]→[コリヤ英和！〇〇語]→[設定ツール]→[アドイン設定]の順に選択します。

[アドイン設定]ダイアログボックスが開きます。

2



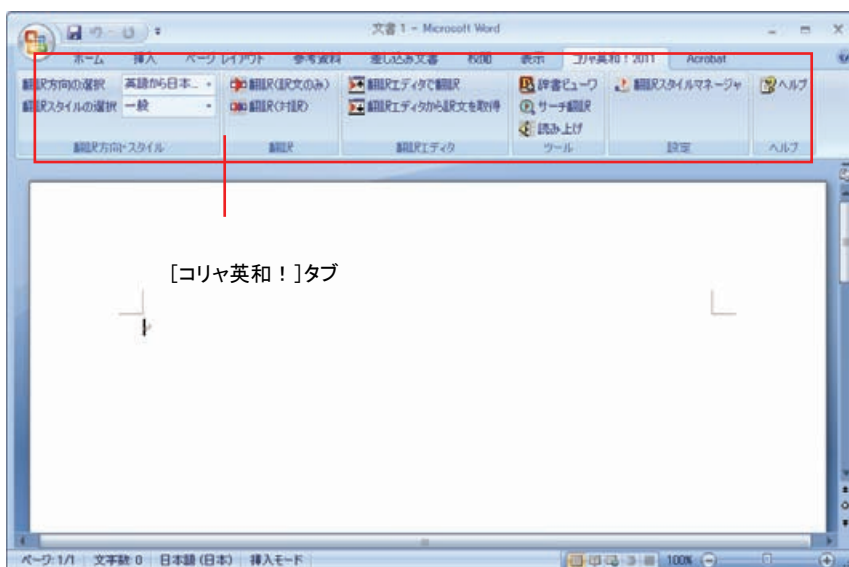
[Microsoft Word アドイン]をONにし、[ファイル]メニューから[終了]を選択し、ダイアログボックスを閉じます。



[Microsoft Word アドイン]を OFF にすると、翻訳機能を解除できます。

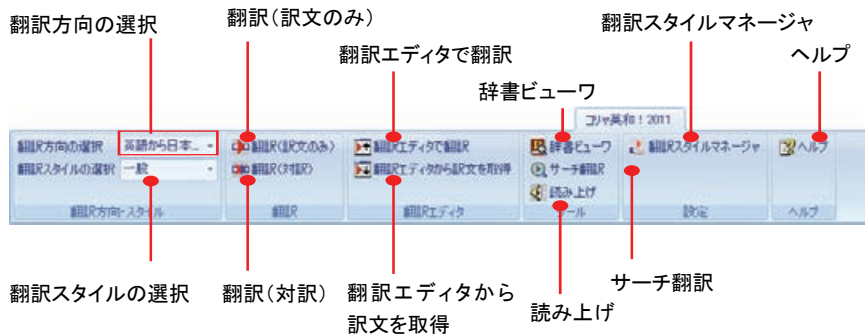
Microsoft Word 2007/2010 に組み込まれた翻訳機能

翻訳機能が組み込まれた Microsoft Word 2007/2010 では、リボンに翻訳機能のタブが表示されます。



タブのコマンドの名称と機能

●[コリヤ英和！]タブ

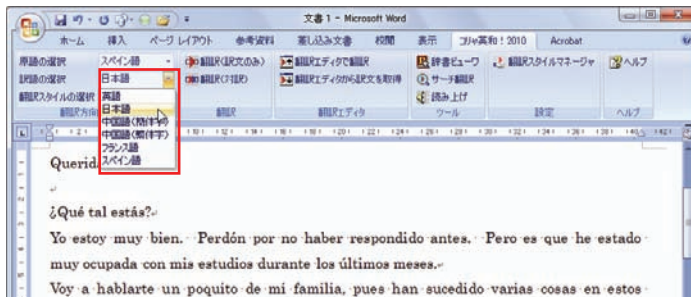


翻訳方向の選択	クリックして開くプルダウンメニューから原語と訳語を選択し、翻訳方向を設定します。
翻訳スタイルの選択	クリックして開くプルダウンメニューから翻訳スタイルを選択します。
翻訳(訳文のみ)	選択されたテキストを翻訳し、訳文のみを表示します。
翻訳(対訳)	選択されたテキストを翻訳し、原文と訳文を表示します。
翻訳エディタで翻訳	翻訳エディタを起動し、選択されたテキストを翻訳します。
翻訳エディタから訳文を取得	[翻訳エディタで翻訳]ボタンで原文を翻訳したのち、翻訳エディタから訳文を取得し、選択したテキストと入れ替えます。
辞書ビューワ	辞書ビューワを起動し、選択したテキストの辞書引きを行います。
読み上げ	音声合成エンジンがインストールされているとき、選択されたテキストを読み上げます。
検索翻訳	[検索翻訳]ウィンドウを表示します。
翻訳スタイルマネージャ	翻訳スタイルマネージャを起動します。
ヘルプ	オンラインヘルプを表示します。

基本的な翻訳操作

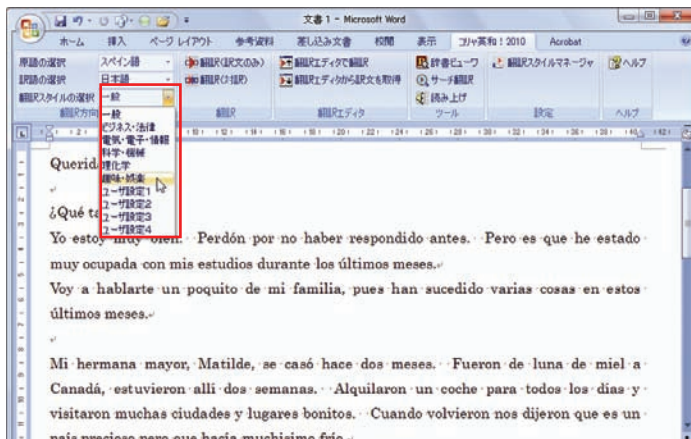
ここでは[翻訳(対訳)]ボタンで翻訳を行う例を紹介します。

1



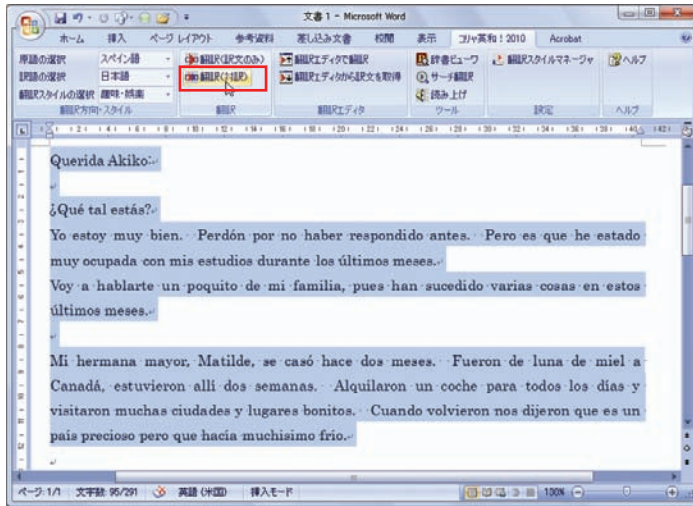
Wordに文書を入力し、翻訳方向を設定します。

2



必要に応じて翻訳スタイルを選択します。

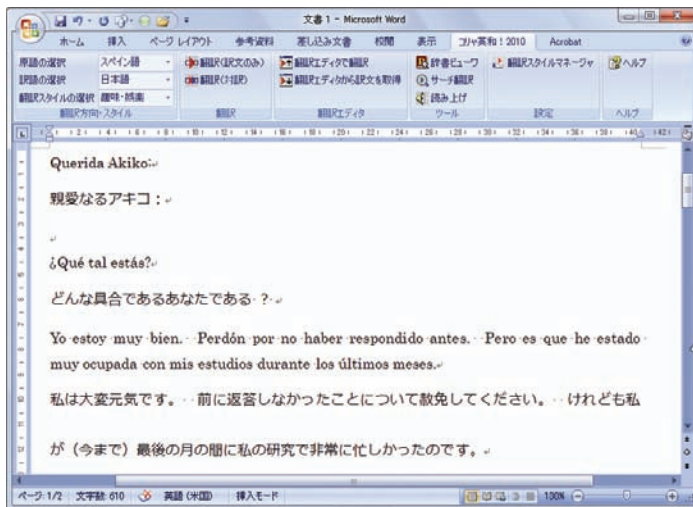
3



翻訳するテキストをマウスの左ボタンを押しなが
らなぞって強調表示させます(この操作を「選択す
る」といいます)。次に[翻訳(対訳)]ボタンをクリ
ックします。

翻訳が開始されます。

4



終了すると、原文と訳文が上下に表示されます。

このように、Wordの文書を簡単に翻訳するこ
とができます。

3

Microsoft Excel で翻訳を行うには

ここでは、Microsoft Excel に翻訳機能を組み込んで翻訳する方法を説明します。
 なお、Excel での翻訳は、セル単位で行われます。



●制限ユーザで Microsoft Office アプリケーション (Word、Excel、PowerPoint、Outlook) のアドイン機能をご使用になる場合は、コリヤ英和！〇〇語がインストールされる前に Office アプリケーションがインストールされている必要があります。後から Office アプリケーションのインストールを行った場合、コリヤ英和！〇〇語の修正インストールを行ってください。修正インストールについては、インストールガイドの「11 [重要]コリヤ英和！各国語の修正と削除を行うには」をご覧ください。

Microsoft Excel に翻訳機能を組み込むには

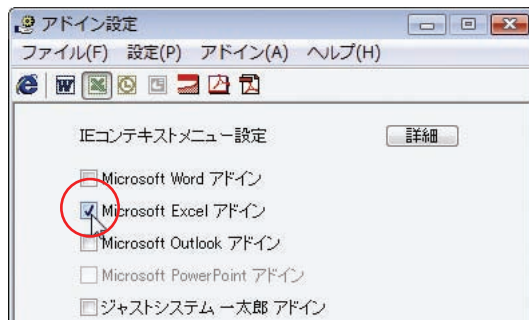
翻訳機能を組み込む手順を説明します。

1

[スタート]ボタン→[(すべての)プログラム]→[コリヤ英和！〇〇語]→[設定ツール]→[アドイン設定]の順に選択します。

[アドイン設定]ダイアログボックスが開きます。

2



[Microsoft Excel アドイン]をONにし、ダイアログボックスを閉じます。



[Microsoft Excel アドイン]を OFF にすると、翻訳機能を解除できます。

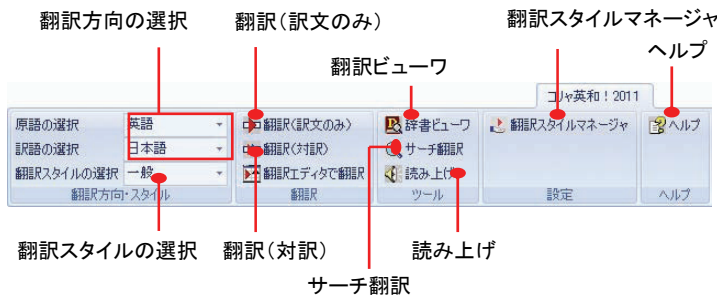
Microsoft Excel 2007/2010 に組み込まれた翻訳機能

翻訳機能が組み込まれた Microsoft Word 2007/2010 では、リボンに翻訳機能のタブが表示されます。



ツールバーの名称と機能

●[コリヤ英和！]タブ

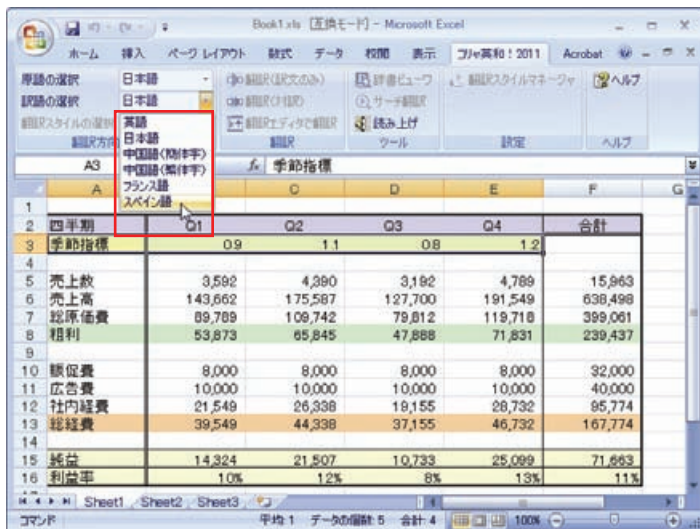


それぞれのコマンドの機能については、「2 Microsoft Word で翻訳を行うには」を参照してください。

基本的な翻訳操作

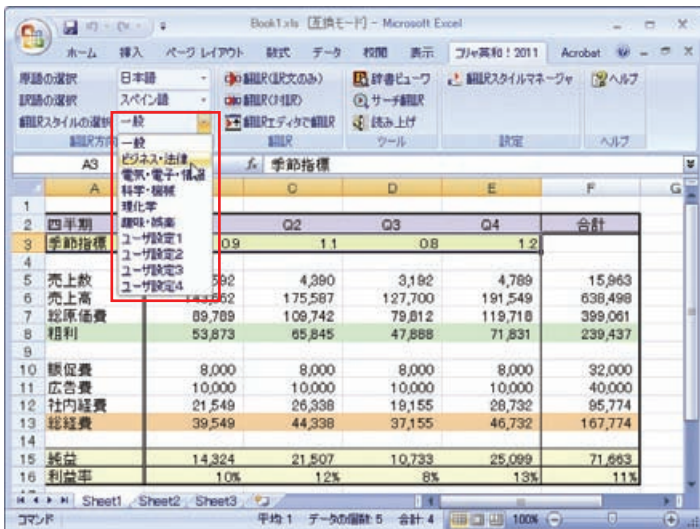
ここでは[翻訳(訳文のみ)]ボタンで翻訳を行う例を紹介します。

1



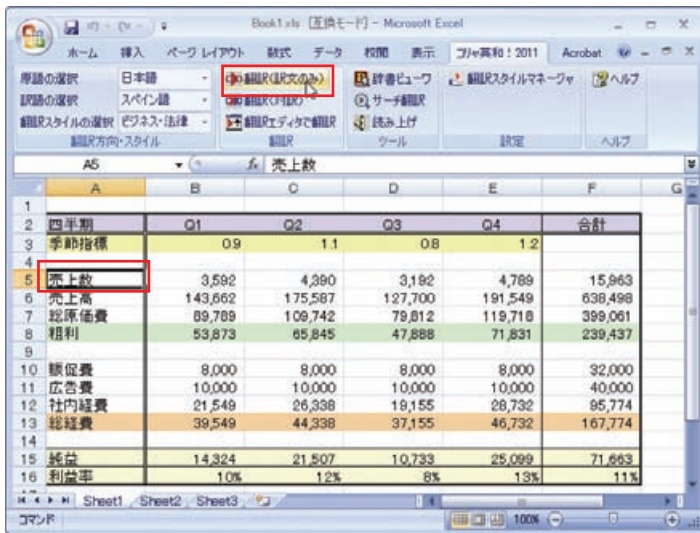
Excelにデータを入力し、翻訳方向を設定します。

2



必要に応じて翻訳スタイルを選択します。

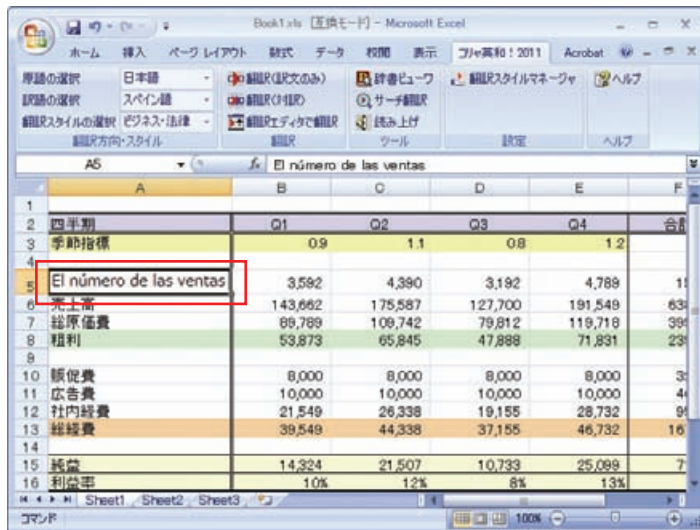
3



翻訳するセルを選択します。次に[翻訳(訳文のみ)]ボタンをクリックします。

翻訳が開始されます。

終了すると、原文が訳文に入れ替わります。



このように、Excelのセルを簡単に翻訳することができます。なお、複数のセルを選択して翻訳することもできます。

4

ジャストシステム一太郎で翻訳を行うには

ジャストシステムの「一太郎」に翻訳機能を組み込んで活用することができます。組み込める一太郎のバージョンは、2008/2009/2010/2011/2012です。ここでは、一太郎2012に翻訳機能を組み込んで翻訳を行う方法を説明します。一太郎2008/2009/2010/2011でも同様です。

一太郎に翻訳機能を組み込むには

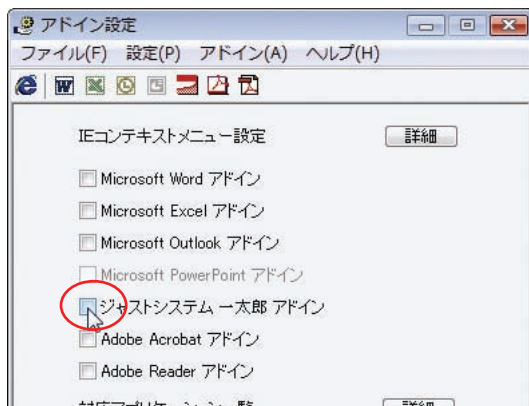
翻訳機能を組み込む手順を説明します。

1

[スタート]ボタン→[(すべての)プログラム]→[コリヤ英和！〇〇語]→[設定ツール]→[アドイン設定]の順に選択します。

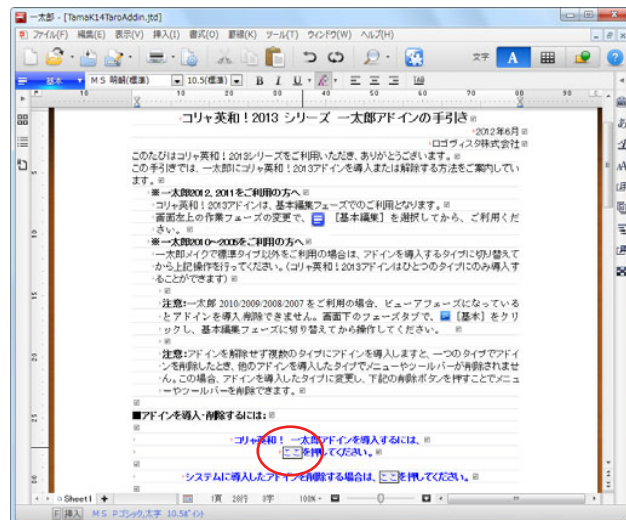
[アドイン設定]ダイアログボックスが開きます。

2



[ジャストシステム一太郎アドイン]をONにします。

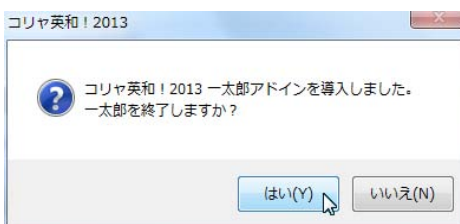
3



一太郎で[基本]タブを選択してから、「コリヤ英和！〇〇語 一太郎アドインを導入するには～」の[ここ]ボタンをクリックします。

これで、翻訳機能の組み込みが開始され、確認メッセージが表示されます。

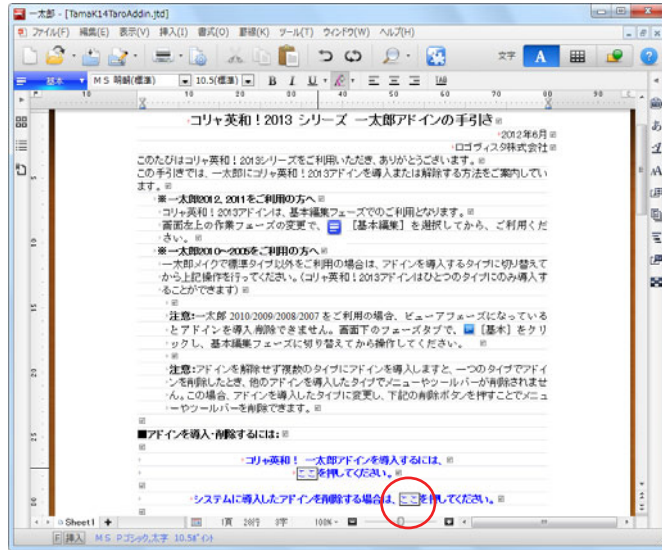
4



[はい]ボタンをクリックして終了します。

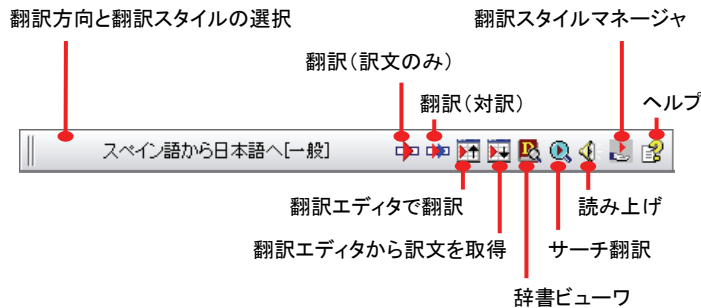



翻訳機能を解除するときは、一太郎を終了してから[アドイン設定]ダイアログボックスを開き、[ジャストシステム一太郎アドイン]を OFF にします。一太郎が起動し、「コリヤ英和！ 各国語 一太郎アドインの手引き」が開きます。一太郎で[基本]タブに移動してから、「システムに導入したアドインを削除する場合は～」の[ここ]ボタンをクリックし、画面の表示にしたがって操作します。



一太郎に組み込まれた翻訳機能

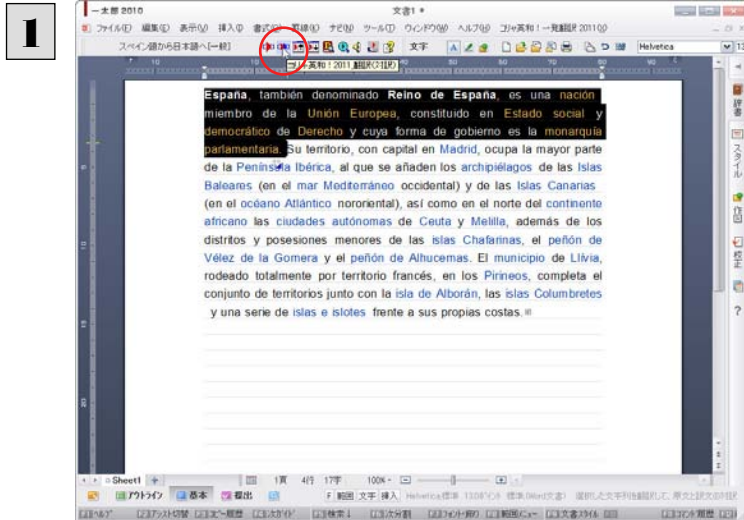
翻訳機能が組み込まれた一太郎では、翻訳機能のツールバーおよびメニューが表示されます。



翻訳方向とスタイルの設定	[翻訳エンジンとスタイルの設定]ダイアログを開きます。翻訳方向の変更、翻訳スタイルの変更、選択した翻訳スタイルの編集を行えます。  ◀ 翻訳スタイルについては、第 1 章の「2 コリヤ英和！ 各国語の翻訳スタイルについて」をご覧ください。
翻訳(訳文のみ)	選択されているテキストの翻訳を行い、訳文のみを表示します。
翻訳(対訳)	選択されているテキストの翻訳を行い、上下対訳形式で表示します。
翻訳エディタで翻訳	翻訳エディタを起動し、選択されたテキストを翻訳します。
翻訳エディタから訳文を取得	[翻訳エディタで翻訳]ボタンで原文を翻訳したのち、翻訳エディタから訳文を取得し、選択したテキストと入れ替えます。
辞書ビューワ	辞書ビューワを起動し、選択したテキストの辞書引きを行います。
サーチ翻訳	[サーチ翻訳]ウィンドウを表示します。
読み上げ	音声合成エンジンがインストールされているとき、選択されたテキストを読み上げます。
翻訳スタイルマネージャ	翻訳スタイルマネージャを起動します。
ヘルプ	一太郎アドイン翻訳機能のオンラインヘルプを表示します。

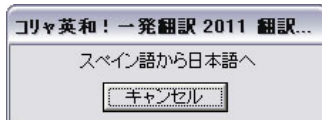
基本的な翻訳操作

ここでは、[コリヤ英和！ 翻訳(対訳)]ボタンで行う翻訳操作の例を紹介します。

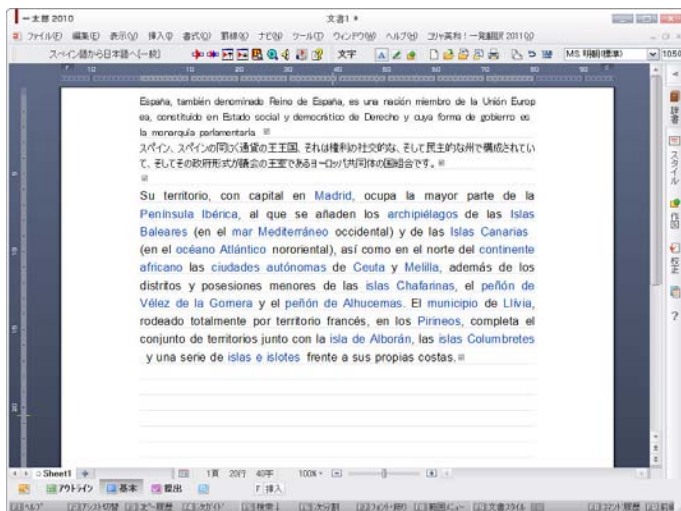


一太郎に文書を入力し、翻訳する文を選択します。次に[コリヤ英和！ 翻訳(対訳)]ボタンをクリックします。

翻訳が開始され、翻訳中を示すダイアログが表示されます。



終了すると、翻訳結果が表示されます。



このように、一太郎の文書を簡単に翻訳することができます。

5

Adobe Acrobat / Adobe Readerで翻訳を行うには

ここでは、Adobe Acrobat や Adobe Reader に翻訳機能を組み込んで翻訳する方法を説明します。



- 他の LogoVista 製品に含まれる Adobe Acrobat または Reader アドインとコリヤ英和！〇〇語の Adobe Acrobat または Reader アドインを併用することはできません。コリヤ英和！〇〇語のアドインを利用する場合は、他の LogoVista 製品に含まれるアドインを解除してください。
- 制限ユーザの場合、そのままではアドイン機能を利用できないことがあります。Adobe Acrobat または Reader アドインが機能するためには、コリヤ英和！各国語のモジュールが Adobe Acrobat または Reader の [plug_ins] フォルダにコピーされる必要があります。この処理をコリヤ英和！のアドイン設定機能が実行しています。制限ユーザの場合、システムドライブ(起動ディスク)の [Program Files] フォルダへの書き込み権限がありません。このため、Adobe Acrobat または Reader をシステムドライブの [Program Files] フォルダにインストールしている場合は、制限ユーザの権限ではアドイン設定機能でアドインを設定できません。あらかじめ、管理者権限を持ったユーザでアドインを設定しておく必要があります。

Adobe Acrobat / Adobe Reader に翻訳機能を組み込むには

翻訳機能を組み込む手順を説明します。

- 1 [スタート]ボタン→[(すべての)プログラム]→[コリヤ英和！〇〇語]→[設定ツール]→[アドイン設定]の順に選択します。

[アドイン設定]ダイアログボックスが開きます。



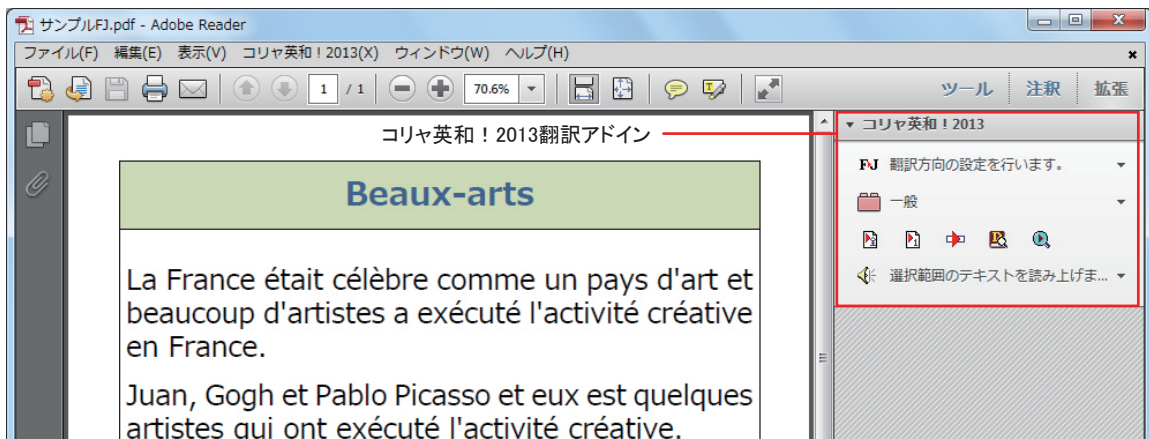
[Adobe Acrobat アドイン]または[Adobe Reader アドイン]をONにし、ダイアログボックスを閉じます。



[Adobe Acrobat アドイン]または[Adobe Reader アドイン]をOFFにすると、翻訳機能を解除できます。Reader X の場合、アドインするためには事前にReader X の保護モードを無効にする必要があります。

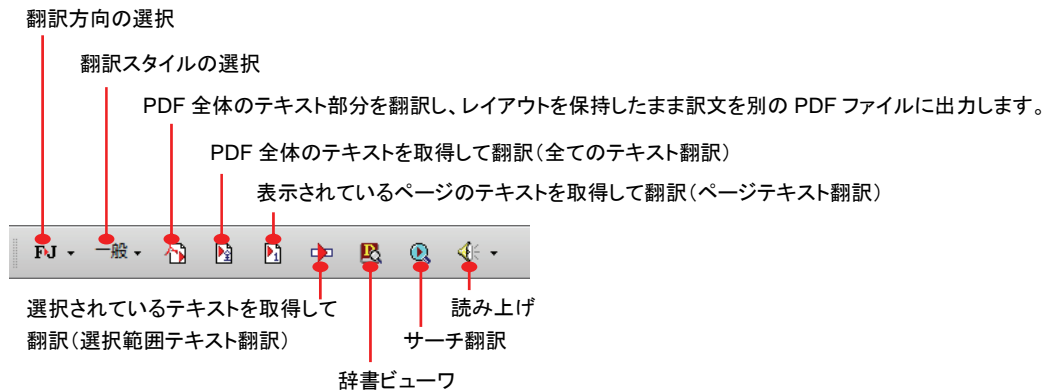
Adobe Acrobat / Adobe Reader に組み込まれた翻訳機能

翻訳機能が組み込まれた Adobe Acrobat / Adobe Reader では、翻訳機能のメニューおよびツールバーが表示されます。

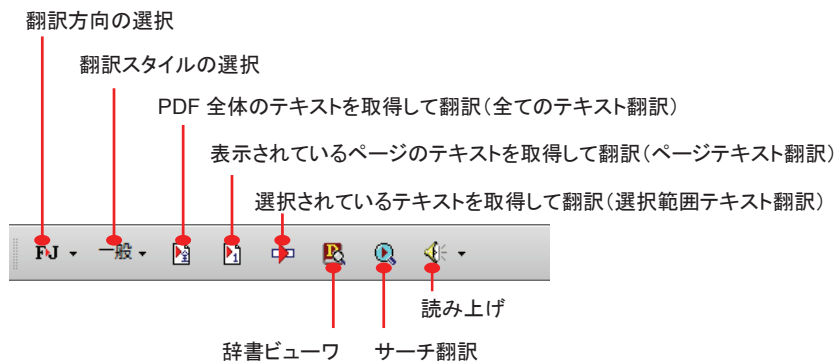


ツールバーのコマンドの名称と機能.....

Adobe Acrobat に組み込まれたコリヤ英和！各国語ツールバー



Adobe Reader に組み込まれたコリヤ英和！各国語ツールバー



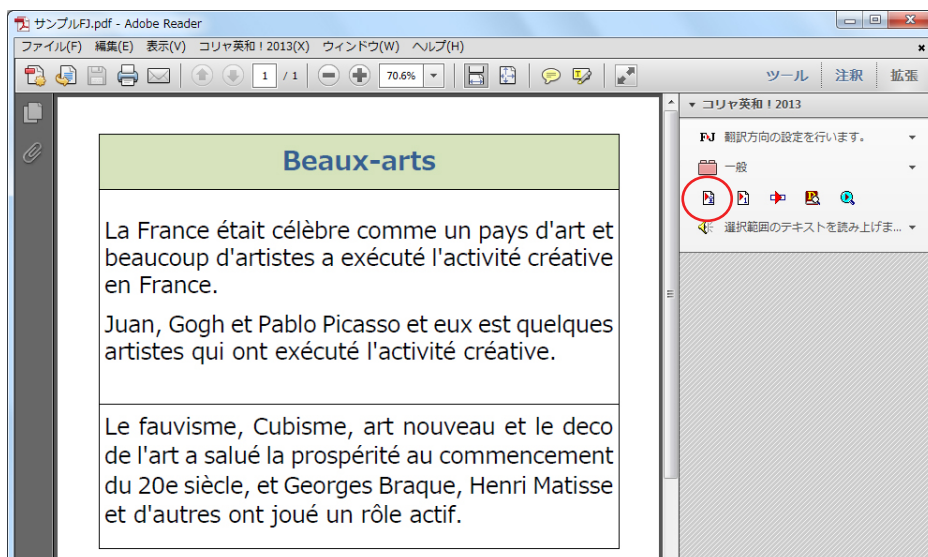
※Adobe Acrobat/Reader Xの翻訳アドインも同様です。

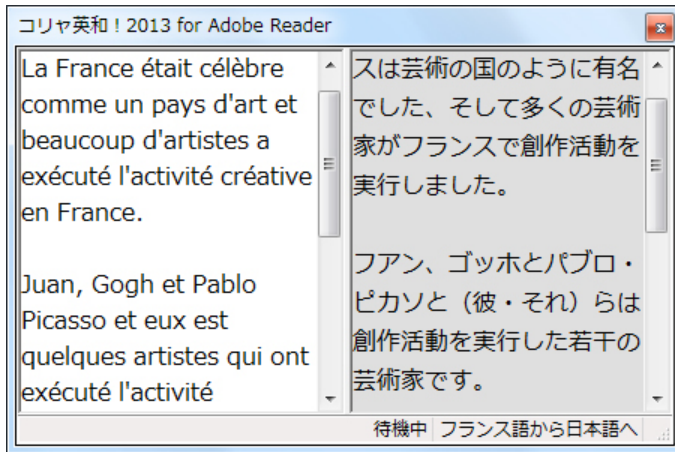
基本的な翻訳操作

PDF のテキストを取得して翻訳することができます。この場合、翻訳対象を、PDF 全体のテキスト、表示ページのテキスト、選択されたテキストのいずれかにすることができます。ここでは、Adobe Reader で PDF 全体のテキストを取得して翻訳する方法を紹介します。Adobe Acrobat でも同様の操作で翻訳することができます。

1

[全てのテキスト翻訳]ボタンをクリックします。





翻訳が開始されます。終了すると、翻訳結果が表示されます。

このように、PDFのテキストをコリヤ英和! を使って簡単に翻訳できます。



Adobe Acrobat で翻訳する場合は、翻訳エディタが起動します。
詳細はオンラインヘルプをご覧ください。

- 翻訳エディタの詳細については、「第 2 章 翻訳エディタで翻訳するには」をご覧ください。

制限事項

翻訳アドインには、次のような制限事項があります。

- 翻訳が可能なのは本文だけです。しおりやサムネイル、注釈、署名、PDF フォームの入力文字列など、特殊な文字列は翻訳の対象となりません。
- セキュリティのかかったドキュメントに対してはいかなる処理も行うことができないため、翻訳を行うことはできません。
- ヘッダ・フッタを含む文書やページをまたいだ文など、一部の文書において単語の区切りおよび翻訳が部分的に正常でないことがあります。

Chapter 7

ファイル単位で翻訳するには

1

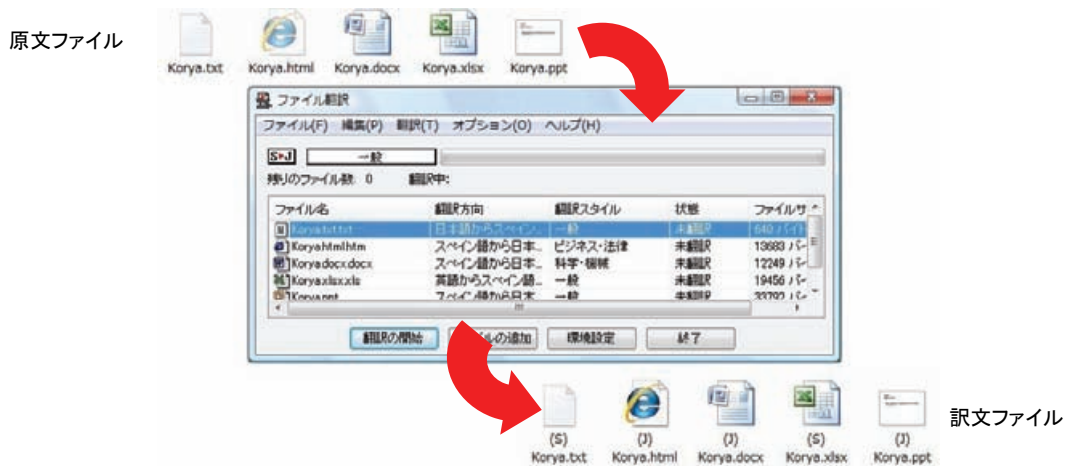
ファイル単位で翻訳するには一ファイル翻訳の使い方

ファイル翻訳は、指定された原文ファイルを翻訳し、別の訳文ファイルを生成する翻訳アプレットです。テキストファイル、HTML ファイル、Word、Excel、PowerPoint の文書ファイルを翻訳できます。

ファイル翻訳で行える翻訳

ファイル翻訳では、原文となるファイルを翻訳し、訳文を別のファイルに保存します。

- 一度に複数の原文ファイルを翻訳できます。
- ファイルごとに、適用する翻訳方向、翻訳スタイルを設定できます。このため、タイプの異なるファイルを一括して翻訳できます。



■ファイル翻訳の流れ

翻訳できるファイル

ファイル翻訳では、次のファイルを翻訳できます。

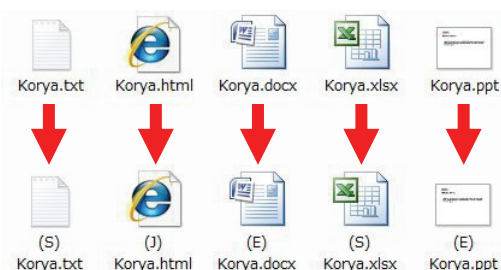
- テキストファイル
- HTML ファイル (Web ブラウザで保存されたファイル、拡張子「htm」、「html」など)
- Word 文書ファイル (拡張子「doc」、「docx」、「rtf」)^{※1}
- Excel 文書ファイル (拡張子「xls」、「xlsx」)^{※2}
- PowerPoint 文書ファイル (拡張子「ppt」、「pptx」)^{※1}

※1 対応している Word のバージョンは、2000/2002/2003/2007/2010 です。

※2 対応している Excel のバージョンは、2002/2003/2007/2010 です

翻訳されたファイル

翻訳結果は、それぞれに同じ種類 (同じ拡張子) の別のファイルに書き出され、初期値では、元のファイルがあるフォルダと同じフォルダに保存されます。



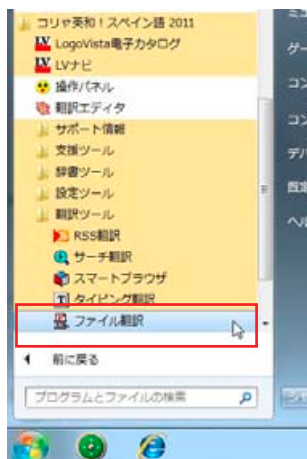
ファイル翻訳を起動するには

ファイル翻訳は、次のいずれかの方法で起動することができます。

- デスクトップの[コリヤ英和！操作パネル]をダブルクリックして操作パネルを起動し、[翻訳]ボタンから[ファイル翻訳]を選択します。

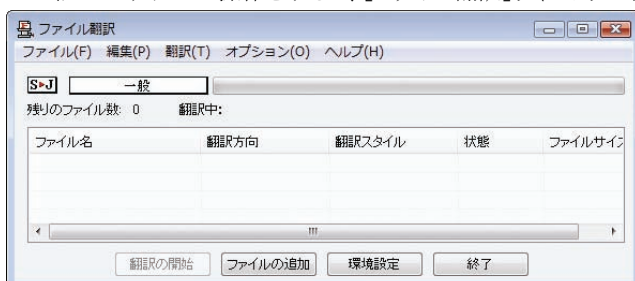


- [スタート]ボタン→[(すべての)プログラム]→[コリヤ英和！《○○語》]*→[翻訳ツール]→[ファイル翻訳]の順に選択します。



← 《○○語》の部分には、「フランス語」「中国語」などお買い求めの言語名が表示されます。

上記のいずれかの操作をすると、[ファイル翻訳]ウィンドウが表示されます。



[ファイル翻訳]ウィンドウの各部の名称と機能

[ファイル翻訳]ウィンドウの主な各部には、次の名称と機能があります。



[翻訳方向の選択]ボタン

原文ファイルを追加したときに適用される翻訳方向が表示されます。何もしないと、最後に翻訳したときに使われた翻訳方向が表示されます。変更するときは、クリックしてポップアップリストから目的の翻訳方向を選択します。

[翻訳スタイルの選択]ボタン

原文ファイルを追加したときに適用される翻訳スタイルが表示されます。何もしないと、最後に翻訳したときに使われた翻訳スタイルが表示されます。変更するときは、クリックしてポップアップリストから目的の翻訳スタイルを選択します。

翻訳状況表示領域

ファイルの翻訳中に、以下の情報を表示します。

プログレストラッカー	翻訳の進行状況を表示します。翻訳が開始されると、左から右にバーが進み、進行状況を示します。
残りのファイル数	複数のファイルを翻訳するとき、まだ翻訳していないファイルの数を表示します。すべてのファイルを翻訳し終わると「0」になります。
翻訳中	翻訳中のファイル名を表示します。

翻訳ファイルリスト

原文ファイルを追加すると、このリストに表示されます。以下の情報が表示されます。

- ・ファイル名
- ・翻訳方向
- ・翻訳スタイル
- ・状態 (未翻訳 / 翻訳待機中 / 翻訳中 / 翻訳済み)
- ・ファイルサイズ

各行を右クリックすると、コンテキストメニューでそれぞれ翻訳方向や翻訳スタイルを変更できます。

[翻訳の開始] / [翻訳の中止]ボタン

翻訳ファイルリストに表示されているファイルの翻訳を開始します。翻訳中は[翻訳の中止]ボタンになり、クリックすると翻訳を中止します。

[ファイルの追加]ボタン

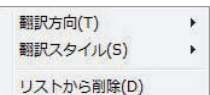
翻訳ファイルリストにファイルを追加します。クリックすると、[ファイルを開く]ダイアログが表示されます。

[環境設定]ボタン

ファイル翻訳の環境を設定します。このボタンをクリックすると、[ファイル翻訳の環境設定]ダイアログが開きます。

コンテキストメニュー

ファイルリストの上でマウスの右ボタンをクリックすると、次のコンテキストメニューが表示されます。ファイルごとに翻訳方向や翻訳スタイルを変更できます。また、リストから削除する際にもコンテキストメニューを使います。

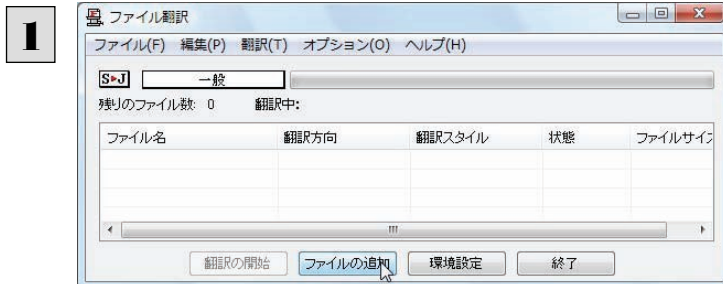


翻訳を実行するには

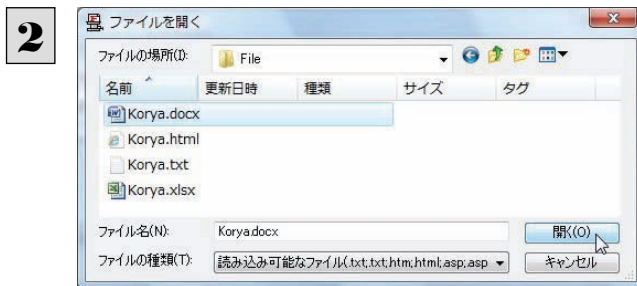
翻訳するファイルの登録

まず、翻訳する原文ファイルを[ファイル翻訳]ウィンドウのファイルリストに登録します。[ファイルの追加]ボタンで登録する方法と、ドラッグ&ドロップして登録する方法があります。

[ファイルの追加]ボタンで登録する



[ファイルの追加]ボタンをクリックします。



[ファイルを開く]ダイアログが開きます。

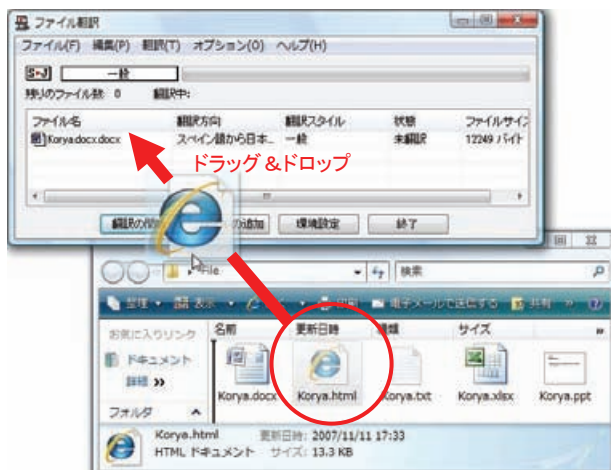
登録するファイルを選択し、[開く]ボタンをクリックします。



原文ファイルがリストに登録されます。

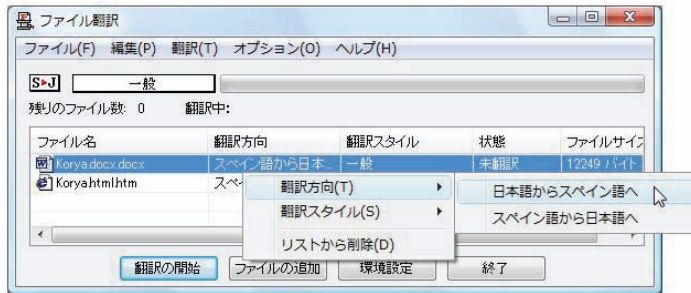
ドラッグ&ドロップして登録する

Windows のエクスプローラで原文ファイルを選択し、[ファイル翻訳]ウィンドウにドラッグ&ドロップします。これで、原文ファイルがリストに登録されます。複数のファイルをいちどにドラッグ&ドロップして登録することもできます。



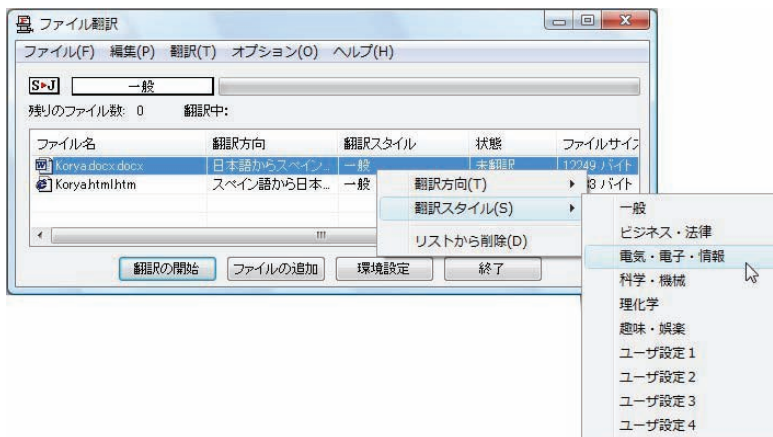
翻訳方向の変更

ファイルリストに登録した原文ファイルの個別の翻訳方向は、コンテキストメニューで個々に変更します。例えば、対象の原文ファイルを選択し、右クリックして開くメニューから[翻訳方向]→[日本語からスペイン語へ]を選択します。



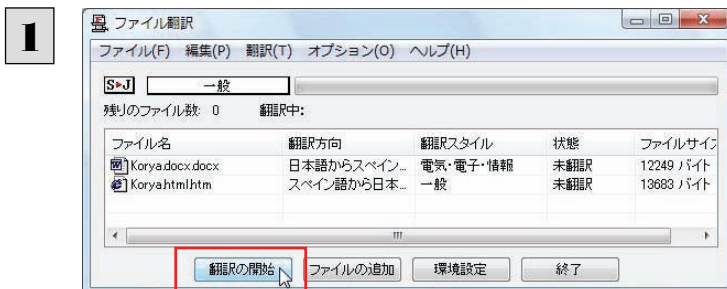
翻訳スタイルの変更

ファイルリストに登録した原文ファイルの個別の翻訳スタイルは、コンテキストメニューで個々に変更します。例えば、「一般」から「電気・電子・情報」に変更するときは、対象の原文ファイルを選択し、右クリックして開くメニューから[翻訳スタイル]→[電気・電子・情報]を選択します。

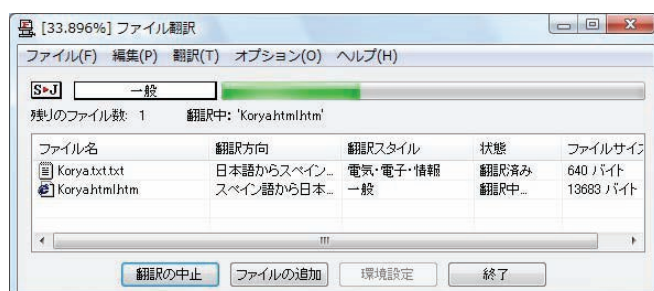


翻訳の実行

翻訳方向や翻訳スタイルが設定できたら、[翻訳の開始]ボタンで翻訳を開始します。



[翻訳の開始]ボタンをクリックします。



先頭のファイルから翻訳が実行されます。翻訳中は、プログレストラッカーが伸び、[状態]の列に「翻訳中」と表示されます。

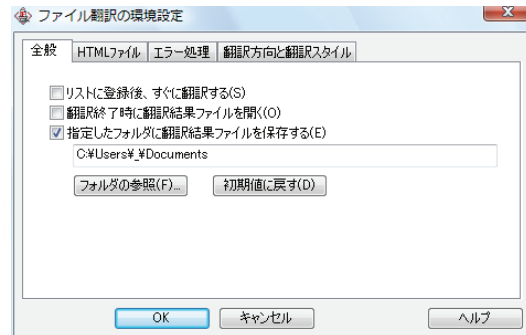
翻訳された訳文ファイルは、初期値では、原文ファイルと同じフォルダに生成されています。

ファイル翻訳の環境を設定するには

ファイル翻訳の動作を変更したり、翻訳対象の HTML ファイルを指定したりすることができます。ファイル翻訳の環境設定は、[ファイル翻訳]ウィンドウの[環境設定]ボタンをクリックするか、[オプション]メニューから[ファイル翻訳の環境設定]を選択し、[ファイル翻訳の環境設定]ダイアログを表示させて行います。

ファイル翻訳の動作を設定する－[全般]タブ

[ファイル翻訳の環境設定]ダイアログの[全般]タブでは、以下の設定でファイル翻訳の動作を変更することができます。



[リストに登録後、すぐに翻訳する]

翻訳ファイルリストに原文ファイルを追加すると、すぐに翻訳を開始します。翻訳方向と翻訳スタイルは、[ファイル翻訳]ダイアログの[翻訳方向の選択]ボタンおよび[翻訳スタイルの選択]ボタンで設定されているものが適用されます。初期値では、このチェックボックスはオフになっています。

[翻訳終了時に翻訳結果ファイルを開く]

翻訳が終了すると、翻訳結果のファイル形式に従ってアプリケーションソフトを起動し、翻訳結果を表示します。初期値では、このチェックボックスはオフになっています。

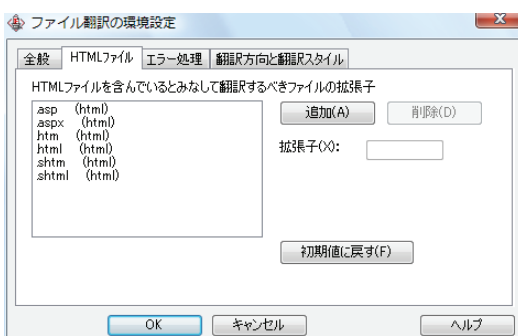
[指定したフォルダに翻訳結果ファイルを保存する]

チェックボックスがオンになっていると、翻訳結果のファイルまたはフォルダが保存先指定ボックスに入力したフォルダに保存されます。オフになっていると、訳文ファイルが原文ファイルと同じフォルダに保存されます。初期値では、このチェックボックスはオフになっています。

[保存先指定]ボックス	訳文ファイルを保存するフォルダを指定します。
[フォルダの参照]ボタン	クリックすると[フォルダの参照]ダイアログが表示されます。保存したいフォルダを選択して[OK]ボタンをクリックすると、そのフォルダのディレクトリが[保存先指定]ボックスに入力されます。
[初期値に戻す]ボタン	クリックすると、保存先が My Documents に戻ります。

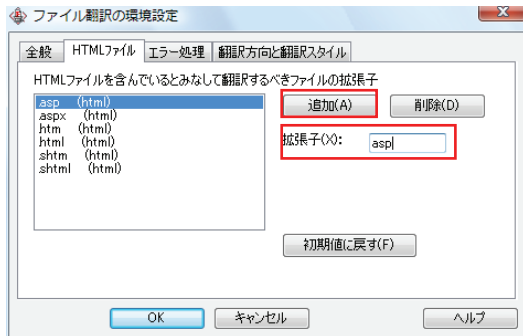
翻訳対象の HTML ファイルを指定する－[HTML ファイル]タブ

ファイル翻訳が翻訳する HTML ファイルの拡張子を登録しておく、これを基準にファイルを識別し、HTML ファイルであった場合、自動的にタグを正しく処理して翻訳を行います。[HTML ファイル]タブでは、このため拡張子の追加登録または削除を行うことができます。



拡張子の追加と削除

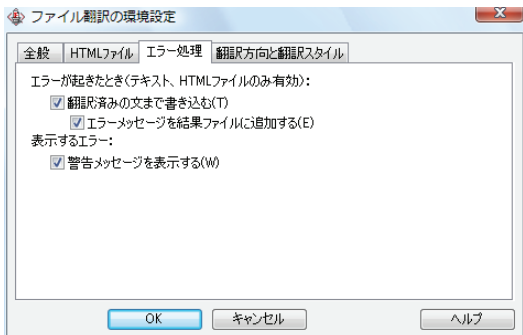
拡張子を追加する場合は、[追加]ボタンをクリックします。新しい項目が作成され、[拡張子]入力ボックスが表示されますので、キーボードから拡張子を入力して登録します。



拡張子を削除する場合は、対象の拡張子を選択してから[削除]ボタンをクリックします。

エラー時の処理方法を変更するには—[エラー処理]タブ

翻訳を行っているときに起きたエラーの処理方法を設定します。



[エラーが起きたとき]

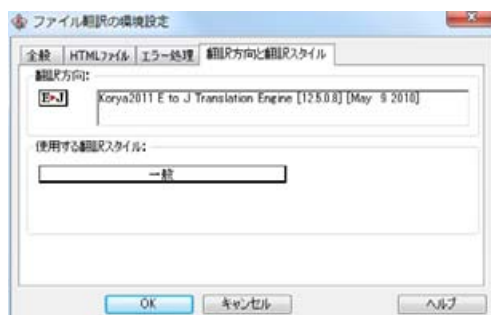
[翻訳済みの文まで書き込む]	エラー発生時以前に翻訳を終了していた文までを保存先のファイルに書き込みます。オフにすると、翻訳済みの文は保存されません。初期値では、このチェックボックスがオンになっています。
[エラーメッセージを結果ファイルに追加する]	エラーの内容を保存先のファイルに書き込みます。このタブは、[翻訳済みの文まで書き込む]チェックボックスがオンになっているときに有効です。初期値では、このチェックボックスがオンになっています。

[表示するエラー]

[警告メッセージを表示する]	エラーが発生したときにダイアログを開き、警告メッセージを表示します。初期値では、このチェックボックスがオンになっています。
----------------	---

翻訳方向と翻訳スタイルを設定するには—[翻訳方向と翻訳スタイル]タブ

原文ファイルを追加したとき、デフォルトで適用される翻訳方向と翻訳スタイルを設定します。



[翻訳方向]

デフォルトの翻訳方向が表示されます。クリックするとリストから別の翻訳方向を選択して変更できます。

[使用する翻訳スタイル]

原文ファイルを追加したときにデフォルトで適用される翻訳スタイルが表示されます。クリックするとリストから別の翻訳スタイルを選択して変更できます。